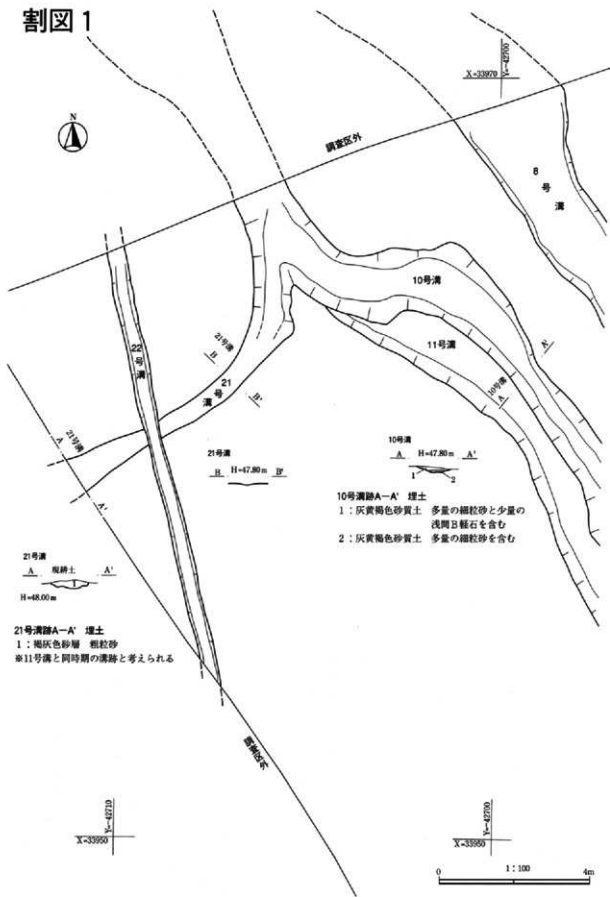
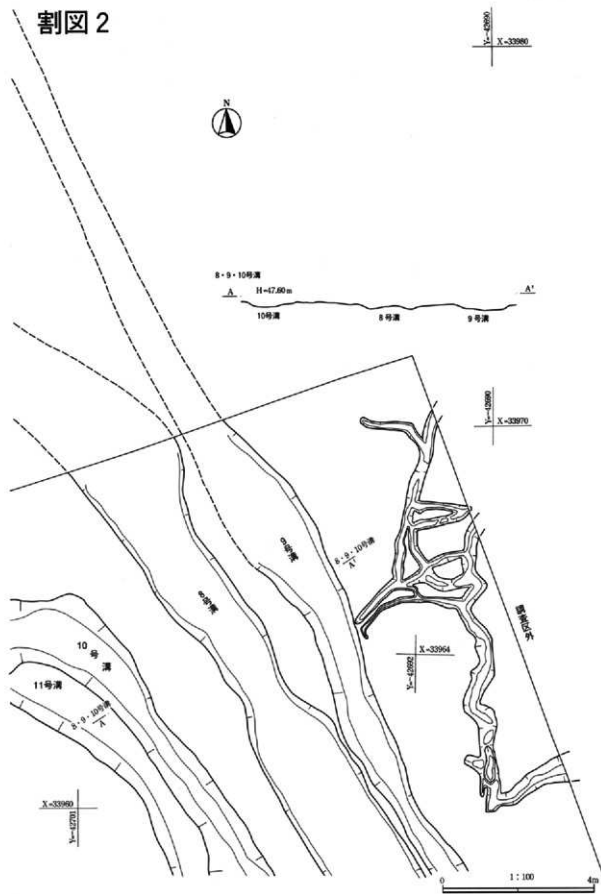


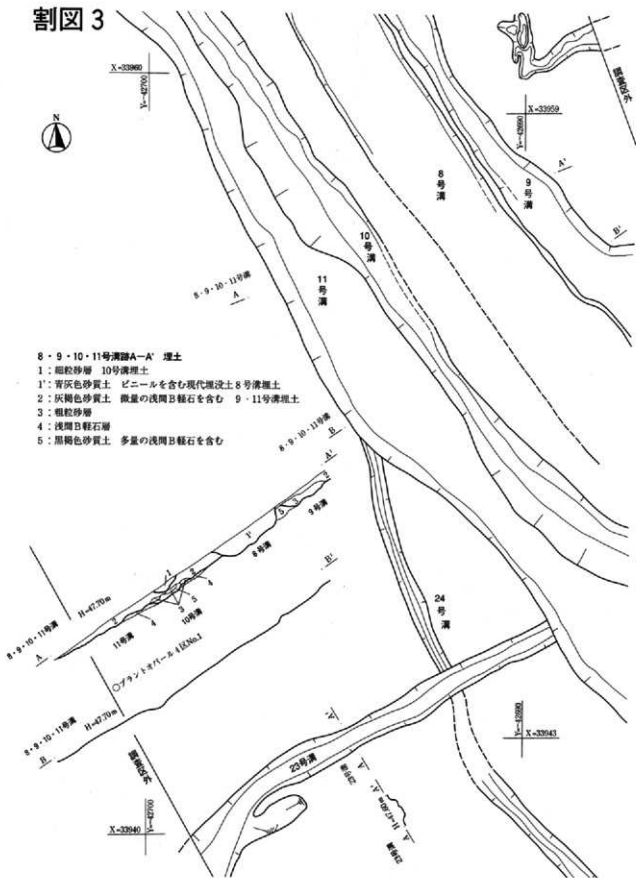
割図 1



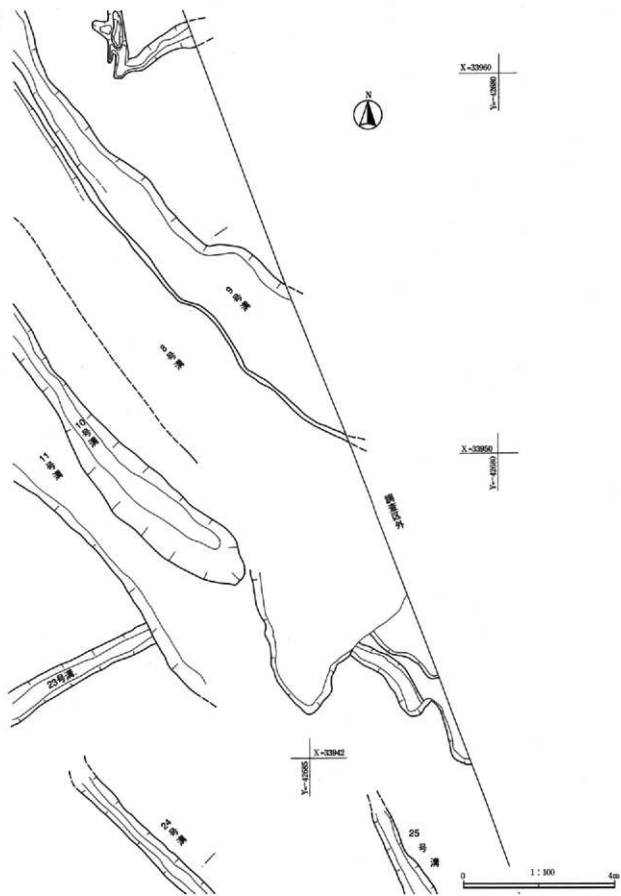
割図 2



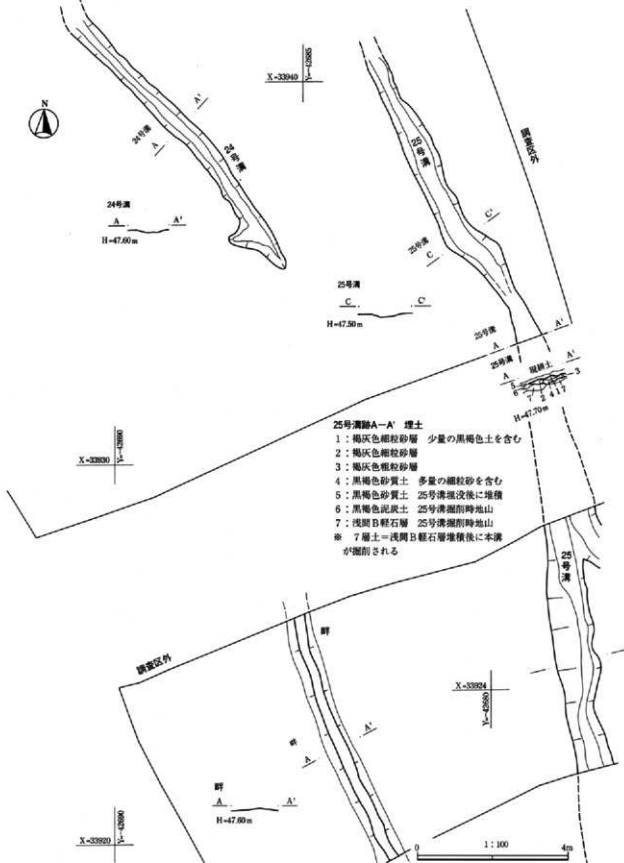
割図3



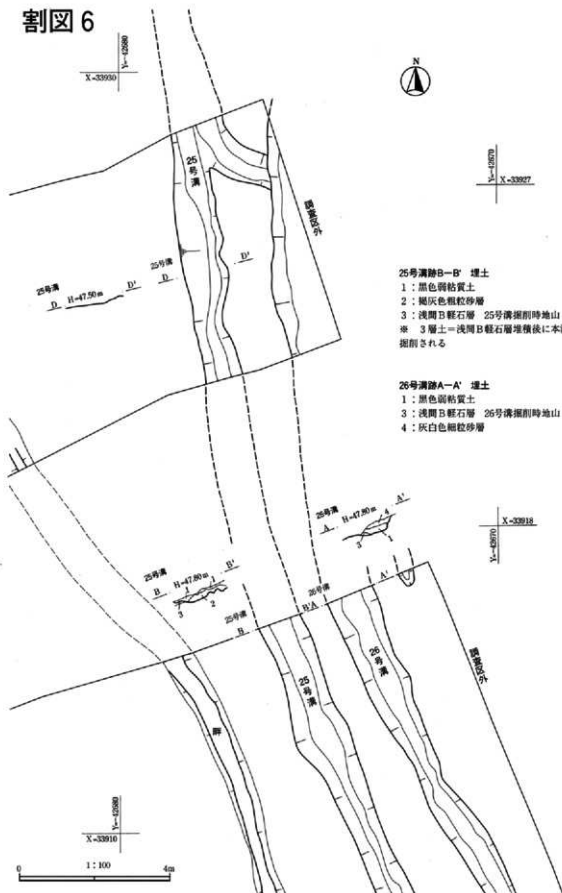
割図 4



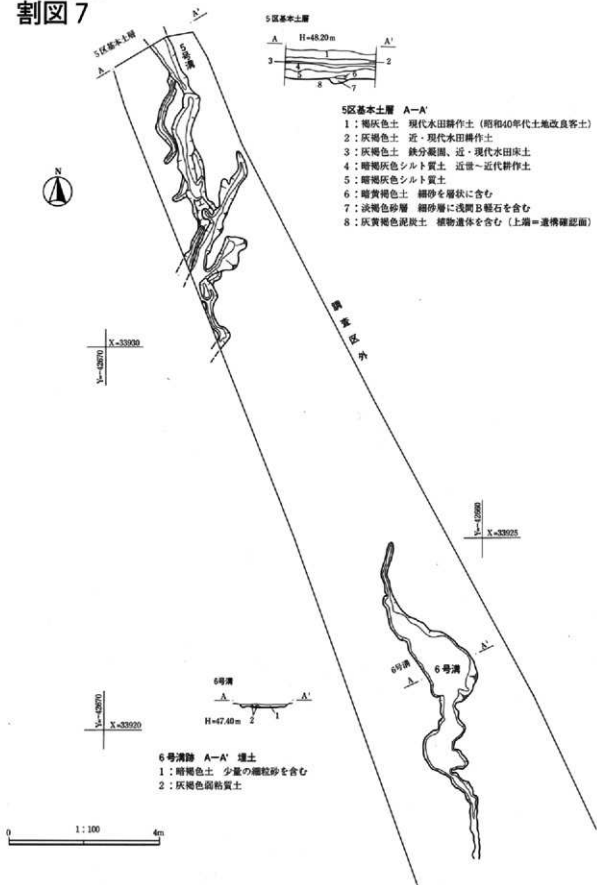
割図 5



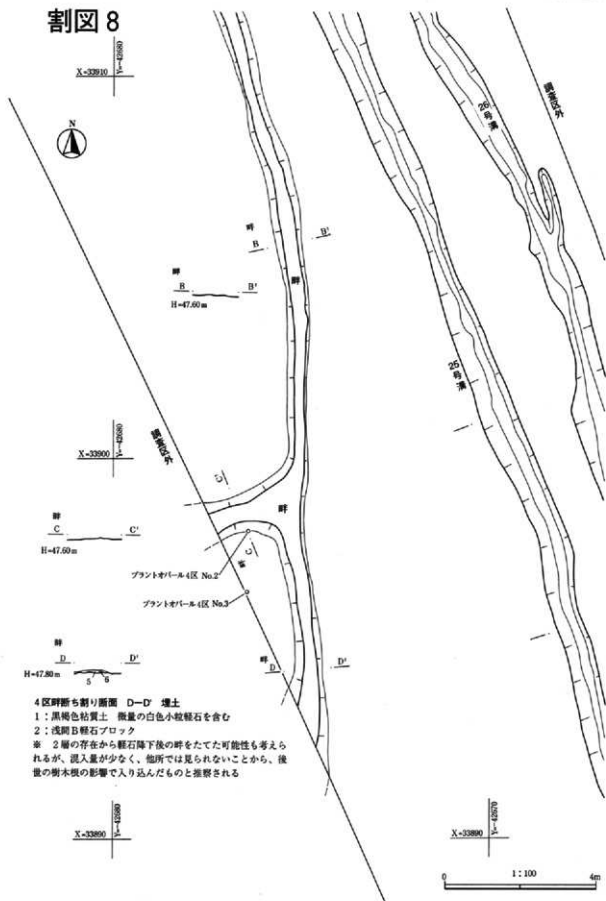
割図 6



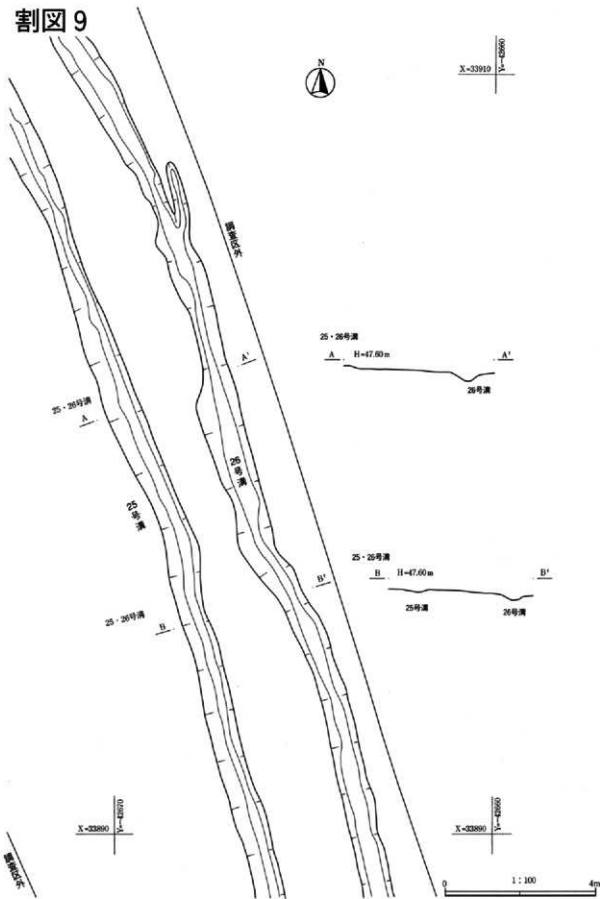
割図 7



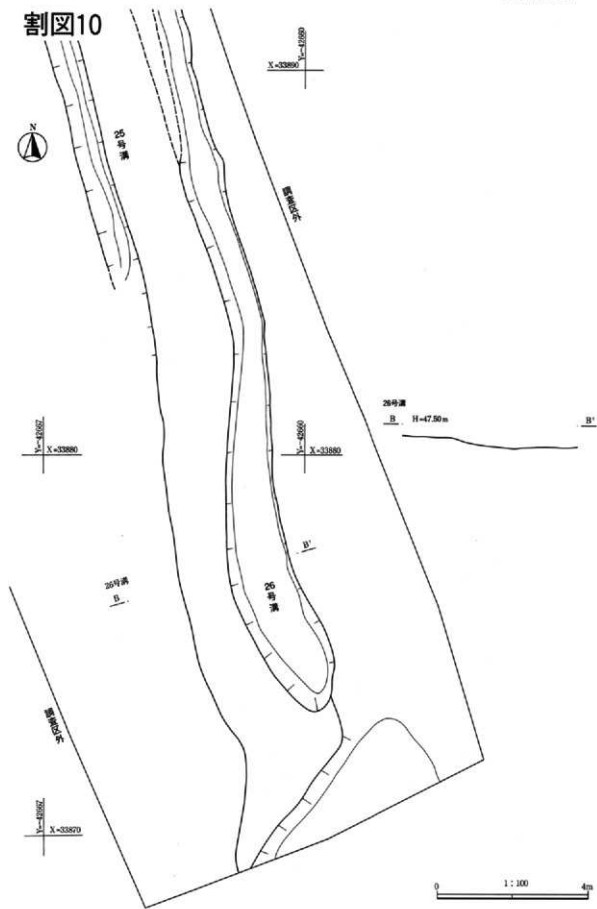
割図 8



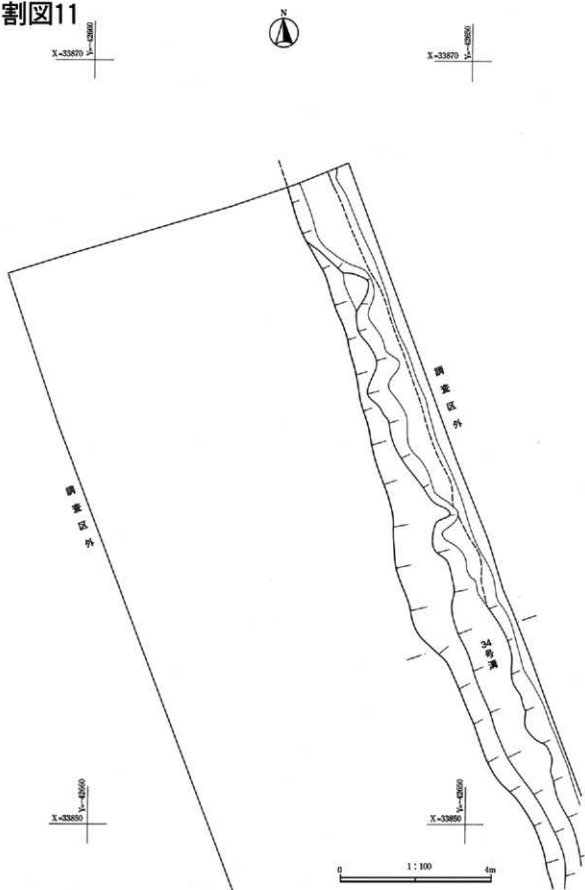
割図 9



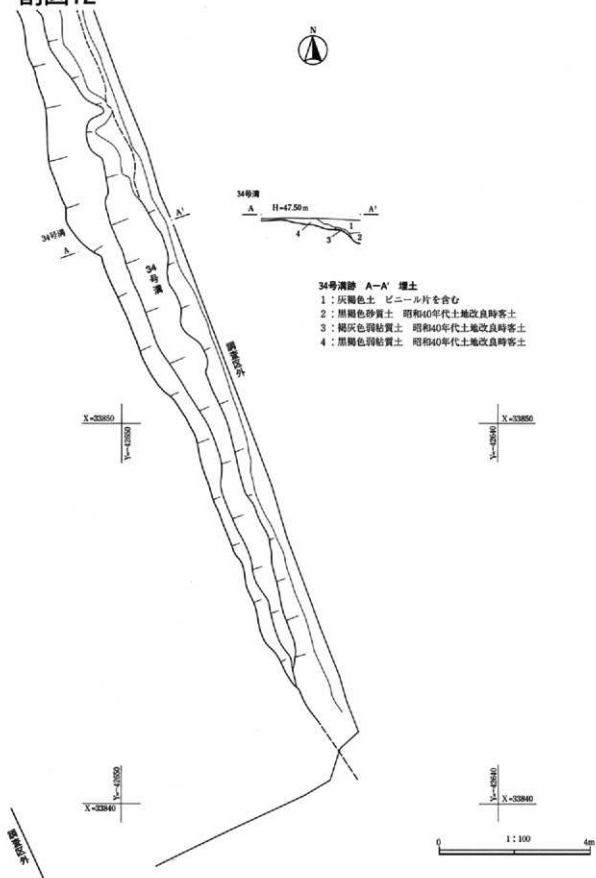
割図10



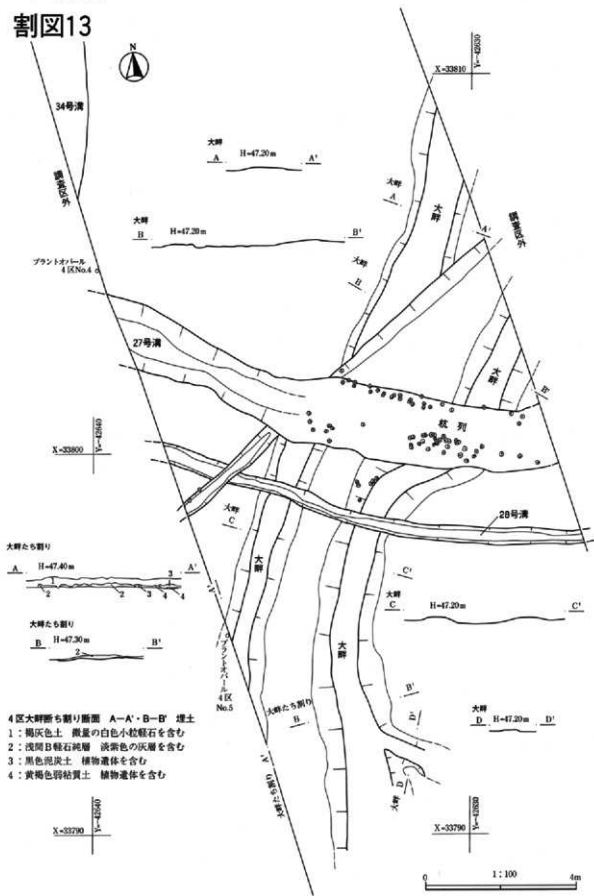
割図11



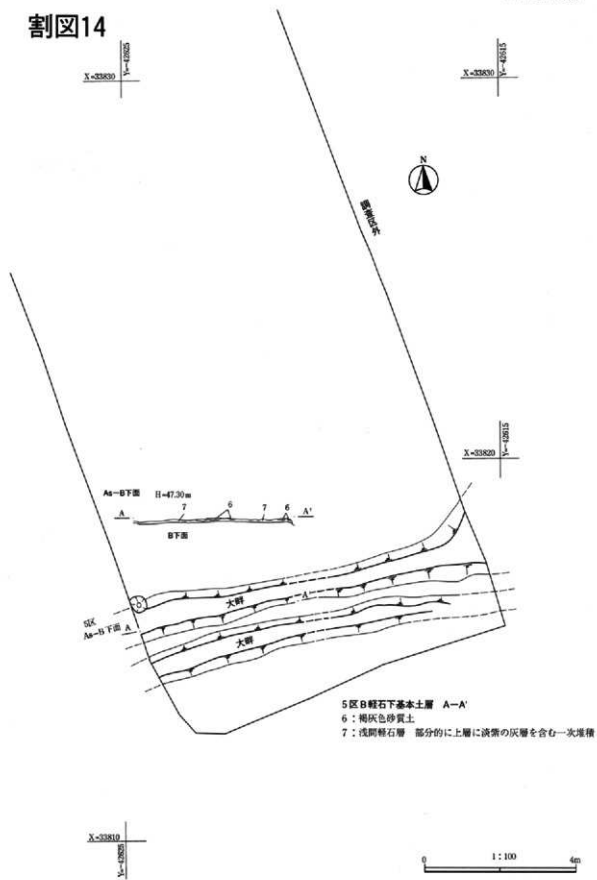
割図12



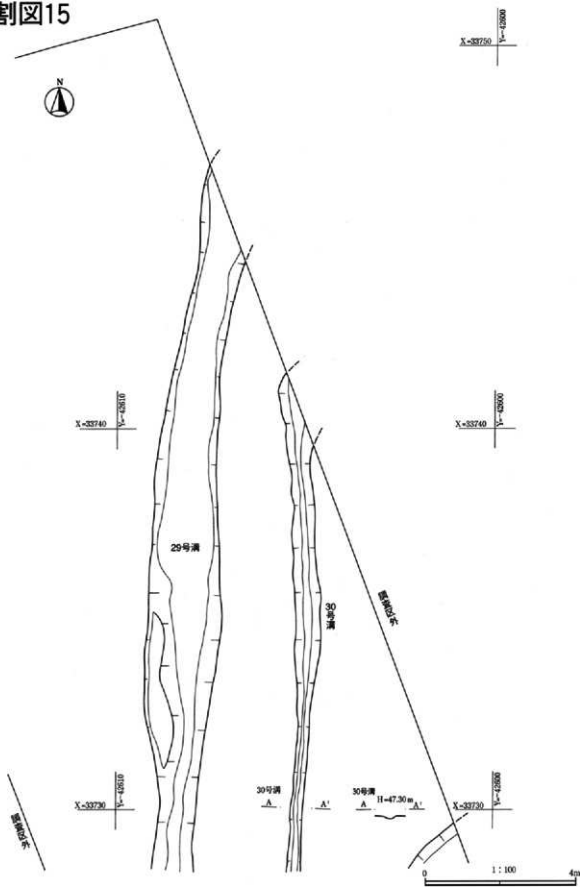
割図13



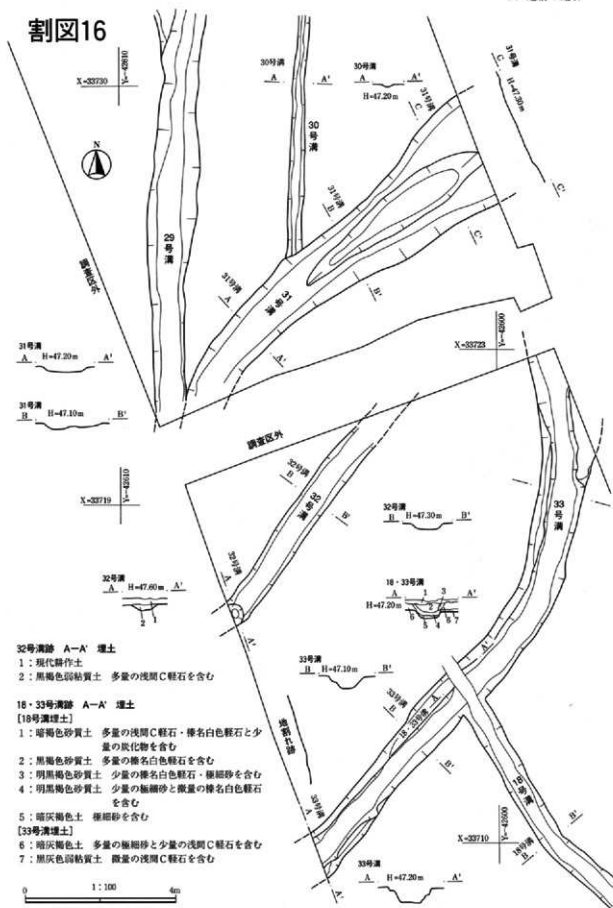
割図14



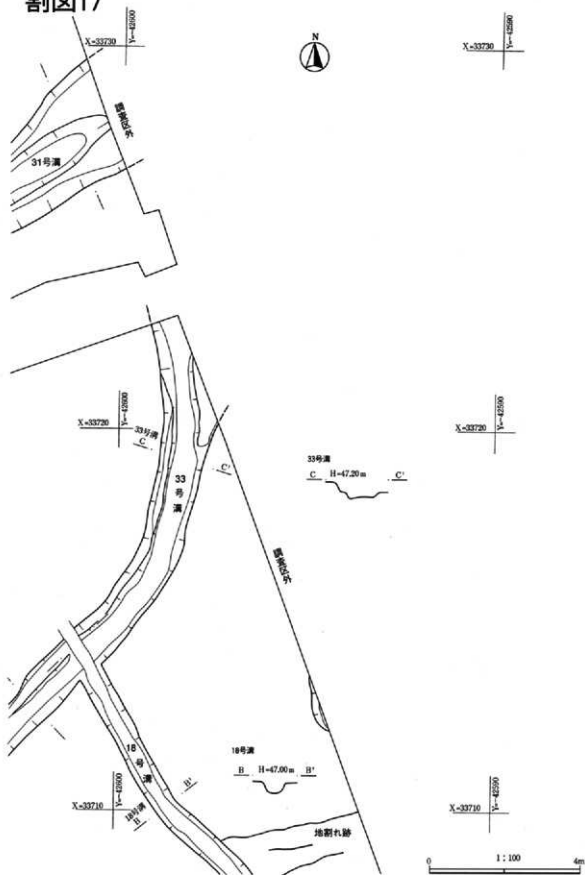
割図15



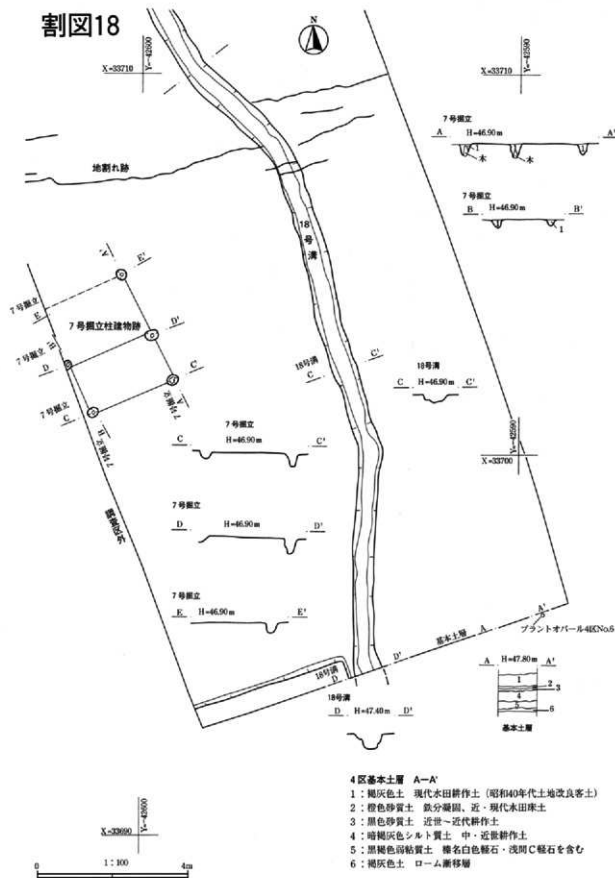
割図16



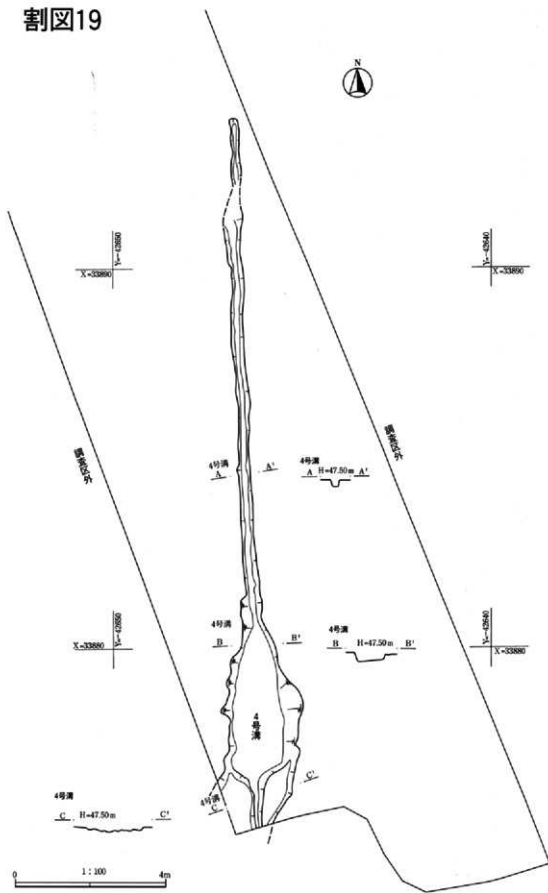
割図17



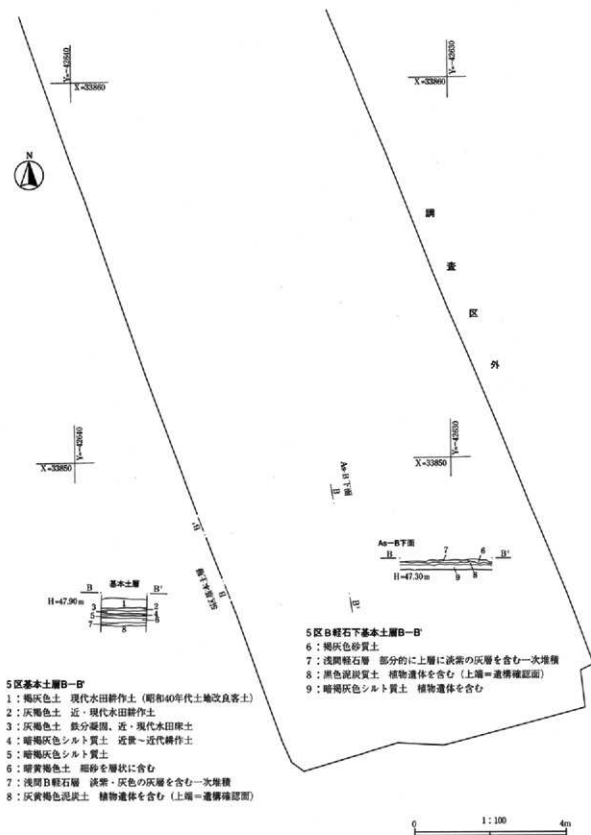
割図18



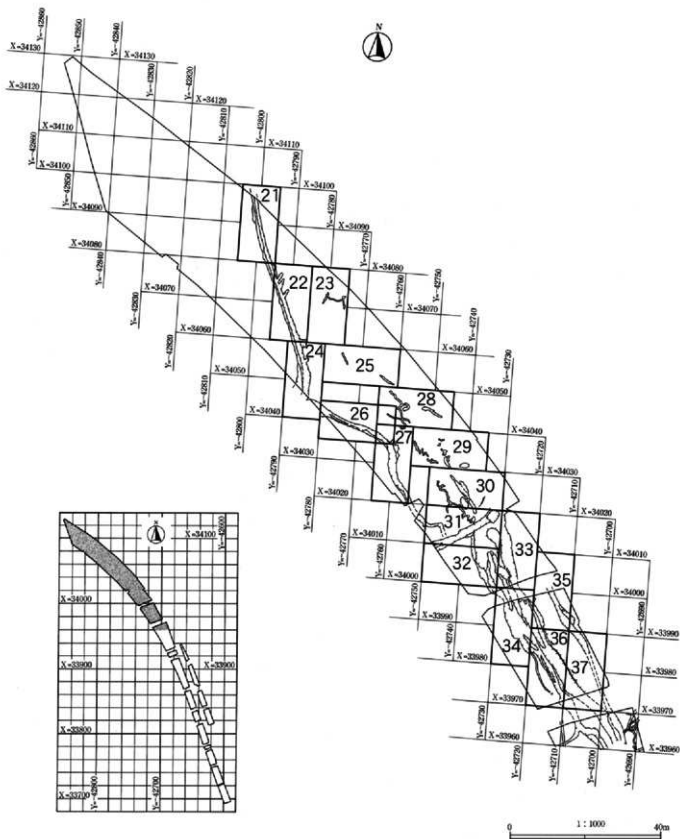
割図19



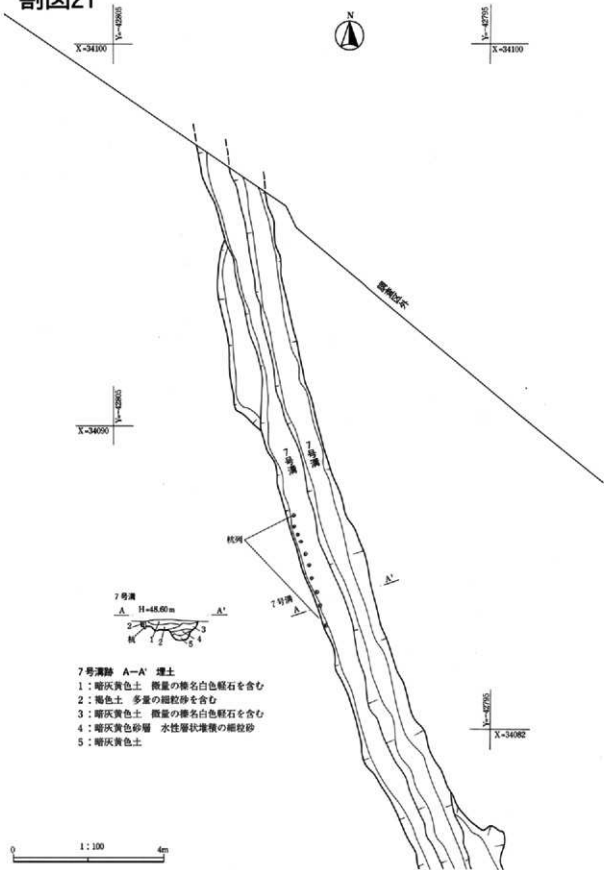
割図20



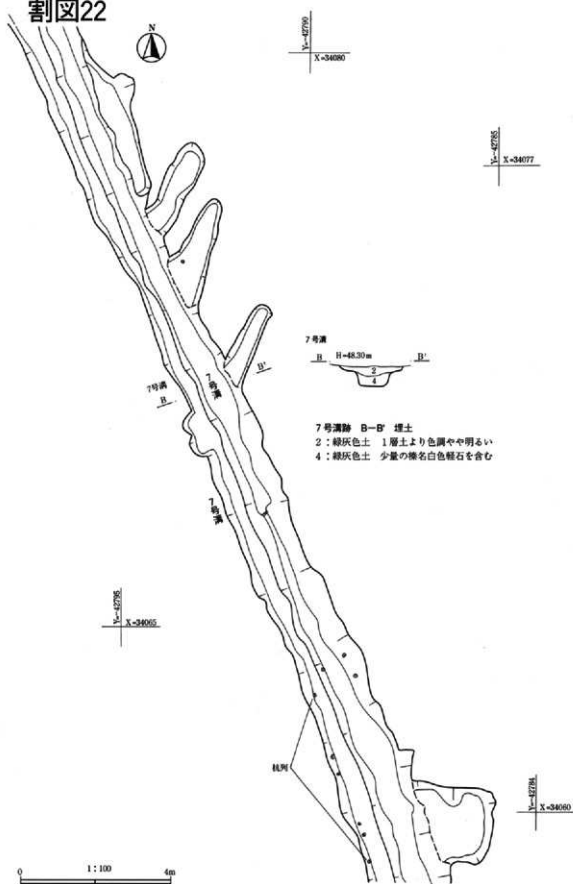
6区溝跡全体図 (割図索引)



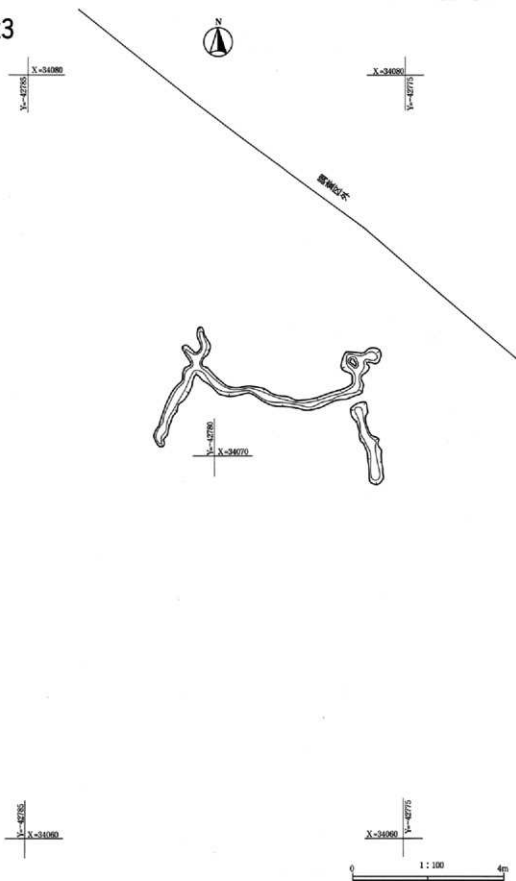
割図21



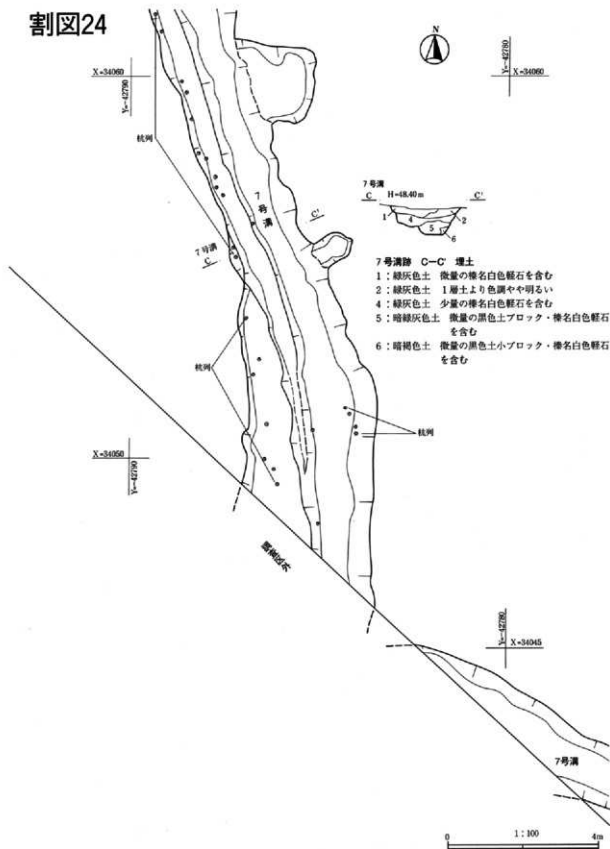
割図22



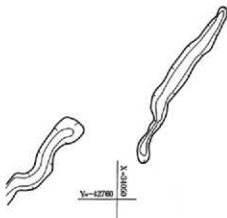
割図23



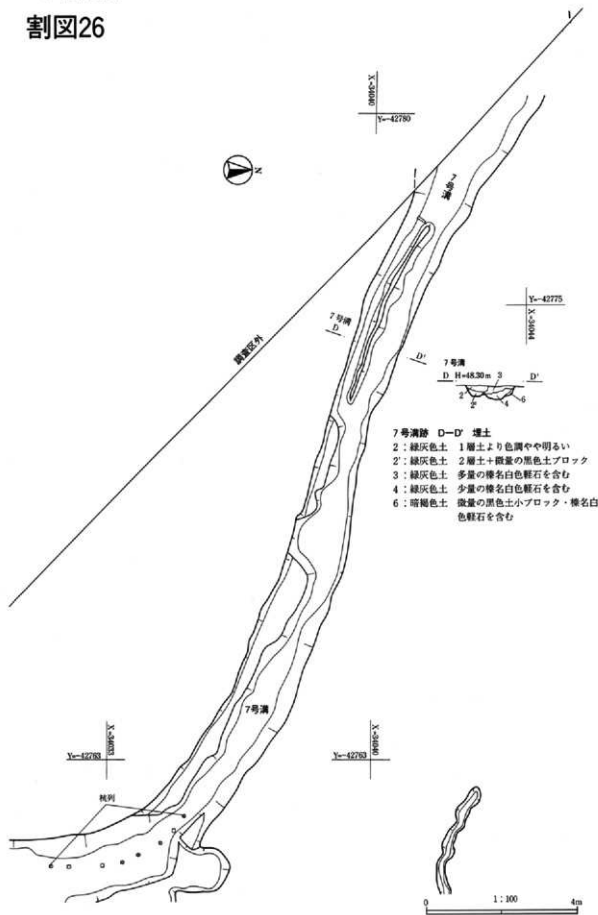
割図24



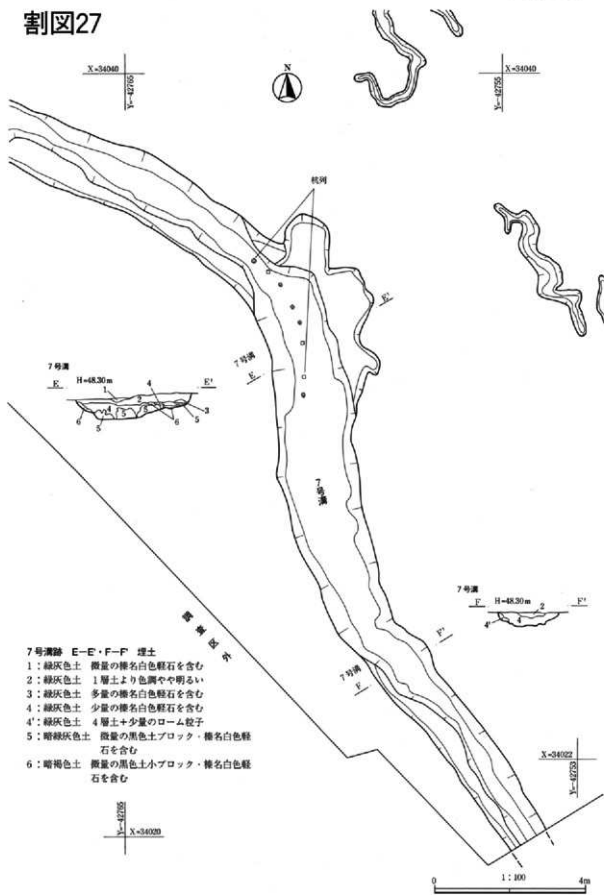
割図25



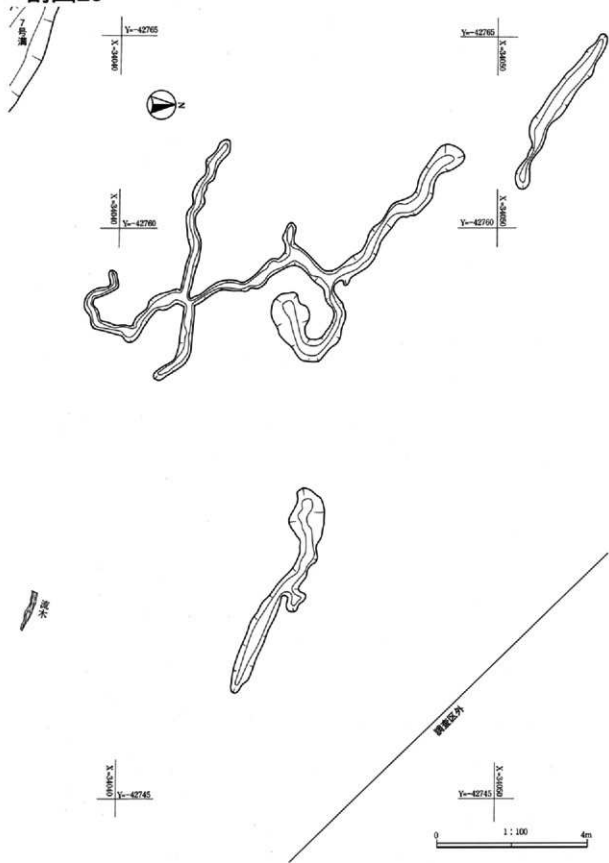
割図26



割図27

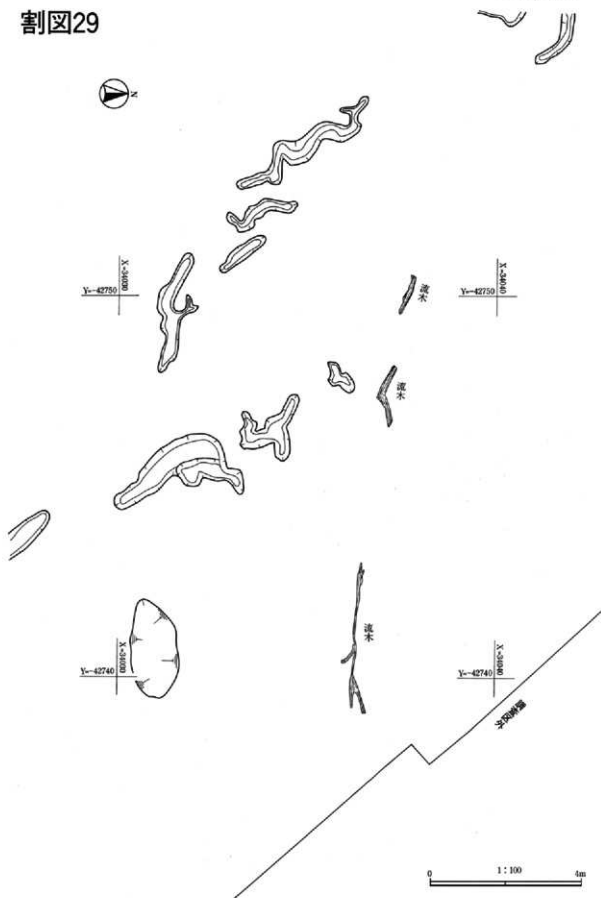


割図28

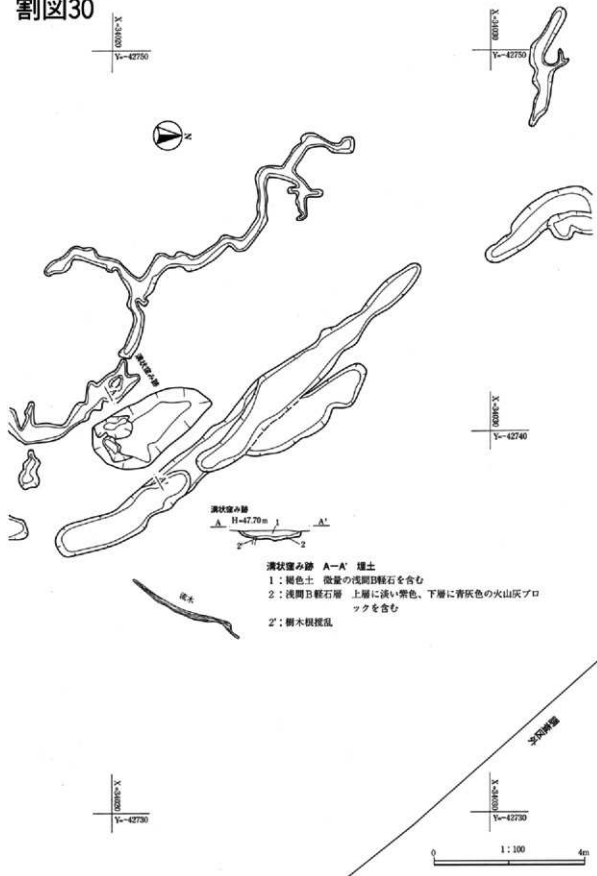


割図29

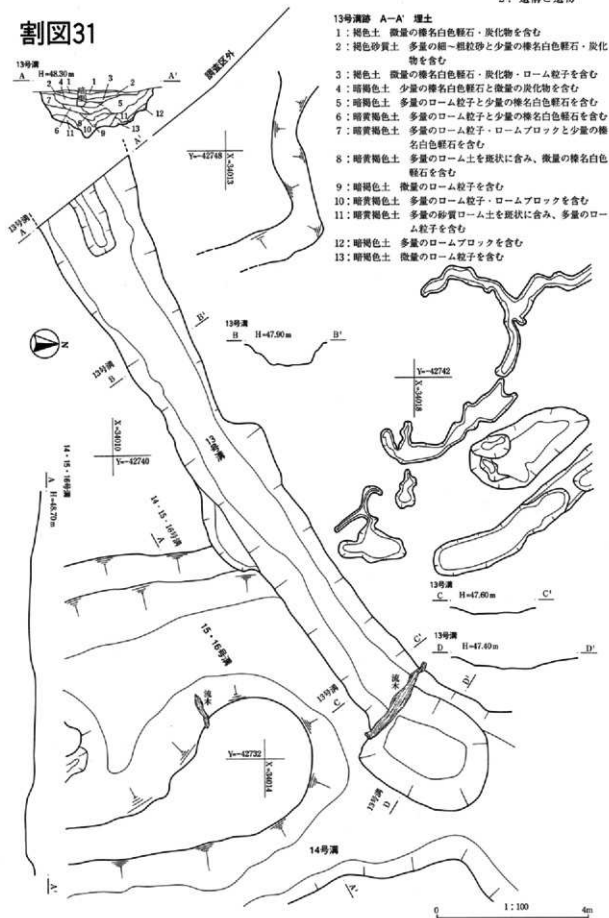
2. 遺構と遺物



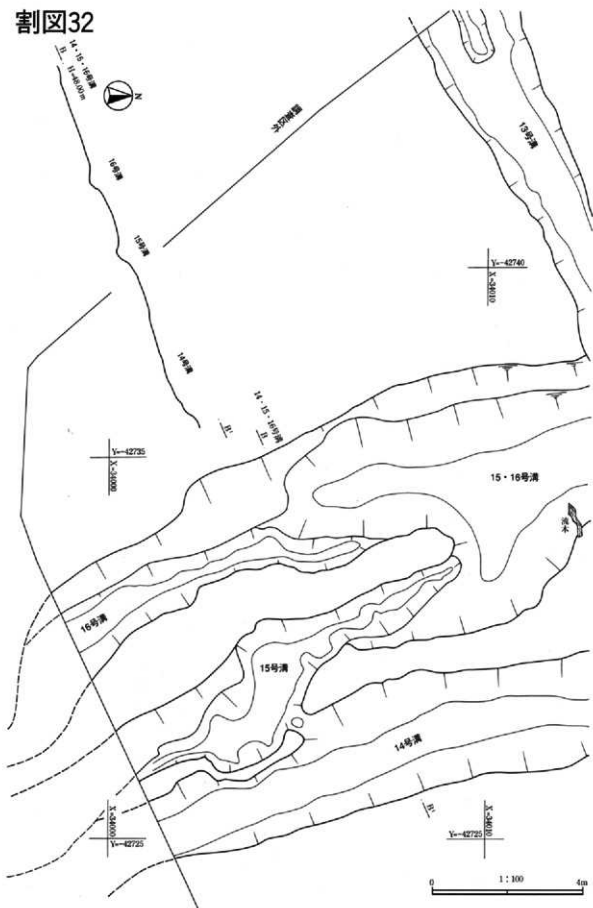
割図30



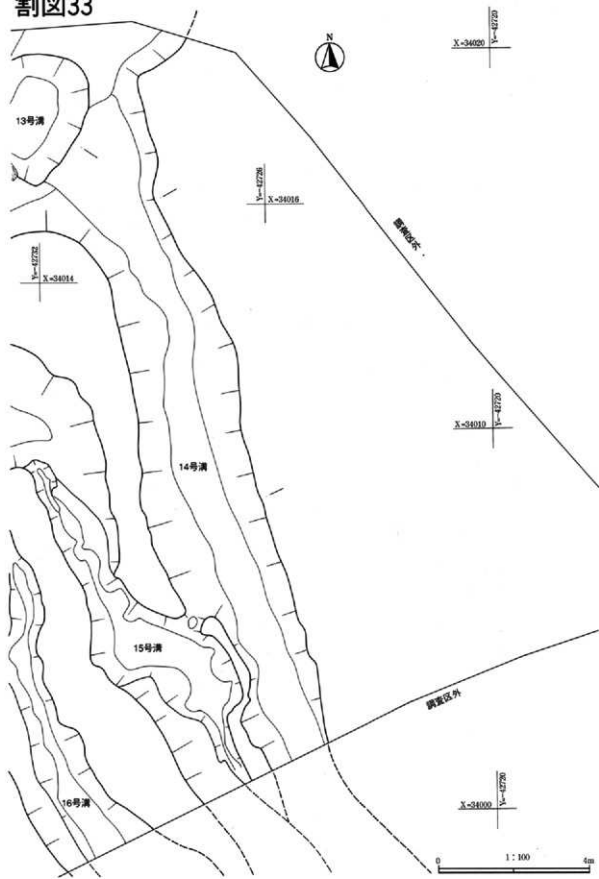
割図31



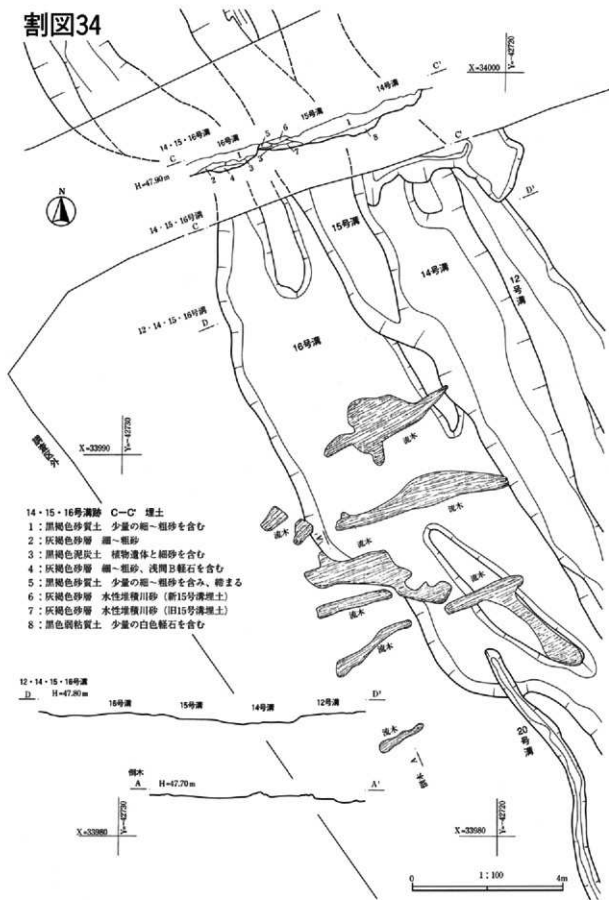
割図32



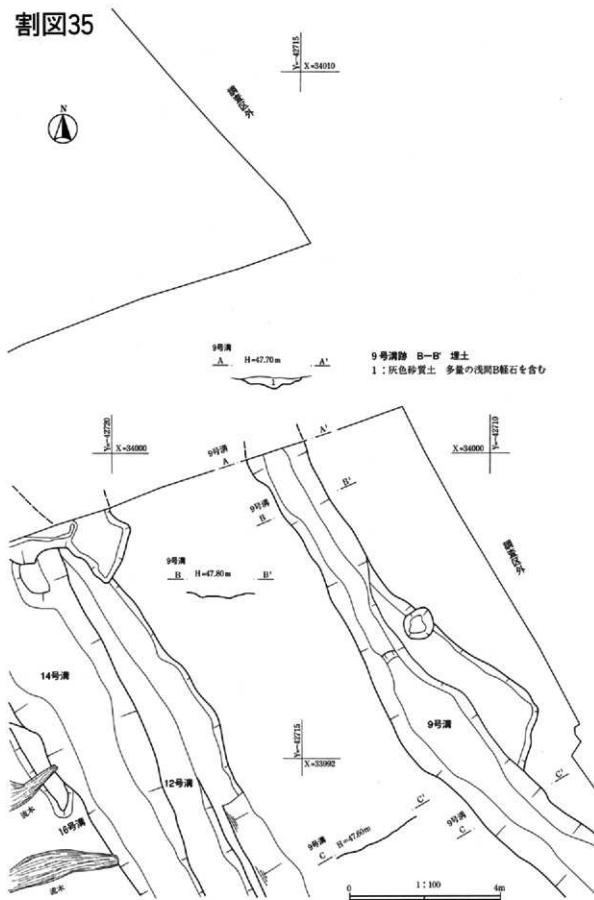
割図33



割図34

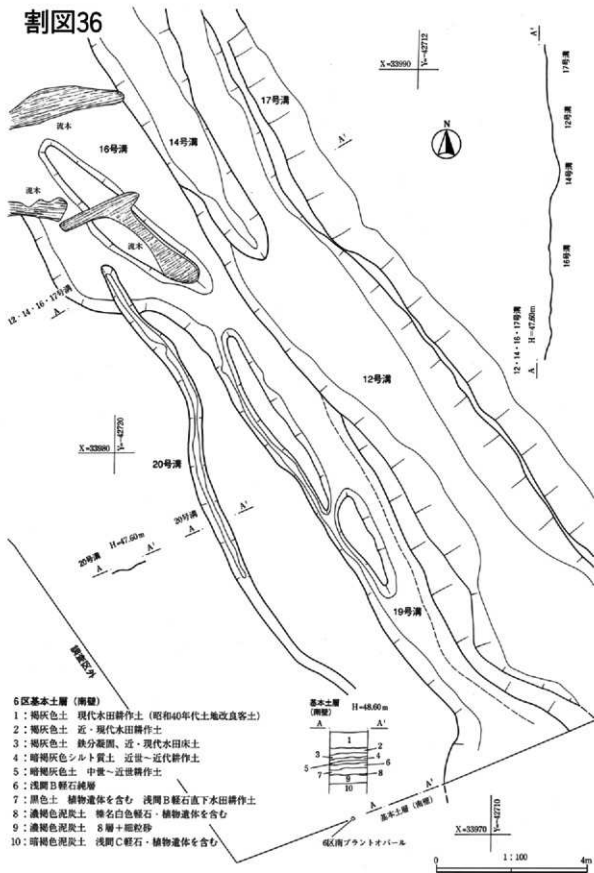


割図35

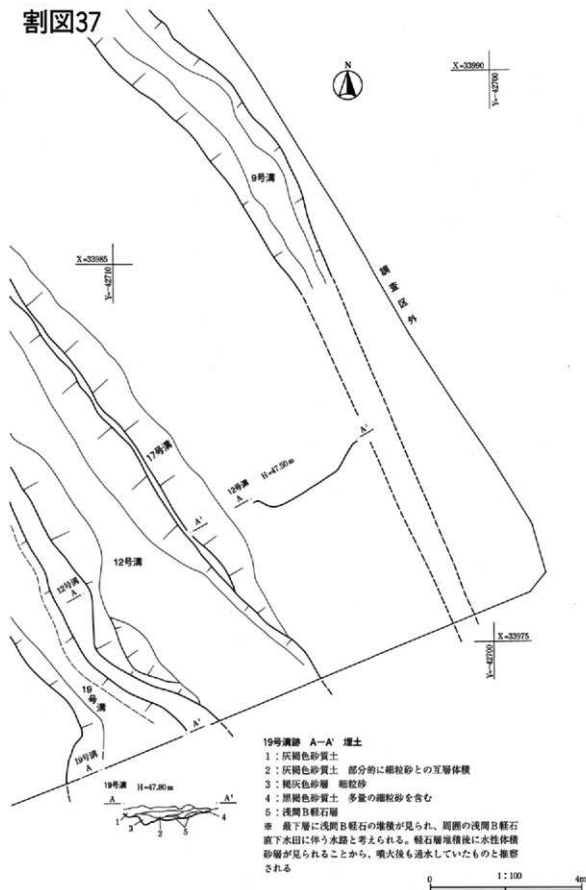


IV 遺構と遺物

割図36



割図37



7区の溝跡

35号溝跡 (遺構図240頁 写真図版P.L.35)

方位：N-87° -E

規模・形状等：7区中央部付近南寄りに位置し、36号溝跡と交差する。溝幅は31~72cm、残存深度7~18cmを測る。

出土遺物：なし。

重複遺構：36号溝跡と交差して重複するが、新旧関係は不明。また、35・37号住居跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況から、本溝跡の方が新しいものと判断される。

36号溝跡 (遺構図240頁 写真図版-)

方位：N-20° -W

規模・形状等：7区中央部付近南寄りに位置し、35号溝跡と交差する。溝幅は52~80cm、残存深度15~18cmを測る。

出土遺物：なし。

重複遺構：35・40号溝跡と交差して重複するが、新旧関係は不明。また、33・34号、53・54号住居跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況から、いずれも本溝跡の方が新しいものと判断される。

37号溝跡 (遺構図240頁 写真図版-)

方位：N-38° -W

規模・形状等：7区中央部付近に位置し、後世の攪拌を受け、途中は断絶するものの、位置関係から36号溝跡の延長の可能性が高い。

出土遺物：なし。

重複遺構：48・55号住居跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況から、いずれも本溝跡の方が新しいものと判断される。

38号溝跡 (遺構図240頁 写真図版P.L.46)

方位：N-77° -E

規模・形状等：7区中央部北西寄りに位置し、東西方向に直線的に走行する。溝幅は48~65cm、残存深度6~12cmを測る。

出土遺物：なし。

重複遺構：60・64・65号住居跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況から、いずれも本溝跡の方が新しいものと判断される。

39号溝跡 (遺構図240頁 写真図版-)

方位：N-19° -W

規模・形状等：7区西寄りに位置し、溝幅は33~51cm、残存深度6~19cmを測る。

出土遺物：なし。

重複遺構：大溝跡と交差し重複する。新旧関係は遺構平面確認時の状況より、本溝跡の方が新しいものと判断される。

40号溝跡 (遺構図235頁 写真図版P.L71)

方位：N-77°-E

規模・形状等：幅1.1~1.8m、残存深度10~40cmほどを測り、東西方向に直線的に走行し、42号溝に接続する。埋土内に礫名白色軽石を含み、底面付近に水性堆積砂がみられることから、古墳時代の水路跡と推察される。

出土遺物：埋土内より土師器坏片・高坏片・甕片、須恵器坏片が出土する。

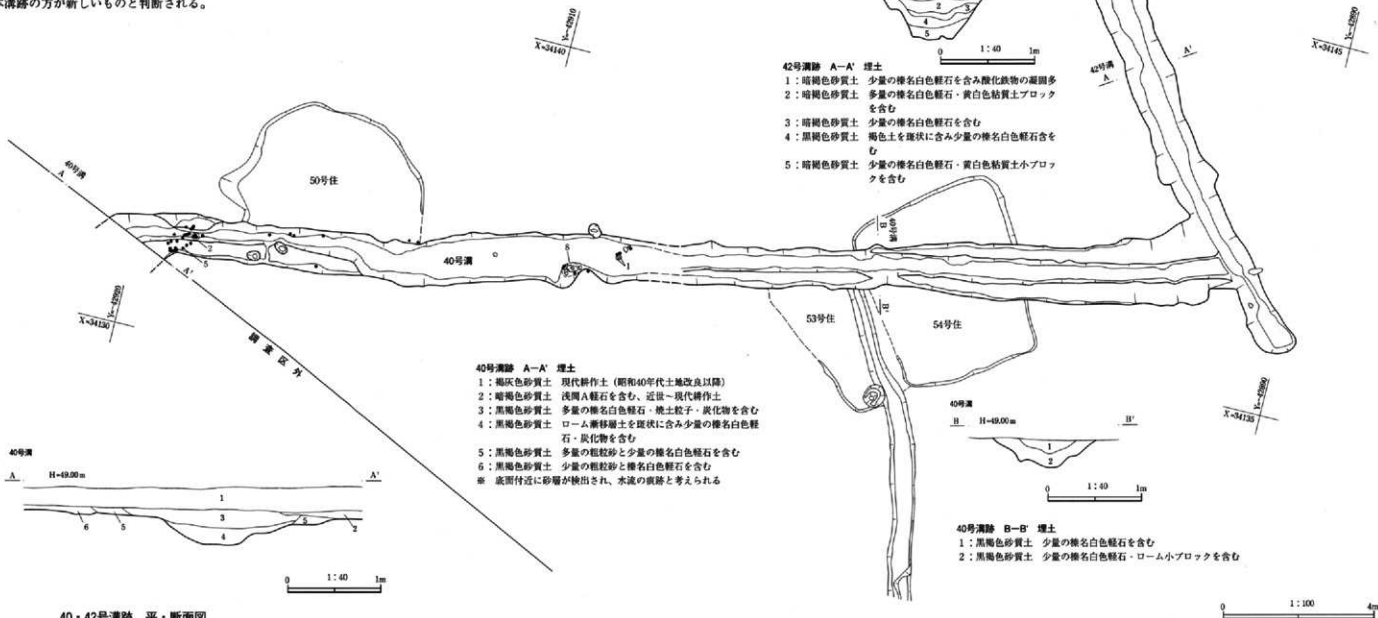
重複遺構：50・53・54号住居跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況より、いずれの住居跡より本溝跡の方が新しいものと判断される。

42号溝跡 (遺構図236頁 写真図版P.L71)

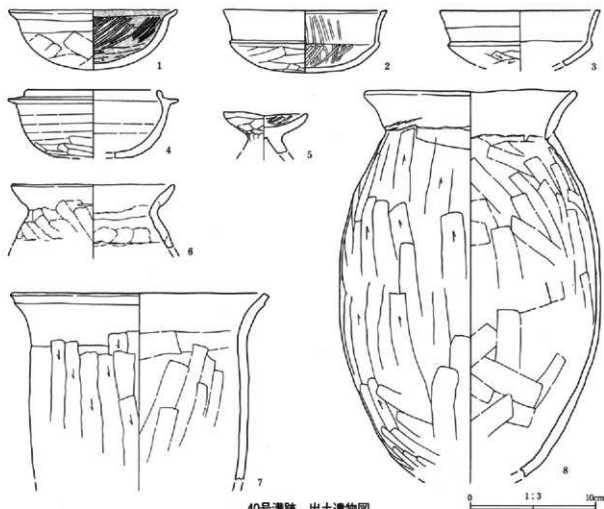
方位：N-38°-W

規模・形状等：幅0.9~1.3m、残存深度53cmほどを測り、41号溝とT字状に交わり、直線的に走行する。出土遺物：埋土内より、土師器坏片、須恵器高坏片・横瓶片が出土する。

重複遺構：浅間B軽石埋没水田の縁辺部に位置し、水田下より検出されたため、本溝跡の方が古いものと判断される。



40・42号溝跡 平・断面図

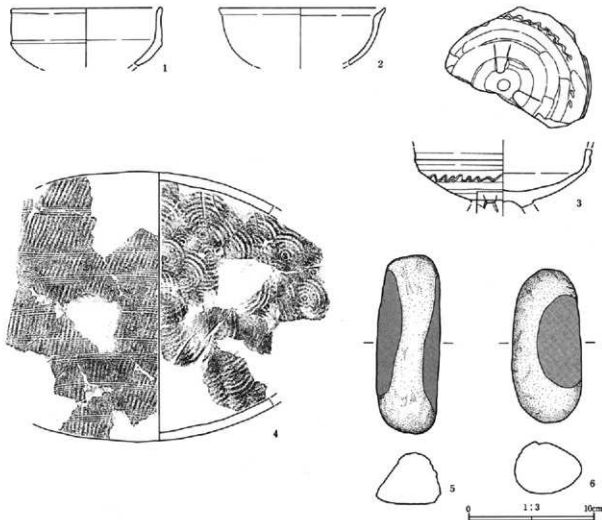


40号溝跡 出土遺物図

7区 40号溝跡 遺物観察表

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
40号溝 1	土師器 杯	底直上 2/3	口径 (13.2) 底径 - 高さ 4.7	①微・細・粗砂少 ②酸化縮、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部=底部丁寧ナデ。 内面=口縁部横ナデ、体部=底部ナデの後にヘラ磨き。内面=黒色炭灰処理。	内風土器
40号溝 2	土師器 杯	底+12cm 1/6	口径 (13.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化縮、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部=底部削り。内面=口縁部横ナデ、体=底部ナデの後にヘラ磨き。	
40号溝 3	土師器 杯	埋土中 1/6	口径 (12.6) 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化縮、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部=底部削り。内面=口縁部横ナデ、体=底部ナデ。	
40号溝 4	須恵器 杯	埋土中 1/4	口径 (10.4) 底径 - 高さ (5.4)	①微・細砂少 ②還元縮、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。外面=底部静止ヘラ削り。	
40号溝 5	土師器 小型高杯	底+6cm 杯部片	口径 6.6 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化縮、良好 ③にぶい褐色	器形やや歪む。杯部外面=ナデ。内面=ナデの後に粗いヘラ磨き。	
40号溝 6	土師器 小型壺	埋土中 口=銅片	口径 (13.0) 底径 - 高さ -	①微・粗・粗砂少 ②酸化縮、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、肩部指面痕が残る指ナデ。 内面=口縁部横ナデ、腹部指面痕が残る指ナデ。	
40号溝 7	土師器 壺	埋土中 口=銅片	口径 20.4 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化縮、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上から下への縦方向のヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、胴部指ナデ。	
40号溝 8	土師器 壺	底+20cm 1/3	口径 16.8 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂やや多 ②酸化縮、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向の丁寧なヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部指ナデ。	

IV 遺構と遺物



42号溝跡 出土遺物図

7区 42号溝跡 遺物観察表

遺構名 遺物番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
42号溝 1	土師器 坏	埋土中 1/3	口径 (12.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。内面=口縁部~体部上位横ナデ、底部ナデ。	
42号溝 2	土師器 坏	埋土中 口~体片	口径 (13.0) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部へう削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
42号溝 3	須恵器 高坏	埋土中 坏部1/3	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元塩、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。坏部外面=体部脚書き波状紋。脚部透かし三箇所。	
42号溝 4	須恵器 楕瓶	埋土中 体部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元塩、良好 ③灰色	外面=平行叩きの後に横方向の5~9枚の髷書き平行沈線を間隔を設け施文。内面=青海泡当て具痕。	
42号溝 5	こも礫石	埋土中 完形	長さ 14.0 巾 4.9 厚さ 4.0	石材 ホルンフェルス 重量 440g	自然精円礫の二側面に摩滅痕。	
42号溝 6	こも礫石	埋土中 完形	長さ 12.0 巾 5.5 厚さ 4.1	石材 粗粒輝石安山岩 重量 365g	自然精円礫の一側面に浅いすり鉢状摩滅痕。	

2. 遺構と遺物

41号溝跡 (遺構図239頁 写真図版P.L71)

方位：N-29°-W

規模・形状等：幅50cm程、残存深度10cm前後を測り、平面形状は蛇行せず緩やかに弧を描く。

出土遺物：なし。

重複遺構：42号住居跡、3・4号竪穴状遺構と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況より、本溝跡の方が新しいものと判断される。



41号溝跡 平・断面図

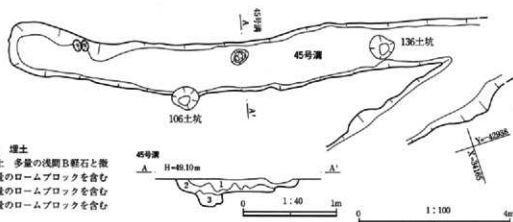
45号溝跡 (遺構図239頁 写真図版P.L72)

方位：N-17°-E

規模・形状等：幅1.2~1.5m、残存深度18~20cm程を測り、南北方向に直線的に走行する。埋土最上位層に多量の浅間B軽石を含むことから、同テフラ埋没の水田跡に伴う溝跡の可能性が高い。

出土遺物：なし。

重複遺構：109・106・136号土坑跡と重複し、109号土坑跡より新しく、106号土坑より古いものの、136号土坑跡との新旧関係は明らかではない。

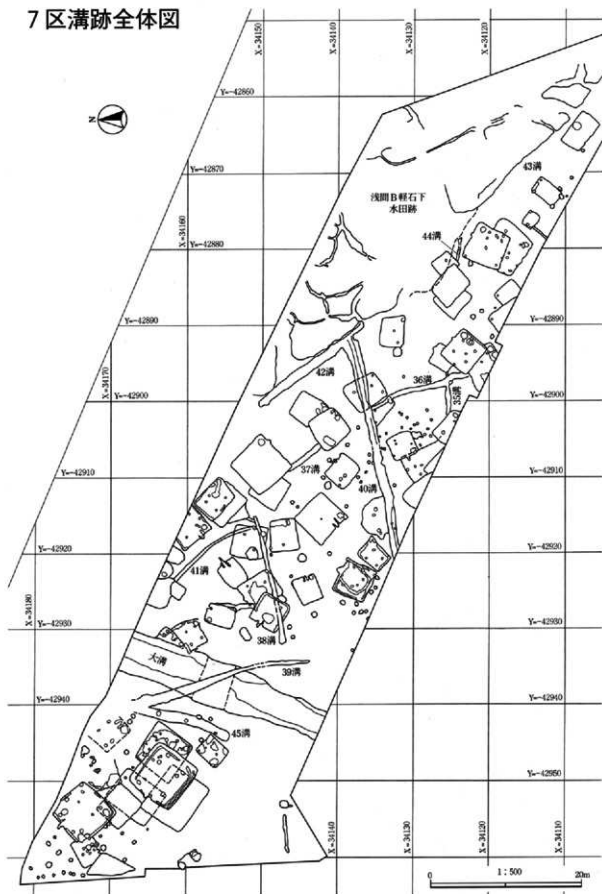


45号溝跡 平・断面図

45号溝跡 A-A' 埋土

- 1：暗褐色砂質土 多量の浅間B軽石と微量のロームブロックを含む
- 2：褐色土 少量のロームブロックを含む
- 3：黒色土 微量のロームブロックを含む

7区溝跡全体図



43号溝跡 (遺構図241頁 写真図版P.L71)

方位：N-55° -W

規模・形状等：遺構確認面において多量の須恵器大甕片の帯状の散乱により溝跡遺構が想定され、トレンチ調査を試みるものの、明確な遺構は検出し得なかった。

出土遺物：土師器坏・甕片、須恵器大甕片・横瓶片、滑石製白玉を出土する。

重複遺構：44号溝跡と重複するが、新旧関係は明らかではない。

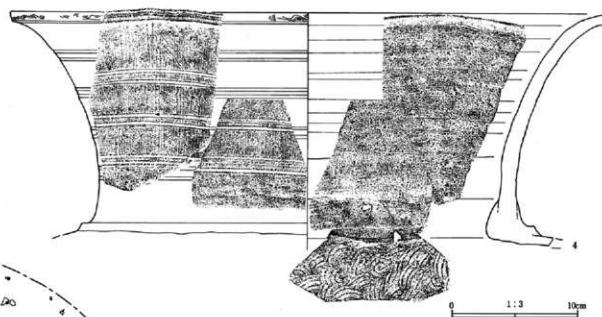
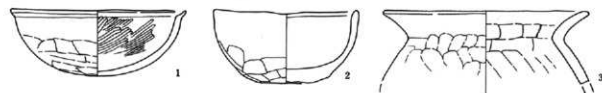
44号溝跡 (遺構図241頁 写真図版P.L72)

方位：N-80° -W

規模・形状等：幅25~30cm、残存深度20cm程を測る。

出土遺物：一部に自然礫の集中出土が見られるものの、埋土内であり、特筆すべき遺物の出土はない。

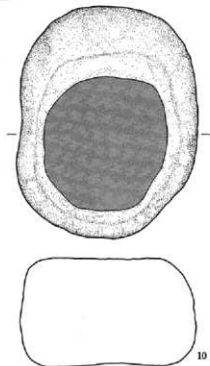
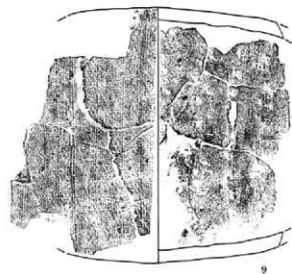
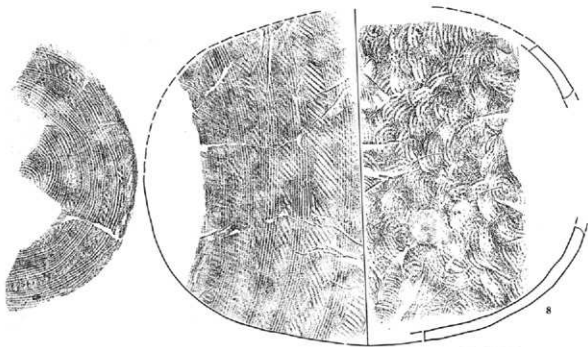
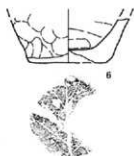
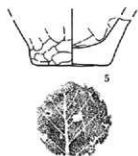
重複遺構：51号住居跡と重複するが、新旧関係は明らかではない。



43号溝跡 出土遺物図-1



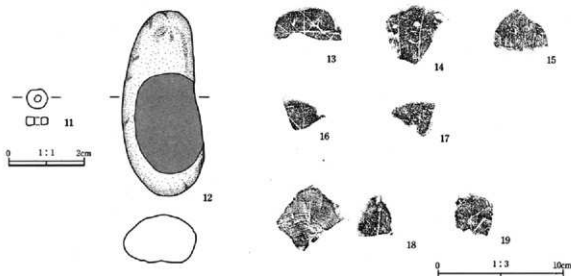
43・44号溝跡 平・断面図



0 1:3 10cm

43号溝跡 出土遺物図一2

IV 遺構と遺物



43号溝跡 出土遺物図-3

7区 43号溝出土 遺物観察表

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
43号溝 1	土師器 坏	底+13cm 1/3	口径 (13.8) 底径 - 高さ 5.2	①織・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ。体部~底部削り後ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
43号溝 2	土師器 坏	底+9cm 2/3	口径 (11.2) 底径 4.2 高さ 5.8	①織・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部~体部上位ナデ。体部下位~底部ヘラ削り。内面=ナデ。内外器面定れる。	
43号溝 3	土師器 壺	底+10cm 口~胴片	口径 (16.0) 底径 - 高さ -	①織・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部横ナデ。肩部指頭痕が残る指ナデ。内面=口縁部横ナデ。頸部ナデ。	
43号溝 4	須恵器 大壺	底+12cm 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①織・細砂やや多 ②還元塩、良好 ③暗灰色	外面=口唇部脚書波状紋、頸部縦方向の脚書紋に横二条単位の平行沈線×四段を施文。内面=横方向のナデ。(同一個体図上復元)	
43号溝 5	土師器 壺	下層 底部片	口径 - 底径 (6.2) 高さ -	①織・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=胴部下端粗雑な指ナデ。底部木葉痕跡(自然木)。内面=底部丁寧な指ナデ。	底部木葉痕
43号溝 6	土師器 壺	下層 底部片	口径 - 底径 6.2 高さ -	①織・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=胴部下端指ナデ。底部木葉痕跡(自然木)。内面=底部丁寧な指ナデ。	底部木葉痕
43号溝 7	土師器 壺	下層 底部片	口径 - 底径 (6.1) 高さ -	①織・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=胴部下端粗雑な指ナデ。底部木葉痕跡(自然木)。内面=底部ヘラナデ。	底部木葉痕
43号溝 8	須恵器 横瓶	底+10cm 2/3	口径 - 底径 - 高さ -	①織・細砂少 ②還元塩、良好 ③暗灰色	外面=斜めの平行叩きの後に間隙を開けて8~10位の脚書き沈線を施文。内面=青海波当て具痕。	
43号溝 9	須恵器 横瓶	下層 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①織・細砂少 ②還元塩、良好 ③暗灰色	外面=縦方向の連続脚書き沈線と一部脚書き波状紋を施文。	
43号溝 10	磨り石	底+13cm 宛形	長さ 18.2 巾 14.2 厚さ 8.5	石材 石英斑岩 重量 3,790g	自然石上面の中央部に研磨痕。	
43号溝 11	滑石製 白玉	埋土中 鳩宛形	長さ 0.55 巾 0.50 厚さ 0.20	石材 滑石 重量 0.101g	孔径1.6mm	祭祀関連
43号溝 12	こも礫石	底+13cm 宛形	長さ 14.5 巾 6.0 厚さ 3.8	石材 溶結凝灰岩 重量 520g	中央部がすり鉢状に浅く磨減。	

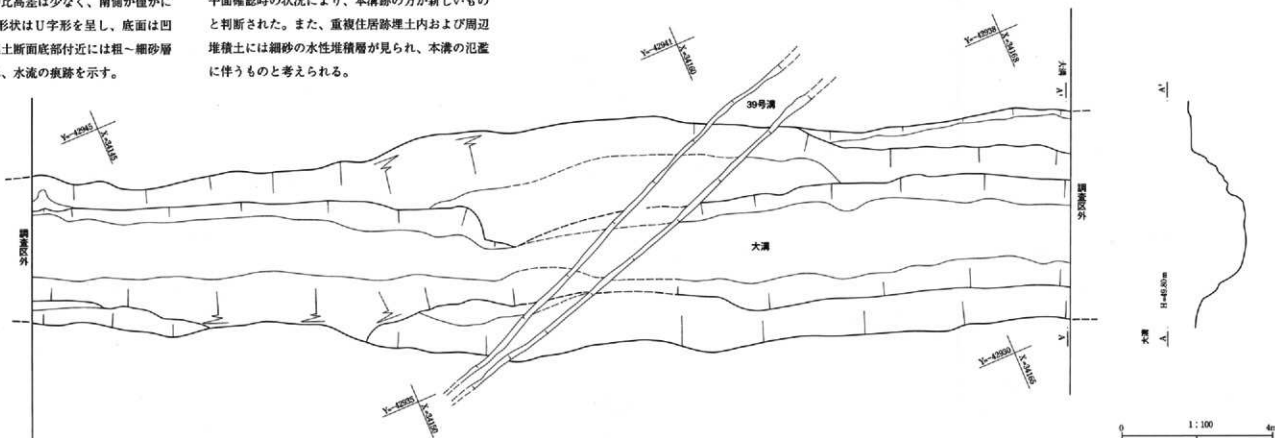
大溝跡 (写真図版P.L72)

方位：N-23°-E

規模・形状等：7区調査区内を南北に横断する。上幅で4.0-6.0m、下幅で0.7-2.0m、深度1.3-1.6mを測る。調査区内での延長は27.5mを測り、北端部底面と南端部底面の比高差は少なく、南側が僅かに7cm程低い。断面形状はU字形を呈し、底面は凹凸無く傾斜する。埋土断面底部付近には粗～細砂層の水性堆積が見られ、水流の痕跡を示す。

出土遺物：埋土中より少量の土師器片が出土するものの、特筆すべき遺物の出土は見られない。

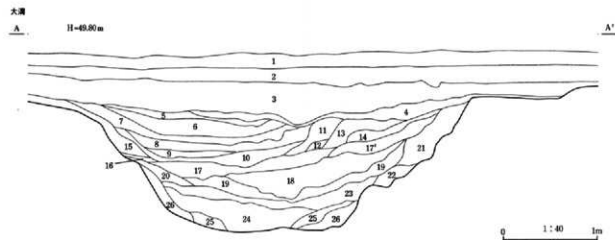
重複遺構：中央部で39号溝跡と交差し重複する。遺構平面確認時の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。北側で68・69号住居跡と重複し、遺構平面確認時の状況により、本溝跡の方が新しいものと判断された。また、重複住居跡埋土上および周辺堆積土には細砂の水性堆積層が見られ、本溝の氾濫に伴うものと考えられる。



7区大溝跡 埋土

- 1：灰褐色砂質土 埋跡作土（昭和40年代土地改良以降）
- 2：暗褐色砂質土 多量の黒丸軽石を含む、近世～現代耕作土
- 3：暗褐色砂質土 多量の浅間丸軽石と微量の黒名白色軽石・ローム層状土を含む、近世～近代耕作土
- 4：暗褐色砂質土 多量の褐色水性堆積極細砂を含む
- 5：暗褐色砂質土 少量の褐色水性堆積極細砂を含む
- 6：暗褐色土 多量のローム小ブロック・堆土粒子・炭化物を含む（住居跡削平土）
- 7：暗褐色土 6層土に類似、少量の淡黄色極細砂・浅間白色小粒軽石を含む
- 8：暗褐色土 多量の淡黄色極細砂質シルトブロックと少量の浅間白色小粒軽石を含む
- 9：黒褐色土 少量の極細砂と微量の浅間白色小粒軽石・黒名白色軽石を含む
- 10：黒褐色土 9層に類似、極細砂を含まない
- 11：暗褐色土 少量の黒名白色軽石・粗粒砂を含む
- 12：暗褐色土 少量の粗粒砂と少量の黒名白色軽石を含む
- 13：暗褐色土 少量の黒名白色軽石・極小円礫（径5mm大程度）を含む

- 14：暗褐色土 少量の黒名白色軽石と黒褐色土・ローム土を塊状に含む
- 15：暗褐色土 少量の黒名白色軽石・ローム小ブロックを含む
- 16：黒褐色土 少量の黒名白色軽石・ローム小ブロックを含む
- 17：暗褐色土 多量の極細砂～粗粒砂をラミナ状に含む水性堆積土
- 17：暗褐色土 17層土+14層土の混土
- 18：灰色砂 細粒から粗粒砂をラミナ状に含む水性堆積層
- 19：暗褐色土 少量の粗粒砂を含む
- 20：暗褐色土 少量の極細砂・黄色砂質シルトブロックを含む
- 21：暗褐色土 少量の浅間白色小粒軽石・粗粒砂を含む
- 22：黒褐色土 少量の黄色砂質シルトブロック・炭化物を含む
- 23：暗褐色土 少量の極細砂層 水性堆積土
- 24：細粒～粗粒砂層 水性堆積土
- 25：青白色砂質シルト土 細粒～粗粒砂をブロック状に含む 水性堆積土
- 26：青白色砂質シルト層土



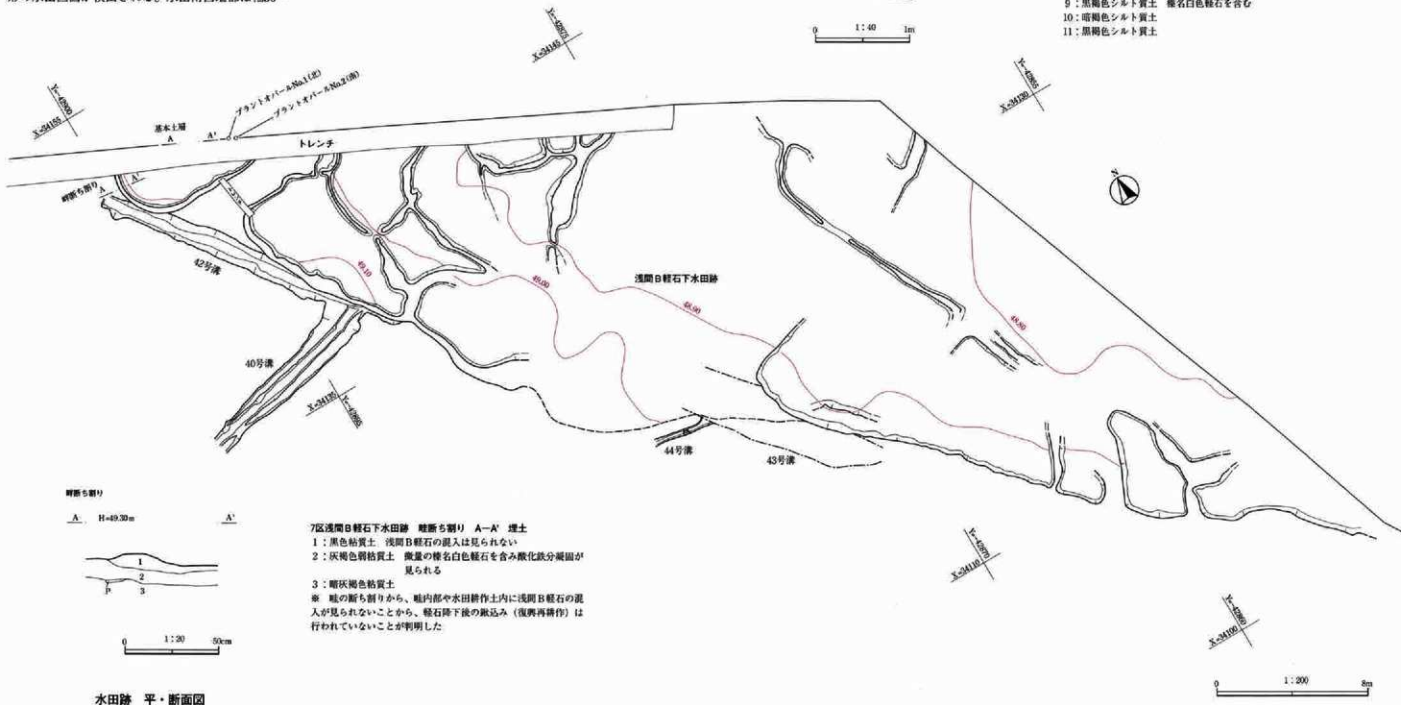
大溝跡 平・断面図

浅間B軽石下水田跡 (写真図版PL72)

7区を北西から南東へと延びる舌状のローム台地端に沿って、6区北東へと緩やかに傾斜する位置に浅間B軽石の3~7cmを測る堆積が確認された。軽石を除去した直下からは部分的ではあるが畦跡が検出され、軽石降下前の水田跡と判明した。畦畔は北西部側の方が遺存状態が良く、地形に沿った不定形の水田区画が検出される。水田南西端部は幅30~

50cmほど地面が硬化しており、通路として利用されたものと推察される。

また、水田南西端に重複し検出された42号溝跡及びこれに接続する40号溝跡は水田への給水施設であった可能性はあるが、溝跡埋土内には浅間B軽石の堆積は見られず、本浅間B軽石直下水田跡に伴うものではなく、前代の水田跡に関連するものと考えられる。



水田跡 平・断面図

8区の溝跡

50号溝跡 (遺構図253頁-割図46 写真図版P L73)

方位: N-13° -W

規模・形状等: 8区東側中央部に所在し、南北方向に走行する。遺構確認面では上幅44~70cm、残存深度4~8cmを測り、断面形状は皿状を呈する。南側は上面の削平により欠失。

出土遺物: なし。埋土中にも火山噴出物を含まず、時期は不明である。重複遺構: なし。

51号溝跡 (遺構図260頁-割図44 写真図版P L73)

方位: N-23° -W

規模・形状等: 8区東側中央部に所在し、南北方向に走行する。遺構確認面では上幅88~140cm、残存深度6~10cmを測り、断面形状は皿状を呈する。南側は上面の削平により欠失。

出土遺物: なし。埋土中にも火山噴出物を含まず、時期は不明である。重複遺構: 52号溝跡と重複するが、新旧関係は不明。

52号溝跡 (遺構図260頁-割図44 写真図版P L73)

方位: N-15° -W

規模・形状等: 8区東側中央部に所在し、南北方向に走行する。遺構確認面では上幅30~118cm、残存深度12~19cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。南側は上面の削平により欠失。

出土遺物: なし。埋土中にも火山噴出物を含まず、時期は不明である。重複遺構: 51号溝跡と重複するが、新旧関係は不明。

53号溝跡 (遺構図260頁-割図44 写真図版P L74)

方位: N-14° -W

規模・形状等: 8区中央部やや東側に位置し、遺構確認面では上幅200~322cm、残存深度35~62cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。南北方向に走行し、蛇行は少ない。

出土遺物: 底面最下(6層)砂層内から土師器坏完形(No.10、274頁参照)が出土していることから古墳時代後期以前の用水路跡と考えられ、埋土が川砂主体であることから、取水元河川の氾濫により流入した土砂で埋没し、埋没後は粘質土の堆積から見て流水のないヘドロ状態であったことが推察される。

重複遺構: 65号溝跡と交差するように重複し、新旧関係は遺構確認時の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。また、54号溝跡と重複し、埋土断面の状況から本溝は2次期(氾濫埋没前後)あり、その中間に54号溝跡が造られたものと判断される。

54号溝跡 (遺構図262頁-割図45 写真図版P L74)

方位: N-0° -E

規模・形状等: 8区中央部やや東寄りに位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅52~90cm、残存深度7~29cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。埋土中に水性堆積の細砂層を含むことから、水路としての用途が推察される。

出土遺物: なし。重複遺構: 53・55号溝跡と重複し、その新旧関係は埋土の堆積状況より本溝は、旧53号溝跡より新しく、新53号溝跡より古いものと、また、55号溝跡より新しいものと判断される。

55号溝跡 (遺構図262頁-割図45 写真図版P L74)

方位: N-9° -W

規模・形状等: 8区中央部やや東寄りに位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅40~58cm、残存深度8~17cmを測り、断面形状は箱状を呈する。南北方向に走行し、やや蛇行する。

出土遺物: なし。重複遺構: 54号溝跡と重複し、新旧関係は埋土の堆積状況より、本溝の方が古いものと判断される。

57号溝跡 (遺構図267頁-割図49 写真図版P L75)

方位: N-57° -W

規模・形状等: 8区南拡張区に所在し、東西方向に走行すると思われる。遺構確認面では上幅60~

IV 遺構と遺物

100cm、残存深度17~29cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。埋土中に水性堆積細砂層が認められ、水路としての用途が考えられる。

出土遺物:なし。埋土中にも火山噴出物を含まず、時期は不明である。**重複遺構:**59号溝跡と重複するが、新旧関係は明らかではない。

58号溝跡 (遺構図267頁一割図49 写真図版P.L75)

方位: N-75° -E

規模・形状等: 8区南拡張区に所在し、東西方向に走行すると思われる。遺構確認面では上幅85~100cm、残存深度7~30cmを測り、断面形状は箱状を呈する。埋土中に水性堆積細砂層が認められ、水路としての用途が考えられる。

出土遺物:埋土中より蟹の完形一点(No.1)が出土する。**重複遺構:**59号溝跡と重複するが、新旧関係は不明。

59号溝跡 (遺構図268頁一割図50 写真図版一)

方位: N-10° -W

規模・形状等: 8区拡張調査区端部に並行し検出されたため、溝の全幅は不明。残存深度55~61cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。南北方向に走行し、蛇行は少ない。埋土内に多量の細~粗粒砂と小円礫を含むことから、取水元河川の氾濫による土砂の流入により埋没したものと考えられる。

出土遺物:埋土内より軟質陶器内耳鍋 (No.1・2・3・4、276頁参照)の他、陶磁器類を多く出土することから、近世~近代の溝跡と考えられる。**重複遺構:**60号溝跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時の状況より、本溝跡の方が新しいものと判断される。

60号溝跡 (遺構図267頁一割図49 写真図版P.L75)

方位: N-11° -W

規模・形状等:59号溝跡と並行・重複し検出されたため、59号溝跡により上面を削平される。残存深度36~50cmを測り、南北方向に走行、蛇行は少ない。断面形状は箱状を呈す。底面の形状に特色があり、中世城郭の障子堀に似た敷居状の高まりを数カ所設

ける。底面の傾斜が少なく階段状を呈するため、通水量の調整と治水(温め)の目的と推察される。

出土遺物:埋土内より土師器坏片や須恵器大甕片が出土する。**重複遺構:**59号溝跡と重複し、新旧関係は遺構平面確認時および埋土断面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

61号溝跡 (遺構図263頁一割図46 写真図版P.L75)

方位: N-13° -W-N-68° -E

規模・形状等: 8区西端部に位置し、遺構確認面では上幅190~270cm、残存深度36~51cmを測り、断面形状は皿状を呈する。南より北方向に走行し65号溝跡に接したところで東方向へ直角に曲がり、65号溝跡と並行する。走行は蛇行せず直線的。後記のとおり埋土断面や出土遺物から、中世期に掘削され、通水の痕跡が確認される。埋没の途上においても再掘削と通水の痕跡が確認され、近代に至るまで使用されたものと推察される。

出土遺物:底面付近より板碑片 (No.4)・軟質陶器坏 (No.1)・漆塗碗 (No.3)・磁石 (No.5・6)・渡来銭 (No.7) が出土する。(出土遺物は277頁参照。)

重複遺構:62・64号溝跡と重複し、新旧関係は埋土断面の状況より、本溝跡の方が新しいものと判断される。また、65号溝跡と重複し、埋土断面の状況を見ると、本溝跡埋没途上での再掘削時に65号溝跡埋没土を切り、新旧関係が生じるが、掘削当初の両溝底面から板碑片が出土していることから、中世造営時には同時存在の可能性が高い。

62号溝跡 (遺構図265頁一割図47 写真図版P.L75)

方位: N-17° -W

規模・形状等: 8区西端部に位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅110~186cm、残存深度19~40cmを測り、断面形状は皿状を呈するのみである。**出土遺物:**埋土中より僅かに土師器片が少量出土するのみである。**重複遺構:**61・63号溝跡と重複し、新旧関係は埋土の堆積状況より、61号溝跡より新しく、63号溝跡より古いものと判断される。

2. 遺構と遺物

63号溝跡 (遺構図265頁-割図47 写真図版P L 76)

方位：N-12° -W

規模・形状等：8区西端部に位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅40~114cm、残存深度24~58cmを測り、断面形状は割竹状を呈する。出土遺物：埋土中より僅かに須恵器片・土師器片が出土するのみである。重複遺構：62号溝跡と重複し、新旧関係は埋土の堆積状況より、本溝の方が新しいものと判断される。

64号溝跡 (遺構図263頁-割図46 写真図版P L 75)

方位：N-27° -W

規模・形状等：8区西端部に位置し、南北方向に走行する。遺構確認面では上幅100~280cm、残存深度19~49cmを測り、断面形状は割竹状を呈する。出土遺物：埋土中より僅かに須恵器大壺口縁部・土師器片が出土するのみである。重複遺構：61号溝跡と重複し、新旧関係は埋土断面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

65号溝跡 (遺構図256頁-割図40 写真図版P L 76)

方位：N-85° -E ~ N-11° -W

規模・形状等：8区中央部に位置し、遺構確認面では上幅215~380cm、残存深度48~72cmを測り、断面形状は皿状を呈する。北より南方向に走行し東方向へ直角に曲がり、61号溝跡と並行する。走行は蛇行せず直線的。埋土断面や出土遺物から、61号溝跡と共に中世期に掘削され、通水の痕跡が確認される。埋設の途上においても再掘削と通水の痕跡が確認され、近代に至るまで使用された用水路と推察されるが、規模や走行から館跡の堀跡をも想定される。出土遺物：埋土中より軟質陶器碗 (No.1)・坏 (No.2) が、底面付近より板碑片 (No.3・4・5) が出土する。

重複遺構：61号溝跡と重複し、埋土断面の状況を見ると、本溝跡埋設途上で61号溝跡に切られ、新旧関係が生じるが、掘削当初の両溝底面から板碑片が出土していることから、中世造営時には同時存在の可

能性が高い。また、53・54・55・65・73・74・77号溝跡と直交して重複し、遺構平面確認時の状況より、全ての溝跡より本溝跡の方が新しいものと判断される。

66号溝跡 (遺構図266頁-割図40 写真図版P L 76)

方位：N-5° -E

規模・形状等：8区中央西寄りに位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅90~136cm、残存深度25~33cmを測り、断面形状は箱状を呈する。出土遺物：なし。重複遺構：71・65号溝跡と重複し、埋土の堆積状況より、71号溝跡より新しく、65号溝跡より古いものと判断される。

67号溝跡 (遺構図254頁-割図38 写真図版P L 76)

方位：N-29° -W

規模・形状等：8区西端部に位置し、南北方向にやや蛇行し走行する。遺構確認面では上幅70~105cm、残存深度6~13cmを測り、断面形状は皿状を呈する。出土遺物：埋土中より僅かに土師器片が少量出土するのみである。重複遺構：68号溝跡と重複し、同時期の流路分岐と考えられる。また、69・70号溝跡と重複し、遺構確認面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

68号溝跡 (遺構図254頁-割図38 写真図版P L 76)

方位：N-24° -W

規模・形状等：8区西端部に位置し、南北方向にやや蛇行し走行する。遺構確認面では上幅30~80cm、残存深度9~17cmを測り、断面形状は割竹状を呈する。出土遺物：なし。重複遺構：67号溝跡と重複し、同時期の流路分岐と考えられる。また、69・70号溝跡と重複し、遺構確認面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

69号溝跡 (遺構図254頁-割図38 写真図版P L 77)

方位：N-0° -E

規模・形状等：8区西端部に位置し、南北方向に走行する。遺構確認面では上幅168~180cm、残存深

IV 遺構と遺物

度10~17cmを測り、断面形状は皿状を呈する。

出土遺物:なし。埋土内にも火山噴出物を含まず、時期は不明。**重複遺構:**70号溝跡と重複し、埋土の状況より、本溝の方が新しいものと判断される。

70号溝跡 (遺構図254頁-削図38 写真図版P.177)

方位: N-90° -E

規模・形状等:8区西側に位置し、東西方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅136~232cm、残存深度14~27cmを測り、断面形状は皿状を呈する。**出土遺物:**なし。埋土内にも火山噴出物を含まず、時期は不明。**重複遺構:**69号溝跡と重複し、埋土の状況より、本溝の方が古いものと判断される。

71号溝跡 (遺構図256頁-削図40 写真図版P.176)

方位: N-13° -E

規模・形状等:8区中央北寄りに位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅40~150cm、残存深度45~51cmを測り、断面形状は箱状を呈する。**出土遺物:**なし。**重複遺構:**66号溝跡と重複し、埋土の状況から本溝の方が新しいものと判断される。

72号溝跡 (遺構図255頁-削図39 写真図版P.177)

方位: N-35° ~84° -W

規模・形状等:8区中央北寄りに位置し、東西~南北方向に走行する。遺構確認面では上幅96~140cm、残存深度40~43cmを測り、断面形状は皿状を呈する。**出土遺物:**なし。**重複遺構:**なし。

73・74号溝跡 (遺構図258頁-削図42 写真図版P.177)

方位: N-11° -E(73号溝)、N-10° -W(74号溝)

規模・形状等:8区中央に位置し、上幅48~266cm、残存深度22~38cmを測り、断面形状は割り竹状を呈する。南北方向に走行し、大きく蛇行する。埋土に多量の水性堆積砂・シルト土が見られ、確認面においても溝周辺にオーバーフロー堆積していることから、上流取水元河川の氾濫による土砂の流入によって埋没したものと判断される。

出土遺物:埋土中より僅かに土師器壺片・須恵器壺片少量が出土するのみである。

重複遺構:73・74号溝跡はほぼ並行し、一部において埋土断面の観察には新旧関係が見られるものの、埋土は同様の氾濫流入土砂であり、時間差はないものと考えられる。また、65号溝跡と交差し重複するが、65号溝跡埋土内に氾濫砂が見られなかったことから、本溝跡の方が古いものと判断される。

75号溝跡 (遺構図260頁-削図44 写真図版P.177)

方位: N-6° -W

規模・形状等:8区中央部に位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅60~96cm、残存深度11~40cmを測り、断面形状は箱状を呈する。**出土遺物:**なし。埋土中にも火山噴出物を含まず、時期は不明である。**重複遺構:**65号溝跡と重複し、遺構確認面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

76号溝跡 (遺構図258頁-削図42 写真図版P.178)

方位: N-82° -E

規模・形状等:8区北側に位置し、東西方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅40~125cm、残存深度11~25cmを測り、断面形状は皿状を呈する。埋土の堆積状況より、最低でも一回の掘り直しが行われたものと判断される。

出土遺物:軟質陶器、板碑を出土する。(279頁参照)

重複遺構:73号溝跡と重複し、遺構確認状況より、本溝跡の方が古いものと思われる。

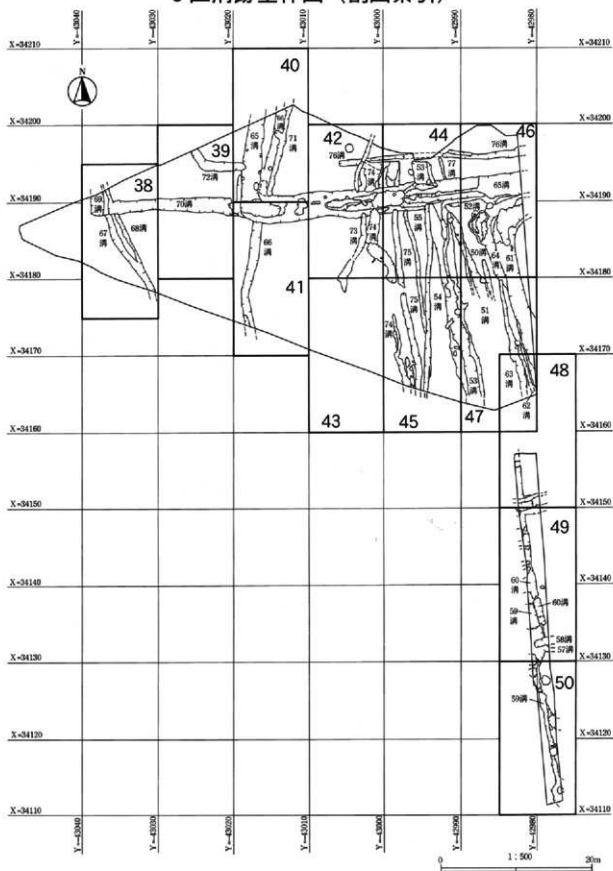
77号溝跡 (遺構図260頁-削図44 写真図版P.178)

方位: N-13° -W

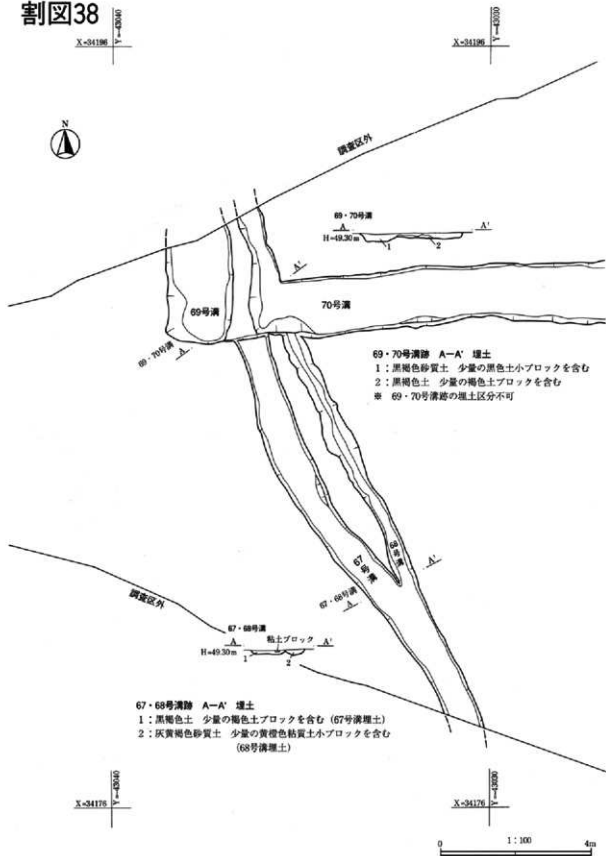
規模・形状等:8区北側に位置し、南北方向に直線的に走行する。遺構確認面では上幅22~36cm、残存深度3~10cmを測り、断面形状は箱状を呈する。**出土遺物:**埋土中より僅かに須恵器杯・壺片、土師器杯・壺片が出土するのみである。

重複遺構:65号溝跡と重複し、遺構確認面の状況より、本溝跡の方が古いものと判断される。

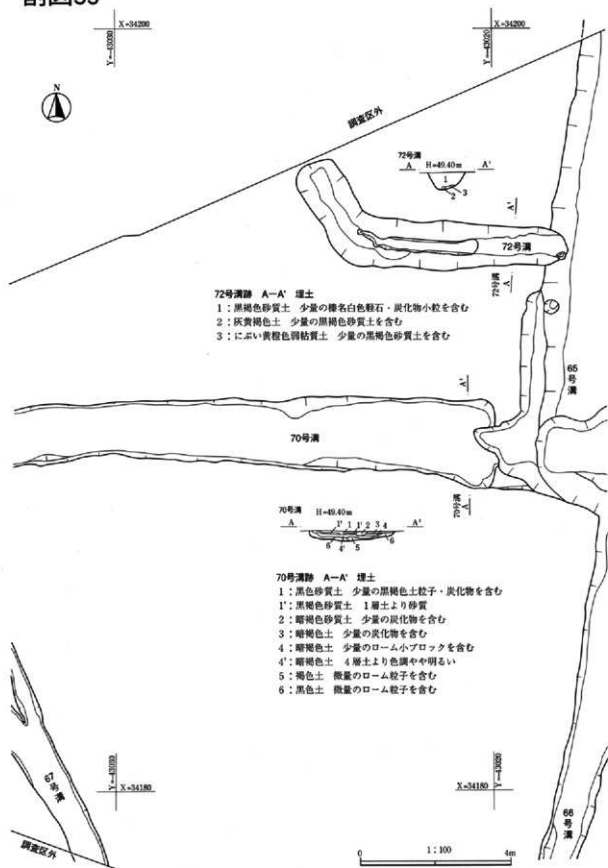
8区溝跡全体図 (割区索引)



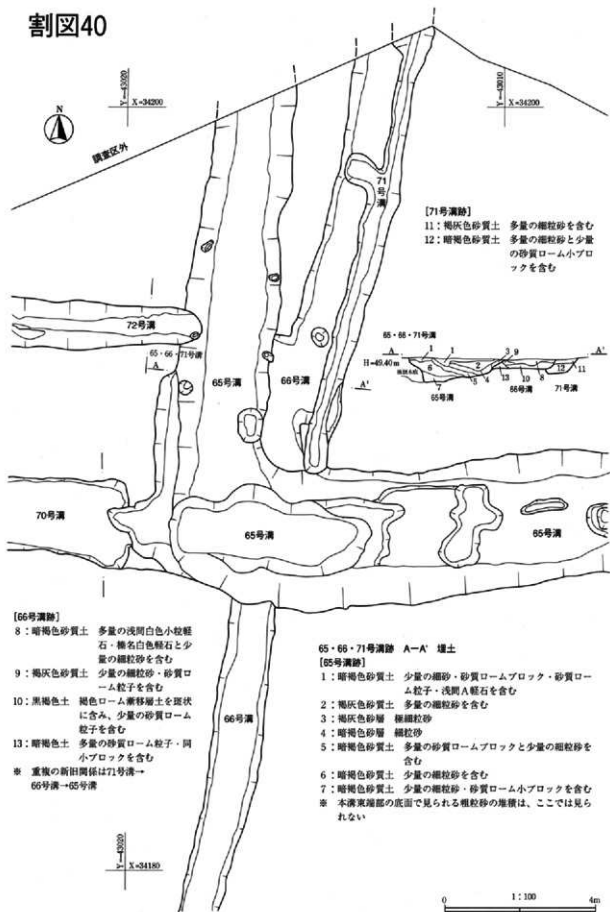
割図38



割図39



割図40



【71号溝跡】

- 11: 褐灰色砂質土 多量の粗粒砂を含む
 12: 暗褐色砂質土 多量の粗粒砂と少量の砂質ローム小ブロックを含む

【66号溝跡】

- 8: 暗褐色砂質土 多量の浅褐色小粒軽石・褐色白色軽石と少量の粗粒砂を含む
 9: 褐灰色砂質土 少量の粗粒砂・砂質ローム粒子を含む
 10: 黒褐色土 褐色ローム層移層土を斑状に含み、少量の砂質ローム粒子を含む
 13: 暗褐色土 多量の砂質ローム粒子・同小ブロックを含む

※ 重複の新田関係は71号溝→66号溝→65号溝

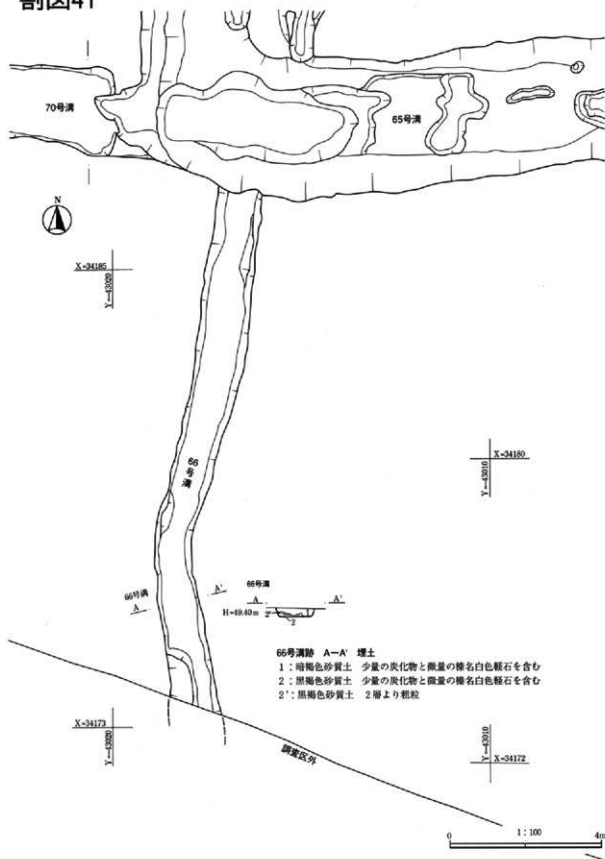
65・66・71号溝跡 A-A' 掘土

【65号溝跡】

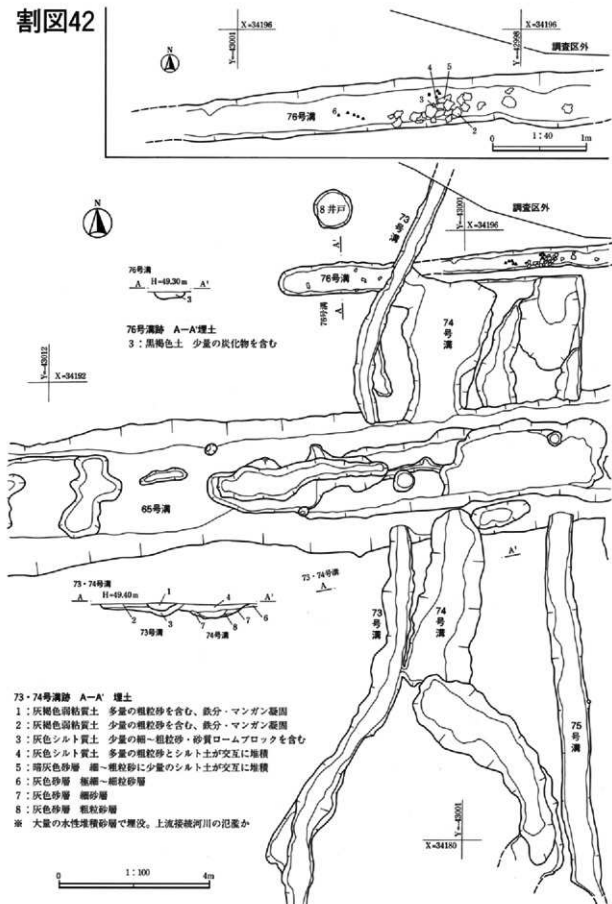
- 1: 暗褐色砂質土 少量の粗砂・砂質ロームブロック・砂質ローム粒子・浅褐色軽石を含む
 2: 褐灰色砂質土 多量の粗粒砂を含む
 3: 褐灰色砂層 粗粒粗砂
 4: 暗褐色砂層 粗粒砂
 5: 暗褐色砂質土 多量の砂質ロームブロックと少量の粗粒砂を含む
 6: 暗褐色砂質土 少量の粗粒砂を含む
 7: 暗褐色砂質土 少量の粗粒砂・砂質ローム小ブロックを含む

※ 本溝東端部の底面で見られる粗粒砂の堆積は、ここでは見られない

割図41

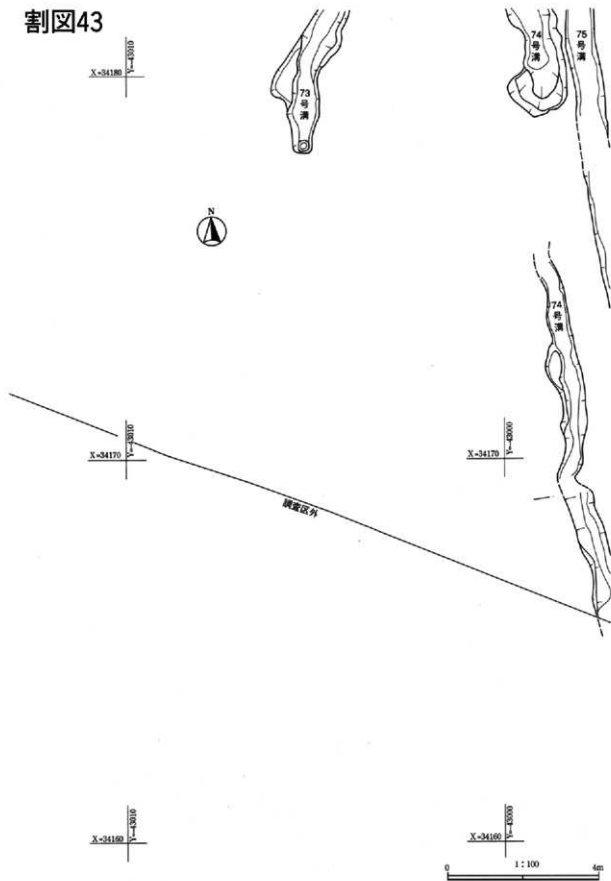


割図42

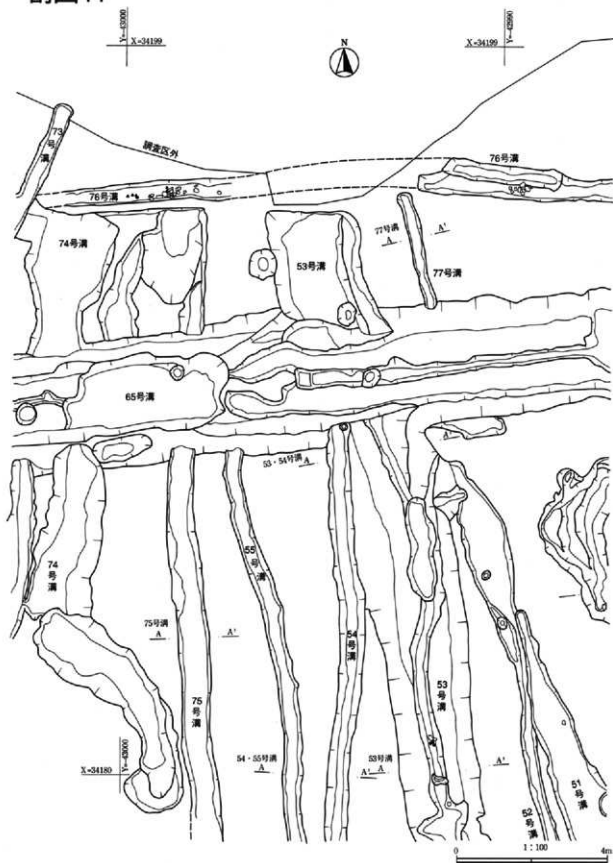


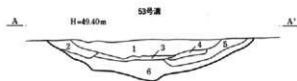
割図43

2. 遺構と遺物



割図44





53号溝跡 A-A' 埋土

- 1: 黒褐色砂質土 多量の棕名白色軽石と少量の砂質ローム粒子を含む
- 2: 褐色極細砂層 水性堆積土
- 3: 灰色弱粘質土 細砂粒を交互に挿む水性堆積土
- 4: 褐灰色弱粘質土 混入物極少
- 5: 灰色弱粘質土 極細砂を交互に挿む水性堆積土
- 6: 細～粗粒砂層 極細砂を交互に挿む水性堆積土



54・55号溝跡 A-A'埋土

- [54号溝跡埋土]
- 1: 褐色土 少量の粗粒砂を含む
 - 2: 粗粒砂層 川砂の水性堆積
 - 3: 褐～褐灰色弱粘質土 少量の粗粒砂を含む
 - 4: 褐～褐灰色弱粘質土 少量の粗粒砂を含む
- [55号溝跡埋土]
- 7: 褐色土 多量の黒褐色土ブロックと少量の砂質ローム粒子を含む



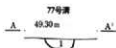
53・54号溝跡 A-A' 埋土

- 1: 暗褐色砂質土 多量の細粒砂・棕名白色軽石を含む
 - 2: 黒褐色砂質土 多量の棕名白色軽石を含む
 - 3: 褐灰色砂層 細粒砂層
 - 4: 灰色シルト土 極細砂を含む
 - 5: 灰黄色砂層 極細砂層
 - 6: 黒褐色砂質土 多量の浅間白色小粒軽石と少量の棕名白色軽石を含む
 - 7: 灰色シルト土 極細砂が渦巻き状に混入 (泥炭混入土)
 - 8: 灰色シルト土 少量の細粒砂を含む
 - 9: 灰オリブ色砂層 極細～粗粒砂の水性互層状堆積
- ※ 1～2層土=新53号溝埋土
4～5層土=54号溝埋土
6～9層土=旧53号溝埋土



75号溝跡 A-A'埋土

- 1: 灰褐色粘質土
- 2: 灰褐色粘質土 少量の暗褐色砂質土を含む
- 3: 灰黄褐色砂質土
- 3': 灰黄褐色砂質土 3層土より粒子細粒
- 4: 灰黄褐色砂質土 黒色土小粒子を含む
- 4': 灰黄褐色砂質土 4層土より色調やや明るい



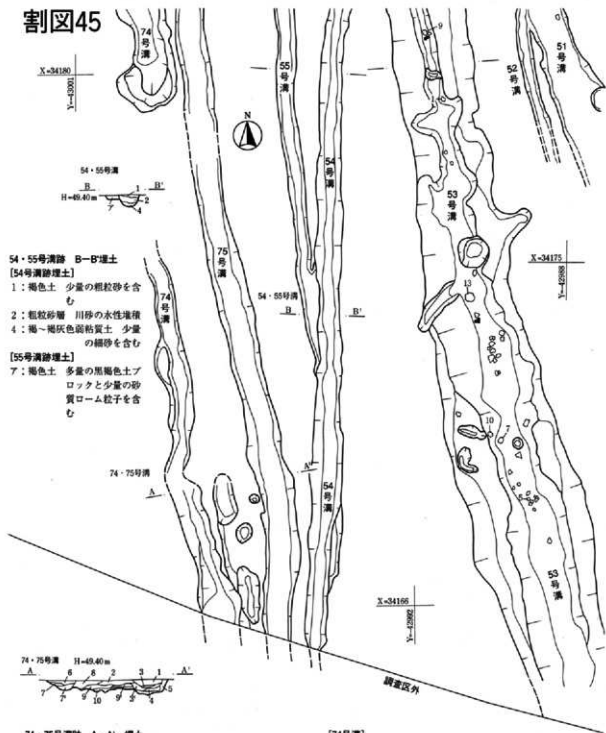
77号溝跡 A-A'埋土

- 1: 黒褐色砂質土 多量のロームブロックを含む



IV 遺構と遺物

割図45



54・55号溝跡 B-B'埋土

[54号溝跡埋土]

- 1: 褐色土 少量の粗粒砂を含む
- 2: 粗粒砂層 川砂の水性堆積
- 4: 褐～褐色面粘質土 少量の細砂を含む

[55号溝跡埋土]

- ア: 褐色土 多量の黒褐色土ブロックと少量の砂質ローム粒子を含む

74・75号溝跡 A-A'埋土

[75号溝]

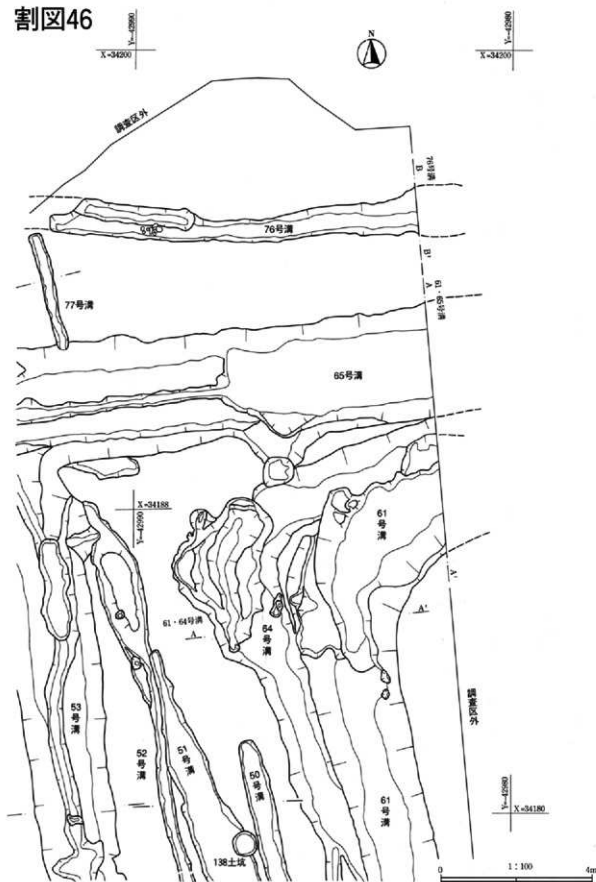
- 1: 灰褐色粘質土
- 2: 灰褐色粘質土 少量の暗褐色砂質土を含む
- 3: 灰黄褐色砂質土
- 3': 灰黄褐色砂質土 3層土より粒子細粒
- 4: 灰黄褐色砂質土 黒色土小粒子を含む
- 4': 灰黄褐色砂質土 4層土より色調やや明るい
- 5: 黒褐色土 微量のロームブロックを含む

[74号溝]

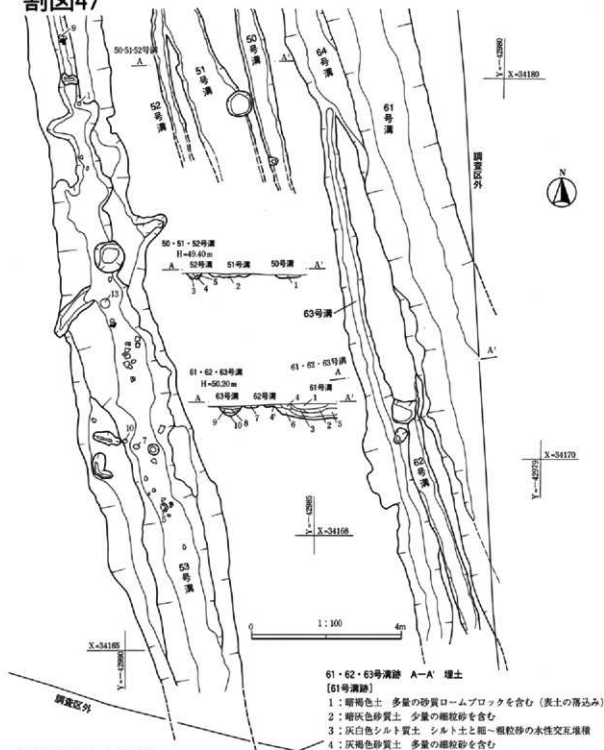
- 6: 灰黄褐色粘質土 少量の灰黄褐色砂質土ブロックを含む
- 7: 灰黄褐色砂質土 多量の灰黄褐色砂質土ブロックを含む
- 7': 灰黄褐色砂質土 9層土より色調やや明るい
- 8: 灰黄褐色砂質土 3層土に類似、粒子がやや粗い
- 9: 暗褐色土 多量の灰黄褐色砂質土ブロックを含む
- 9': 暗褐色土 9層土より色調やや暗い
- 10: 黒色土 多量の灰黄褐色砂質土ブロックを含む

0 1:100 4m

割図46



割図47



50・51・52号溝跡 A-A' 埋土

[50号溝]

1: 軽色砂質土 少量のローム小ブロックを含む

[51号溝]

2: 暗褐色砂質土 砂質ロームブロックを含む

[52号溝]

3: 暗褐色土 少量の砂質ローム小ブロックを含む

4: 暗褐色土 多量の砂質ロームブロックを含む

5: 灰褐色細粒砂層 少量の砂質ローム小ブロックを含む

61・62・63号溝跡 A-A' 埋土

[61号溝跡]

1: 暗褐色土 多量の砂質ロームブロックを含む(表土の落込み)

2: 暗灰色砂質土 少量の細粒砂を含む

3: 灰白色シルト質土 シルト土と細～粗粒砂の水性交互堆積

4: 灰褐色砂質土 多量の細粒砂を含む

4': 灰褐色砂質土 多量の細粒砂と少量の砂質ローム粒子を含む

5: 灰色シルト質土 多量の細～粗粒砂と少量の円礫を含む

6: 明灰色シルト質土 多量の細粒砂を含む

[62号溝跡]

7: 暗褐色砂質土 多量の砂質ローム粒子を含む

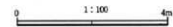
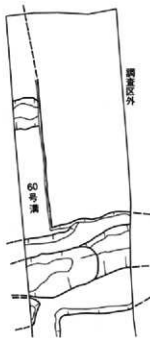
[63号溝跡]

8: 暗褐色砂質土 多量の細粒砂を含む

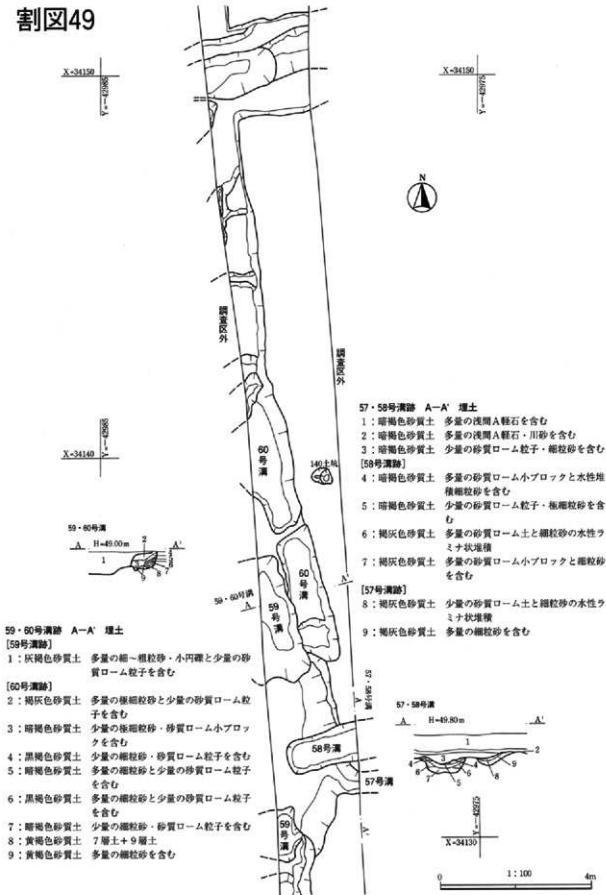
9: 暗褐色砂質土 少量の細粒砂・砂質ロームブロックを含む

10: 暗褐色砂質土 少量の細粒砂・砂質ローム粒子・黒色土小ブロックを含む

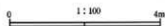
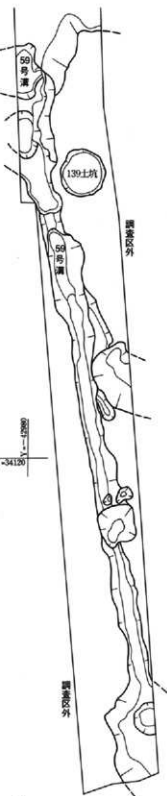
割図48



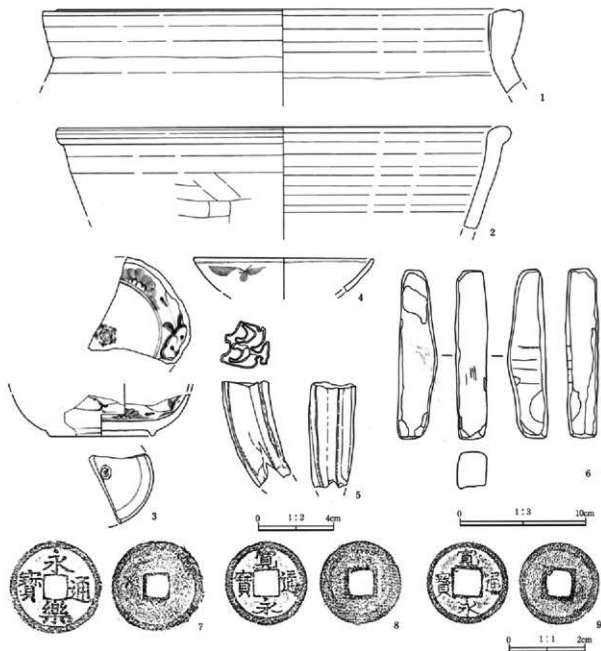
割図49



割図50



4・5・6区、8区溝跡出土遺物



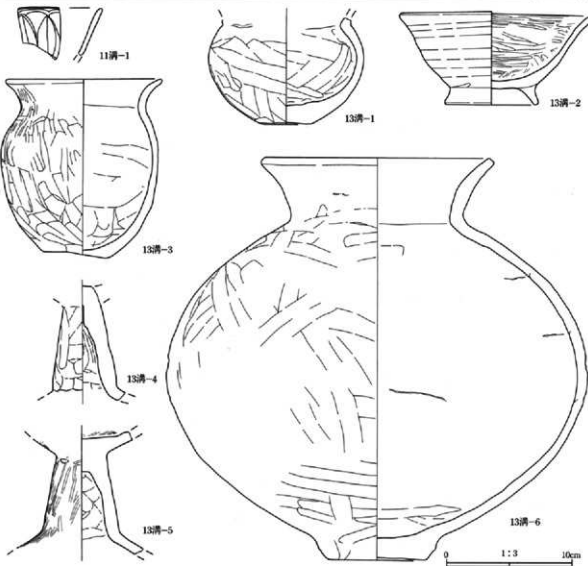
8号溝跡 出土遺物図

4区 8号溝跡 遺物観察表-1		P L 101		計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態					
8号溝 1	陶器 甕	埋土中 口縁片	口径 (37.8) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③焼灰色			
8号溝 2	軟質陶器 甕	埋土中 口縁片	口径 (35.8) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色			
8号溝 3	磁器 皿 附付け	埋土中 体-底部片	口径 (9.2) 底径 - 高さ -	①微砂少 ②還元焰、良好 ③			

IV 遺構と遺物

4区 8号溝跡 遺物観察表-2 P.L.101

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
8号溝 4	磁器 碗	埋土中 口縁片	口径 (14.2) 底径 - 高さ -	①微砂少 ②還元焼、良好 ③ -		
8号溝 5	馬歯	埋土中	長さ 5.6 巾 2.4 厚さ 2.2	重量 40g		
8号溝 6	石製品 砥石	埋土中 略宛形	長さ 13.3 巾 3.6 厚さ 4.0	石材 実質デイスイト 重量 140g	三面に研磨跡。	
8号溝 7	古銭	埋土中 宛形	長さ 2.43 巾 - 厚さ 0.09	銅銭 重量 2.85g	「永永通寶」、裏面無紋。遺存状態良好。	
8号溝 8	古銭	埋土中 宛形	長さ 2.2 巾 - 厚さ 0.05	銅銭 重量 1.85g	「寛永通寶」、裏面無紋。遺存状態良好。	
8号溝 9	古銭	埋土中 宛形	長さ 2.18 巾 - 厚さ 0.06	銅銭 重量 1.77g	「寛永通寶」、裏面無紋。遺存状態良好。	



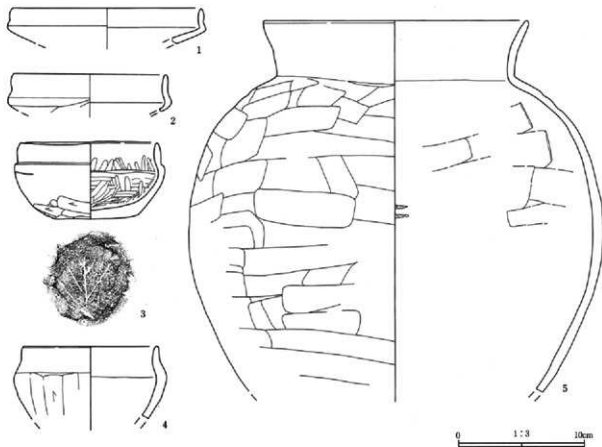
11・13号溝跡 出土遺物図

4区 11号溝跡 遺物観察表 P L 101

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
11号溝 1	粗器 甕	埋土中 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微砂少 ②還元焼、良好 ③		

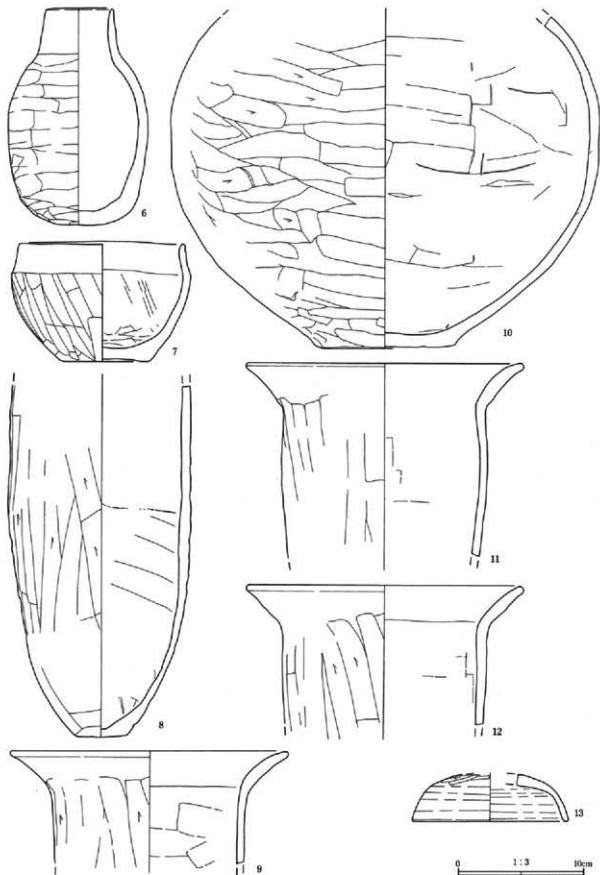
6区 13号溝跡 (旧称 南一東西溝) 遺物観察表 P L 102・103

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
13号溝 1	土師器 小型甕	埋土中 胴~底部	口径 - 底径 4.0 高さ -	- ①微・細・粗砂やや多 ②酸化焼、良好 ③赤褐色	外面=胴部上半ヘラナデ、下半ヘラ削り。内面=ナデ。	
13号溝 2	須恵器 甕	埋土中 略定形	口径 15.0 底径 7.0 高さ 7.3	①微・細砂少 ②還元焼、良好 ③橙色	ロクロ成・整形。外面=底部高台貼り付け後整形。内面=口縁~底部全面ヘラ磨き。口縁一部粗視黒色化。	
13号溝 3	土師器 小型甕	埋土中 4/5	口径 12.3 底径 5.0 高さ 14.0	①微・細・粗砂少 ②酸化焼、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
13号溝 4	土師器 高坏	埋土中 脚部	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細・粗砂少 ②酸化焼、良好 ③橙色	脚部外面=指ナデ。裏側ヘラ・指ナデ。	
13号溝 5	土師器 高坏	埋土中 脚部	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②酸化焼、良好 ③橙色	脚部外面=ナデの後にヘラ磨き。坏部内面=底部ヘラ磨き、脚部裏指ナデ。	
13号溝 6	土師器 甕	埋土中 1/2	口径 17.8 底径 7.8 高さ 31.5	①微・細・粗砂やや多 ②酸化焼、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部上半ヘラナデ、下半ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	

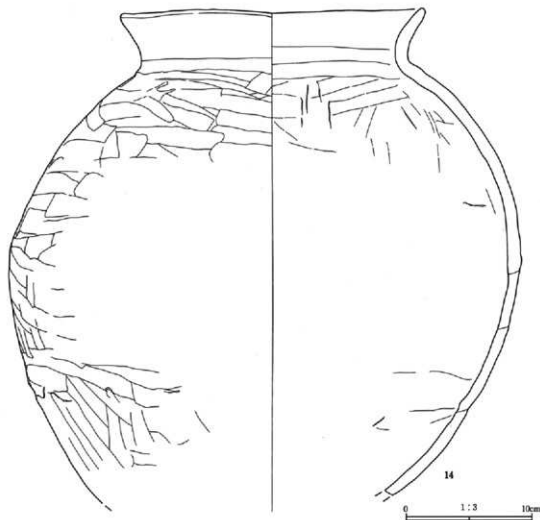


18号溝跡 出土遺物図-1

IV 遺構と遺物



18号溝跡 出土遺物図-2



18号溝跡 出土遺物図-3

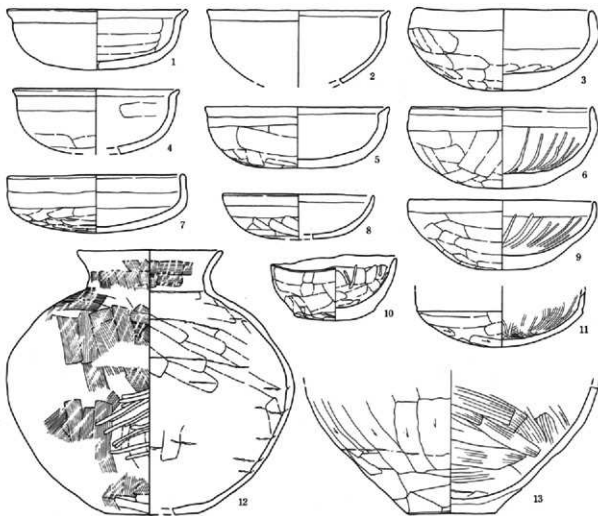
4区 18号溝跡 遺物観察表-1 P.L101・102

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
18号溝 1	土師器 杯	埋土中 口緣片	口径 (15.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰黄褐色	外面=口緣部横ナデ、体部上位ヘラナデ。内面=口緣部横ナデ、体部上位ナデ。	
18号溝 2	土師器 杯	埋土中 口緣片	口径 (12.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③明赤褐色	外面=口緣部横ナデ、体部上位ヘラナデ。内面=口緣部横ナデ、体部上位ナデ。	
18号溝 3	土師器 杯	埋土中 3/4	口径 (10.8) 底径 6.3 高さ 6.1	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口緣部横ナデ、体部やや粗いヘラ削り、底部本業任者痕。内面=ナデの後にヘラ削き。内面=焼成時吸炭黒色。	底部本業任
18号溝 4	土師器 鉢?	埋土中 口緣片	口径 (10.6) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口緣部横ナデ、体部上位腹方向の丁寧なヘラ削り。内面=口緣部横ナデ、底部上位ナデ。	
18号溝 5	土師器 甕	埋土中 口~胴	口径 20.8 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口緣部横ナデ、胴部横方向のヘラ削り。内面=口緣部横ナデ、胴部ナデ。	No.10と同一個体か
18号溝 6	土師器 甕	埋土中 略尖形	口径 5.3 底径 3.6 高さ 17.0	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③オリーブ黒色	外面=口緣部~肩部横ナデ、体部横方向のヘラナデ。内面=口緣部横ナデ、体部ナデ。	
18号溝 7	土師器 鉢	埋土中 略尖形	口径 13.1 底径 7.0 高さ 9.4	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口緣部横ナデ、体部縦方向のヘラ削り、底部ヘラ削り。内面=口緣部横ナデ、体部ナデ。	

IV 遺構と遺物

4区 18号溝跡 遺物観察表-2 P.L.101・102

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
18号溝 8	土師器 長胴甕	埋土中 胴～底部	口径 - 底径 4.9 高さ -	①灰・細・粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	器形やや歪。胎土粗粒極多。胴部縦方向の粗いヘラ削り。外部＝胴部ナデ。	No.11と同一個体か
18号溝 9	土師器 長胴甕	埋土中 口～胴上	口径 (22.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	器形やや歪。胎土粗粒極多。外面＝口縁部横ナデ、胴部縦方向の粗いヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、胴部ナデ。	No.12と同一個体か
18号溝 10	土師器 甕	埋土中 胴～底部	口径 - 底径 11.0 高さ -	①灰・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝胴部縦方向のヘラ削り、底部ヘラ削り。内面＝胴部ナデ。	No.5と同一個体か
18号溝 11	土師器 長胴甕	埋土中 口～胴	口径 (21.8) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	器形やや歪。胎土粗粒極多。外面＝口縁部横ナデ、胴部縦方向の粗いヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、胴部ナデ。	No.8と同一個体か
18号溝 12	土師器 長胴甕	埋土中 口～胴上	口径 (22.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	器形やや歪。胎土粗粒極多。外面＝口縁部横ナデ、胴部縦方向の粗いヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、胴部ナデ。	No.9と同一個体か
18号溝 13	須恵器 甕	埋土中 1/3	口径 (12.3) 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②還元塩、良好 ③潮灰色	ロクロ成・整形。外面＝上部ヘラ調整。同一個体片出土するも接合せず。	
18号溝 14	土師器 甕 (大型)	埋土中 口～胴下	口径 (24.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後にやや粗いヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、胴部ナデ。	



53号溝跡 出土遺物図

8区 53号溝跡 遺物観察表 P L 104

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
53号溝 1	土師器 坏	底+9cm 1/3	口径 (14.3) 底径 - 高さ (14.7)	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なナデ。 内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
53号溝 2	土師器 坏	埋土中 1/3	口径 (14.4) 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部ナデ。内面=口縁部横ナデ、体部指ナデ。	
53号溝 3	土師器 坏	埋土中 1/2	口径 (13.8) 底径 - 高さ 6.4	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③浅黄褐色	全体に器内厚。外面=口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り後にへラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部指ナデ。	
53号溝 4	土師器 坏	埋土中 1/5	口径 (13.2) 底径 - 高さ 5.1	①微・細・粗砂やや多 ②酸化褐、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。内面=全面ナデ。	
53号溝 5	土師器 坏	底+5cm 3/5	口径 (14.0) 底径 - 高さ 4.8	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③赤色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧な指ナデ。内面=全面ナデ。	
53号溝 6	土師器 坏	埋土中 2/3	口径 (14.4) 底径 - 高さ 16.4	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	全体に器内厚。外面=口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り後に丁寧な指ナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後に粗いへラ磨き。	
53号溝 7	土師器 坏	底+4cm 完形	口径 13.9 底径 - 高さ 4.6	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部丁寧なへラ削り後にへラナデ。内面=全面丁寧なナデ。	
53号溝 8	土師器 坏	埋土中 口~底部片	口径 (12.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部~体部上位横ナデ、体部下位~底部へラ削り。内面=全面丁寧なナデ。	
53号溝 9	土師器 坏	埋土中 1/2	口径 (14.5) 底径 3.5 高さ 5.5	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③橙色	底部器内厚。外面=口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り後に指ナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後に粗いへラ磨き。	
53号溝 10	土師器 坏	底+2cm 完形	口径 10.0 底径 6.4 高さ 5.1	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③橙色	手捏ね成形。器内厚。器形歪。外面=口縁部~体部下位指ナデ、底部へラ削り。内面=へラナデ・指ナデ。	
53号溝 11	土師器 坏	埋土中 4/5	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り後に指ナデ。内面=口縁~底部ナデの後にへラ磨き。	
53号溝 12	土師器 罍	埋土中 5/6	口径 11.5 底径 7.4 高さ -	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部上位指ナデ、頸部~胴部上位ハケ目調整。下位ハケ目の後一部粗いへラ磨き。内面=口縁部ハケ目、胴部ナデ。	
53号溝 13	土師器 罍	底+2cm 胴~底部片	口径 - 底径 7.0 高さ -	①微・細砂多 ②酸化褐、良好 ③橙色	外面=胴部下位~底部へラ削り。内面=へラナデ。	



56溝-1



58溝-1

0 1:3 10cm

56・58号溝跡 出土遺物図

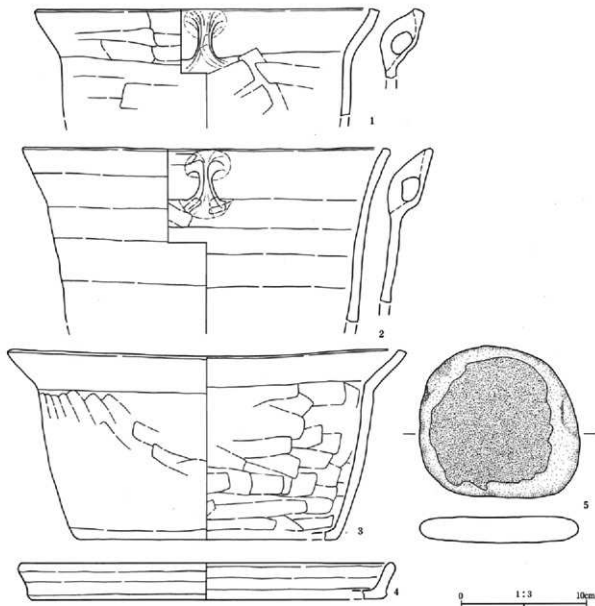
8区 56号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
56号溝 1	土師器 坏	埋土中 略完形	口径 13.0 底径 - 高さ 4.8	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部へラ削り後に指ナデ。内面=口縁~底部ナデの後にへラ磨き。	

8区 58号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
58号溝 1	鉄製品 鋳	埋土中 完形	長さ 10.3 巾 2.0 厚さ 0.65	重量 55.0g	上端部は鍛打によるめくれ有り。先端部はやや平直で使用痕残る。	

IV 遺構と遺物

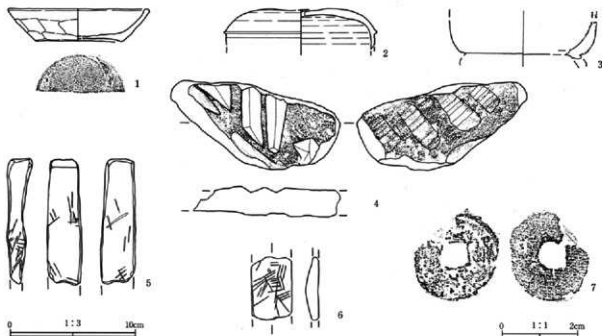


59号溝跡 出土遺物図

B区 59号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
59号溝 1	軟質陶器 内耳罎 (焙燒)	埋土中 口縁片	口径 27.2 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②微化輪、良好 ③褐灰色	内外面共に口縁～体部横ナデ。外面=スス付着。	
59号溝 2	軟質陶器 内耳罎 (焙燒)	埋土中 底部欠	口径 29.2 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②微化輪、良好 ③黄灰色	耳は相对し2個、耳部の摩擦無し。内外面共に口縁～体部横ナデ。外面=全体にスス付着。	
59号溝 3	軟質陶器 内耳罎 (焙燒)	埋土中 1/5	口径 31.6 底径 20.2 高さ 14.9	①微・細砂やや多 ②微化輪、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部ナデ、底部砂底。内面=口縁部～底部ナデ。	
59号溝 4	軟質陶器 内耳罎 (焙燒)	埋土中 破片	口径 29.2 底径 28.0 高さ 2.9	①微・細・粗砂少 ②微化輪、良好 ③灰黄褐色	内外面共に口縁～体部横ナデ。底部外面=砂底。	
59号溝 5	台石	埋土中 完形	長さ 12.0 巾 12.5 厚さ 2.0	石材 粗粒輝石安山岩 重量 450g	扁平な円盤の一面中央部に円形の被熱による変色跡。	

2. 遺構と遺物

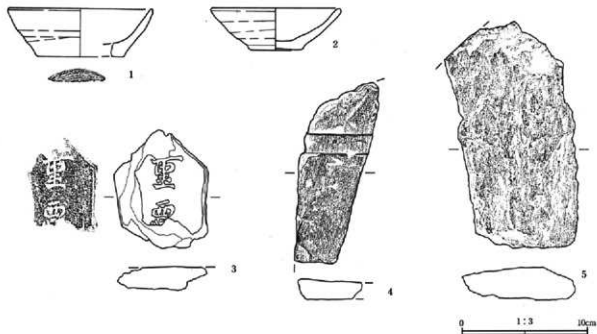


61号溝跡 出土遺物図

8区 61号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
61号溝 1	軟質陶器 坏	壇土中 1/2	口径 11.2 底径 6.8 高さ 2.5	①胎土・細砂少 ②微化焙、良好 ③橙色	ロクロ成・整形。外面=体部静止ヘラ調整、底部回転ヘラ調整。	
61号溝 2	須恵系 蓋	壇土中 1/5	口径 - 底径 - 高さ 3.2	①胎土・細砂少 ②微化焙、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。外面=回転ヘラ調整。	
61号溝 3	木器 漆塗板	壇土中 底部片	口径 - 底径 - 高さ -		外面漆塗、内面赤漆塗布。	
61号溝 4	板碑	壇土中 破片	長さ 13.5 巾 6.3 厚さ 2.3	石材 緑色片岩 重量 280g	阿蘇院如来種子(ナリク)部破片。葉碇形りの深い彫り込みを有す。裏面に1.3~1.6cm巾のノミ痕を数条残す。	
61号溝 5	砥石	壇土中 略定形	長さ 9.8 巾 2.7 厚さ 1.9	石材 砥沢石 重量 62.0g	4面使用、刃傷多。	
61号溝 6	砥石	壇土中 小片	長さ 4.9 巾 3.2 厚さ 1.0	石材 砥沢岩 重量 22.0g	1面のみ使用、刃傷多、裏面未使用。	
61号溝 7	古銭 (波牟銭)	壇土中 2/3	長さ 1.2 巾 - 厚さ 0.04	素材 銅 重量 0.92g	「政和通宝」篆書体。北宋銭、1111年鑄造。	

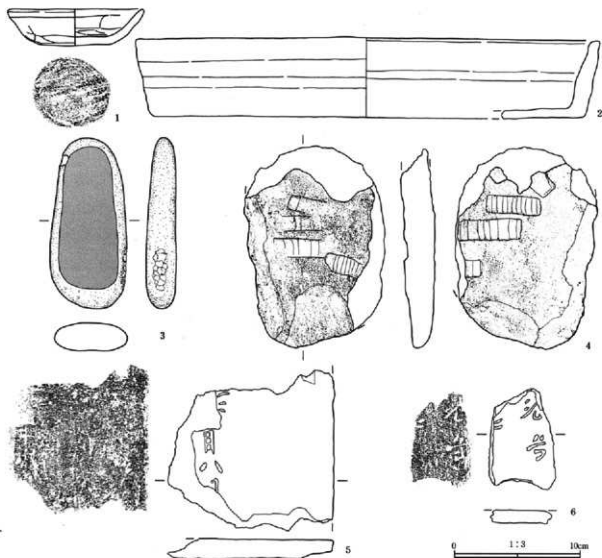
IV 遺構と遺物



65号溝跡 出土遺物図

8区 65号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
65号溝 1	軟質陶器 碗	埋土中 1/4	口径 (11.5) 底径 (7.0) 高さ 3.8	①胎・細砂少 ②酸化胎、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。外面=底部回転糸切り。酸化 焼成。	
65号溝 2	軟質陶器 坏	埋土中 1/3	口径 (10.2) 底径 (4.0) 高さ 3.0	①胎・細砂少 ②酸化胎、良好 ③にぶい黄褐色	ロクロ成・整形。外面=底部切り離し後にヘラ ナデ。	
65号溝 3	板碑 破片	埋土中 破片	長さ 9.3 巾 7.4 厚さ 1.8	石材 緑色片岩 重量 180g	板碑碑面の傷文部破片。「重悪」	
65号溝 4	板碑 破片	埋土中 破片	長さ 14.3 巾 5.2 厚さ 1.6	石材 緑色片岩 重量 205g	板碑頂部破片。浅い溝研削り二条線を刻む。	
65号溝 5	板碑 破片	埋土中 破片	長さ 17.8 巾 10.5 厚さ 2.7	石材 黒色片岩 重量 655g	板碑頂部破片か。	

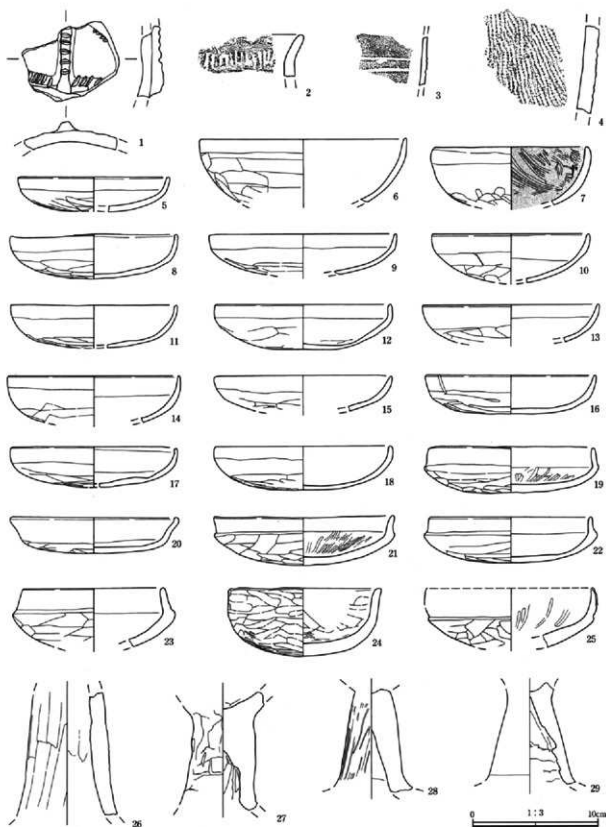


76号溝跡 出土遺物図

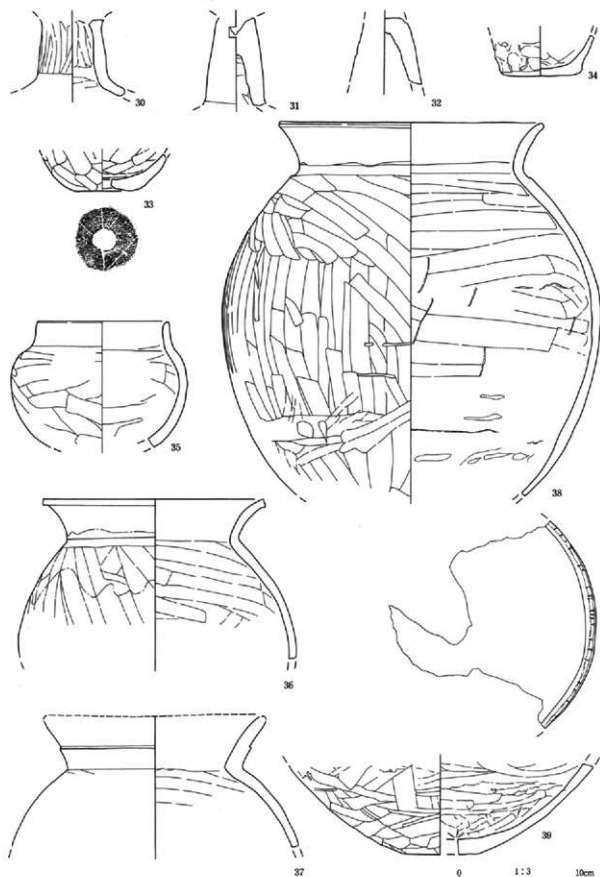
8区 76号溝跡 遺物観察表 P L 105

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
76号溝 1	軟質陶器 坏	裡土中 3/4	口径 10.8 底径 5.5 高さ 2.8	①微・細砂やや多 ②酸化筋、良好 ③にぶい黄褐色	ロクロ成・整形。外面=底部回転未切り後にスノコ状圧痕。内面=一部静止指ナデ。	
76号溝 2	軟質陶器 内耳副 (胎体)	裡土中 破片	口径 36.6 底径 - 高さ 6.2	①微・細・粗砂やや多 ②酸化筋、良好 ③黒色	外面=口径縁部~体部中位横ナデ、体部下位指圧、底部砂底。内面=口径縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	
76号溝 3	摺り石	底+13cm 宛形	長さ 13.5 巾 6.1 厚さ 2.4	石材 ひん岩 重量 315g	扁平稍円縁の平坦な一面に摩滅痕、側面に敲打痕。	
76号溝 4	板碑	底+12cm 破片	長さ 11.7 巾 13.4 厚さ 1.67	石材 緑色片岩 重量 462g	表裏面に巾1.3~1.6cmのノミ痕を残すことから、板碑基部破片。	
76号溝 5	板碑	底+15cm 破片	長さ 11.5 巾 13.2 厚さ 1.65	石材 緑色片岩 重量 460g	碑面中央部破片。紀年銘「□□月八日」のみ残す。	
76号溝 6	板碑	底+19cm 破片	長さ 7.3 巾 5.3 厚さ 1.0	石材 緑色片岩 重量 80g	板碑碑面備文部破片か。	

(6) 遺構外出土遺物 (含水辺祭祀跡)

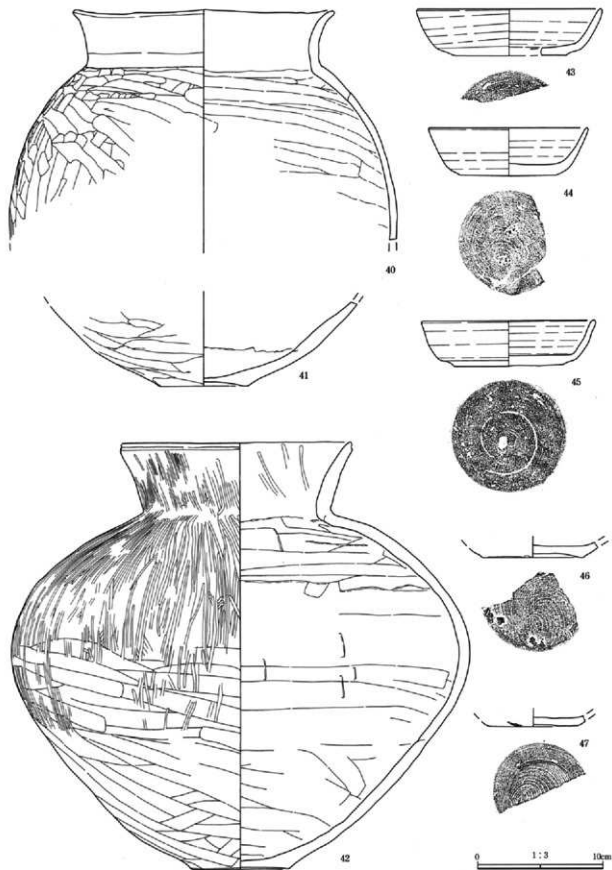


4区遺構外出土遺物図-1

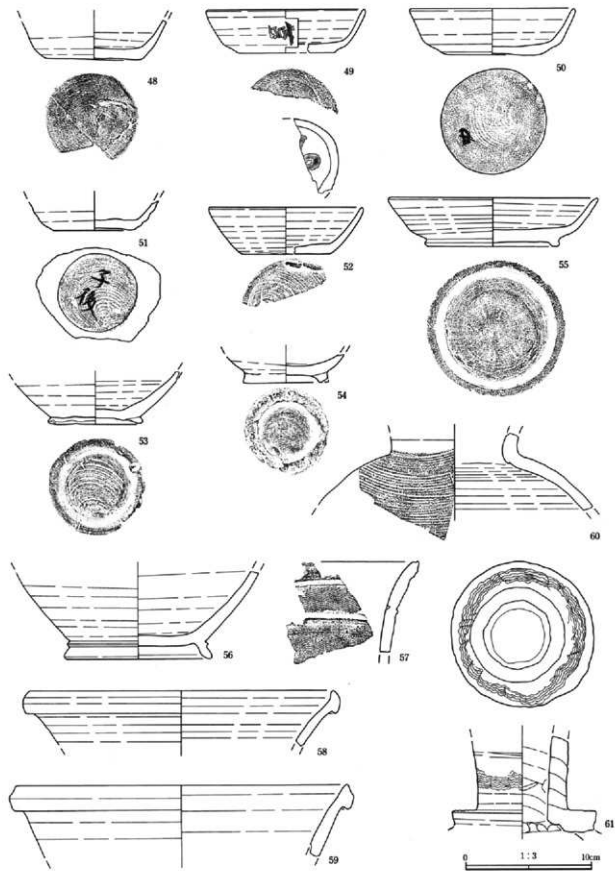


4区遺構外出土遺物図-2

IV 遺構と遺物

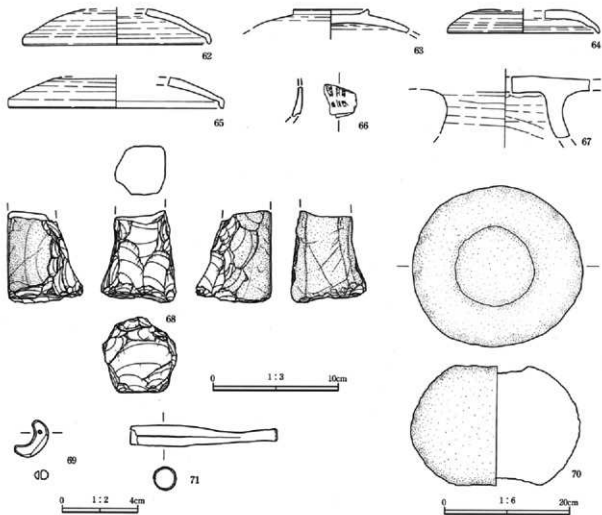


4区遺構外出土遺物図-3



4区遺構外出土遺物図-4

IV 遺構と遺物



4区遺構外出土遺物図一5

4区 遺構外出土 遺物観察表-1 P L 106

遺構名 遺物番号	種別 器 種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
4区遺構外 1	縄文土器 深鉢	4区二面 胴部片	長さ - 巾 - 厚さ -	①細砂粒、含雲母 ②良好 ③灰褐色	縦位に隆帯を貼付、その隆帯上に押角文を施文。阿玉台2。	
4区遺構外 2	縄文土器 深鉢	4区二面 胴部片	長さ - 巾 - 厚さ -	①細砂粒、含雲母 ②良好 ③こぶい褐色	刻目文を横位に施文する。阿玉台1。	
4区遺構外 3	縄文土器 深鉢	4区二面 胴部片	長さ - 巾 - 厚さ -	①細砂粒 ②良好 ③こぶい褐色	表面が磨滅する。2本の平行沈線を横位に施文する。後期。	
4区遺構外 4	縄文土器 深鉢	4区二面 胴部片	長さ - 巾 - 厚さ -	①細砂粒 ②良好 ③こぶい黄褐色	表面がやや磨滅する。LR縄文を施文する。中期後半。加曾利E2。	
4区遺構外 5	土師器 杯	4区表採 口~底部片	口径 12.0 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焰、良好 ③こぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へう削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデ。	
4区遺構外 6	土師器 杯	4区表採 1/3	口径 (16.4) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焰、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧なへう削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデ。内外器面やや磨滅。	
4区遺構外 7	土師器 杯	4区表採 1/3	口径 (12.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ナデ、底部へう削り。内面=丁寧なナデの後にへう磨き、内面~焼成時黒色吸炭処理。	内黒土器

4区 遺構外出土 遺物観察表-2 P L106

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
4区遺構外 8	土師器 坏	4区表採 略定形	口径 13.4 底径 - 高さ 3.5	①微・粗・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部上位へラ削りに ヘラナデ。下位~底部へラ削り。内面=口縁横 ナデ、底部ナデ。	
4区遺構外 9	土師器 坏	4区表採 1/3	口径 (14.8) 底径 - 高さ -	①微・粗・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③灰黄色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り後に ヘラナデ。内面=全面横ナデ。	
4区遺構外 10	土師器 坏	4区表採 口縁片	口径 (12.4) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧なへラ 削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧な ナデ。	
4区遺構外 11	土師器 坏	4区表採 1/4	口径 13.2 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラナデ。内面= 全面ナデ。	
4区遺構外 12	土師器 坏	4区表採 1/4	口径 14.0 底径 - 高さ 3.5	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り。内面= 口縁部横ナデ、体~底部丁寧なナデ。	
4区遺構外 13	土師器 坏	4区表採 1/5	口径 (14.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラナデ。内面= 全面ナデ。	
4区遺構外 14	土師器 坏	4区表採 口縁片	口径 (14.1) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り後に ヘラナデ。内面=横ナデ。	
4区遺構外 15	土師器 坏	4区表採 破片	口径 (14.1) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り。内面= 口縁部横ナデ、底部ナデ。	
4区遺構外 16	土師器 坏	4区表採 1/4	口径 13.2 底径 - 高さ 3.0	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り。内面= 全面丁寧なナデ。	
4区遺構外 17	土師器 坏	4区表採 1/2	口径 (13.2) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧なへラ削 り。内面=口縁部横ナデ、底部ナデ。	
4区遺構外 18	土師器 坏	4区表採 1/4	口径 (14.1) 底径 - 高さ 3.5	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧なへラ削 り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデ。	
4区遺構外 19	土師器 坏	4区表採 略定形	口径 13.0 底径 - 高さ 3.6	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部上位へラナデ、下位 ~底部へラ削り。内面=口縁部横ナデ、体~底 部ナデの後に放射状へラ磨き。	
4区遺構外 20	土師器 坏	4区表採 1/2	口径 13.0 底径 - 高さ 2.8	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部工具による横ナデ、底部へラ削り。 内面=口縁部横ナデ、底部丁寧なナデ。	
4区遺構外 21	土師器 坏	4区表採 定形	口径 14.2 底径 - 高さ 3.7	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③黒褐色	外面=口縁部横ナデ、体部丁寧なへラ削り。内面 =口縁部横ナデ、体部ナデの後に放射状へラ磨 き。内外面変戻黒色。	
4区遺構外 22	土師器 坏	4区表採 1/5	口径 (12.8) 底径 - 高さ 3.6	①微・粗・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部へラ削り。内面= 口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
4区遺構外 23	土師器 坏	4区表採 1/4	口径 11.2 底径 - 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、体部丁寧なへラ削り。内面 =口縁部横ナデ、体部丁寧なナデ。	
4区遺構外 24	土師器 坏	4区表採 4/5	口径 12.0 底径 - 高さ 5.4	①微・粗・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	やや内厚、器形歪。外面=口縁~底部へラ削り 後へラナデ。内面=全面へラナデ。内外面へラ ナデは乾燥が進みへラ磨き状態。	
4区遺構外 25	土師器 坏	4区表採 破片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部へラ削り。内面=ナ デ。	
4区遺構外 26	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=臀部縦方向のへラナデ。内面=脚部ナデ。	
4区遺構外 27	土師器 高坏	4区表採 脚部	口径 - 底径 - 高さ -	①微・粗・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③灰黄色	外面=手捏む型形未調整。内面=棒状工具による 割突。	

IV 遺構と遺物

4区 遺構外出土 遺物観察表-3 P.L.106-107

遺構名 遺物番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
4区遺構外 28	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面=脚部ナデの後に縦方向のヘラ磨き。内面=脚部ナデ。	
4区遺構外 29	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	外面=脚部ナデ。内面=脚部修状工具による割突、下部輪積みを残す。	
4区遺構外 30	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	外面=脚部ナデの後にヘラ磨き、脚下部横方向のナデ。内面=脚部修状工具による割突後にナデ。	
4区遺構外 31	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	外面=ナデ。内面=ヘラ削り。	
4区遺構外 32	土師器 高坏	4区表採 脚部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	外面=ナデ。内面=ヘラ削り。	
4区遺構外 33	土師器 瓶 (一穴)	27トレンチ 底部片	口径 - 底径 4.9 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面=胴部下位へラ削り、底部穿孔前自然剥落。内面=底部付近ナデ。	
4区遺構外 34	土師器 甕?	4区表採 底部	口径 - 底径 6.0 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	外面=胴部底部付近指押痕。底部内面=ナデ。	
4区遺構外 35	土師器 小型甕	4区表採 口~胴	口径 10.4 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
4区遺構外 36	土師器 甕	4区表採 口~胴部	口径 17.4 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面=口縁部丁寧な横ナデ、胴部上位丁寧なヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。外面=多量のカーボン付着。	
4区遺構外 37	土師器 甕	4区表採 口~胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。	
4区遺構外 38	土師器 甕	4区表採 口~胴上	口径 20.8 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向の丁寧なヘラ削り後に横方向の部分的なヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
4区遺構外 39	土師器 甕	4区表採 胴~底部	口径 - 底径 (5.6) 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面=胴部下位丁寧なヘラ削り。内面=ナデ。輪積み時接合の鋭利な割突痕を残す。	
4区遺構外 40	土師器 甕	4区表採 口~胴上	口径 20.6 底径 - 高さ -	①灰・砂少 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向の丁寧なヘラ削り後に横方向の部分的なヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
4区遺構外 41	土師器 甕	4区表採 底部片	口径 - 底径 7.0 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面=胴部下位ヘラ削り。内面=底部付近ナデ。	
4区遺構外 42	土師器 甕	4区表採 2/3	口径 18.0 底径 7.4 高さ 33.3	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③橙色	外面=口縁~胴部中心位細い縦方向の磨きに近いヘラナデ。胴下半横方向の丁寧なヘラ削り一部ヘラナデ。内面=ナデ。	
4区遺構外 43	須恵器 坏	4区表採 1/4	口径 (14.6) 底径 (8.8) 高さ 3.6	①灰・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転へラ切り後に縁部へラ調整。	
4区遺構外 44	須恵器 坏	4区表採 1/2	口径 12.4 底径 7.5 高さ 3.7	①灰・細砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。底部回転後へラ調整。	
4区遺構外 45	須恵器 坏	4区表採 3/4	口径 (13.8) 底径 8.6 高さ 3.6	①灰・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転へラ切り後に縁部へラ調整。内面=底部摩擦、転用痕少。	
4区遺構外 46	須恵器 坏	4区表採 底部片	口径 - 底径 (8.0) 高さ -	①灰・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	底部回転糸切り。内面=底部摩擦。外面=底部にヘラ記号。	ヘラ記号
4区遺構外 47	須恵器 坏	4区表採 底部片	口径 - 底径 (7.0) 高さ -	①灰・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	底部回転糸切り後に縁部へラ調整。内面=底部摩擦。外面=体部に墨書文字。	墨書土器

2. 遺構と遺物

4区 遺構外出土 遺物調査表-4 P L 107・108

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
4区遺構外 48	須恵器 坏	4区表探 底部片	口径 - 底径 7.6 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転ヘラ切り。	
4区遺構外 49	須恵器 坏	4区表探 1/4	口径 (12.6) 底径 (7.6) 高さ 3.4	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転ヘラ切り後に縁部へラ調整。外面=体部に墨書文字。	墨書土器
4区遺構外 50	須恵器 坏	4区表探 略劣形	口径 13.1 底径 8.2 高さ 3.6	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り後に縁部へラ調整。外面=底部「内?」墨書	墨書土器
4区遺構外 51	須恵器 坏	4号トレンチ 底部片	口径 - 底径 6.3 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り、未調整。外面底部に「子後」の墨書文字。	墨書土器
4区遺構外 52	須恵器 坏	4区表探 1/5	口径 12.0 底径 6.8 高さ 3.8	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り、未調整。内面底部に墨書文字。	墨書土器
4区遺構外 53	須恵器 椀	4区表探 体~底部	口径 - 底径 7.4 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。底部糸切り。	
4区遺構外 54	須恵器 椀	4区表探 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り後に高台貼り付け。	
4区遺構外 55	須恵器 盤	4区表探 4/5	口径 16.4 底径 10.2 高さ 3.9	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。底部回転ヘラ切り。内面=研磨使用か。	
4区遺構外 56	須恵器 椀	4区表探 体~底部	口径 - 底径 (11.7) 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。外面=底部切り離しナデ。	
4区遺構外 57	須恵器 壺	4区表探 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③暗青灰色	外面=波状紋。	
4区遺構外 58	須恵器 壺	4区表探 口縁片	口径 (24.0) 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。	
4区遺構外 59	須恵器 壺	4区表探 口縁片	口径 (26.2) 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③オリーブ黒色	ロクロ成・整形。口縁部内外面自然粘付着。	
4区遺構外 60	須恵器 壺	4区表探 胴部	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。外面=唇部白色自然粘付着。	
4区遺構外 61	須恵器 壺	4区表探 頸部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰色	外面=波状紋+横線。内面=頸部円筒部粘土巻き上げ後ロクロ整形、円盤部接合指頭圧痕残る。	
4区遺構外 62	須恵器 壺	4区表探 破片	口径 (14.8) 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。	
4区遺構外 63	須恵器 壺	4区表探 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成・整形。編み部径6.0cm。	
4区遺構外 64	須恵器 壺	4区表探 破片	口径 (12.0) 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。	
4区遺構外 65	須恵器 壺	4区表探 破片	口径 (17.0) 底径 - 高さ -	- ①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。外面=上部回転ヘラ調整。	
4区遺構外 66	須恵器 坏?	4区表探 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③灰白色	体部外面に墨書文字。	墨書土器
4区遺構外 67	須恵器 盤	4区表探 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	盤内面=底部ナデ。高台部貼り付け後にロクロ回転調整。	

IV 遺構と遺物

4区 遺構外出土 遺物観察表-5 P.L.106

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考	
4区遺構外 68	スタンプ形 石器	4区二面	長さ 巾 厚さ	- - -	石材 デイサイト 重量 327.0g	上部欠損。	
4区遺構外 69	石製品 勾玉	4区表探 完形	長さ 巾 厚さ	2.0 - 0.45	石材 総紋岩 重量 1.70g	丁寧な全面研磨。孔径0.15cm。	
4区遺構外 70	五輪塔 水輪	4区表探 完形	長さ 巾 厚さ	27.1 25.3 19.0	石材 粗粒輝石安山岩 重量 1,850g	表面は比較的丁寧に整形。上下面は共に浅く風状に窪む。	
4区遺構外 71	銅製品 釧管	4区表探 破口	長さ 巾 厚さ	7.8 1.1 -	重量 8.52g	曲げ合わせ部に若干の隙間有り。	

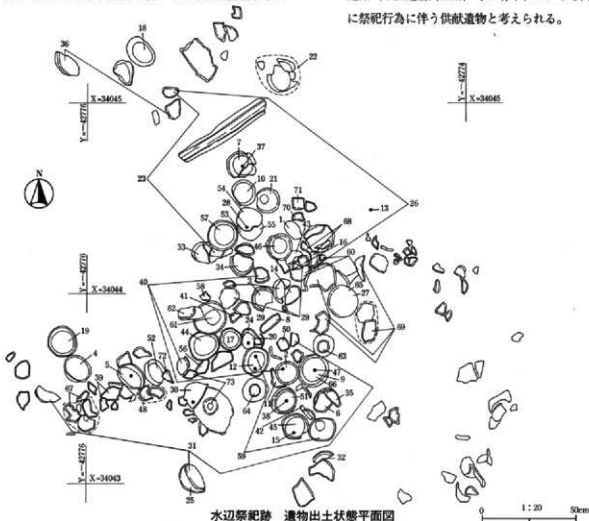
6区水辺祭祀跡 (遺構写真P.L.20、遺物写真P.L.108)

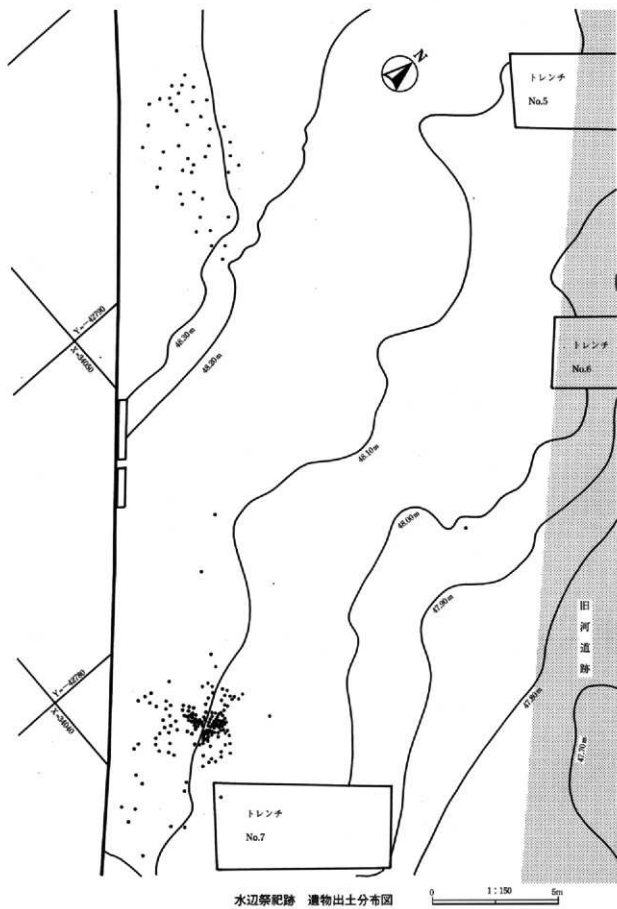
位置：X=34044 Y=-42775

規模・形状等：6区台地端部より低地にさしかかる地形変換点の3m四方程の範囲内より、土師器坯を中心とした多量の土器と少量の滑石製模造品が集中して出土し、調査時に於いては6区土器溜まりと

命名し調査された。出土の様相から単純な遺物廃棄行為ではなく、旧河道を含む低地に臨む場所に位置することから、水に纏わる祭祀跡と推察される。

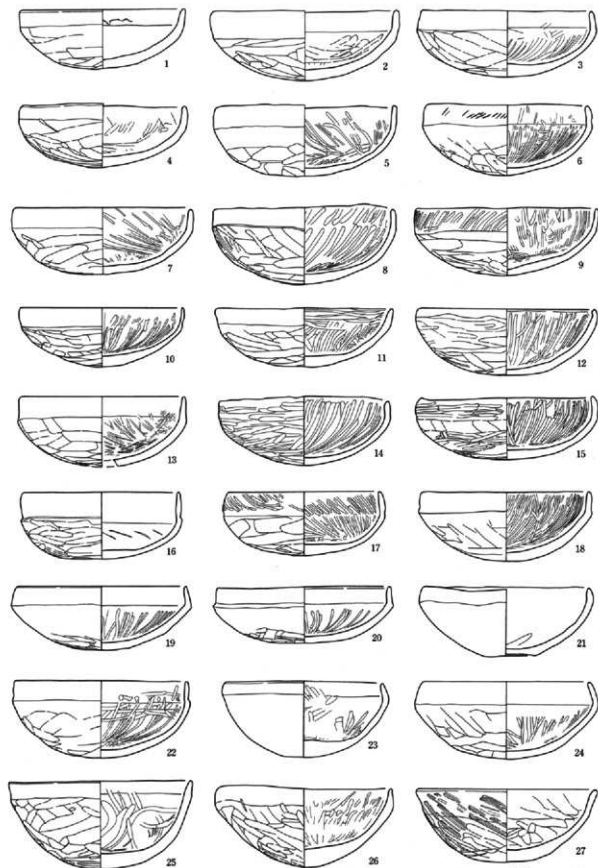
出土遺物：掲載は、集中所在の遺物のみであるが、周辺に少量散在する遺物の中にも、鈴鏡型土製模造品(6区遺構外No.8)等があり、これらも同様に祭祀行為に伴う供献遺物と考えられる。



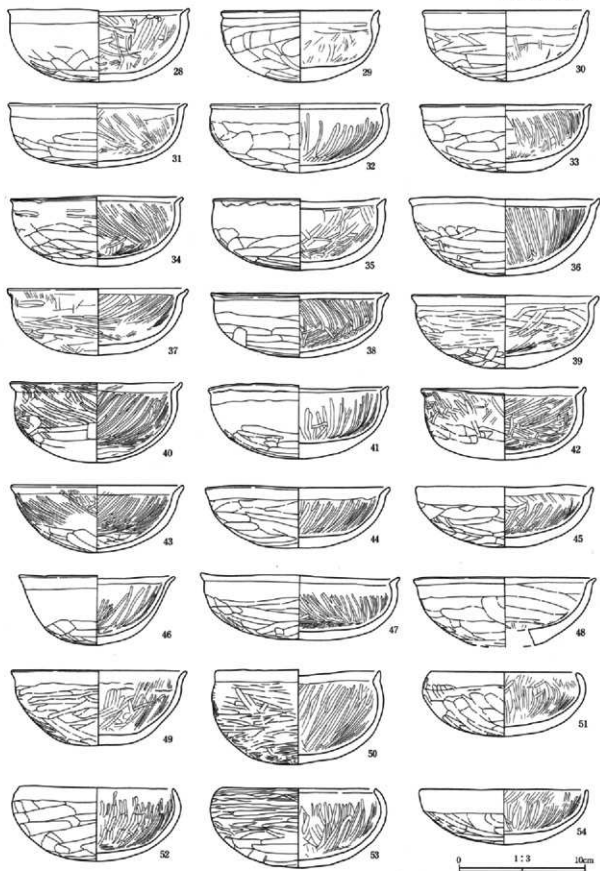


水辺祭祀跡 遺物出土分布図

IV 遺構と遺物

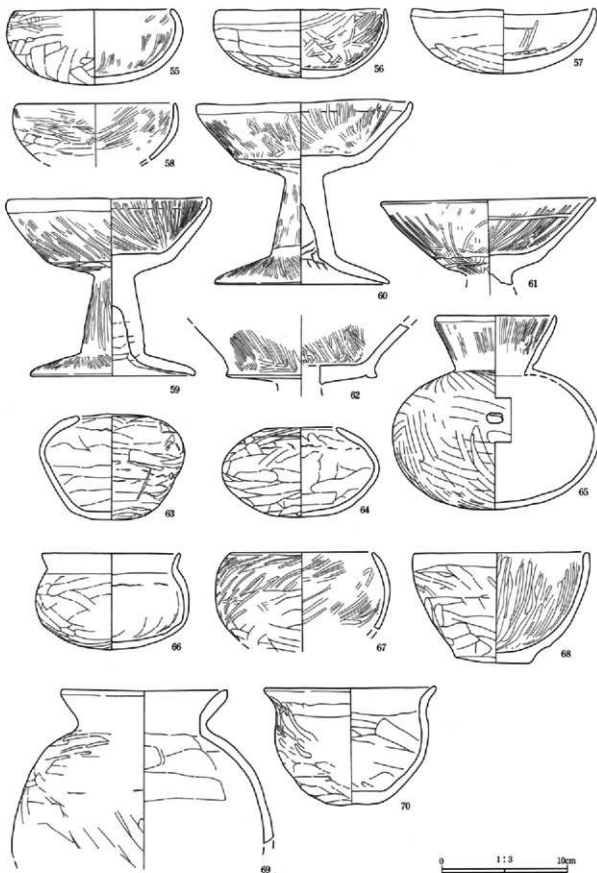


水辺察肥跡 出土遺物四一

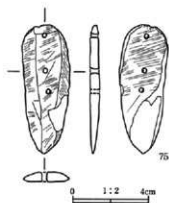
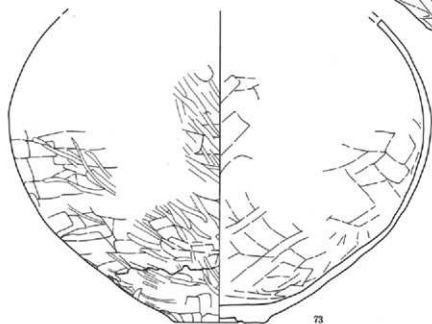
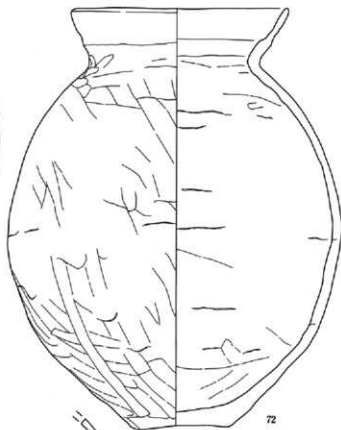
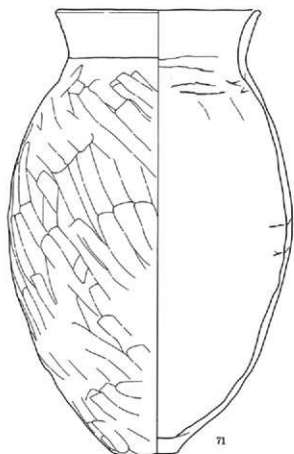


水辺祭祀跡 出土遺物図-2

IV 遺構と遺物



水辺祭祀跡 出土遺物図-3



0 1:3 10cm

水辺祭祀跡 出土遺物図-4

Ⅳ 遺構と遺物

6区 水辺祭祀跡(旧称土器溜まり) 遺物検察表-1

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区祭祀跡 1	土師器 坏	47.55m 略定形	口径 13.0 底径 - 高さ 4.7	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	全体にやや内湾。外面=口縁部横ナデ、底部ヘラナデ。内面=全面ナデ。	
6区祭祀跡 2	土師器 坏	47.51m 定形	口径 14.8 底径 - 高さ 5.5	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	口縁やや内湾。外面=口縁部横ナデ、体-底部丁寧なヘラナデ。内面=全面丁寧なナデ。器内やや内湾。	
6区祭祀跡 3	土師器 坏	47.52m 略定形	口径 13.4 底径 - 高さ 5.2	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙褐色	口縁内湾。外面=口縁部横ナデ、体部-底部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部-底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 4	土師器 坏	47.85m 定形	口径 13.0 底径 - 高さ 5.0	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙褐色	全体にやや内湾。外面=口縁部横ナデ、体部-底部ヘラナデ。内面=全面ナデ。	
6区祭祀跡 5	土師器 坏	47.75m 略定形	口径 14.0 底径 - 高さ 5.5	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	器形やや歪。外面=口縁部横ナデ、体部上位ヘラナデ、下位-底部ヘラ削り。内面=全面ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 6	土師器 坏	47.50m 略定形	口径 12.8 底径 - 高さ 5.5	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙褐色	口縁やや内湾。外面=口縁部横ナデ、体部上位ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=ナデの後に丁寧なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 7	土師器 坏	47.49m 定形	口径 14.0 底径 - 高さ 5.3	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	外面=口縁部横ナデ、体部-底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部-底部ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 8	土師器 坏	47.52m 1/3	口径 (14.2) 底径 - 高さ 6.1	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙褐色	外面=口縁部横ナデ、体部-底部削り後ヘラナデ。内面=全面ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 9	土師器 坏	47.48m 4/5	口径 14.3 底径 - 高さ 5.3	①灰・粗砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	口縁部やや内湾。外面=口縁部ナデの後に粗いヘラ磨き、体-底部丁寧なヘラ磨き後に一部ヘラナデ。内面=ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 10	土師器 坏	47.50m 略定形	口径 13.0 底径 - 高さ 4.6	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=全面ナデの後にやや粗い放射状ヘラ磨き。	
6区祭祀跡 11	土師器 坏	47.51m 略定形	口径 14.1 底径 - 高さ 4.7	①灰・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体部-底部ヘラ削り。内面=口縁部-底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 12	土師器 坏	47.56m 定形	口径 14.1 底径 - 高さ 5.2	①灰・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部-底部丁寧なナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 13	土師器 坏	47.42m 1/2	口径 (11.3) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体-底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 14	土師器 坏	47.49m 定形	口径 13.5 底径 - 高さ 5.4	①灰・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ後にヘラ磨き、底部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部-底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 15	土師器 坏	47.52m 1/2	口径 13.8 底径 - 高さ 4.8	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	口縁内湾。外面=口縁部横ナデ方向のヘラ磨き、体部-底部ヘラナデの後に一部ヘラ磨き。内面=全面ナデの後に丁寧なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 16	土師器 坏	47.46m 略定形	口径 12.4 底径 - 高さ 5.2	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	外面=口縁部横ナデ、体部-底部ヘラ削り後にヘラナデ。内面=口縁部-体部横ナデ、底部ヘラナデ。	
6区祭祀跡 17	土師器 坏	47.56m 2/3	口径 (12.0) 底径 - 高さ 5.0	①灰・粗砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ後にヘラ磨き。体部-底部丁寧なヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部-底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 18	土師器 坏	47.53m 定形	口径 13.5 底径 - 高さ 5.5	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙褐色	口縁やや内湾。外面=口縁部横ナデ、体-底部丁寧なヘラ削り。内面=全面ナデの後に丁寧なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 19	土師器 坏	47.84m 定形	口径 13.4 底径 - 高さ 5.0	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後に放射状ヘラ磨き。	
6区祭祀跡 20	土師器 坏	47.54m 略定形	口径 13.6 底径 - 高さ 4.4	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後に放射状ヘラ磨き。	

2. 遺構と遺物

6区 水辺祭祀跡(旧称土器塚まわり) 遺物調査表-2

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区祭祀跡 21	土師器 坏	47.47m 略定形	口径 13.0 底径 3.8 高さ 5.5	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	底部を有し口縁部内湾。内外口縁部～底部全面ナデ。器面摩滅。	
6区祭祀跡 22	土師器 坏	47.46m 略定形	口径 13.6 底径 - 高さ 6.1	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部へラ削り後に一部へラナデ、底部へラ削り。内面＝口縁部～ナデの後にやや粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 23	土師器 坏	47.57m 2/3	口径 12.4 底径 - 高さ 6.0	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	底部内厚。器形やや歪。外面＝口縁部横ナデ、体部～底部粗いへラナデ。内面＝全面ナデの後に粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 24	土師器 坏	47.55m 1/2	口径 13.0 底径 - 高さ 6.0	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	口縁部内湾。外面＝口縁部横ナデ、体部～底部へラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にへラ磨き。内外器面やや摩滅。	
6区祭祀跡 25	土師器 坏	47.78m 略定形	口径 14.4 底径 - 高さ 7.0	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。外面＝体部横ナデ、底部へラ削り。内面＝体部～底部ナデの後に粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 26	土師器 坏	47.57m 略定形	口径 14.0 底径 - 高さ 6.5	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③褐色	底部内厚。器形やや歪。外面＝口縁部横ナデ、体～底部へラ削り後一部へラナデ。内面＝ナデの後にやや粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 27	土師器 坏	47.51m 完形	口径 14.2 底径 - 高さ 5.7	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③にぶい褐色	口縁部やや外反。外面＝口縁部横ナデ、体～底部ナデの後に粗い磨状工具によるナデ。内面＝口縁部～体部横ナデ。底部へラ削り。	
6区祭祀跡 28	土師器 坏	47.56m 完形	口径 14.4 底径 - 高さ 5.7	①微・細・粗砂やや多 ②酸化褐、良好 ③褐色	口縁内斜。外面＝口縁部横ナデ、体部上位ナデ、底部へラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体部ナデの後に粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 29	土師器 坏	47.46m 3/4	口径 12.4 底径 - 高さ 5.6	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	外面＝口縁部横ナデ、体～底部へラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体～底部ナデの後に粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 30	土師器 坏	47.61m 略定形	口径 13.2 底径 - 高さ 5.5	①微・細・粗砂やや多 ②酸化褐、良好 ③にぶい褐色	口縁やや外反。外面＝口縁部横ナデ、体部上位粗雑なへラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体部丁寧ナデ。	
6区祭祀跡 31	土師器 坏	47.58m 略定形	口径 14.2 底径 - 高さ 5.0	①微・細・粗砂やや多 ②酸化褐、良好 ③褐色	口縁内斜。外面＝口縁部～体部上位ナデ、体部～底部へラ削り後一部へラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体～底部ナデの後にへラ磨き。	
6区祭祀跡 32	土師器 坏	47.52m 1/2	口径 14.0 底径 - 高さ 5.4	①微・細砂やや多 ②酸化褐、良好 ③褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部上位へラナデ、下位～底部へラ削り。内面＝全面ナデの後にやや粗い放射状へラ磨き。	
6区祭祀跡 33	土師器 坏	47.56m 略定形	口径 13.4 底径 - 高さ 5.3	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	口縁内斜。外面＝口縁部横ナデ、体部～底部へラ削り後に一部へラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にへラ磨き。	
6区祭祀跡 34	土師器 坏	47.53m 完形	口径 13.6 底径 - 高さ 5.5	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	外面＝体部上位横ナデ、下位へラナデ、底部へラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後に丁寧なへラ磨き。	
6区祭祀跡 35	土師器 坏	47.47m 完形	口径 13.7 底径 - 高さ 5.6	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	口縁部内斜。外面＝口縁部～体部上位横ナデ、底部丁寧なへラ削り。内面＝全面ナデの後に体部～底部へラ磨き。	
6区祭祀跡 36	土師器 坏	47.52m 略定形	口径 15.0 底径 - 高さ 6.2	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③明赤褐色	口縁内斜。外面＝口縁部横ナデ、体～底部丁寧なへラ削り後一部ナデ。内面＝口縁部横ナデ、体部ナデの後に丁寧なへラ磨き。	
6区祭祀跡 37	土師器 坏	47.51m 略定形	口径 14.3 底径 - 高さ 5.3	①微・細砂少 ②酸化褐、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝口縁部～体部へラナデ後にへラ磨き、底部丁寧なへラ削り。内面＝口縁部～体部へラナデ後にへラ磨き、底部丁寧ナデ。	
6区祭祀跡 38	土師器 坏	47.52m 完形	口径 14.0 底径 - 高さ 5.1	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部～底部丁寧なへラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にへラ磨き。	
6区祭祀跡 39	土師器 坏	47.81m 1/2	口径 14.6 底径 - 高さ 5.8	①微・細・粗砂少 ②酸化褐、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部へラ削り後へラナデ、底部へラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にやや粗いへラ磨き。	
6区祭祀跡 40	土師器 坏	47.52m 略定形	口径 13.4 底径 - 高さ 6.3	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化褐、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部～体部上位横ナデ、下位～底部丁寧なへラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部丁寧なナデの後にへラ磨き。	

IV 遺構と遺物

6区 水辺帯記録(旧鉢土器層より) 遺物観察表-3

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区祭祀跡 41	土師器 坏	47.58m 完形	口径 14.3 底径 - 高さ 5.9	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	口縁内削。外面=口縁部横ナデ、体部上位ナデ、底部ヘラ削り後一部ナデ。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後に粗粒なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 42	土師器 坏	47.49m 略完形	口径 13.0 底径 - 高さ 5.2	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデの後にヘラ磨き、体部~底部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 43	土師器 坏	47.50m 完形	口径 13.6 底径 - 高さ 5.3	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、体~底部丁寧なヘラ削り後ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデの後に体部のみヘラ磨き。	
6区祭祀跡 44	土師器 坏	47.58m 略完形	口径 14.6 底径 - 高さ 4.8	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後に放射状ヘラ磨き。	
6区祭祀跡 45	土師器 坏	47.54m 略完形	口径 14.0 底径 - 高さ 4.8	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 46	土師器 坏	47.48m 略完形	口径 12.2 底径 - 高さ 5.5	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	口縁外削。外面=口縁部横ナデ、体部上位削り後ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 47	土師器 坏	47.48m 完形	口径 15.7 底径 - 高さ 5.0	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	口縁内削。口縁~体部上位ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 48	土師器 坏	47.73m 1/2	口径 (14.2) 底径 - 高さ 5.9	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③灰赤色	底部内湾。外面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。内面=口縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	
6区祭祀跡 49	土師器 坏	47.55m 1/2	口径 (13.9) 底径 (4.6) 高さ 5.8	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	口縁やや外反。外面=口縁部横ナデ、体部上位細かいヘラナデ、下位~底部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後粗粒なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 50	土師器 坏	47.48m 3/4	口径 13.0 底径 - 高さ 7.4	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、体部~底部内外面ナデの後に丁寧なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 51	土師器 坏	47.54m 完形	口径 11.8 底径 - 高さ 5.1	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	口縁部内湾。外面=口縁部~体部上位ナデ、底部ヘラナデ。内面=ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 52	土師器 坏	47.69m 完形	口径 12.2 底径 - 高さ 5.8	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	口縁部内湾。外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り。内面=全面ナデの後ヘラ磨き。	
6区祭祀跡 53	土師器 坏	47.56m 2/3	口径 12.2 底径 - 高さ 6.2	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	口縁部内湾。外面=口縁部~体部上位ナデの後に横方向のヘラ磨き、体部~底部ヘラナデ。内面=全面ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 54	土師器 坏	47.56m 略完形	口径 13.3 底径 - 高さ 4.4	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 55	土師器 坏	47.53m 1/2	口径 (12.5) 底径 - 高さ 5.9	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	口縁部内湾。外面=口縁部~底部ヘラナデ。内面=全面ナデの後に粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 56	土師器 坏	47.61m 1/2	口径 13.2 底径 - 高さ 5.3	①灰・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	口縁部内湾。外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=全面ナデの後にヘラ磨き。	
6区祭祀跡 57	土師器 坏	47.54m 完形	口径 14.4 底径 - 高さ 5.1	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	口縁部やや内湾。外面=口縁部横ナデ、体~底部ナデ。内面=口縁~体部横ナデ。底部ヘラ削り。	
6区祭祀跡 58	土師器 坏	47.59m 口~体部片	口径 (12.8) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい藍色	口縁内湾。外面=口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後に上位のみ粗いヘラ磨き。内面=口縁部ナデの後に粗いヘラ磨き。	No.56と同一個体か
6区祭祀跡 59	土師器 高坏	49.50m 略完形	口径 16.2 底径 13.2 高さ 14.0	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=坏部口縁横ナデ、体部ナデの後粗いヘラ磨き。脚部丁寧なヘラ磨き。内面=坏部ナデの後に丁寧なヘラ磨き、脚部粗いナデ。	
6区祭祀跡 60	土師器 高坏	47.47m 4/5	口径 17.0 底径 13.9 高さ 14.3	①灰・細砂少 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=坏部口縁横ナデ、体部ナデの後粗いヘラ磨き。脚部丁寧なヘラ磨き。内面=坏部ナデの後に丁寧なヘラ磨き、脚部粗いナデ。	

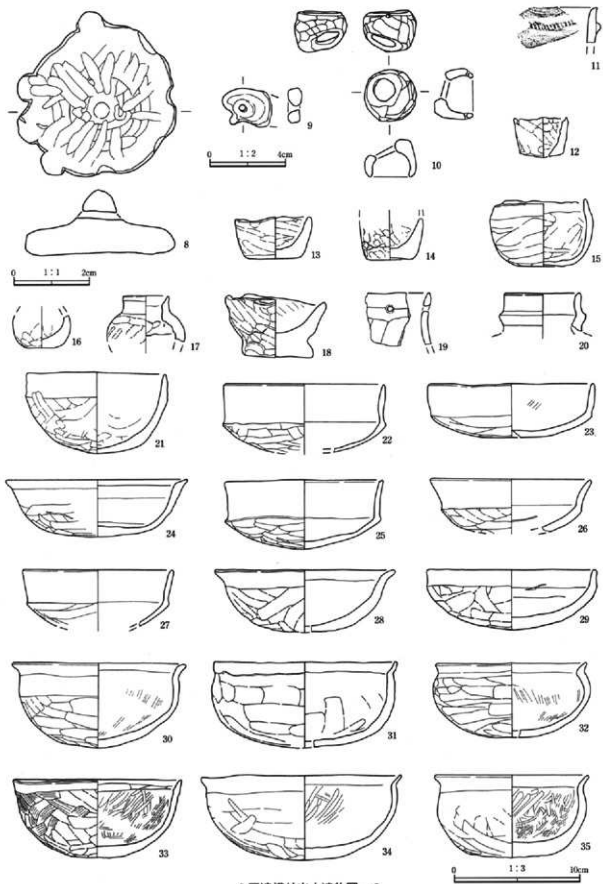
6区 水辺祭祀跡(旧称土器溝まり) 遺物観察表-4

遺構名 遺物番号	種別 種類	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区祭祀跡 61	土師器 高坏	47.52m 坏部	口径 17.0 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③橙色	坏部外面=ナデの後に粗雑なヘラ磨き。坏部内面=ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 62	土師器 高坏	47.64m 坏部底部	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	坏部外面=体部丁寧なヘラ磨き、底部ナデ。坏部内面=体部~底部丁寧なヘラ磨き。	
6区祭祀跡 63	土師器 壺 小型丸底	47.45m 完形	口径 5.3 底径 - 高さ 8.2	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=胴部上位丁寧な指ナデ、下位丁寧なヘラ磨き後に一部ヘラナデ。内面=ナデ。	
6区祭祀跡 64	土師器 壺 小型丸底	47.55m 完形	口径 6.1 底径 - 高さ 7.1	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=胴部上位丁寧な指ナデ、下位丁寧なヘラ磨き後に一部ヘラナデ。内面=ナデ。	
6区祭祀跡 65	土師器 埴 埴	47.39m 完形	口径 9.6 底径 - 高さ 15.3	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	胴部穿孔。外面=口縁~頸部~肩部横ナデの後にヘラ磨き、胴部~底部丁寧なヘラナデ。内面=口縁部ナデの後にヘラ磨き、胴部ナデ。	胴部穿孔
6区祭祀跡 66	土師器 壺 小型広口	47.48m 2/3	口径 11.0 底径 - 高さ 7.5	①微・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位~底部ヘラ磨き。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区祭祀跡 67	土師器 鉢 小型	47.86m 1/2	口径 11.5 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	外面=体部上位ナデの後に粗いヘラ磨き、下位丁寧なヘラ磨き。内面=全面ナデの後に粗いヘラ磨き。	
6区祭祀跡 68	土師器 鉢 小型	47.45m 2/3	口径 13.9 底径 6.2 高さ 8.3	①微・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位~底部ヘラ磨き。内面=口縁~底部ヘラ磨き。	
6区祭祀跡 69	土師器 壺	47.39m 口~胴部片	口径 13.2 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ、指ナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部指ナデ。	
6区祭祀跡 70	土師器 小型壺	47.45m 略完形	口径 13.6 底径 3.0 高さ 9.1	①微・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラ磨き後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体~底部ヘラナデ。	
6区祭祀跡 71	土師器 壺	47.49m 2/3	口径 16.2 底径 5.0 高さ 35.0	①微・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部全面ヘラ磨き後にヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
6区祭祀跡 72	土師器 壺	47.47m 2/3	口径 (17.2) 底径 7.0 高さ 32.7	①微・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部全面ヘラナデ。内面=全面ナデ。	
6区祭祀跡 73	土師器 壺	47.60m 胴~底部	口径 - 底径 7.2 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=胴部上位ナデ、胴中位~下位横方向の丁寧なヘラ磨き、底部付近ヘラ磨き後に一部ナデ。内面=ナデ。	
6区祭祀跡 74	石製 白玉	47.60m 完形	長さ 0.45 巾 0.45 厚さ 0.3	石材 燧石 重量 0.14g	孔径0.21cm	祭祀関連
6区祭祀跡 75	石製 模造品 (銅製)	47.53m 完形	長さ 6.8 巾 2.45 厚さ 0.5	石材 蛇紋岩 重量 12.89g	孔径0.2cm	祭祀関連

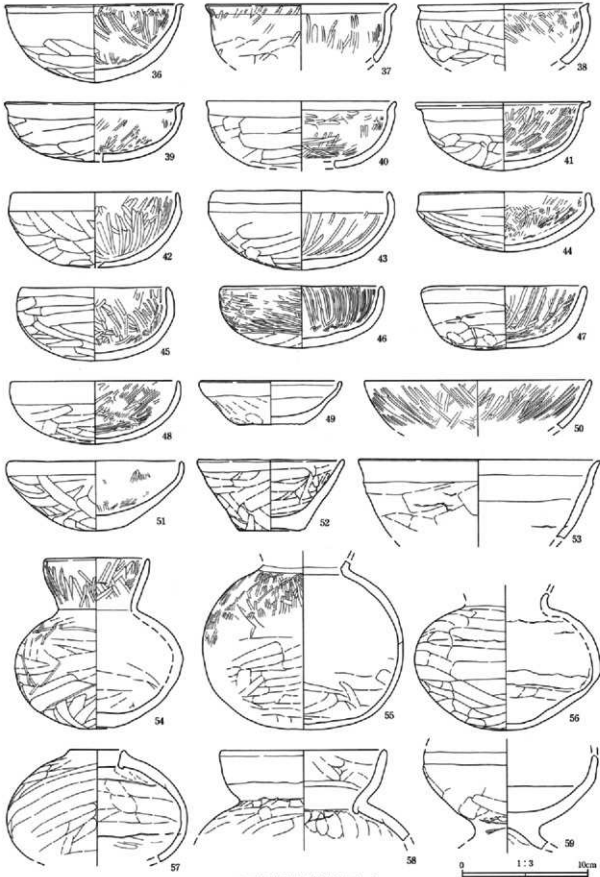


6区遺構外出土遺物図-1

IV 遺構と遺物

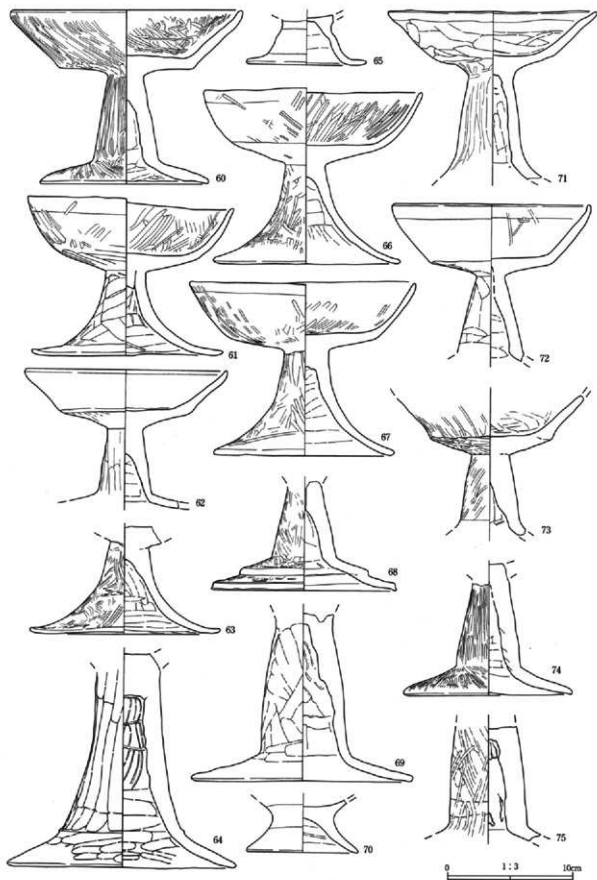


6区遺構外出土遺物図-2

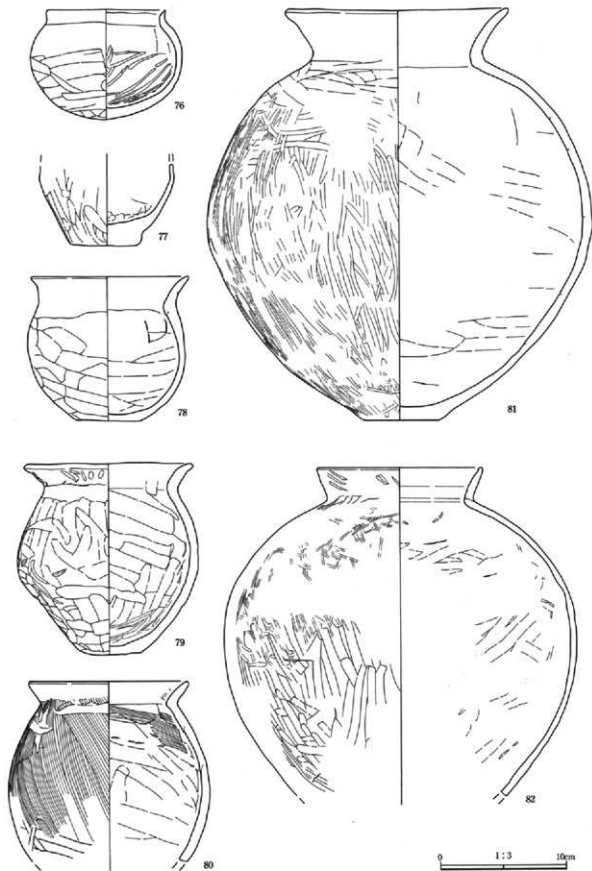


6区遺構外出土遺物図-3

IV 遺構と遺物

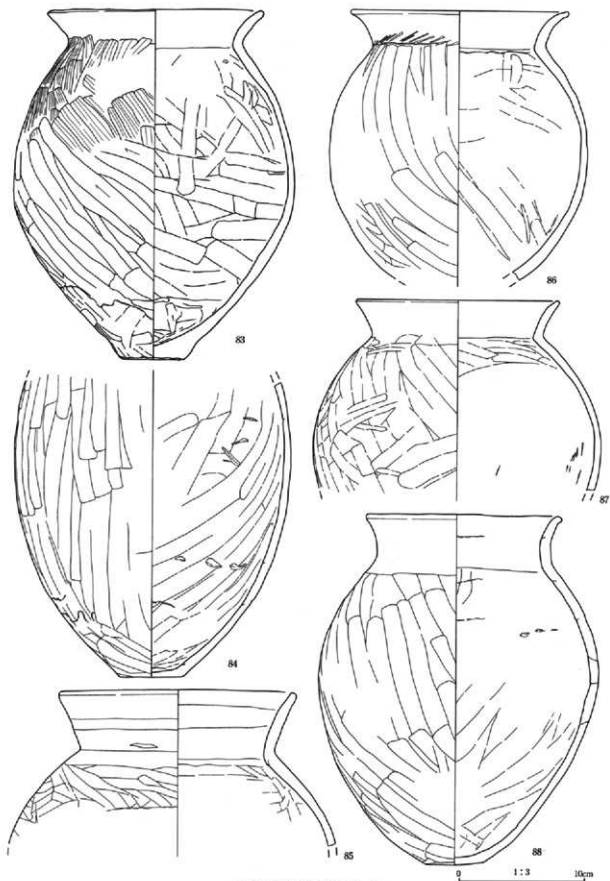


6区遺構外出土遺物図一4

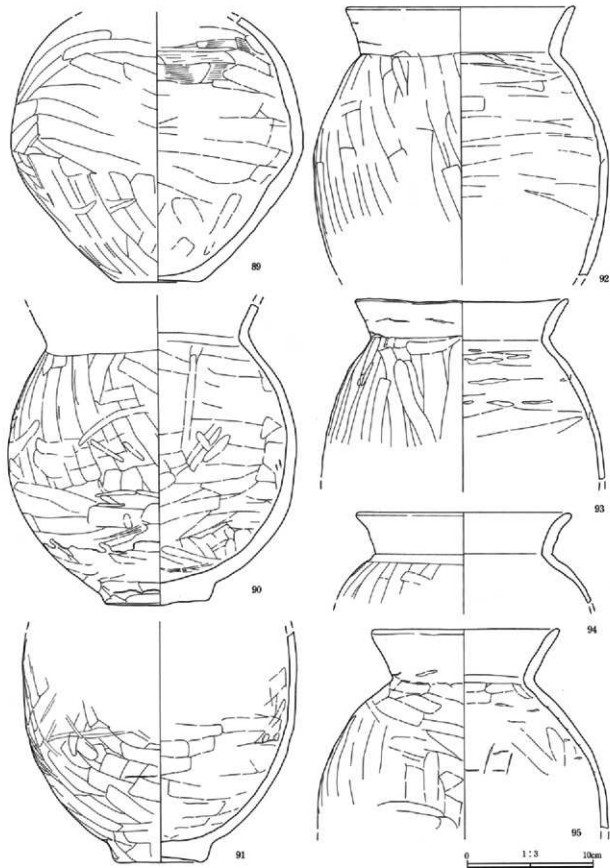


6区遺構外出土遺物図一5

IV 遺構と遺物

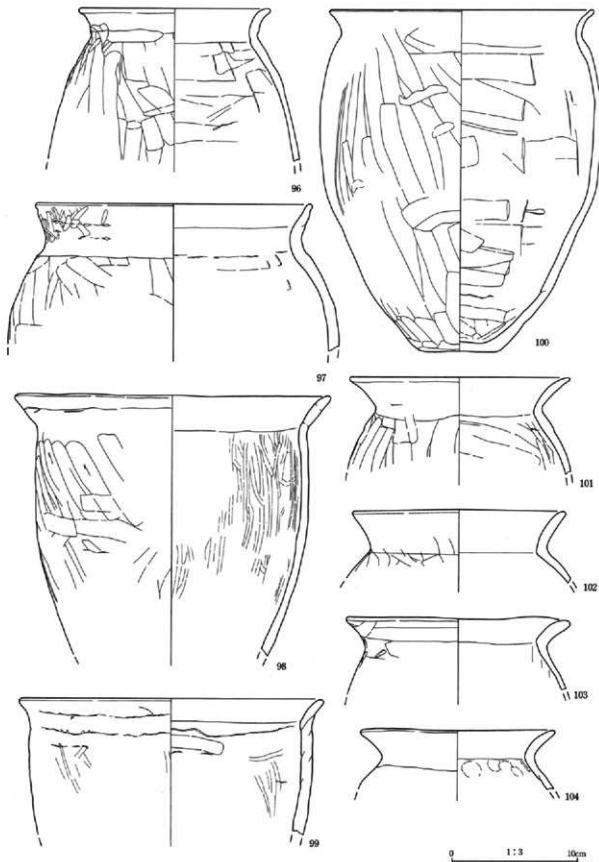


6区遺構外出土遺物図-6

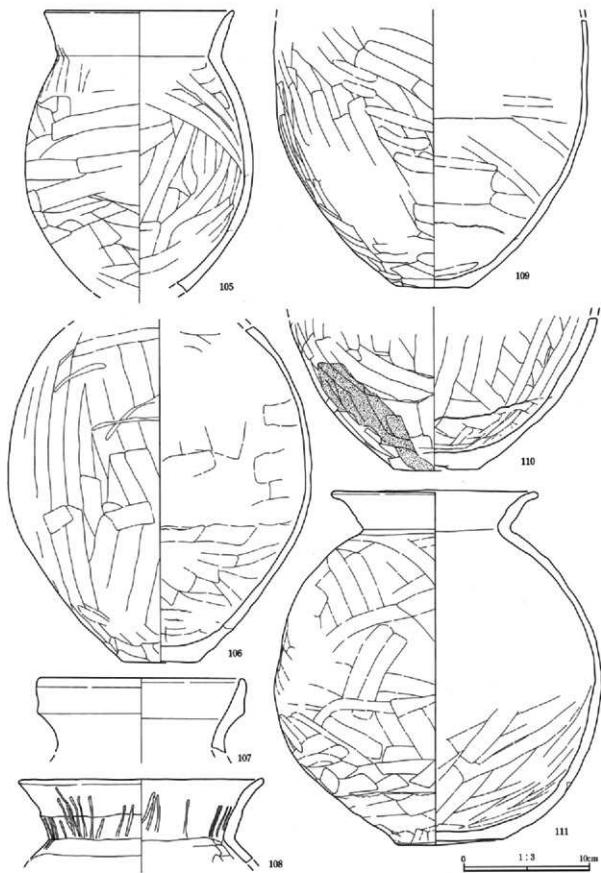


6区遺構外出土遺物図一7

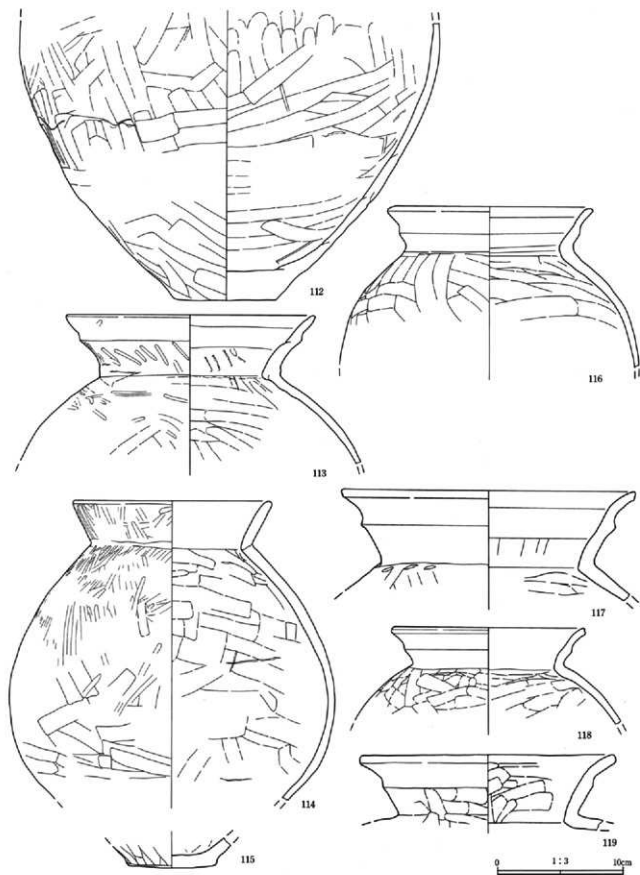
IV 遺構と遺物



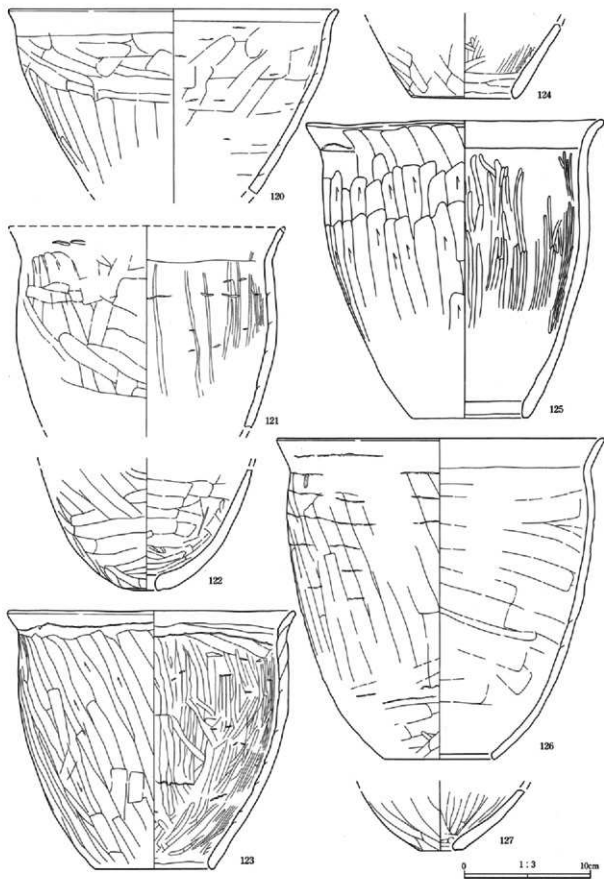
6区遺構外出土遺物図-8



6区遺構外出土遺物図-9

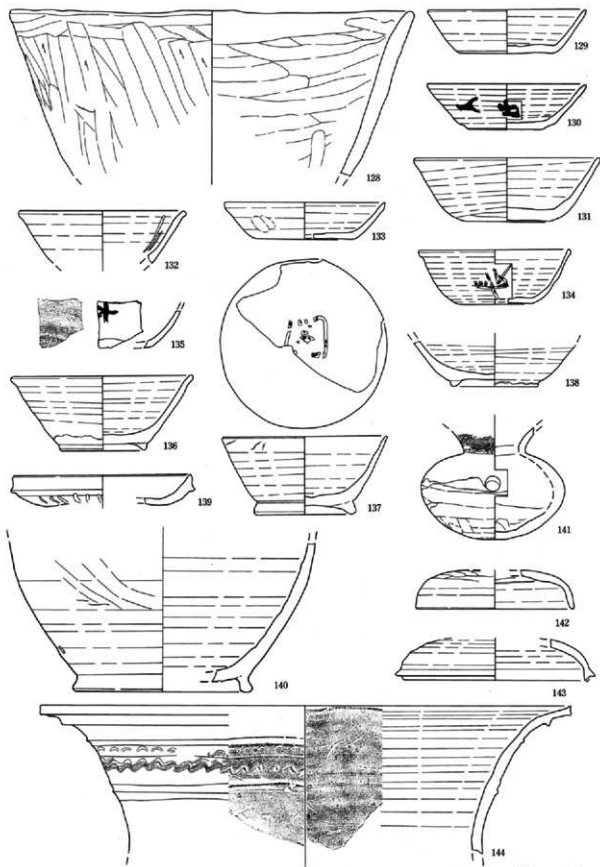


6区遺構外出土遺物図-10

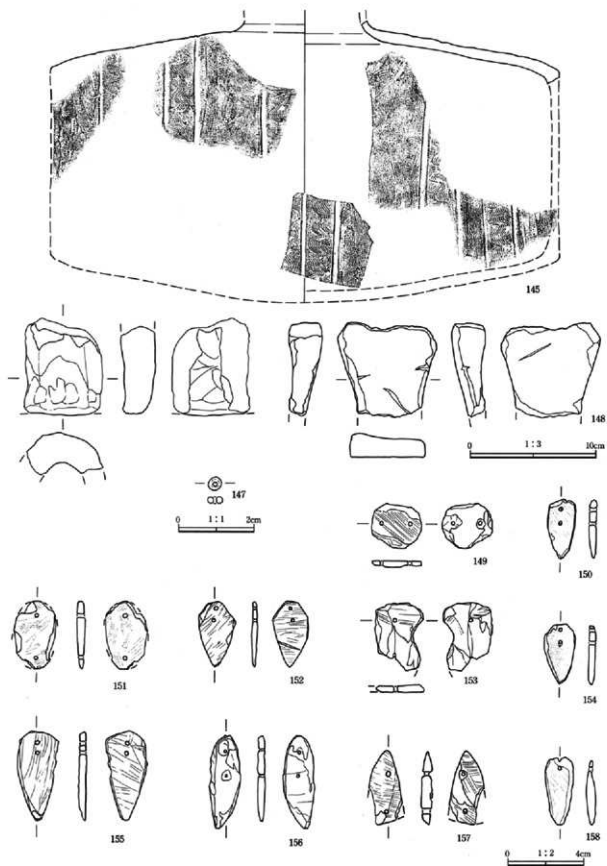


6区遺構外出土遺物図-11

IV 遺構と遺物



6区遺構外出土遺物図-12



6区遺構外出土遺物図一13

IV 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物観察表-1

P L111

遺構名 遺物番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 1	縄文土器 深鉢	035-675Gr 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含雲母 ②良好 ③灰黄褐色	No2と同一個体。把手から続く隆帯区画沿いに沈線を施文、区画内に平行沈線による波状文を施文。阿玉台3。	
6区遺構外 2	縄文土器 深鉢	035-675Gr 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含雲母 ②良好 ③灰黄褐色	No1と同一個体。把手から続く隆帯区画沿いに沈線を施文、区画内に平行沈線による波状文を施文。阿玉台3。	
6区遺構外 3	縄文土器 深鉢	035-675Gr 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含雲母 ②良好 ③灰褐色	表面が磨滅している。口縁部に平行する隆帯を貼付、その上に押角文を施文。阿玉台2。	
6区遺構外 4	縄文土器 深鉢	6区表探 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨滅している。口縁部に平行沈線を横位に施文し、それから斜行してのびる平行沈線を施文する。諸磯も。	
6区遺構外 5	縄文土器 深鉢	6区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰褐色	表面が磨滅している。半截竹管による爪形文を斜位に施文。施文は縄文(?)。前期前半。黒浜。	
6区遺構外 6	縄文土器 深鉢	6区7号溝 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰褐色	表面が磨滅している。爪形刺突文を連続状に施文。地文は縄文(?)。前期前半。黒浜。	
6区遺構外 7	石鏡	6区表探 完形	長さ 2.0 巾 1.5 厚さ 0.2	石材 チャート 重量 0.462g	無舌。欠損なし。	
6区遺構外 8	土製品 ミニチュア 鈴鏡	080-836Gr 略完形	長さ 4.4 巾 4.2 厚さ 1.8	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰白色	手捏ね成形。鈴5個欠損、4個残存。	簡記関連
6区遺構外 9	土製品 有孔	6区表探	長さ 2.5 巾 1.7 厚さ 0.75	①微・細砂少 ②酸化焙、やや良好 ③橙色	手捏ね成形。焼成前穿孔。	
6区遺構外 10	手捏ね	045-775Gr 完形	口径 3.5 底径 - 高さ 3.0	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③褐色	手捏ね成・整形。口縁部に一对の焼成前穿孔。孔には経緯れ痕なし。底部焼成後の磨滅による穿孔。転用か。	
6区遺構外 11	古式土器 甕	045-770Gr 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰黄褐色	口縁部突帯に刺突状。	
6区遺構外 12	手捏ね ミニチュア 甕	040-770Gr 2/3	口径 (4.2) 底径 3.5 高さ 3.2	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	手捏ね成形。外面=指ナゲ、底部焼成前穿孔。内面=指ナゲ。	
6区遺構外 13	手捏ね 小型甕	060-795Gr 略完形	口径 6.0 底径 4.3 高さ 3.3	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	手捏ね成形。外面=体部丁寧な指ナゲ、底部砂底。内面=細かいヘラナゲ。	
6区遺構外 14	手捏ね ミニチュア 下半	045-775Gr 下半	口径 - 底径 3.5 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	手捏ね成形。内外面指ナゲ。	
6区遺構外 15	手捏ね 小型甕	035-765Gr 略完形	口径 7.2 底径 3.5 高さ 5.3	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	手捏ね成形。外面=口縁部横ナゲ、体部上位ヘラナゲ、底部ヘラ削り。内面=ナゲ。	
6区遺構外 16	手捏ね ミニチュア 甕	045-775Gr 下半	口径 - 底径 2.5 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③灰褐色	手捏ね成形。内外面指ナゲ。	
6区遺構外 17	手捏ね ミニチュア 甕	040-770Gr 1/4	口径 (3.6) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③浅黄褐色	手捏ね成形。外面=指ナゲ。内面=口縁部指ナゲ。	
6区遺構外 18	手捏ね	055-790Gr 3/4	口径 7.9 底径 5.5 高さ 5.0	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	手捏ね成形。外面=粗雑な指ナゲ。内面=ヘラナゲ。	
6区遺構外 19	土器 不明	6区表探 口縁破片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③褐色	内外面ナゲ。口縁下に焼成前の穿孔。	
6区遺構外 20	土器 小型甕?	040-770Gr 口縁片	口径 (6.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	手捏ね成形。内外面口縁部横ナゲ。	

2. 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物観察表-2 P.L111・112

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 21	土師器 坏	065-790Gr 略定形	口径 11.0 底径 - 高さ 6.4	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
6区遺構外 22	土師器 坏	045-775Gr 口~体部片	口径 (12.8) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部丁寧なヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区遺構外 23	土師器 坏	6区表採	口径 (13.0) 底径 - 高さ 4.2	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区遺構外 24	土師器 坏	6区表採 1/3	口径 (14.5) 底径 - 高さ 4.6	①微・細砂多、粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部ヘラ削り。内面=口縁部~底部丁寧なナデ。	
6区遺構外 25	土師器 坏	南端部 略定形	口径 12.5 底径 - 高さ 5.4	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③明赤褐色	口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
6区遺構外 26	土師器 坏	040-770Gr 3/4	口径 12.7 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、体部上位ヘラナデ、下位~底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデ。	
6区遺構外 27	土師器 坏	040-770Gr 1/4	口径 (12.1) 底径 - 高さ -	①微・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部上位丁寧なヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部上位ナデ。	
6区遺構外 28	土師器 坏	065-790Gr 1/4	口径 (14.6) 底径 - 高さ -	①微・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部粗いヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区遺構外 29	土師器 坏	040-770Gr 2/3	口径 (13.3) 底径 - 高さ 4.7	①微・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	器形やや歪。外面=口縁部横ナデ、体部上位指ナデ、下位~底部ヘラ削り。内面=口縁部~体部上位横ナデ、下位~底部指ナデ。	
6区遺構外 30	土師器 坏	065-790Gr 3/4	口径 13.8 底径 - 高さ 6.7	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③赤褐色	外面=口縁部~体部上位横ナデ、体部下位~底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区遺構外 31	土師器 坏	49トレンチ 略定形	口径 14.4 底径 - 高さ (6.8)	①微・細・粗砂やや多 ②酸化焙、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部~底部丁寧な指ナデ。内面=口縁部~底部ナデ。内外器面寛れ甚大。	
6区遺構外 32	土師器 坏	065-790Gr 1/2	口径 12.0 底径 - 高さ 5.8	①微・粗砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	口縁部横ナデ、体部~底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後に粗いヘラ磨き。内外器面やや増減。	
6区遺構外 33	土師器 坏	065-790Gr 1/2	口径 13.3 底径 - 高さ 6.2	①微・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ヘラ削り後に粗い刷毛目調整とヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 34	土師器 坏	040-770Gr 1/2	口径 15.8 底径 - 高さ 6.6	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後に粗いヘラ磨き。底部器面脱落のため不明。	
6区遺構外 35	土師器 坏	085-630Gr 1/2	口径 (12.2) 底径 - 高さ 6.5	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 36	土師器 坏	065-790Gr 1/2	口径 14.0 底径 - 高さ 6.1	①微・粗砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、体~底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、口縁~底部粗いヘラ磨き。内外器面やや増減。	
6区遺構外 37	土師器 坏	040-770Gr 口縁片	口径 (15.2) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、体部上位ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 38	土師器 坏	035-770Gr 口~体部片	口径 (13.5) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③赤褐色	口縁内斜。外面=口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ヘラナデ。内面=ナデの後にヘラ磨き。内外器面寛れる。	
6区遺構外 39	土師器 坏	065-790Gr 1/4	口径 (14.2) 底径 - 高さ 4.6	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体部ナデの後に粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 40	土師器 坏	065-790Gr 1/4	口径 (15.0) 底径 - 高さ -	①微・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③灰黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部上位ヘラナデ、下位ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、体~底部ナデの後にヘラ磨き。	

IV 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物整理表-3 P.L112-113

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 41	土師器 坏	055-790Gr 1/2	口径 (13.7) 底径 - 高さ 5.4	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部横ナデ、体部～底部丁寧なヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 42	土師器 坏	055-790Gr 1/2	口径 13.3 底径 - 高さ 5.9	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部内湾。外面＝口縁部横ナデ、体部丁寧なヘラ削り後に上位ヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体～底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 43	土師器 坏	055-790Gr 1/2	口径 14.0 底径 - 高さ 6.2	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部横ナデ、体部～底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後に粗いヘラ磨き。内外器面やや摩滅。	
6区遺構外 44	土師器 坏	069-800Gr 3/4	口径 13.5 底径 - 高さ 4.7	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部内湾。外面＝口縁部横ナデ、体～底部丁寧なヘラ削り、内面＝全面ナデの後にヘラ磨き。内外器面やや荒れる。	
6区遺構外 45	土師器 坏	055-790Gr 1/2	口径 11.6 底径 - 高さ 5.8	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内湾。口縁部横ナデ、体部～底部丁寧なヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部～底部ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 46	土師器 坏	055-790Gr 3/4	口径 12.7 底径 - 高さ 4.9	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝口唇部横ナデ、口縁～体部上位ヘラ磨き、底部丁寧なヘラナデ。内面＝口縁部～底部ナデの後に口縁～体部のムムヘラ磨き。	
6区遺構外 47	土師器 略定形	6区表挿 略定形	口径 13.1 底径 - 高さ 5.0	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	やや肉厚。外面＝口縁～体部指ナデ、底部指押圧。内面＝全面ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 48	土師器 坏	035-770Gr 1/4	口径 (13.4) 底径 - 高さ 4.9	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部横ナデ、体～底部ヘラ削り後にヘラナデ。内面＝全面ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 49	土師器 坏	055-790Gr 1/3	口径 (11.3) 底径 5.2 高さ 5.4	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部指ナデ、底部ヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、体部ナデ。	
6区遺構外 50	土師器 口縁片	055-790Gr	口径 (17.9) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	内外面ナデの後にやや粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 51	土師器 坏	055-790Gr 略定形	口径 13.7 底径 - 高さ 5.6	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝口縁部横ナデ、体～底部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、口縁～底部粗いヘラ磨き。内外器面やや摩滅。	
6区遺構外 52	土師器 小型鉢	060-795Gr 2/3	口径 (11.6) 底径 5.2 高さ 5.6	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	内外面体部指ナデ。	
6区遺構外 53	土師器 鉢?	055-790Gr 口縁片	口径 (19.0) 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部横ナデ、体部ヘラナデ。内面＝口縁～体部ナデ。	
6区遺構外 54	土師器 小型壺 (増)	055-790Gr 略定形	口径 8.4 底径 2.3 高さ 13.4	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝口縁部ナデの後に粗いヘラ磨き、胴部上半ナデ、下半丁寧なヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面＝口縁部ヘラ磨き、胴部ナデ。	
6区遺構外 55	土師器 小型壺 (増)	035-765Gr 口縁欠	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	外面＝胴部上半ナデの後に丁寧なヘラ磨き、下半丁寧なヘラ削りの後に一部ヘラナデ。内面＝ナデ。	
6区遺構外 56	土師器 小型壺 (増)	060-790Gr 胴部	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝胴部上位輪積み痕を残しナデ、胴下半部丁寧なヘラ削り。内面＝胴部輪積み痕を残しナデ。	
6区遺構外 57	土師器 小型壺	040-770Gr 胴部片	口径 (4.4) 底径 - 高さ -	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝胴部丁寧なヘラ削りの後に一部ヘラナデ。内面＝胴部指頭痕を残す指ナデ。	
6区遺構外 58	土師器 壺	035-765Gr 口縁片	口径 (13.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、肩部指頭痕を残す粗い指ナデ。	
6区遺構外 59	土師器 台付壺	055-748Gr 胴～胴部	口径 - 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝胴部やや粗いヘラナデ、脚部ナデ。内面＝胴部ナデ、脚裏粗いヘラナデ。	
6区遺構外 60	土師器 高坏	035-770Gr 1/3	口径 (18.4) 底径 (13.3) 高さ (13.7)	①灰・細砂少 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面＝坏部側面ナデの後にヘラ磨き、下面指ナデ、脚部ナデの後に丁寧なヘラ磨き。内面＝坏部ナデの後に丁寧なヘラ磨き。脚裏ナデ。	

2. 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物観察表-4 P.L.113・114

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	彫形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 61	土師器 高坏	055-790Gr 時定形	口径 16.4 底径 15.2 高さ 12.5	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=坏部ナダの後に側面のみ粗いヘラ磨き、 脚部丁寧なナダ。内面=坏部ナダの後にヘラ磨 き。脚裏ヘラナダ。	
6区遺構外 62	土師器 高坏	045-770Gr 口~脚片	口径 (16.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁-体部横ナダ、坏底部ヘラナダ、脚 部細かいヘラナダ。内面=坏部ナダ、脚裏丁寧 なヘラ削り。	
6区遺構外 63	土師器 高坏	055-790Gr	口径 - 底径 15.1 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③浅黄橙色	脚部外面=ナダの後にヘラ磨き。脚裏奥ヘラ削 り、裾部ヘラナダ。	
6区遺構外 64	土師器 高坏	49トレンチ 脚部	口径 - 底径 (18.0) 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③浅黄橙色	外面=脚部縦方向のヘラ削り後縦方向のナダ。 裾部指ナダ。内面=奥は棒状工具による刺突、 裾部は丁寧なナダ。	
6区遺構外 65	土師器 高坏	045-770Gr 脚部	口径 - 底径 9.5 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=脚部横ナダ。内面=坏部ナダ、脚裏ナダ。	
6区遺構外 66	土師器 高坏	055-790Gr 時定形	口径 17.2 底径 14.3 高さ 13.9	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=坏部~脚部ナダの後に粗いヘラ磨き。坏 部内面=ナダの後に粗いヘラ磨き。脚裏面ヘラ 削り後に裾部のみナダ。	
6区遺構外 67	土師器 高坏	055-790Gr 脚一部欠	口径 18.0 底径 14.3 高さ 13.7	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=坏部ナダの後に側面のみ粗いヘラ磨き、 脚部丁寧なナダの後に粗いヘラ磨き。内面=坏 部ナダの後に粗いヘラ磨き。脚裏ヘラナダ。	
6区遺構外 68	土師器 高坏	035-770Gr 脚部	口径 - 底径 (14.6) 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③明赤橙色	外面=脚部ナダの後にヘラ磨き。脚裏嵌合痕を 残しナダ。	
6区遺構外 69	土師器 高坏	055-790Gr 脚部	口径 - 底径 17.5 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=脚部ナダ、脚部横ナダ。脚部表面棒 状工具による刺突、脚部横ナダ。	
6区遺構外 70	土師器 高坏	040-770Gr 脚部	口径 - 底径 (8.8) 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=脚部横ナダ。内面=坏部ナダ、脚裏ナダ。	
6区遺構外 71	土師器 高坏	040-770Gr 坏~脚部	口径 (16.5) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=坏部上位置ナダ、下位ヘラ削りを残す粗 いヘラナダ、脚部ヘラナダ。内面=坏部口縁横 ナダ、体部ヘラナダ。脚裏棒状工具の刺突。	
6区遺構外 72	土師器 高坏	040-770Gr 坏~脚片	口径 (15.6) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=坏部~脚部丁寧なナダ。内面=坏部ナダ、 脚裏ヘラナダ。	
6区遺構外 73	土師器 高坏	045-775Gr 坏部~脚	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=坏部横面ヘラ磨き、底部ヘラナダ、脚柱 部ヘラ磨き。内面=坏部ヘラナダ、脚裏棒状工 具の刺突。	
6区遺構外 74	土師器 高坏	040-770Gr 脚部	口径 - 底径 13.2 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=脚柱部~脚部横ナダの後に丁寧なヘラ磨 き。脚柱裏ヘラナダ、裾部横ナダ。	
6区遺構外 75	土師器 高坏	040-770Gr 脚部	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	脚柱部外面=ヘラナダ。脚柱部表面棒状工具に よる刺突後一部ナダ。	
6区遺構外 76	土師器 小型壺	055-790Gr 兜形	口径 9.4 底径 - 高さ 8.7	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナダ、体部丁寧なヘラ削り後に 上半部ヘラナダ。内面=口縁部横ナダ、体部丁 家なナダの後に粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 77	土師器 小型壺?	055-790Gr 底部片	口径 - 底径 5.4 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面=底部付近指押圧痕ヘラ削り、一部ヘラ ナダ。内面=ヘラナダ。	
6区遺構外 78	土師器 小型壺	055-785Gr 口一部欠	口径 (12.4) 底径 5.0 高さ 11.4	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナダ、胴部丁寧なヘラ削り。内 面=口縁部横ナダ、胴部丁寧なナダ。外面=胴部 器面剥落。	
6区遺構外 79	土師器 小型壺	055-785Gr 兜形	口径 13.4 底径 5.0 高さ 15.1	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	口縁部横ナダ、胴部全面ヘラ削り後に上半部ヘ ラナダ。内面=ナダ。器内全体にやや厚い。	
6区遺構外 80	土師器 壺	055-790Gr 口~脚片	口径 (12.7) 底径 - 高さ -	①微・粗・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナダ、胴部上半縦方向の剛毛目 調整、下半ヘラ削り。内面=口縁部横ナダ、胴 部輪積み痕を残しナダ、一部に剛毛目調整。	

IV 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物観察表-5

P.L114・115・116・117

遺構名 遺物番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 81	土師器 甕	055-790Gr 略完形	口径 17.5 底径 6.0 高さ 32.0	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位丁寧なヘラナデ、 中位~底部丁寧なヘラナデ後に粗いヘラナデ。 内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
6区遺構外 82	土師器 大甕	045-770Gr 040-775Gr 1/2	口径 28.0 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部ナデ後に粗い甕ぎ、胴部ヘラナデ 後丁寧なヘラナデ、一部粗い甕ぎ。内面=口縁 部~胴部丁寧なナデ。	
6区遺構外 83	土師器 甕	055-790Gr 1/2	口径 17.1 底径 4.8 高さ 27.5	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上半部は刷毛目調整、 下半部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナ デ。	
6区遺構外 84	土師器 甕	055-790Gr 胴~底部片	口径 - 底径 5.0 高さ -	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③橙色	外面=胴部縦方向の丁寧なヘラナデ。内面=ナ デ。	
6区遺構外 85	土師器 甕	060-795Gr 口~胴部	口径 18.8 底径 - 高さ -	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位丁寧なヘラナ デ。内面=口縁部横ナデ、胴部丁寧なナデ。	
6区遺構外 86	土師器 甕	黒褐色土 口~胴下	口径 (17.2) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部全面丁寧なヘラナ デ。内面=口縁部横ナデ、胴部丁寧なナデ。	
6区遺構外 87	土師器 甕	035-765Gr 口~胴中	口径 (16.1) 底径 - 高さ -	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部上半ヘラナデ。内面= 口縁部横ナデ、胴部丁寧なナデ。	
6区遺構外 88	土師器 甕	040-770Gr 2/3	口径 15.4 底径 4.5 高さ 27.7	①灰・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③灰黄色	外面=口縁部~胴部横ナデ、胴部縦方向の丁寧 なヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ヘラナ デ。	
6区遺構外 89	土師器 甕	055-790Gr 胴部	口径 - 底径 (6.8) 高さ -	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=胴部全面ヘラナデ。内面=胴部ナデ、一部 刷毛目ナデ。	
6区遺構外 90	土師器 甕	035-765Gr 口唇部欠	口径 - 底径 8.2 高さ -	①灰・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ後一部ヘラ ナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部丁寧なヘラナ デ。	
6区遺構外 91	土師器 甕	055-790Gr 胴~底部	口径 - 底径 7.0 高さ -	①灰・細砂少、粗砂多 ②酸化塩、良好 ③灰黄褐色	外面=胴部丁寧なヘラナデ後に一部ヘラナデ、 底部ヘラナデ。内面=丁寧なナデ。	
6区遺構外 92	土師器 甕	035-765Gr 口~胴下	口径 18.1 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラナデ。 内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
6区遺構外 93	土師器 甕	055-790Gr 口~胴中	口径 16.9 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部輪積み直を残し横ナデ、胴部縦方 向のヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部輪積 み直を残しヘラナデ。	
6区遺構外 94	土師器 甕	055-790Gr 口縁片	口径 (17.0) 底径 - 高さ -	①灰・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位縦方向のヘラナ デ。内面=口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。外面= 口縁にカーボン付着。	
6区遺構外 95	土師器 甕	055-790Gr 口~胴上	口径 14.8 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③灰黄褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面=口 縁部横ナデ、胴部丁寧ナデ。	
6区遺構外 96	土師器 甕	035-765Gr 口~胴片	口径 (15.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部指圧直線、胴部縦方向のヘラ ナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
6区遺構外 97	土師器 甕	黒褐色土 口縁	口径 22.0 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面=口縁 部横ナデ、胴部丁寧ナデ。	
6区遺構外 98	土師器 甕	055-790Gr 口~胴片	口径 (25.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい赤褐色	外面=口縁部、雑な横ナデ、胴部ヘラナデ後ヘ ラナデ。内面=ナデの後にやや粗い縦方向のヘ ラナデ。	
6区遺構外 99	土師器 甕	035-770Gr 口縁片	口径 (24.0) 底径 - 高さ -	①灰・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③橙色	外面=口縁部輪積み直を残し横ナデ、胴部ヘラ ナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 100	土師器 甕	035-765Gr 1/3	口径 (20.0) 底径 6.4 高さ 26.8	①灰・細・粗砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい橙色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラナデ、 底部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ヘラ ナデ、一部指ナデ。	

2. 遺構と遺物

6区 遺構外出土 遺物観察票-6 P.L.114・116・117・118

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 101	土師器 壺	055-790Gr 口～胴片	口径 (17.4) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り。 内面＝口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 102	土師器 壺	055-790Gr 口縁片	口径 (16.8) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位丁寧なヘラ削り。 内面＝口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。	
6区遺構外 103	土師器 壺	055-790Gr 口～胴片	口径 17.6 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位粗いヘラナデ。 内面＝口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
6区遺構外 104	土師器 壺	055-790Gr 口縁片	口径 (15.4) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位縦方向のヘラ削り。 内面＝口縁部横ナデ、胴部上位指面圧痕を残す指ナデ。	
6区遺構外 105	土師器 壺	035-765Gr 035-770Gr 1/2	口径 (15.0) 底径 (7.5) 高さ 22.1	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラナデ、 胴部縦方向のヘラ削り。内面＝口縁部横ナデ、 胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 106	土師器 壺 胴～底部片	055-790Gr 胴～底部片	口径 - 底径 6.0 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③灰褐色	外面＝胴部縦方向の丁寧なヘラ削り。内面＝ナデ。	
6区遺構外 107	土師器 壺 (有段口縁)	055-790Gr 口縁片	口径 (16.3) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	口縁部内外共に横ナデ。	
6区遺構外 108	土師器 壺	6区黒色土 口縁片	口径 (19.8) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面＝口縁部横ナデの後に下半のみ粗いヘラ磨き。 内面＝口縁部横ナデの後に粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 109	土師器 壺	055-790Gr 胴～底部	口径 - 底径 5.5 高さ -	①微・細・粗砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝胴部～底部丁寧な縦方向のヘラ削り。内面＝胴部ナデ。	
6区遺構外 110	土師器 壺	055-790Gr 胴下～底	口径 - 底径 6.5 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③黒褐色	外面＝胴部下半丁寧なヘラ削り。内面＝胴部下半ナデ。外面～胴部下半指面に灰化物付着。	
6区遺構外 111	土師器 壺	055-790Gr 略定形	口径 16.4 底径 8.5 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上丁寧なヘラナデ、 下半削り痕を残す粗いヘラナデ。内面＝口 縁部横ナデ、胴部ナデ、底部付近ヘラナデ。	
6区遺構外 112	土師器 壺	055-790Gr 胴下半部	口径 - 底径 7.6 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③橙色	外面＝胴部中位ヘラナデ、胴下半部ヘラ削り。 内面＝胴～底部ナデ。	
6区遺構外 113	土師器 壺 (有段口縁)	035-765Gr 口～胴片	口径 (19.7) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ後に粗 いヘラ磨き。内面＝口縁部横ナデ、胴部指ナ デ。	
6区遺構外 114	土師器 壺	055-790Gr 口～胴片	口径 (15.8) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部～胴部上位ナデの後に粗いヘラ磨 き、胴下半部ヘラナデ。内面＝口縁部横ナデ、 胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 115	土師器 壺	055-790Gr 底部片	口径 - 底径 7.0 高さ -	①微・細砂やや多 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	外面＝胴部ヘラ削り、底部ヘラ削り。内面＝ナ デ。	
6区遺構外 116	土師器 壺 (有段口縁)	035-770Gr 口～胴片	口径 (16.2) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面＝ 口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 117	土師器 壺 (有段口縁)	055-790Gr 口縁片	口径 (23.3) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい橙色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面＝ 口縁部横ナデ、胴部上位ナデ。	
6区遺構外 118	土師器 壺 (有段口縁)	As-B下砂糠 口～胴片	口径 (15.2) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ。内面＝ 口縁部横ナデ、胴部指ナデ。	
6区遺構外 119	土師器 壺 (有段口縁)	050-780Gr 口縁片	口径 (20.2) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②酸化焙、良好 ③にぶい黄褐色	外面＝口縁部上位横ナデ、下位一部指ナデ。内 面＝口縁部上横ナデ、下位ヘラナデ。	
6区遺構外 120	土師器 瓶?	055-790Gr 口～胴片	口径 (26.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②酸化焙、良好 ③にぶい褐色	外面＝口縁部粗い横ナデ、胴部縦方向のヘラ削 り後一部ヘラナデ。内面＝丁寧なナデ。	

IV 遺構と遺物

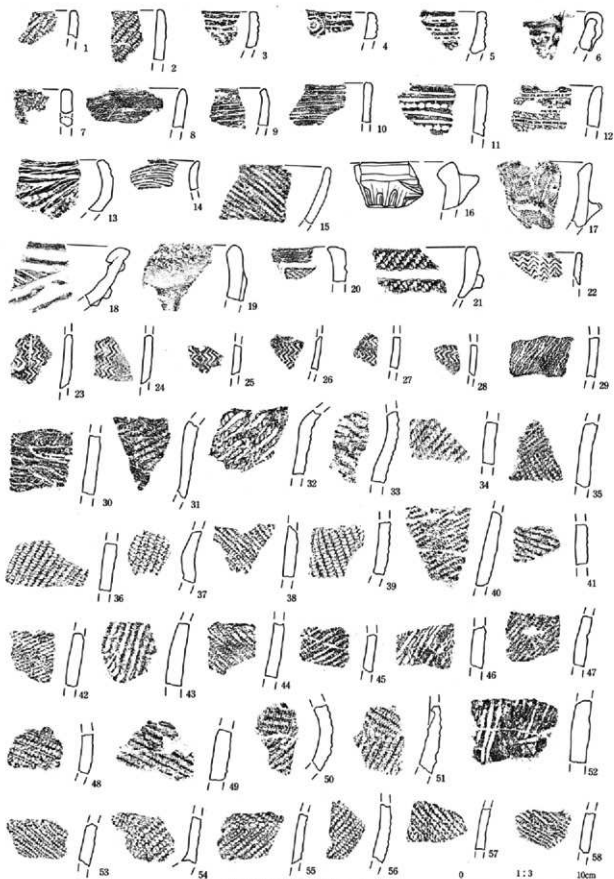
6区 遺構外出土 遺物観察表-7			P.L114・116・117・118			
遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 121	土師器 甕	055-790Gr 口~胴片	口径 (21.6) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	外面=口縁部粗い横ナデ、胴部ヘラ削り後一部ヘラナデ。内面=ナデ後にやや粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 122	土師器 甕 (一穴)	045-770Gr 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②還元焰、良好 ③にぶい藍色	孔径2.0cm。外面=胴部ヘラ削り。内面=胴部ナデ。	
6区遺構外 123	土師器 甕 (一穴)	035-765Gr 1/2	口径 (22.7) 底径 (9.4) 高さ 20.5	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③灰褐色	外面=口縁部粗い横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り、一部ヘラナデ。内面=ナデ後にやや粗いヘラ磨き。	
6区遺構外 124	土師器 甕 (一穴)	055-790Gr 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③にぶい赤褐色	推定孔径7.6cm。外面=胴部ヘラ削り後ヘラナデ。内面=胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 125	土師器 甕 (一穴)	49トレンチ 3/4	口径 23.5 底径 9.0 高さ 23.3	①微・細・粗砂やや多 ②還元焰、良好 ③褐色	外面=口縁部ヘラナデ、胴部下から上への縦方向ヘラ削り。内面=口縁部横ナデ、胴部全面ナデの後にヘラ磨き。	
6区遺構外 126	土師器 甕 (一穴)	055-790Gr 1/2	口径 (25.8) 底径 (8.6) 高さ 25.2	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部粗い横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り後一部ヘラナデ。内面=丁寧なナデ。	
6区遺構外 127	土師器 甕 (一穴)	055-790Gr 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③にぶい黄褐色	孔径3.5cm。外面=胴部ヘラ削り。内面=胴部ヘラナデ。	
6区遺構外 128	土師器 甕?	055-790Gr 060-795Gr 口~胴片	口径 (32.0) 底径 - 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②還元焰、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り。内面=横方向のヘラナデ。	
6区遺構外 129	須恵器 坏	055-790Gr 1/2	口径 (14.6) 底径 7.4 高さ 3.5	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③暗青灰色	ロクロ成・整形。底部糸切り。	
6区遺構外 130	須恵器 坏	045-775Gr 1/2	口径 (12.6) 底径 (5.8) 高さ 3.7	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。回転糸切り。体部外面に墨書文字。逆位の「午」・「戌」干支。	墨書土器
6区遺構外 131	須恵器 坏	045-780Gr 1/3	口径 (14.8) 底径 6.8 高さ 5.0	①微・細砂少 ②還元焰、やや良 ③灰黄色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り痕残る。内面=底部摩滅。	
6区遺構外 132	須恵器 坏	045-780Gr 口縁片	口径 (13.3) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、やや良 ③灰黄色	ロクロ成・整形。体部内面に墨書文字。	墨書土器
6区遺構外 133	須恵器 坏	060-800Gr 1/5	口径 (12.8) 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰黄色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り痕残す。	
6区遺構外 134	須恵器 坏	040-770Gr 1/5	口径 (12.0) 底径 (5.9) 高さ 4.2	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成・整形。底部回転糸切り痕残る。外面体部に逆位の「長」墨書文字。	墨書土器
6区遺構外 135	須恵器 坏	表採 体部片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰黄色	ロクロ成・整形。外面=底部回転糸切り。体部に横位「大」?墨書。	墨書土器
6区遺構外 136	須恵器 坏	040-770Gr 1/2	口径 (14.5) 底径 6.6 高さ 5.9	①微・細砂少 ②還元焰、やや不良 ③にぶい黄褐色	ロクロ成・整形。底部高台内側に回転糸切り痕。	
6区遺構外 137	須恵器 甕	040-775Gr 1/2	口径 (13.1) 底径 (8.1) 高さ 6.1	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。底部高台内側に回転糸切り痕を残す。内面底部に墨書文字。	墨書土器
6区遺構外 138	須恵器 甕	040-775Gr 底部片	口径 - 底径 6.9 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成・整形。底部高台内側に回転糸切り痕残る。	
6区遺構外 139	須恵器 高坏?	075-825Gr 体部片	口径 (14.0) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③黒褐色	ロクロ成・整形。坏部内面=自然輪付着。	
6区遺構外 140	須恵器 甕?	055-785Gr 胴~高台片	口径 - 底径 (14.2) 高さ -	①微・細砂少、粗砂多 ②還元焰、良好 ③青灰色	ロクロ成・整形。高台部取り付け。外面=胴部一部ヘラ調整。	

2. 遺構と遺物

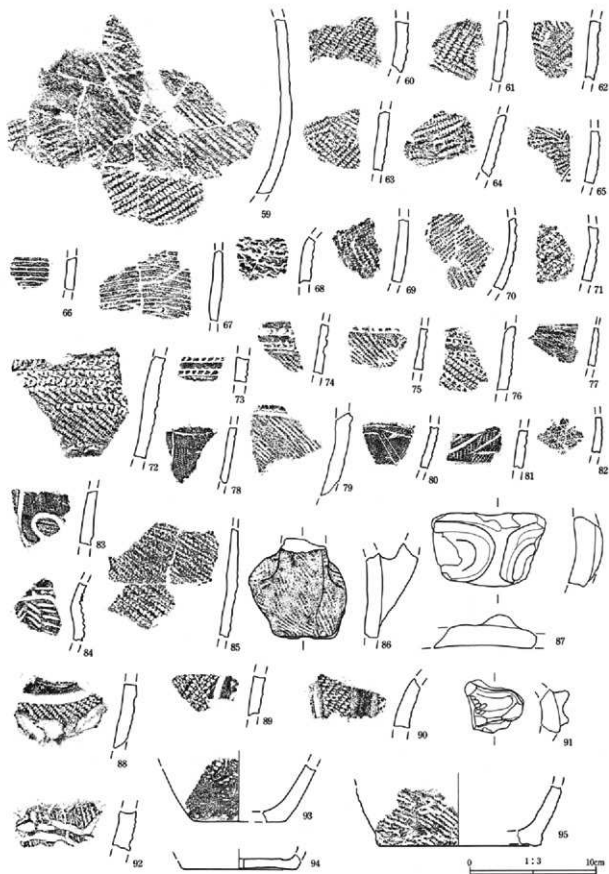
6区 遺構外出土 遺物調査表-8 P.L118-119

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状況	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
6区遺構外 141	須恵器 甕	045-770Gr 口縁欠	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③オリーブ黒色	口縁部波状紋。ロクロ成・整形、底部封印後ヘラナデ。口縁内・肩部に自然輪痕下。	
6区遺構外 142	須恵器 甕	065-627Gr 1/5	口径 12.5 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成・整形。外面=上部手持ちへ調整。	
6区遺構外 143	須恵器 甕	040-780Gr 1/5	口径 15.8 底径 - 高さ -	①微・細砂少 ②還元焰、良好 ③青灰色	ロクロ成・整形。上面回転へ調整。	
6区遺構外 144	須恵器 大甕	045-775Gr 口縁片	口径 (41.8) 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③黄灰色	口縁部外面=波状紋。	
6区遺構外 145	須恵器 甕型甕	045-775Gr 破片	口径 - 底径 - 高さ -	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③灰褐色	外面=縦方向の沈線と波状紋を施文。内面=縦方向のナデ。	特異遺物
6区遺構外 146	土製品 羽口	045-780Gr 破片	長さ - 巾 - 厚さ 2.7	①微・細・粗砂少 ②還元焰、良好 ③にぶい橙色	手摺ね成形。一部還元化。	
6区遺構外 147	ガラス玉	085-630Gr 定形	長さ 0.35 巾 0.35 厚さ 0.2	素材 青色ガラス 重量 0.032g	孔径1.0mm	祭祀関連
6区遺構外 148	磁石	035-765Gr 1/2	長さ 7.1 巾 7.7 厚さ 2.4	石材 粗粒輝石安山岩 重量 147.12g	4面使用。荒砥。	
6区遺構外 149	滑石製 模造品 (鏡形)	045-775Gr 略定形	長さ 2.3 巾 2.65 厚さ 0.35	石材 蛇紋岩 重量 3.136g	鏡形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2箇所。	祭祀関連
6区遺構外 150	滑石製 模造品 (剣形)	045-775Gr 定形	長さ 3.1 巾 1.5 厚さ 0.35	石材 滑石 重量 3.345g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2穴、孔径0.2cm。	祭祀関連
6区遺構外 151	滑石製 模造品	6区表採 略定形	長さ 3.8 巾 2.2 厚さ 0.45	石材 蛇紋岩 重量 5.31g	穴径0.2cm。	祭祀関連
6区遺構外 152	滑石製 模造品 (鏡形)	040-770Gr 定形	長さ 3.4 巾 1.9 厚さ 0.3	石材 蛇紋岩 重量 3.041g	鏡形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2箇所。	祭祀関連
6区遺構外 153	滑石製 模造品	035-765Gr 略定形	長さ 3.5 巾 2.5 厚さ 0.4	石材 滑石 重量 4.068g	穿孔1箇所。	祭祀関連
6区遺構外 154	滑石製 模造品 (劍形)	6区 定形	長さ 3.1 巾 1.6 厚さ 0.35	石材 滑石 重量 4.0g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2穴、孔径0.2cm。	祭祀関連
6区遺構外 155	滑石製 模造品 (剣形)	045-780Gr 定形	長さ 4.7 巾 2.05 厚さ 0.37	石材 蛇紋岩 重量 6.700g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2箇所。	祭祀関連
6区遺構外 156	滑石製 模造品 (剣形)	045-780Gr 定形	長さ 4.9 巾 1.7 厚さ 0.35	石材 蛇紋岩 重量 5.354g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2箇所。	祭祀関連
6区遺構外 157	滑石製 模造品 (剣形)	040-770Gr 略定形	長さ 3.9 巾 1.75 厚さ 0.6	石材 滑石 重量 4.577g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2箇所。	祭祀関連
6区遺構外 158	滑石製 模造品 (剣形)	040-775Gr 上部欠	長さ 3.7 巾 1.5 厚さ 0.5	石材 滑石 重量 4.52g	剣形石製模造品。表裏面に工作時削痕残る。穿孔2穴、孔径0.2cm。	祭祀関連

IV 遺構と遺物

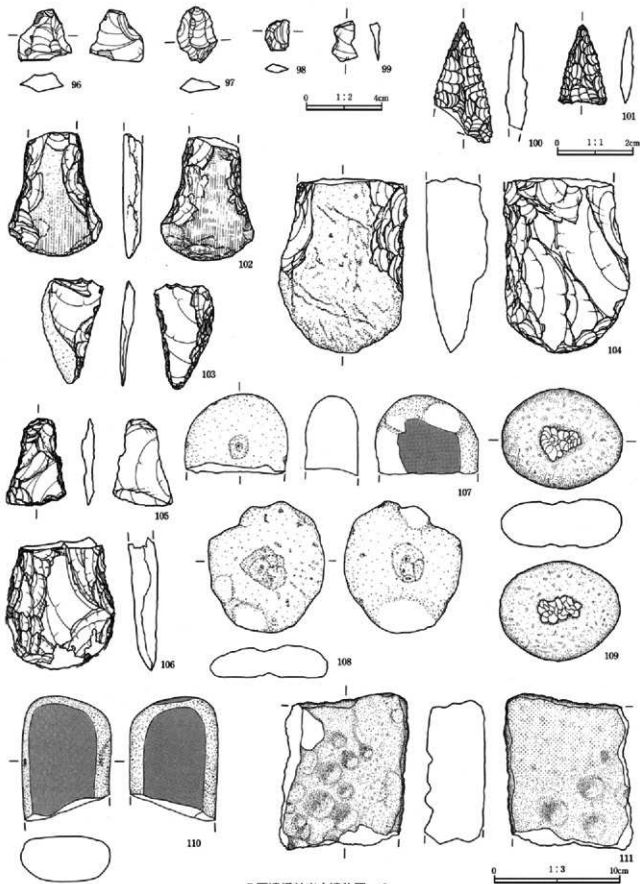


7区遺構外出土遺物図一1



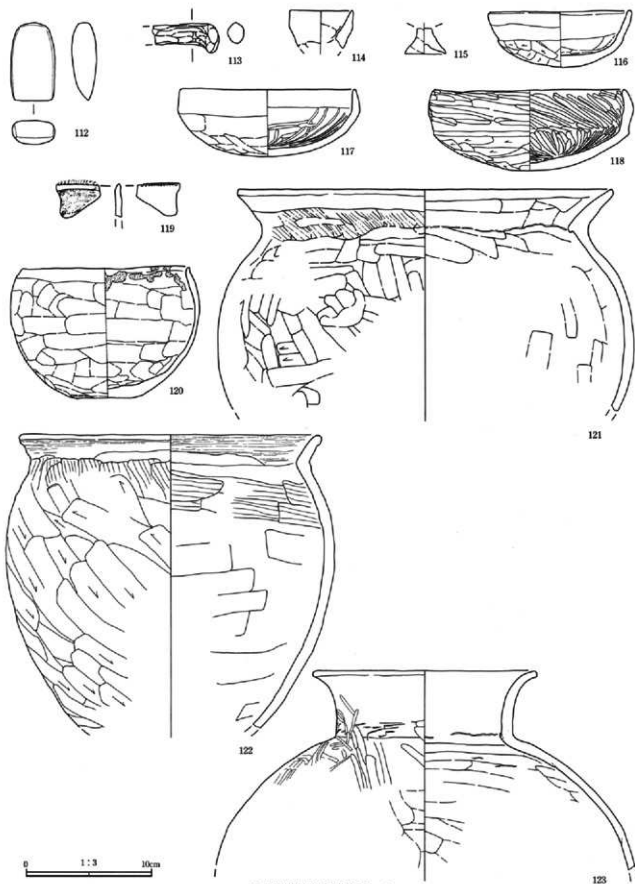
7区遺構外出土遺物図-2

IV 遺構と遺物



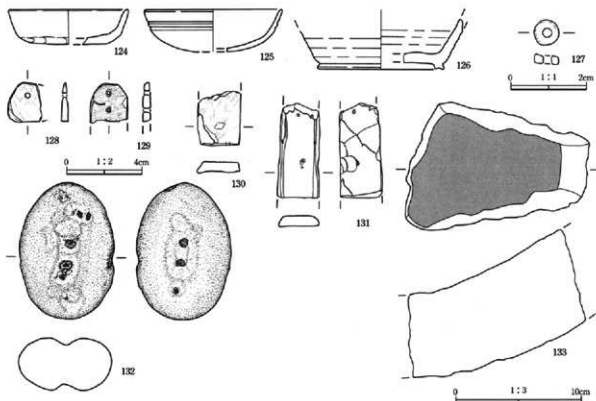
7区遺構外出土遺物図一3

2. 遺構と遺物



7区遺構外出土遺物図一4

IV 遺構と遺物



7区遺構外出土遺物図-5

7区 遺構外出土 遺物観察表-1

P L 119・120

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 1	縄文土器 深鉢	72住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③暗褐色	表面が磨滅している。R L縄文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 2	縄文土器 深鉢	31号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。R L縄文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 3	縄文土器 深鉢	72号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③黒褐色	口縁部に平行沈線を横位に施文し、L R縄文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 4	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい褐色	口縁部に平行沈線を円形に施文。平行する刺突文を横位に施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 5	縄文土器 深鉢	75号住 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい赤褐色	半軟竹管による横位の平行沈線中に刺突文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 6	縄文土器 深鉢	72号住 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい赤褐色	耳状の把手を貼付。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 7	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい赤褐色	補修孔有り。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 8	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③黒褐色	前期前半。黒沢。	
7区遺構外 9	縄文土器 深鉢	7区表採 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③にぶい褐色	横位の平行沈線を挟み、波状文施文。前期前半。	
7区遺構外 10	縄文土器 深鉢	72住掘方 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③にぶい褐色	半軟竹管による横位の平行沈線を粗雑に施文。前期前半。黒沢 a。	

2. 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物観察表-2 P.L119・120

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①粘土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 11	縄文土器 深鉢	7区表採 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	横位の平行沈線と刺突文列を1単位として繰り返し施文。踏破も。	
7区遺構外 12	縄文土器 深鉢	31号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	半載竹管による横位の平行沈線中に半載竹管による爪形文を施文。踏破も。	
7区遺構外 13	縄文土器 深鉢	7区表採 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口緣部に平行する浮線文を貼付。そこから浮線文による彫垂文を垂らす。踏破も。	
7区遺構外 14	縄文土器 深鉢	29号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③褐色	半載竹管による横位の平行沈線を施文。十三番提。	
7区遺構外 15	縄文土器 深鉢	74号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面がやや磨滅している。R.L縄文施文。前期後半。	
7区遺構外 16	縄文土器 深鉢	40号溝 把手	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③褐色	表面が著しく磨滅する。突起状に盛り上がる隆帯部より口緣に平行する隆帯、および垂直に下がる隆帯を貼付。中期中葉。阿玉台。	
7区遺構外 17	縄文土器 深鉢	7区表採 把手	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	表面が著しく磨滅する。口緣部下に把手状貼付。中期中葉。阿玉台。	
7区遺構外 18	縄文土器 深鉢	7区表採 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口緣部に平行する隆帯及び斜行する隆帯の区画内に平行沈線を施文する。加曾利E2。	
7区遺構外 19	縄文土器 深鉢	43号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②やや不良 ③橙色	表面が著しく磨滅する。口緣部に隆帯を貼付。加曾利E3。	
7区遺構外 20	縄文土器 深鉢	56号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③褐色	表面がやや磨滅する。横位に沈線を施文。加曾利E3。	
7区遺構外 21	縄文土器 深鉢	40号溝 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③灰褐色	隆帯を横位に貼付。L.R縄文施文。中期後半。	
7区遺構外 22	縄文土器 深鉢	49号住 口緣片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨滅している。山形押型文を横位に施文。押型文。	
7区遺構外 23	縄文土器 深鉢	49号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨滅している。№24～28と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 24	縄文土器 深鉢	49号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が著しく磨滅している。№24・25～28と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 25	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。№23・24・26～28と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 26	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨滅している。№24・25・27～28と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 27	縄文土器 深鉢	42号溝 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③橙色	表面が著しく磨滅している。№23～26・28と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 28	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨滅している。№23～27と同一個体。山形押型文を縦位に施文。押型文。	
7区遺構外 29	縄文土器 深鉢	7区表採 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。R.L縄文施文。前期前半。黒浜。	
7区遺構外 30	縄文土器 深鉢	42号溝 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰褐色	表面が磨滅している。前期前半。黒浜。	

IV 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物観察表-3 P.L119-120

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 31	縄文土器 深鉢	71住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 32	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい赤褐色	L縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 33	縄文土器 深鉢	82号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 34	縄文土器 深鉢	72号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。L縄文施文。前期前半。 黒沢。	
7区遺構外 35	縄文土器 深鉢	35号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が著しく磨滅している。L・R・R L縄文を 羽状に施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 36	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰黄褐色	表面が磨滅している。R L縄文を施文。前期前 半。黒沢。	
7区遺構外 37	縄文土器 深鉢	96土坑 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。R L縄文を施文。前期前 半。黒沢。	
7区遺構外 38	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	L R縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 39	縄文土器 深鉢	72住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	L R縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 40	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい赤褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 41	縄文土器 深鉢	32住カマド 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい赤褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 42	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 43	縄文土器 深鉢	26住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 44	縄文土器 深鉢	72住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が磨滅している。L R縄文施文。前期前 半。黒沢。	
7区遺構外 45	縄文土器 深鉢	32号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 46	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰褐色	表面が磨滅している。L R縄文施文。前期前 半。黒沢。	
7区遺構外 47	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰褐色	表面が著しく磨滅している。縄文(?)施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 48	縄文土器 深鉢	77号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面がやや磨滅している。L R・R L縄文を羽 状に施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 49	縄文土器 深鉢	43号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②やや不良 ③にぶい黄褐色	表面が著しく磨滅している。No51と同一型体? R L縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 50	縄文土器 深鉢	43号溝 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②やや不良 ③にぶい黄褐色	表面が磨滅している。羽状縄文施文。前期前 半。黒沢。	

2. 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物調査表-4 P.L119-120

遺構名 遺物番号	種別 器 種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 51	縄文土器 深鉢	43号住 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②やや不良 ③灰黄色	表面が著しく磨減している。No49と同一個 体? L・R・R縄文を羽状に施文。前期前半。 黒沢。	
7区遺構外 52	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③橙色	表面が著しく磨減する。縦位の平行沈線区画内 に縄文(?)施文。中期後半。	
7区遺構外 53	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③黒褐色	R L縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 54	縄文土器 深鉢	43号住 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい橙色	表面が磨減している。L R・R L縄文を羽状に 施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 55	縄文土器 深鉢	72住カマド 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③明赤褐色	表面が磨減している。結節羽状縄文施文。前期 前半。黒沢。	
7区遺構外 56	縄文土器 深鉢	40号溝 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	L R縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 57	縄文土器 深鉢	5井戸 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	R L縄文施文。前期前半。	
7区遺構外 58	縄文土器 深鉢	75住掘方 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	No75・70と同一個体。L R縄文施文。前期前半。 黒沢。	
7区遺構外 59	縄文土器 深鉢	74号住 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が著しく磨減している。羽状縄文(?)施 文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 60	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③橙色	R L縄文施文。中期後半。	
7区遺構外 61	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい黄褐色	表面が磨減している。L R・R L縄文を羽状に 施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 62	縄文土器 深鉢	72号住 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい橙色	L R・R L縄文を羽状に施文。羽状の単位が対 になり、変形の無文部を呈す。前期前半。黒 沢。	
7区遺構外 63	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい橙色	L R・R L縄文を羽状に施文。羽状の単位が対 になり、変形の無文部を呈す。前期前半。黒 沢。	
7区遺構外 64	縄文土器 深鉢	72住カマド 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰黄褐色	表面が磨減している。L R縄文施文。前期前 半。黒沢。	
7区遺構外 65	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③灰黄褐色	半截竹管によるV字文施文。地文はR L縄文施 文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 66	縄文土器 深鉢	72住掘方 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	半截竹管による横位の平行沈線を粗線に施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 67	縄文土器 深鉢	72住掘方 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	半截竹管による横位の平行沈線を粗線に施文。 前期前半。黒沢。	
7区遺構外 68	縄文土器 深鉢	96土坑 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	R L R縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 69	縄文土器 深鉢	7区表探 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい赤褐色	表面が磨減している。羽状縄文(?)施文。前 期前半。黒沢。	
7区遺構外 70	縄文土器 深鉢	75住掘方 期部片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が磨減している。No75・58と同一個体。 L R・R L縄文を羽状に施文。前期前半。黒沢。	

IV 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物観察表-5 P.L.120

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 71	縄文土器 深鉢	72号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③によい褐色	表面が磨滅している。LR縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 72	縄文土器 深鉢	72号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい赤褐色	結節羽状縄文施文。前期前半。	
7区遺構外 73	縄文土器 深鉢	42号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③によい褐色	半截竹管による横位の平行沈線中に半截竹管による爪形文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 74	縄文土器 深鉢	75住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③赤褐色	半截竹管による横位の平行沈線中に半截竹管による爪形文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 75	縄文土器 深鉢	75住掘方 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③によい褐色	No.58・70と同一器体。半截竹管による横位の平行沈線中に半截竹管による爪形文を施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 76	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③によい褐色	半截竹管による横位の平行沈線中に半截竹管による爪形文を施文。RL縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 77	縄文土器 深鉢	45号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③灰褐色	格子目文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 78	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい黄褐色	表面が著しく磨滅する。沈線を進し字状に施文。加曾利B2。	
7区遺構外 79	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい褐色	表面が磨滅する。横位の平行沈線区画下に赤糸文施文。加曾利E1-2。	
7区遺構外 80	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③灰褐色	表面が磨滅する。平行沈線区画内に縄文(?)施文。堀之内2。	
7区遺構外 81	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい黄褐色	表面が磨滅する。平行沈線区画内に縄文(?)施文。堀之内2。	
7区遺構外 82	縄文土器 深鉢	75号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 - ②良好 - ③によい褐色	表面が磨滅している。格子目文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 83	縄文土器 深鉢	56号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③灰褐色	表面が磨滅する。平行沈線による丁字状文を施文。称名寺1。	
7区遺構外 84	縄文土器 深鉢	43号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい黄褐色	横位の沈線区画内に線杉文を施文。区画外沿いに刺突文を施文。曾利4。	
7区遺構外 85	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい褐色	踏張b。	
7区遺構外 86	縄文土器 深鉢	73号住 把手	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③灰褐色	表面が磨滅する。LR縄文施文。加曾利E3。加曾利E4。	
7区遺構外 87	縄文土器 深鉢	7区表探 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②やや不良 - ③によい褐色	表面が著しく磨滅する。口縁部に隆帯による区画。加曾利E3。	
7区遺構外 88	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい褐色	弧状の沈線区画内にRL縄文施文。加曾利E3。	
7区遺構外 89	縄文土器 深鉢	55号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②良好 - ③によい赤褐色	縦位の沈線区画内にRL縄文施文。加曾利E3。	
7区遺構外 90	縄文土器 深鉢	7区表探 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 - ②やや不良 - ③によい褐色	表面がやや磨滅する。縦位の沈線区画内にRL縄文施文。加曾利E3。	

2. 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物観察表-6 P.L.119・120

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 91	縄文土器 深鉢	42号住 把手	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	隆帯による区画内に平行斜突文を施文。中期中葉。阿玉台。	
7区遺構外 92	縄文土器 深鉢	77号住 胴部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②やや不良 ③明細灰色	表面がやや磨減する。弧状の平行沈線より平行沈線を垂らし、その区画内に縄文(?)施文。加曾利E3。	
7区遺構外 93	縄文土器 深鉢	7区表探 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	中期後半。加曾利E3。	
7区遺構外 94	縄文土器 深鉢	7区表探 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 ②良好 ③明赤褐色	前期前半。	
7区遺構外 95	縄文土器 深鉢	64住掘方 底部片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい褐色	表面が磨減している。R.L縄文施文。前期前半。黒沢。	
7区遺構外 96	石器 剥片	74住掘方	長さ 2.7 巾 2.7 厚さ 1.6	石材 チャート 重量 7.56g		
7区遺構外 97	石器 剥片	40住埋土	長さ 2.9 巾 2.1 厚さ 0.7	石材 チャート 重量 3.92g		
7区遺構外 98	石器 剥片	34住埋土	長さ 1.6 巾 1.2 厚さ 0.35	石材 チャート 重量 0.83g		
7区遺構外 99	石器 剥片	58住埋土	長さ 1.9 巾 1.3 厚さ 0.4	石材 チャート 重量 0.88g		
7区遺構外 100	縄文石器 石鏝	42号住	長さ 3.1 巾 1.5 厚さ 0.6	石材 チャート 重量 1.758g	基部欠損。	
7区遺構外 101	縄文石器 石鏝	7区表探 兜形	長さ 2.1 巾 1.4 厚さ 0.35	石材 チャート 重量 0.762g		
7区遺構外 102	縄文石器 打製石斧	76住掘方	長さ 9.8 巾 7.4 厚さ 1.5	石材 黒色頁岩 重量 135.0g	基部を欠く。	
7区遺構外 103	石器 スクレイパー	85号住	長さ 8.3 巾 3.8 厚さ 0.8	石材 黒色頁岩 重量 33.0g		
7区遺構外 104	縄文石器 打製石斧	7区表探 1/2	長さ 13.8 巾 10.0 厚さ 4.8	石材 ホルンフェルス 重量 904g	基部欠損。	
7区遺構外 105	縄文石器 打製石斧	31号住	長さ 6.8 巾 4.7 厚さ 1.0	石材 黒色頁岩 重量 35.0g	刃部を欠く。	
7区遺構外 106	縄文石器 打製石斧	7区表探 1/2	長さ 10.9 巾 7.5 厚さ 4.2	石材 ホルンフェルス 重量 215g	基部欠損。刃部にガジリ有り。	
7区遺構外 107	縄文石器 凹石	74号住	長さ 8.1 巾 6.2 厚さ 4.2	石材 粗粒輝石安山岩 重量 348g	裏面は磨石。	
7区遺構外 108	縄文石器 凹石	74号住	長さ 10.2 巾 9.2 厚さ 2.5	石材 角閃石安山岩 重量 260g	裏面は磨石。	
7区遺構外 109	縄文石器 凹石	52号住	長さ 5.9 巾 7.8 厚さ 3.8	石材 粗粒輝石安山岩 重量 395g	表裏面使用。	
7区遺構外 110	縄文石器 磨石	83号住	長さ 9.7 巾 6.9 厚さ 3.5	石材 緑色片岩 重量 450g	表裏面使用。	

IV 遺構と遺物

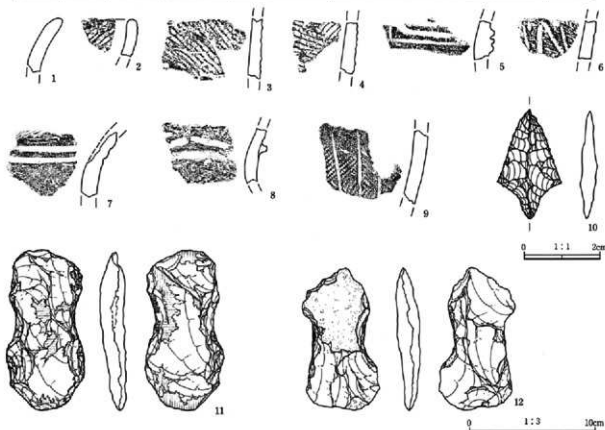
7区 遺構外出土 遺物観察表-7 P.L120・121

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状況	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 111	縄文石器 凹石 凹石	7区表採	長さ 11.7 巾 9.5 厚さ 4.6	石材 凝灰岩 重量 920g	表裏面使用。一部欠を受ける。	
7区遺構外 112	縄文石器 磨製石斧 ミニチュア	43号住 完形	長さ 6.1 巾 3.5 厚さ 2.0	石材 緑色片岩 重量 73.0g		
7区遺構外 113	土製品 髹	7区表採	長さ 5.2 巾 1.6 厚さ 1.3	①糠・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③褐色	ヘラ削り・ヘラナデ調整。	
7区遺構外 114	手捏ね	確認面 1/2	口径 (5.0) 底径 - 高さ -	①糠・細砂少 ②酸化塩、良好 ③赤褐色	やや粗雑な手捏ね成・整形。	
7区遺構外 115	ミニチュア 高坏	7区表採 髹部	口径 - 底径 (3.2) 高さ -	①糠・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	手捏ね成・整形。	
7区遺構外 116	土器器 坏	7区表採 完形	口径 11.0 底径 - 高さ 4.4	①糠・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい黄褐色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧なヘラ削り。 内面=口縁部横ナデ、体部~底部丁寧な指ナデ。	
7区遺構外 117	土器器 坏	7区表採 略完形	口径 13.9 底径 - 高さ 5.3	①糠・細砂少 ②酸化塩、良好 ③明赤褐色	外面=口縁部横ナデ、体部~底部ヘラ削り後にヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、体部~底部ナデの後にヘラ磨き。	
7区遺構外 118	土器器 坏	7区表採 完形	口径 15.0 底径 - 高さ 6.3	①糠・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③赤褐色	器内やや厚い。外面=口縁部ナデの後横方向の丁寧なヘラ磨き。体部丁寧なヘラ削り。内面=全面ナデの後に丁寧なヘラ磨き。	
7区遺構外 119	土器器 壺?	7区表採 口縁片	口径 - 底径 - 高さ -	①糠・細砂少 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	口唇部縮形。内外面丹形。	
7区遺構外 120	土器器 鉢	7区表採 2/3	口径 13.2 底径 4.4 高さ 10.2	①糠・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③灰褐色	外面=口縁部横ナデ、体部やや粗雑なヘラナデ、下位ヘラ削り。内面=全面ナデ、口縁部黒色付着物。	
7区遺構外 121	土器器 壺	7区表採 口~胴片	口径 (29.4) 底径 - 高さ -	①糠・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部粗い刷毛目状ナデ、胴部ヘラ削り後に一部ヘラナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部ナデ。	
7区遺構外 122	土器器 壺	7区表採 口~胴片	口径 (23.9) 底径 - 高さ -	①糠・細・粗砂やや多 ②酸化塩、良好 ③にぶい褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部目の粗い刷毛目状ナデ、胴部丁寧なヘラ削り。内面=胴部上位目の粗い刷毛目状ナデ、下位ヘラナデ。	
7区遺構外 123	土器器 壺	7区表採 口~胴片	口径 (17.5) 底径 - 高さ -	①糠・細砂やや多 ②酸化塩、良好 ③褐色	外面=口縁部横ナデ、胴部上位ナデの後に粗いヘラ磨き、中位ヘラ削り後に粗いナデ。内面=口縁部横ナデ、胴部指ナデ。	
7区遺構外 124	須恵器 坏	7区表採 1/4	口径 (9.5) 底径 (6.0) 高さ 2.7	①糠・細砂少 ②還元塩、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。外側一部底部付近静止ヘラナデ。外面=底部切り離し後静止ヘラ調整。	
7区遺構外 125	須恵器 坏	7区表採 1/8	口径 (10.9) 底径 - 高さ 3.3	①糠・細砂少 ②還元塩、良好 ③灰色	ロクロ成・整形。外側=底部切り離し後静止ヘラ調整。	
7区遺構外 126	灰釉陶器 瓶	39位埋土 底部破片	口径 - 底径 10.0 高さ -	①糠・細砂少 ②還元塩、良好 ③明赤褐色	ロクロ成・整形。内面=底部中央に輪重痕。	
7区遺構外 127	滑石製 白玉	7区表採 完形	長さ 0.65 巾 0.65 厚さ 0.2	石材 滑石 重量 0.188g	孔径2.0mm。	祭祀関連
7区遺構外 128	滑石製 模造品	7区表採 下部欠	長さ 2.0 巾 1.8 厚さ 0.4	石材 滑石 重量 2.471g	表裏面に工作時痕が残る。穿孔1穴。	祭祀関連
7区遺構外 129	滑石製 模造品 (削形?)	7区表採 下部欠	長さ 2.0 巾 1.9 厚さ 0.4	石材 蛇紋岩 重量 3.445g	削形石製模造品。表裏面に工作時痕が残る。穿孔2穴。	祭祀関連
7区遺構外 130	石製品 砥石	7区表採 破片	長さ (4.2) 巾 3.4 厚さ (0.6)	石材 地質粘板岩 重量 17.0g	上面のみ使用。	

2. 遺構と遺物

7区 遺構外出土 遺物観察表-8 P L 121

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
7区遺構外 131	石製品 不明	7区表採	長さ 7.31 巾 3.2 厚さ 0.8	石材 黒色頁岩 重量 39.0g	表面をかまぼこ状に成・整形。表面は未加工の自然面。	
7区遺構外 132	石製品 凹石	7区表採 完形	長さ 10.8 巾 7.4 厚さ 4.1	石材 粗粒輝石安山岩 重量 450g	表裏面中央部が溝状に窪み、数ヶ所の円形副転磨痕が点在する。	
7区遺構外 133	石製品 石鉢	7区表採 破片	長さ 14.4 巾 10.0 厚さ 7.5	石材 粗粒輝石安山岩 重量 1550g	内外面に丁寧な研磨。	
7区遺構外 134	石器 刮片	7区表採	長さ - 巾 - 厚さ -	石材 チャート 重量 2.545g		
7区遺構外 135	石器 刮片	7区表採	長さ - 巾 - 厚さ -	石材 チャート 重量 11.350g		
7区遺構外 136	石器 刮片	74住棟土	長さ 2.6 巾 2.9 厚さ 0.9	石材 チャート 重量 7.56g		



8区遺構外出土遺物図

8区 遺構外出土 遺物観察表-1 P L 121

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
8区遺構外 1	縄文土器 深鉢	53号溝 口縁部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒 ②やや不良 ③によい褐色	中期後半。	
8区遺構外 2	縄文土器 深鉢	55号溝 口縁部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	①細砂粒、含繊維 ②良好 ③によい赤褐色	表面が磨減している。L縄文施文。前期前半。	

IV 遺構と遺物

8区 遺構外出土 遺物観察表-2 P.L.121

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 (cm)	①胎土②焼成③色調	器形・技法等の特徴	備考
8区遺構外 3	縄文土器 深鉢	53号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 ②良好 ③にぶい赤褐色	表面が著しく磨減している。縄文(?)施文。 前期前半。	
8区遺構外 4	縄文土器 深鉢	55号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒、含繊維 ②良好 ③暗褐色	L・R縄文を羽状に施文。前期前半。	
8区遺構外 5	縄文土器 深鉢	53号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	横位に平行する隆帯、沈線を施文。加曾利E1 ~2。	
8区遺構外 6	縄文土器 深鉢	75号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②やや不良 ③暗灰黄色	表面が著しく磨減している。沈線を縦位及び斜 位に施文。地文は縄文(?)。加曾利E3。	
8区遺構外 7	縄文土器 深鉢	53号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい棕色	No.9と同一個体。横位の平行沈線を施文。加曾 利E3。	
8区遺構外 8	縄文土器 深鉢	65号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	横位に隆帯を貼付。加曾利E2。	
8区遺構外 9	縄文土器 深鉢	53号溝 胴部 破片	口径 - 底径 - 高さ -	- ①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	No.7と同一個体。縦位の平行沈線区画内にL・R 縄文施文。加曾利E3。	
8区遺構外 10	石製品 石鏃	75号溝 完形	長さ 2.9 巾 1.7 厚さ 0.45	石材 チャート 重量 1.227g		
8区遺構外 11	石製品 打製石斧	61号溝	長さ 12.6 巾 6.1 厚さ 1.8	石材 ホルンフェルス 重量 180g	表面が著しく磨減する。	
8区遺構外 12	石製品 打製石斧	64号溝	長さ 11.2 巾 5.7 厚さ 1.7	石材 ホルンフェルス 重量 125g	表面が著しく磨減する。	

V 自然科学分析

1. 前沖遺跡の土層とテフラ

早田 勉 (株式会社 古環境研究所)

1. はじめに

群馬県域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになってきている。

そこで、年代が不明な土層や遺構が検出された前沖遺跡においても、地質調査を行い土層層序を記載するとともに、テフラ検出分析と屈折率測定を行って示標テフラの層位を把握し、土層や遺構の年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、7区北地点、7区南地点、6区北地点、6区南地点、4区第1地点、4区第2地点、4区第3地点、4区第4地点、4区第5地点、4区第6地点、5区No.1、5区No.2の12地点である。

2. 土層層序

(1) 7区北地点

7区北地点では、下位より色調がとくに暗い暗褐色泥層（層厚16cm以上）、暗褐色泥層（層厚15cm）、黒褐色粘質土（層厚15cm）、灰色砂質土（層厚10cm）、白色軽石混じり暗灰色粘質土（層厚6cm、軽石の最大径3mm）、若干色調が暗い灰色粘質土（層厚10cm）、黒泥層（層厚3cm）、成層したテフラ層（層厚5cm）、灰色砂質土（層厚6cm）、砂混じり黄色土（層厚6cm）、砂混じり灰色土（層厚4cm）、黄灰色土（層厚5cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚6cm、軽石の最大径2mm）、灰色表土（層厚23cm）が認められる（図1）。

これらのうち成層したテフラ層は、下部の黄灰色粗粒火山灰層（層厚4cm）と、上部の桃色細粒火山灰層（層厚1cm）からなる。このテフラ層は、その層相から1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B、荒牧、1968、新井、1979）に同定される。発掘調査では、このAs-Bの直下から畦畔が検出されている。また、その上位の灰色土中に含まれる白色軽石は、よく発泡している。その特徴や層位から、この軽石については、1783（天明3）年に浅間火山から噴出した浅間A軽石（As-A、荒牧、1968、新井、1979）に由来すると考えられる。

(2) 7区南地点

7区南地点では、下位より黒褐色土（層厚16cm以上）、黄色砂層（層厚6cm）、白色軽石混じり暗灰色粘質土（層厚8cm、軽石の最大径2mm）、白色軽石混じり灰色砂質土（層厚11cm、軽石の最大径2mm）、黒泥層（層厚4cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚4cm）、灰色砂質土（層厚3cm以上）が認められる（図2）。

これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相から1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B、荒牧、1968、新井、1979）の下部に同定される。発掘調査では、このAs-Bの直下から畦畔が検出

V 自然科学分析

されている。

(3) 6区北地点

6区北地点では、下位より黒褐色泥炭層（層厚4cm以上）、成層したテフラ層（層厚8cm）、層理が発達した腐植混じり灰色砂層（層厚5cm以上）が認められる（図3）。これらのうち成層したテフラ層は、下部の黄灰色粗粒火山灰層（層厚6cm）と、上部の桃色細粒火山灰層（層厚2cm）からなる。このテフラ層は、その層相からAs-Bに同定される。

(4) 6区南地点

6区南地点では、下位より灰色泥層（層厚10cm以上）、黄色砂層（層厚4cm）、灰色泥層（層厚11cm）、暗褐色泥炭層（層厚6cm）、黒泥層（層厚2cm）、成層したテフラ層（層厚6cm）、暗灰色砂質土（層厚7cm）、灰色砂質土（層厚6cm）、黄色土（層厚3cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚11cm、軽石の最大径2mm）、灰色土（層厚13cm）、黄灰色土（層厚5cm）、灰色表土（層厚18cm）が認められる（図4）。

これらのうち成層したテフラ層は、下部の黄灰色粗粒火山灰層（層厚5cm）と、上部の桃色細粒火山灰層（層厚1cm）からなる。このテフラ層は、その層相からAs-Bに同定される。発掘調査では、このAs-Bの直下から畦畔が検出されている。また、その上位の灰色土に含まれる白色軽石は、よく発泡している。その特徴や層位から、この軽石についてはAs-Aに由来すると考えられる。

(5) 4区第1地点

4区第1地点では、下位より暗褐色泥炭層（層厚4cm以上）、黒泥層（層厚2cm）、成層したテフラ層（層厚6.8cm）、暗灰色砂質土（層厚5cm以上）が認められる（図5）。これらのうち、成層したテフラ層は、下位より黄灰色粗粒火山灰層（層厚4cm）、黄色粗粒火山灰層（層厚1cm）、暗灰色粗粒火山灰層（層厚0.8cm）、桃色細粒火山灰層（層厚1cm）からなる。このテフラ層は、その層相からAs-Bに同定される。

(6) 4区第2地点

4区第2地点では、下位より若干色調が暗い灰色粘質土（層厚3cm以上）、黒泥層（層厚2cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、砂混じり灰色土（層厚3cm以上）が認められる（図6）。これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。発掘調査ではこのAs-Bの直下から畦畔が検出されている。

(7) 4区第3地点

4区第3地点では、下位より若干色調が暗い灰色粘質土（層厚2cm以上）、黒泥層（層厚2cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚3cm）、暗灰色砂質土（層厚0.5cm）が認められる（図7）。これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。

(8) 4区第4地点

4区第4地点では、下位より若干色調が暗い灰色粘質土（層厚3cm以上）、黒泥層（層厚0.3cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚3cm）、灰色土（層厚3cm以上）が認められる（図8）。これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。

(9) 4区第5地点

4区第5地点では、下位より暗灰色粘質土（層厚3cm以上）、黒泥層（層厚2cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚3cm）、若干色調が暗い灰色土（層厚3cm以上）が認められる（図9）。これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。

(10) 4区第6地点

4区第6地点では、下位より灰色粘質土（層厚10cm以上）、暗灰色粘質土（層厚21cm）、白色軽石混じり灰色粘質土（層厚21cm、軽石の最大径4mm）、黒泥層（層厚0.9cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、暗灰色砂質土（層厚5cm）、黄色土（層厚2cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚9cm、軽石の最大径2mm）、灰色盛土（層厚22cm）が認められる（図10）。これらのうち黄灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。また、その上位の灰色土中に含まれる白色軽石は、よく発泡している。その特徴や層位から、この軽石についてはAs-Aに由来すると考えられる。

(11) 5区No.1地点

5区No.1では、下位より亜円礫や砂混じり暗灰色泥層（層厚11cm、礫の最大径28mm）、暗灰色泥層（層厚6cm）、黒泥層（層厚6cm）、成層したテフラ層（層厚6.1cm）、暗灰色砂質土（層厚6cm）、灰色土（層厚10cm）、若干黄色がかった灰色土（層厚7cm）、わずかに灰色がかった白色軽石層（層厚1cm、軽石の最大径2mm）、わずかに灰色がかった白色軽石混じり灰色土（層厚9cm、軽石の最大径2mm）、攪乱土（層厚21cm）が認められる（図1）。これらのうち、成層したテフラ層は、下部の灰色細粒火山灰層（層厚0.1cm）と、上部のかすかに成層した黄灰色粗粒火山灰層（層厚6cm）からなる。

(12) 5区No.2地点

5区No.2では、下位より黒褐色泥炭層（層厚3cm以上）、成層したテフラ層（層厚7.6cm）、暗灰色砂質土（層厚11cm）、砂混じりで若干色調が暗い灰色土（層厚9cm）、灰色がかった褐色土（層厚2cm）、灰色土（層厚13cm）、若干黄色がかった灰色土（層厚5cm）、わずかに灰色がかった白色軽石混じり灰色土（層厚23cm、軽石の最大径2mm）が認められる（図2）。ここでは、成層したテフラ層の堆積構造をよく観察することができる。このテフラ層は、下位より灰色細粒火山灰層（層厚0.2cm）、灰褐色粗粒火山灰層（層厚0.8cm）、橙褐色粗粒火山灰層（層厚0.8cm）、黄色粗粒火山灰層（層厚2cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚3cm）、桃色細粒火山灰層（層厚0.8cm）からなる。

3. テフラ検出分析

(1) 分析試料と分析方法

テフラの特徴とその降灰層準を把握するために、7区北地点、7区南地点、6区南地点、4区第6地点の4地点において採取された試料のうち、24点を対象にテフラ検出分析を行った。分析の手順は、次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。
- 3) 80℃で恒温乾燥。

V 自然科学分析

4) 実体顕微鏡下で観察し、テフラ粒子の量や特徴を把握。

(2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。7区北地点では、試料11から試料3にかけて、スポンジ状によく発泡し班品に斜方輝石や単斜輝石をもつ灰白色軽石(最大径1.9mm)が含まれている。また試料11と、試料8から試料3にかけては、さほど発泡が良くなく班品に斜方輝石や角閃石をもつ白色軽石(最大径2mm)が認められる。その産状から、試料11付近に灰白色軽石と細粒の白色軽石、また試料8付近に比較的粗粒の白色軽石で特徴づけられるテフラの降灰層準のある可能性が考えられる。

7区南地点では、試料8から試料2にかけて、スポンジ状によく発泡し班品に斜方輝石や単斜輝石をもつ灰白色軽石(最大径2.5mm)が含まれている。また試料11と、試料8から試料3にかけて、さほど発泡が良くなく班品に斜方輝石や角閃石をもつ白色軽石(最大径2mm)が認められる。ここでは、その産状から、試料8以下に灰白色軽石、試料5付近に比較的粗粒の白色軽石で特徴づけられるテフラの降灰層準のある可能性が考えられる。ただし、実際には、試料5は洪水起源の砂層であり、実際の降灰層準は浸食により失われていると考えられる。

6区南地点では、試料8および試料7、試料5に、スポンジ状によく発泡し班品に斜方輝石や単斜輝石をもつ灰白色軽石(最大径1.7mm)が含まれている。また試料8から試料5にかけて、さほど発泡が良くなく班品に斜方輝石や角閃石をもつ白色軽石(最大径3mm)が認められる。さらに試料2には、比較的良好に発泡した淡褐色軽石(最大径0.8mm)が少量含まれている。この軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。この軽石は、その特徴から上位にあるAs-Bに由来すると考えられる。ここでは、その産状から、試料8以下に灰白色軽石と比較的粗粒の白色軽石で各々特徴づけられる2層のテフラの降灰層準のある可能性が考えられる。

4区第6地点では、試料6と試料4にさほど発泡が良くなく班品に斜方輝石や角閃石をもつ白色軽石(最大径1.7mm)や、スポンジ状によく発泡し班品に斜方輝石や単斜輝石をもつ灰白色軽石(最大径1.2mm)が含まれている。このことから、試料6付近にこれらのテフラの降灰層準がある可能性が推定される。

5区No.1地点では、試料7から試料5にかけては、さほど発泡が良くない白色軽石(最大径2.2mm)が少量含まれている。この軽石の班品には、角閃石や斜方輝石が認められる。また試料4には、スポンジ状によく発泡した灰白色軽石(最大径0.9mm)がごく少量含まれている。試料3のテフラ層には、比較的良好に発泡した淡褐色軽石(最大径2.1mm)が多く含まれている。軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。試料2のテフラ層や試料1には、比較的良好に発泡し光沢をもつ、わずかに灰色がかかった白色軽石(最大径2.6mm)が含まれている。軽石の多くはスポンジ状に発泡しており、部分的に繊維束状に発泡したものも認められる。軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。この軽石は、とくに試料2に多く含まれている。

4. 屈折率測定

(1) 測定試料と測定方法

7区北地点の試料11および7区南地点の試料5の2試料に含まれるテフラ粒子の起源を明らかにするために、屈折率測定を試みた。屈折率測定方法は、温度一定型屈折率測定法(新井, 1972, 1993)による。

(2) 測定結果

屈折率測定の結果を表2に示す。7区北地点の試料11に含まれる火山ガラス(n)の屈折率は、1.511-1.515

である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石のほか、ごく少量の角閃石や黒雲母が含まれている。斜方輝石(γ)と角閃石(n_2)の屈折率は、各々1.706-1.711と1.672-1.677である。7区南地点の試料5に含まれる火山ガラス(n)の屈折率も、1.511-1.515である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石のほか、ごく少量の角閃石や黒雲母が含まれている。斜方輝石(γ)と角閃石(n_2)の屈折率は、各々1.706-1.711と1.672-1.677である。

5. 考察

テフラ検出分析で認められた軽石のうち、スポンジ状によく発泡し、斑晶に斜方輝石や単斜輝石をもつ白色軽石は、その岩相から4世紀中葉*1に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C, 荒牧, 1968, 新井, 1979)に由来すると考えられる。屈折率測定を行った7区北地点の試料11および7区南地点の試料5に含まれる火山ガラスの屈折率は若干低い傾向にあるが、これは水相をさほど受けていないことに起因しているのかも知れない。

白色軽石のうち、7区北地点の試料11に含まれる、さほど発泡が良くなく斑晶に斜方輝石や角閃石をもつ細粒の白色軽石については、その層位や特徴から、5世紀に榛名火山から噴出した榛名有馬テフラ(Hr-AA, 町田ほか, 1984)に由来する可能性がある。一方、この軽石と似たような特徴をもち、As-Cより上位にあるより粗粒の白色軽石については、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名ニッ岳渋川テフラ(Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992)に由来すると考えられる。

整理すると、7区北地点では試料11付近にAs-CとHr-AA、試料8付近にHr-FAの降灰層準があると考えられる。このことは、発掘調査で同層準から4世紀と推定されている土器が検出されていることも、矛盾しない。そして発掘調査で検出された畦畔の層位は、As-Bの直下にある。7区南地点では、試料8以下にAs-Cの降灰層準があると推定される。ここで検出された畦畔についても、As-Bの直下に層位がある。6区南地点では、試料8以下にAs-CとHr-FAの降灰層準のある可能性が考えられる。この地点や4区第2地点において検出された畦畔についても、As-Bの直下に層位がある。さらに4区第6地点では、試料6付近にAs-CやHr-FAの降灰層準があると推定される。

なお7区南地点や6区南地点において認められた砂層の層位は、Hr-FAより上位で、As-Bより下位にある。群馬県平野部では、これらのテフラの間に、818(弘仁9)年の地震に伴って発生した洪水堆積物(能登ほか, 1990)などの洪水堆積物が認められることがある。そこで、この砂層の起源や堆積年代に関するより多くの資料が得られることが望まれる。

5区No.1におけるテフラ検出分析により検出された軽石のうち、試料7から試料5にかけて認められた白色軽石は、その特徴から6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名ニッ岳渋川テフラ(Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992)に由来する可能性が高い。試料4に含まれる灰白色軽石は、その特徴から4世紀中葉*1に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C, 荒牧, 1968, 新井, 1979)に由来すると考えられる。本来ならAs-CはHr-FAより下位にあるが、Hr-FA起源の軽石およびこのAs-C起源の軽石ともに2次に堆積したもので、実際のこれらの降灰層準は試料7以下にあると考えられる。

試料3の成層したテフラ層は、層相および含まれる軽石の特徴から、1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B, 荒牧, 1968, 新井, 1979)に同定される。また試料2の軽石層は、含まれる軽石の特徴から、1783(天明3)年に浅間火山から噴出した浅間A軽石(As-A, 荒牧, 1968, 新井, 1979)に同定される。

V 自然科学分析

以上のことから、5区No.2の成層したテフラ層はAs-Bに同定される。また最上部の灰色土に含まれる軽石は、As-Aに由来すると考えられる。

6. 小 結

前沖遺跡において、地質調査とテフラ検出分析さらに屈折率測定を行った。その結果、下位より浅間C軽石(As-C, 4世紀中葉*)、標名有馬テフラ(Hr-AA, 5世紀)、標名二ツ岳浅川テフラ(Hr-FA, 6世紀初頭)、浅間Bテフラ(As-B, 1108年)、浅間A軽石(As-A, 1783年)などテフラ層やテフラ粒子を検出することができた。さらに、Hr-FAとAs-Bの間に洪水堆積物も検出された。発掘調査で検出された水田遺構については、As-Bの直下に層位がある。

*1 現在では4世紀を遡るとする説が有力になっているようである(たとえば、若狭, 2000)。しかし、具体的な年代観が示された研究報告例はまだない。現段階においては「3世紀後半」あるいは「3世紀終末」と考えておくのが妥当なのかも知れないが、土器をもとにした考古学的な年代観の変更については、考古学研究者による明確な記載を待ちたい。

文 献

- 新井房夫 (1972) 斜方輝石・角閃石によるテフラの同定—テフラクロロジーの基礎的研究。第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井房夫 (1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.53, p.41-52.
- 新井房夫 (1993) 温度一定型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法2—研究対象別分析法」, p.138-149.
- 荒牧重雄 (1968) 浅間火山の地質。地質研専報, no.45, 65p.
- 町田 洋・新井房夫 (1992) 火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫・小田勝夫・遠藤邦彦・杉原重夫 (1984) テフラと日本考古学—考古学と関係するテフラのカタログ。古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
- 能登 健・内田憲治・早田 勉 (1990) 赤城山南麓の歴史地質—弘仁九年の地震に伴う地形変化の調査と分析—。信濃, 42, p.756-772.
- 坂口 一 (1986) 標名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器。群馬県教育委員会編「克砥北原遺跡・今井神社古墳群・克砥青柳遺跡」, p.103-119.
- 早田 勉 (1989) 6世紀における標名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
- 早田 勉 (1996) 関東地方—東北地方南部の示標テフラの諸特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p.256-267.
- 若狭 徹 (2000) 群馬の弥生土器が終わるとき。かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.

表1 テフラ検出分析結果

地点	試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径
7区北地点	3	++	灰白>白	1.2,1.0
	5	++	白>灰白	1.3,1.6
	6	++	白>灰白	2.0,1.1
	8	++	灰白>白	1.5,1.5
	9	++	灰白	1.9
	11	+	灰白>白	1.0,0.6
	13	-	-	-
	15	-	-	-
17	-	-	-	
7区南地点	2	++	白>灰白	1.9,1.3
	4	++	白>灰白	2.6,1.6
	5	+	灰白>白	1.1,1.3
	6	+++	灰白	2.2
	8	+++	灰白	2.5
6区南地点	2	+	淡褐	0.8
	3	-	-	-
	5	++	白>灰白	3.0,0.9
	6	++	白	1.7
	7	+	白, 灰白	1.2,1.7
	8	++	白, 灰白	1.6,1.4
4区第6地点	4	++	白>灰白	1.7,1.2
	6	+	白>灰白	1.2,1.1
	8	-	-	-
	10	-	-	-
	12	-	-	-
5区No.1 地点	1	++	(灰) 白	2.6
	2	+++	(灰) 白	2.1
	3	+++	淡褐	2.1
	4	+	灰白	0.9
	5	+	白	2.2
	6	+	白	3.5
	7	+	白	2.6

++++: とくに多い, +++: 多い, ++: 中程度, +: 少ない, -: 認められない。最大径の単位は, mm。

表2 屈折率測定結果

地点	試料	火山ガラス (n)	重鉱物	斜方輝石 (γ)	角閃石 (n)
7区北地点	11	1.511-1.515	opx>cpx, (ho, bi)	1.706-1.711	1.672-1.677
7区南地点	5	1.511-1.515	opx>cpx, (ho, bi)	1.706-1.711	1.672-1.677

屈折率の測定は、温度一定型屈折率測定法（新井，1972，1993）による。（）：modal range。
opx：斜方輝石，cpx：単斜輝石，ho：角閃石，bi：黒雲母。（）は量が少ないことを示す。

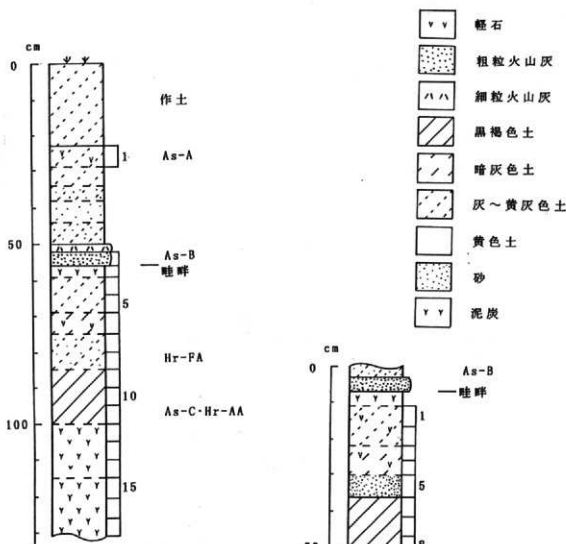


図1 7区北地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

図2 7区南地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号



図3 6区北地点の土層柱状図



図6 4区第2地点の土層柱状図

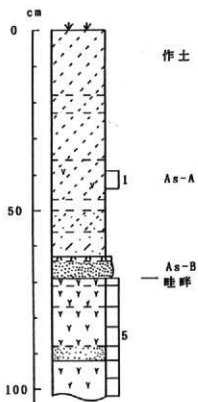


図4 6区南地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号



図7 4区第3地点の土層柱状図



図8 4区第4地点の土層柱状図



図5 4区第1地点の土層柱状図



図9 4区第5地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

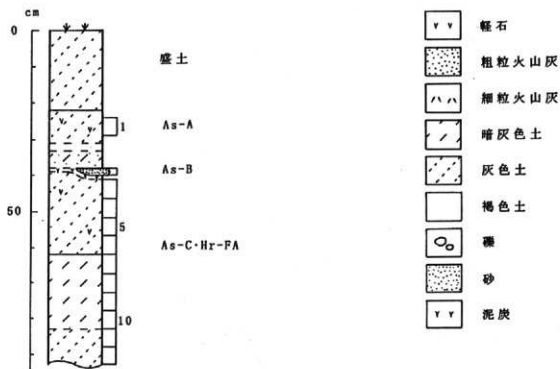


図10 4区第6地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

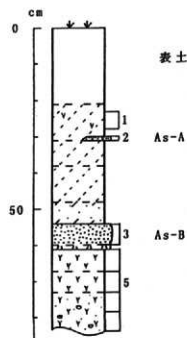


図11 5区No1の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

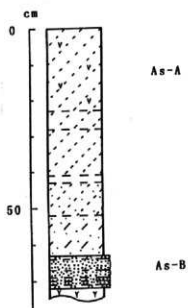


図12 5区No2の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

2. 前沖遺跡におけるプラント・オパール分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石 (プラント・オパール) となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である (杉山, 2000)。

2. 試料

試料は、7区北地点、7区南地点、6区北地点、6区南地点、4区第1地点、4区第2地点、4区第3地点、4区第4地点、4区第5地点、4区第6地点、5区No.1地点、5区No.2地点の12地点から採取された計34点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 分析法

プラント・オパールの抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法 (藤原, 1976) をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥 (絶乾)
- 2) 試料約1gに対し直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加 (電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量)
- 3) 電気炉灰化法 (550℃・6時間) による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射 (300W・42KHz・10分間) による分散
- 5) 沈底法による20 μm 以下の微粒子除去
- 6) 封入剤 (オイキット) 中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールをおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数 (機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位:10 μg) をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ (赤米) の換算係数は2.94 (種実重は1.03)、ヨシ属 (ヨシ) は6.31、ススキ属 (ススキ) は1.24、タケ亜科 (ネザサ節) は0.48である。

4. 分析結果

水田跡 (稲作跡) の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1および図1に示した。写真図版に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

V 自然科学分析

5. 考察

(1) 水田跡の検討

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山，2000）。ただし、密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。以上の判断基準にもとづいて各地点ごとに稲作の可能性について検討を行った。次表に各地点・各層準におけるイネの検出状況を示す。

表1 前沖遺跡におけるイネのプラント・オパールの検出状況

記号：◎5,000個/g以上，○3,000個/g以上，△3,000個/g未満，×未検出，-該当試料なし

層準\地点	7区北	7区南	6区北	6区南	4区-1	4区-2	4区-3	4区-4	4区-5	4区-6	備考
As-B直下	△	△	×	×	×	△	×	×	×	△	1108年
As-B下	○	◎	-	△	△	○	△	-	○	○	
Hr-FA下	×	-	-	-	-	-	-	-	-	×	6世紀初頭
As-C下	×	-	-	-	-	-	-	-	-	×	4世紀中葉

1) As-B直下層（黒泥層）

調査を行った10地点について分析を行った。その結果、畦畔が検出された7区北地点、7区南地点、4区第2地点、および4区第6地点の4地点からイネが検出された。密度は800~2,300個/gと比較的低い値である。ただし、同層は直上をテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。なお、畦畔が検出された6区南地点およびその他の地点では、イネが検出されなかった。

イネがあまり検出されない原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

2) As-Bの下層（粘質土層）

7区北地点、7区南地点、6区南地点、4区第1地点、4区第2地点、4区第3地点、4区第5地点、4区第6地点の8地点について分析を行った。その結果、これらのすべてからイネが検出された。このうち、7区南地点では密度が6,000個/gと高い値であり、7区北地点、4区第2地点、4区第5地点、4区第6地点でも3,000個/g以上と比較的高い値である。したがって、これらの地点では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

6区南地点、4区第1地点、4区第3地点では、密度が700~2,300個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

3) Hr-FAの下層

7区北地点と4区第6地点の2地点について分析を行った。その結果、イネはいずれの試料からも検出さ

れなかった。

4) As-Cの下層

7区北地点と4区第6地点の2地点について分析を行った。その結果、イネはいずれの試料からも検出されなかった。

5) 5区No1地点

As-B直下層(試料1)、As-Bの下層(試料2)、Hr-FA混層(試料3)について分析を行った。その結果、As-B直下層(試料1)とHr-FA混層(試料3)からイネが検出された。このうち、Hr-FA混層(試料3)では密度が3,800個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。As-B直下層(試料1)では、密度が800個/gと低い値であるが、同層は直上をAs-B層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、稲の生産性が低かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったことが考えられる。

6) 5区No2地点

As-B直下層(試料1、1')について分析を行った。その結果、凹地部の試料1からイネが検出された。密度は800個/gと低い値であるが、同層は直上をAs-B層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

(2) 堆積環境の推定

ヨシ属は湿地的なところに生育し、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いたところに生育している。このことから、これらの植物の出現状況を検討することによって、堆積当時の環境(乾燥・湿潤)を推定することができる。おもな分類群の推定生産量によると、イネ以外の分類群ではおおむねヨシ属が優勢であり、ススキ属型やタケ亜科も部分的に比較的多くなっている。また、As-B直下層ではほとんどの地点でヨシ属が圧倒的に卓越していることが分かる。

以上の結果から、As-Cの下層からAs-Bの下層にかけては、おおむねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、調査区周辺にはススキ属やタケ亜科(おもにネザサ節)なども分布していたと推定される。As-B直下の黒泥層(泥炭質黒色土)の堆積当時は、ヨシ属などが繁茂する湿地的な環境であったと考えられ、その他のイネ科植物はあまり見られなかったと推定される。おそらく、As-Bの降灰直前には何らかの原因によって一時的に水田が放棄され、そこでヨシ属が繁茂したものと考えられる。このような状況は前橋市や高崎市周辺などでも認められており、比較的広い範囲に及ぶ現象として注目される。

6. まとめ

プラント・オパール分析の結果、水田遺構が検出された浅間Bテフラ(As-B, 1108年)直下層では、部分的に比較的少量のイネが検出され、調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が認められた。

V 自然科学分析

また、As-Bの下層（粘質土層）では、分析を行ったすべての試料からイネが検出され、榛名二ツ岳洪川テフラ（Hr-FA, 6世紀初頭）泥層ではイネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。

本遺跡周辺は、稲作が開始される以前はヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、As-Bの下層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたと推定される。その後、As-Bの降灰直前には何らかの原因で一時的に水田が放棄され、ヨシ属が繁茂する湿地の環境になっていたと推定される。

文 献

- 杉山真二 (2000) 植物遺骸体 (プラント・オーバー)。考古学と植物学。同成社。p.189-213。
藤原宏志 (1976) プラント・オーバー分析法の基礎的研究 (1) - 数種イネ科栽培植物の遺骸体標本と定量分析法 -。考古学と自然科学, 9, p.15-26。
藤原宏志・杉山真二 (1984) プラント・オーバー分析法の基礎的研究 (5) - プラント・オーバー分析による水田址の探索 -。考古学と自然科学, 17, p.73-85。

表2 群馬県、前沖遷跡におけるプラント・オパールの分析結果

分類群	学名	7区北地点						7区南地点						6区北						6区南地点					
		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	15	30	23					23	60	38		1					263	180	30		8			
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	15	38	23	15	23	22	45	120	30	15	30	257					180	30			8	15	75	53
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	67	45	38	60	23	52	67	68	83	30	67	8					38	120	83					
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	45	60	113	67	158	97	67	113	90	113	150													

推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.44	0.89	0.65					0.65	1.77	1.11							16.50	11.38	1.89		0.66	0.22
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	0.94	2.38	1.42	0.94	1.42	1.42	2.83	7.58	1.90	0.95	1.89	15.23					0.09	0.19	0.35	0.65		
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.84	0.66	0.47	0.74	0.28	0.65	0.83	0.84	1.02	0.37	0.84	0.09					0.18	0.18	0.35	0.65		
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	0.22	0.29	0.54	0.32	0.76	0.47	0.32	0.54	0.43	0.54	0.72						0.18	0.18	0.35	0.65		

※試料の乾比重を1.0と仮定して算出。

検出密度 (単位: ×100個/g)

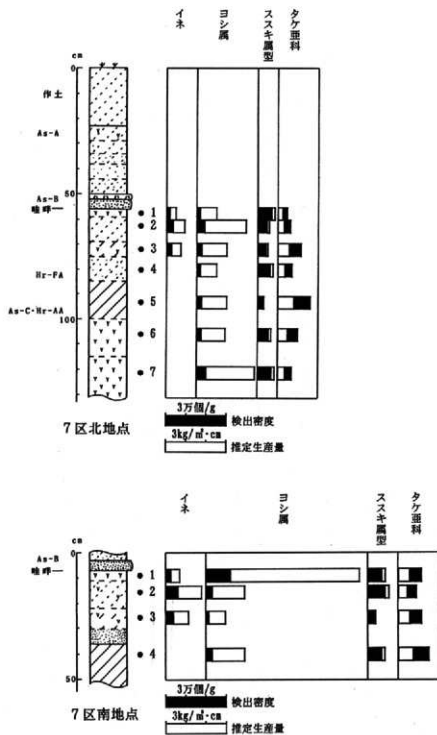
分類群	学名	4区第1地点		4区第2点		4区第3点		4区4		4区第5点		4区第6点	
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	7	8	37		23				38	15	46	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	325	224	241	180	8	90	143	45	8	8	15	
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	7	30	15	38	30	22	23	60	23	68	105	
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	37	53	112	45	105	22	38	151	90	91	90	67

推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

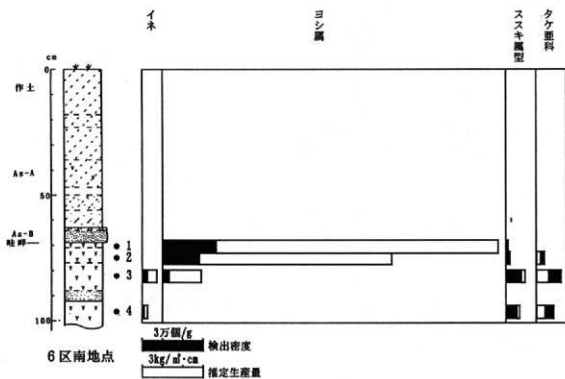
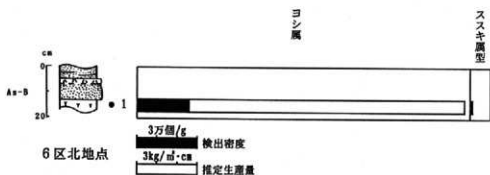
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.22	0.22	1.10	0.65					1.11	0.44	1.34	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	20.49	14.15	15.23	11.37	0.47	5.67	9.00	2.68	0.48	0.48	0.85	0.95
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.09	0.37	0.19	0.47	0.37	0.28	0.28	0.75	0.28	0.85	1.30	
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	0.18	0.25	0.54	0.22	0.51	0.11	0.18	0.73	0.43	0.44	0.43	0.32

※試料の乾比重を1.0と仮定して算出。

図1 前沖遺跡におけるプラント・オバールの分析結果



2. 前沖遺跡におけるプラント・オパール分析



2. 前沖遺跡におけるプラント・オパール分析

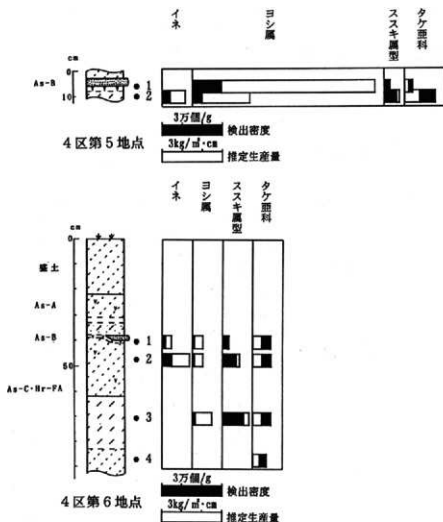


表3 群馬県、年保前沖遺跡におけるプラント・オパール分析結果

検出密度 (単位: $\times 100$ 個/g)

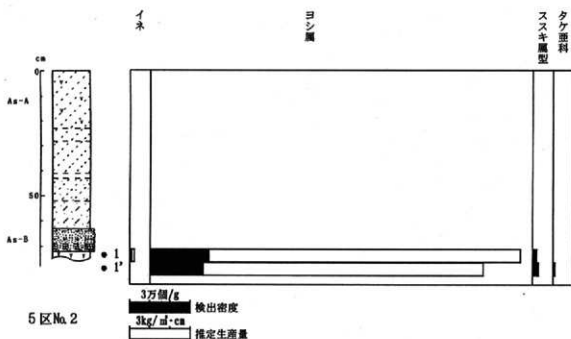
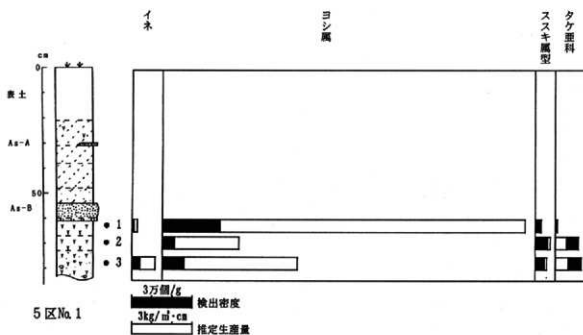
分類群	学名	地点・試料			5区No.2	
					1	1'
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	8	2	38	7	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	285	60	106	291	262
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	23	60	45	15	22
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	8	113	128		7

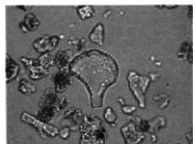
推定生産量 (単位: $\text{kg}/\text{m}^2\cdot\text{cm}$)

イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.22		1.11	0.22	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	18.00	3.80	6.67	18.37	16.52
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.28	0.75	0.56	0.19	0.28
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)	0.04	0.54	0.62		0.04

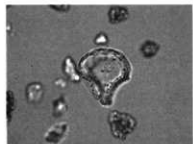
※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

図2 群馬県、年保前沖遺跡におけるプラント・オパール分析結果

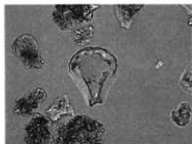




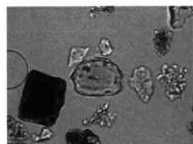
イネ
7区北 1



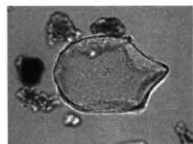
イネ
7区北 2



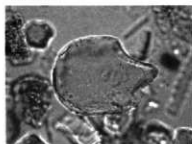
イネ
4区-2 2



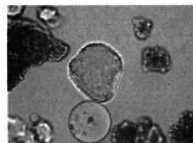
ジュズダマ属
7区北 3



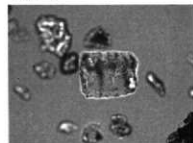
ヨシ属
7区北 5



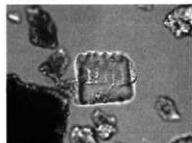
ヨシ属
4区-2 1



ススキ属型
4区-6 3

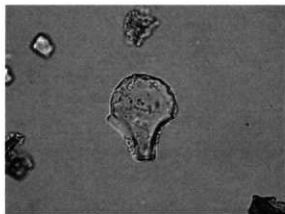


ネザサ節型
7区北 2

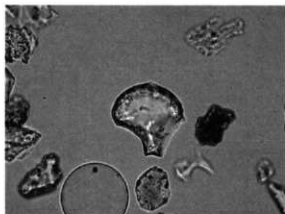


ネザサ節型
7区北 6

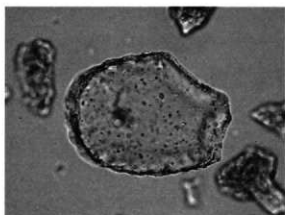
植物珪酸体の顕微鏡写真 ——— 50 μ m



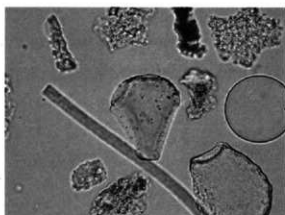
イネ
5区No.1 3



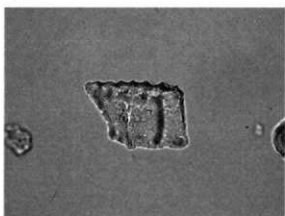
イネ
5区No.1 3



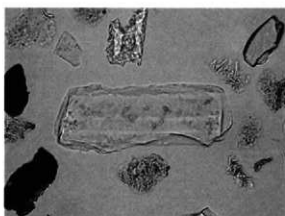
ヨシ属
5区No.1 2



ススキ属型
5区No.1 1



ネガサ節型
5区No.1 2



イネ科の茎部起源
5区No.2 1

植物 microfossil (プラント・オブール) の顕微鏡写真 50 μm

VI まとめ

ここでは、個々の遺構についての事実記載では触れられなかった私見を若干記したい。

まず、7区微高地上に検出された集落跡の中で、33号・34号古墳時代後期の堅穴住居跡に見られる、床面上の馬蹄形施設について述べたい。岡住居跡は共に掘り方を持たず、地山ローム土の硬化面をもって床としている。この馬蹄形高まりも断割りの結果、地山ローム土の隆起であることが判明した。つまり、住居掘削時に計画的に掘り残すことで造形がなされており、このことから一時的な施設ではなく、用途は解らないまでも恒常的に用いる施設であろうと考えられる。しかし、類似の施設を持った住居跡は、調査範囲内において他には見られず、この2軒のみの特徴であり共通性でもある。また、興味深いことはこの2軒の住居跡が重複していることである。つまり、特色ある住居が二時期に渡って集落内のほぼ同一カ所に拡張ではなく建替えをしている。このことは、7区72号住居跡周辺の重複を見ても、同一カ所に類似の大型住居跡が数軒も重複する。これらは集落内における住居用地の選定・占有の規則性と継続性を物語るものであろうか。

同じく古墳時代の特徴ある遺構として、6区で検出された水辺祭祀跡がある。調査においては土器の集中地点を主に取り上げたが、献納物の分布は周囲の広範囲にもおよび、(報告では遺構外出土遺物として近くに掲載を試みた)特筆する遺物として土製の鈴鏡模造品や埴形彫片も含まれる。6区低地部は湧水が激しく、全面掘り下げての面的な調査が行えなかったが、試掘調査の結果、路線調査区に沿うように4世紀代からの旧河道の存在が確認された。このことから、検出の祭祀跡もこの河道の「水」に対する祭祀であろうと推察される。

次いで4・5区と7区で検出された浅間B軽石純層堆積直下の水田跡について記したい。周知のとおり、浅間B軽石は『中右記』の記載などから、その降下

年代は天仁元(1108)年と推察されている。両区共に良好な状態で検出とは言えず、ただ水田の存在と一部に軽石上からの働き込みが見られるものの、ほぼ未復興状態であったことのみを確認に過ぎないが、当地が後の「新田莊」域であることを考えると、その存在および未復興の意義は大きく、新田莊開発に至る前の「空閑地」をも思われる。

この水田跡の存在でも分かるように、遺跡地は古代より肥沃な土壌と水利に恵まれた地であった。調査区内においての畦畔の検出は前記の浅間B軽石下の水田跡のみとなったが、土壌中のプラントオパール分析の結果、浅間B軽石下?榛名二ツ岳白色軽石間の黒色粘質土壌中にイネが検出された。また、各調査区からは多数の溝跡が検出されている。中でも8区は調査区の大半を溝跡が占め、その使途と時期は出土遺物や堀土から古墳時代後期から近代にまで長きに渡り、各時代の水田への用水供給が目的であったものと考えられる。その走行は南北方向のものが大半であり、延長線上の水源として北西に蛇川が、南の延長線上には開発水田が想定される。しかし、蛇川はその名の示すとおり河川改修前の姿は蛇行を繰り返す暴れ川であった。これを裏付けるように8区内の溝跡埋土や堆積土にも氾濫の痕跡を示すものが多い。7区大溝跡や4・6区の溝跡はその走行が8区の溝跡と異なり別水系と考えられ、北東の八瀬川に水源を求めるものと推察される。また、現鳥山集落内に造り酒屋があるように湧水にも恵まれた地であり、圃場整備前までは遺跡地北東の東武鉄道脇にも湧水点があり、豊かな水量が湧き出でていたと聞く。これらの豊かな水利を活かして、遺跡地周辺には古墳時代後期以降、集落とそれを支える田園が広がっていったものと推察される。

以上、雑駁ながら思いつままの私見を記したが、今後の地域史説明に本報告書が資料活用されることを願って、報告のまとめとしたい。

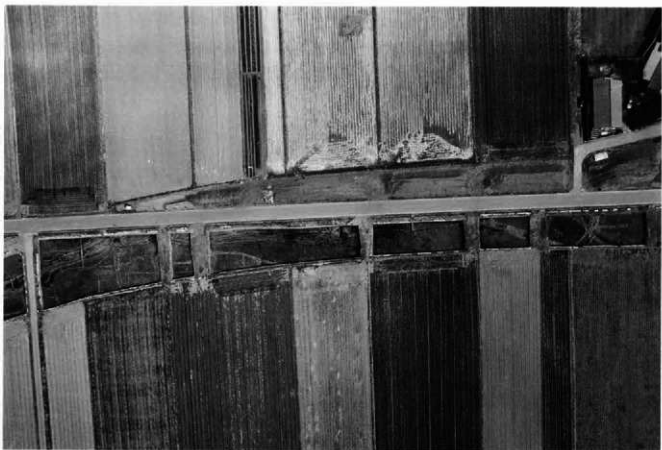
発掘調査報告書抄録

ふりがな	まえおきいせき							
書名	前沖遺跡							
副書名	(主)太田大岡々線(BP)地方特定道路整備事業並びに住宅地関連公共施設整備促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第2集							
シリーズ名	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書							
シリーズ番号	第333集							
編著者名	新倉明彦							
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2 TEL 0279-52-2511							
発行年月日	平成16年3月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
前沖遺跡	群馬県太田市 大島町・鳥山下町	10205	市番号 259 県番号 5025900	36°18'21"	139°21'22"	2000.09.01 2002.03.31	16,863㎡	道路建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
前沖遺跡	集落	古墳時代	竪穴住居跡58軒、井戸跡3基		土師器・須恵器			
		奈良・平安時代	竪穴住居跡1軒 掘立柱建物跡1棟		土師器・須恵器			
		中・近世	井戸跡1基、土坑跡1基		五輪塔・軟質陶器			
	生産	古墳時代	溝跡21条					
		奈良・平安時代	水田跡(浅間B軽石下)1画、溝跡					
		中・近世	溝跡9条		板碑・軟質陶器			
	祭祀	古墳時代	水辺祭祀跡		土師器・須恵器 滑石製模造品			

写 真 图 版



4区 南半部 全景 (上空より)



4区 北半部 全景 (上空より)



5区 全 景 (上空より)



6区 北西半部 全景 (西上空より)



6区 北西半部 全景 (南上空より)



4・5・6・7区 全景 (南上空より)



7区 浅間B軽石下水田跡および大溝跡 全景 (上空より)



7区 古墳時代集落跡 全景 (上空より)



7区 古墳時代集落跡 全景 (南西上空より)



7区 古墳時代集落跡 全景 (北西上空より金山方向を望む)



7区 古墳時代集落跡 北東部 (上空より)



7区 古墳時代集落跡 西南部 (上空より)



8区 全景 (北上空より太田市街地を望む)



8区 全景 (上空より)



8区 溝跡群 東半部 (北より)



8区 溝跡群 西半部 (北より)



4区 7号掘立柱建物跡 全景(東より)



4区 7号掘立柱建物跡 ビット1 半截状態



4区 7号掘立柱建物跡 ビット2 半截状態



4区 7号掘立柱建物跡 ビット3 半截状態



4区 7号掘立柱建物跡 ビット4 半截状態



4区 7号掘立柱建物跡 ビット5 半截状態



4区 8・9・10・11号溝跡 全景(北より)



4区 8・9・10・11号溝跡 全景(南より)



4区 9号溝跡 埋土断面



4区 8・9・10・11号溝跡 全景(北より)



4区 10号溝跡 埋土断面



4区 11号溝跡 埋土断面



4区 18号溝跡 全景(南より)



4区 21・22号溝跡 全景(南西より)



4区 21号溝跡 埋土断面



4区 23号溝跡 全景(南西より)



4区 23・24号溝跡 全景(南より)



4区 25号溝跡 全景(南より)



4区 25・26号溝跡 全景(南より)



4区 25・26号溝跡 全景(南より)



4区 25・26号溝跡 全景(南より)



4区 26号溝跡 埋土断面



4区 25・26号溝跡、畔跡 全景(北より)



4区 27号溝跡、大畔跡 全景(東より)



4区 29・30号溝跡 全景(南より)



4区 29・30・31号溝跡 全景(東より)



4区 29・30号溝跡 埋土断面



4区 32号溝跡 全景(東より)



4区 32号溝跡 埋土断面



4区 18・33号溝跡 全景(南より)



4区 34号溝跡 全景(南より)



4区 34号溝跡 全景(南より)



4区 畔跡 A地点 全景(南より)



4区 畔跡 C・D地点 全景(南より)



4区 畔跡 B地点 全景(北より)



4区 大畔跡、28号溝跡 全景(東より)



4区 大畔跡 全景(南より)



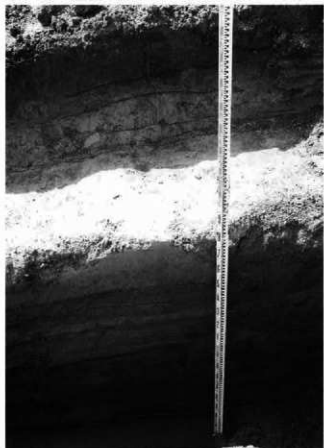
4区 大畔跡 全景(南西より)



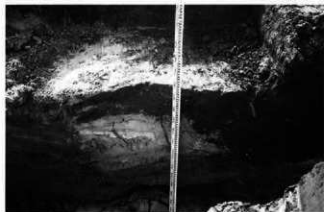
4区 大畔跡 全景(北東より)



4区 浅間B軽石下トレンチ



4区 浅間B軽石下トレンチ



4区 浅間B軽石下トレンチ



4区 浅間B軽石下トレンチ



4区 中央部下面 全景



4区 中央部下面 全景



5区 4号溝跡 全景(南より)



5区 5号溝跡 全景(南より)



5区 5号溝跡 埋土断面(基本土層)



5区 6号溝跡 全景(南より)



5区 4号溝跡 全景(南より)



5区 浅間B軽石下面 遠景(南より)



5区 浅間B軽石下面 (東より)



5区 浅間B軽石下面 遠景(南より)



5区 西壁 堆積土断面(基本土層)



5区 北壁 堆積土断面(基本土層)



21・22・23号住居跡 遺物出土状態(北より)



21・22・23号住居跡 遺物出土状態(東より)



21・22・23号住居跡 掘り方 全景(東より)



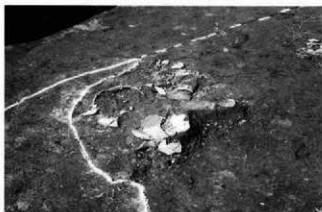
21・22・23号住居跡 埋土断面 全景(東より)



21・22号住居跡 全景(東より)



22号住居跡 埋土断面(西より)



22号住居跡 カマド 遺物出土状態(東より)



22号住居跡 カマド 全景(北東より)



21・22号住居跡 埋土断面(南より)



22号住居跡 遺物出土状態(西より)



22号住居跡 遺物出土状態(東より)



22号住居跡 遺物出土状態(北より)



22号住居跡 遺物出土状態(北より)



22号住居跡 遺物出土状態(東より)



23号住居跡 貯藏穴 遺物出土状態(南より)



23号住居跡 貯藏穴 埋土断面(東より)



23号住居跡 埋土断面(南より)



23号住居跡 埋土断面(南より)



23号住居跡 遺物出土状態(東より)



23号住居跡 遺物出土状態(東より)



6区 7号溝跡 全景(南より)



6区 7号溝跡 近景(南より)



6区 7号溝跡 全景(南より)



6区 7号溝跡 埋土断面



6区 9号溝跡 全景(北より)



6区 12・17号溝跡 全景(北より)



6区 13号溝跡 全景(東より)



6区 13号溝跡 埋土断面



6区 14・15・16号溝跡 全景(北より)



6区 14号溝跡 埋土断面



6区 13・15・16号溝跡 全景(北より)



6区 15・16号溝跡 全景(南より)



6区 15号溝跡 埋土断面



6区 16号溝跡 埋土断面



6区 12・19・20号溝跡 全景(北より)



6区 19・20号溝跡 全景(北より)



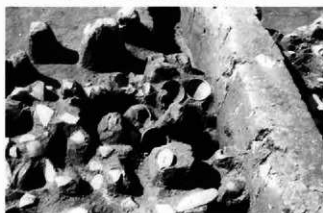
水辺祭祀跡北部 遺物出土状態(東より)



水辺祭祀跡北部 遺物出土状態(西より)



水辺祭祀跡北部 遺物出土状態(東より)



水辺祭祀跡北部 遺物出土状態(東より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(南より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(東より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(南より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(南より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(北より)



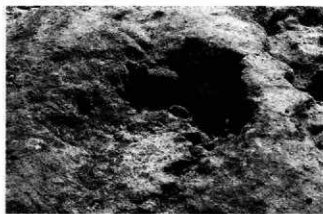
水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(東より)



水辺祭祀跡南部 遺物出土状態(南より)



6区 南端部 浅間B軽石下面 全景(北より)



6区 自然水流跡



6区 自然水流跡



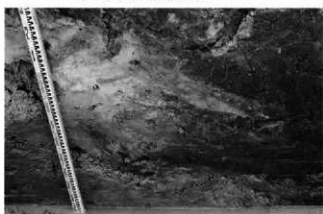
6区 自然水流跡 埋土断面



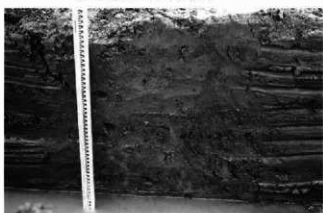
6区 浅間B軽石下面試掘トレンチ



6区 南端部 堆積土断面(基本土層)



6区 浅間B軽石下面試掘トレンチ



6区 浅間B軽石下面試掘トレンチ



24号住居跡 全景(北東より)



24号住居跡 掘り方 全景(北東より)



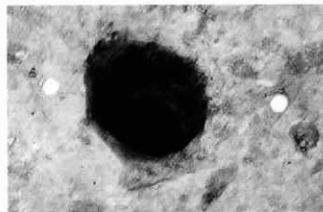
24号住居跡 カマド 埋土断面(北より)



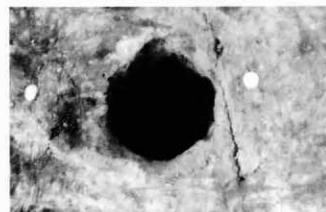
24号住居跡 カマド掘り方 埋土断面(北より)



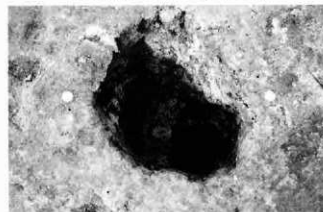
24号住居跡 貯蔵穴 全景(南より)



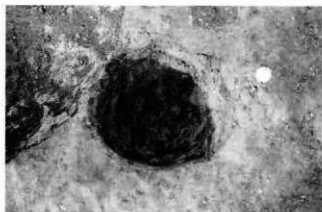
24号住居跡 ビット1 全景(西より)



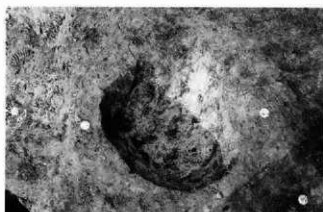
24号住居跡 ビット2 全景(西より)



24号住居跡 ビット3 全景(西より)



24号住居跡 ビット4 全景(西より)



24号住居跡 ビット5 全景(西より)



25号住居跡 全景(北東より)



25号住居跡 掘り方 全景(北東より)



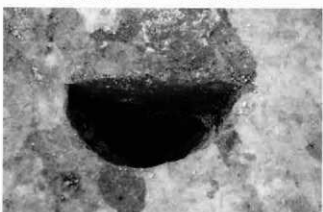
25号住居跡 カマド 全景(北東より)



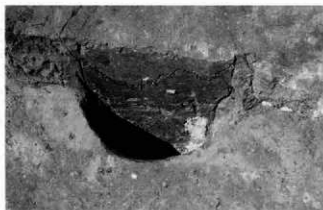
25号住居跡 カマド 埋土断面(北東より)



25号住居跡 ビット1 全景(南より)



25号住居跡 ビット2 半截状態



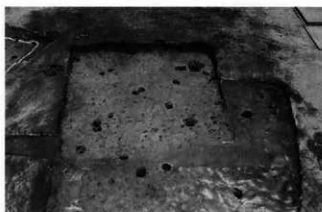
25号住居跡 ビット3 半截状態(南東より)



25号住居跡 ビット4 全景



26・27号住居跡 全景(西より)



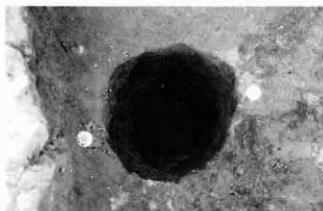
26・27号住居跡 掘り方 全景(西より)



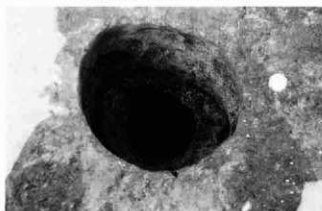
26号住居跡 カマド 全景(西より)



26号住居跡 貯蔵穴 全景(西より)



26号住居跡 ビット1 全景(西より)



26号住居跡 ビット2 全景(西より)



26号住居跡 ビット3 全景(西より)



26号住居跡 ビット4 全景(西より)



27号住居跡 全景(北東より)



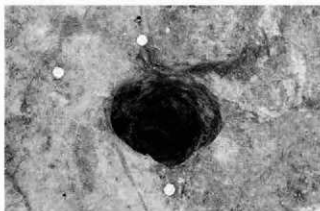
27号住居跡 貯蔵穴 遺物出土状態(北東より)



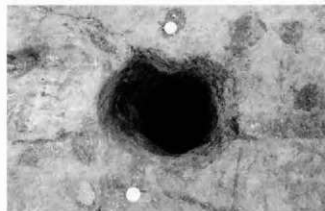
27号住居跡 ビット1 半截状態



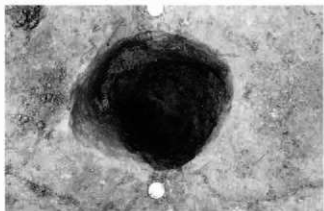
27号住居跡 ビット2 半截状態



27号住居跡 ビット3 全景(南より)



27号住居跡 ビット4 全景(南より)



27号住居跡 ビット5 全景(南より)



27号住居跡 ビット6 全景(南より)



28・29号住居跡 全景(北より)



28・29号住居跡 堀土断面(北より)



28号住居跡 ビット1 半截状態



28号住居跡 ビット2 半截状態



28号住居跡 ビット3 半截状態



28号住居跡 ビット4 半截状態



27号住居跡 周辺 (北東より)



28・29号住居跡 周辺 (北より)



29号住居跡 ビット1 半截状態



30号住居跡 全景(北より)



30号住居跡 カマド 全景(南西より)



30号住居跡 掘り方 全景(北より)



30号住居跡 ビット1 半截状態



30号住居跡 ビット2 半截状態



30号住居跡 ビット3 半截状態



30号住居跡 ビット4 半截状態



31・32号住居跡 全景(北東より)



31号住居跡 掘り方 全景(西より)



31号住居跡 カマド 埋土断面



31号住居跡 カマド 埋土断面



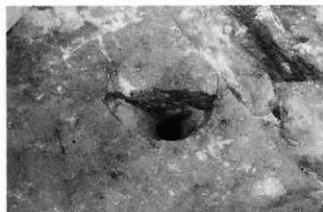
31号住居跡 貯蔵穴 埋土断面



32号住居跡 カマド 全景(南より)



32号住居跡 カマド 埋土断面



32号住居跡 ビット1 半載状態



32号住居跡 ビット2 半截状態



32号住居跡 ビット3 半截状態



32号住居跡 ビット4 半截状態



33号住居跡 全景(北東より)



33号住居跡 埋土断面(南西より)



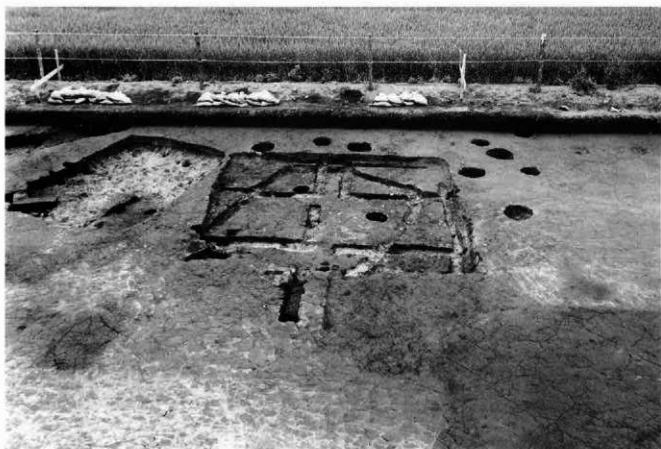
33号住居跡 カマド掘り方 全景(南より)



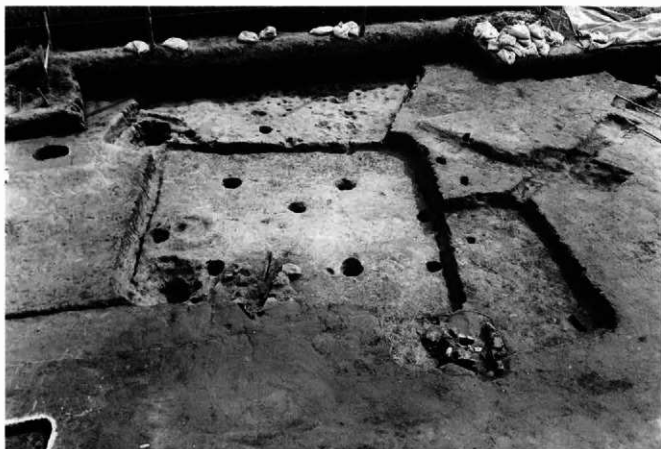
33号住居跡 貯蔵穴 全景(南より)



33号住居跡 貯蔵穴 埋土断面(東より)



31・32号住居跡 周辺 (北東より)



33号住居跡 周辺 (北東より)



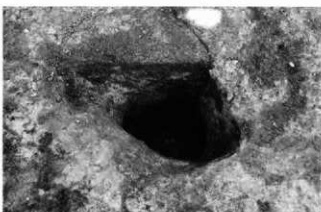
33号住居跡 ピット2 半截状態



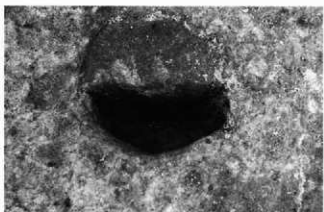
33号住居跡 ピット3 半截状態



33号住居跡 ピット4 半截状態



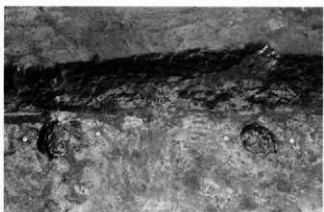
33号住居跡 ピット5 半截状態



33号住居跡 ピット6 半截状態



33号住居跡 ピット7 半截状態



33号住居跡 ピット6・7 全景(東より)



33号住居跡 ピット8 半截状態



34号住居跡 全景(北東より)



34号住居跡 埋土断面(南より)



34号住居跡 貯蔵穴 埋土断面(南より)



34号住居跡 ビット1 半裁状態



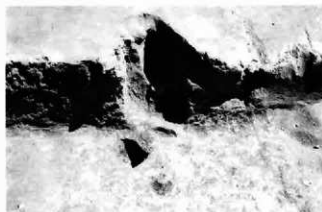
35号住居跡 全景(南西より)



35号住居跡 埋土断面(西より)



35号住居跡 カマド 全景(南より)



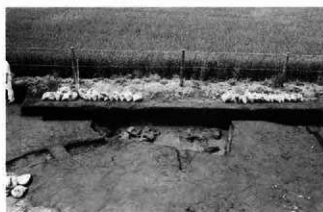
35号住居跡 カマド掘り方 全景(南より)



35号住居跡 カマド 遺物出土状態(南西より)



36号住居跡 カマド痕跡 全景(南西より)



35号溝・37号住居跡 全景(北東より)



37号住居跡 掘り方 全景(東より)



37号住居跡 埋土断面(北東より)



37号住居跡 カマド 全景(南より)



37号住居跡 カマド 埋土断面



37号住居跡 カマド掘り方 埋土断面



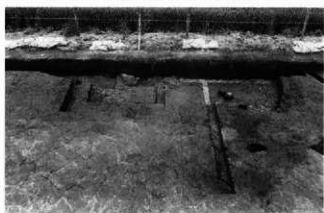
37号住居跡 貯蔵穴 埋土断面(東より)



38・39号住居跡 全景(南東より)



38・39号住居跡 埋土断面(東より)



38・39号住居跡 全景(東より)



38・39号住居跡 埋土断面(東より)



39号住居跡 カマド遺物出土状態(西より)



40号住居跡 全景(南西より)



40号住居跡 掘り方 全景(南西より)



40・61・85号住居跡 周辺 (北より)



43・44号住居跡 周辺 (南より)



40号住居跡 貯蔵穴 埋土断面(北より)



41号住居跡 全景(南西より)



41号住居跡 掘り方 全景(南西より)



41号住居跡 カマド 全景(北東より)



41号住居跡 貯蔵穴 埋土断面(東より)



42号住居跡・4号貯蔵穴遺構 全景(西より)



43・44号住居跡 全景(南より)



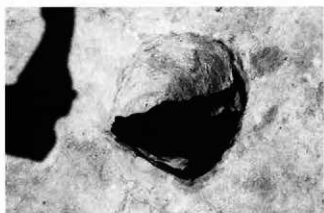
43・44号住居跡 掘り方 全景(南より)



43号住居跡 遺物出土状態(西より)



44号住居跡 ビット1 全景



44号住居跡 ビット2 全景



44号住居跡 ビット3 全景(西より)



44号住居跡 遺物出土状態(西より)



45号住居跡 全景(東より)



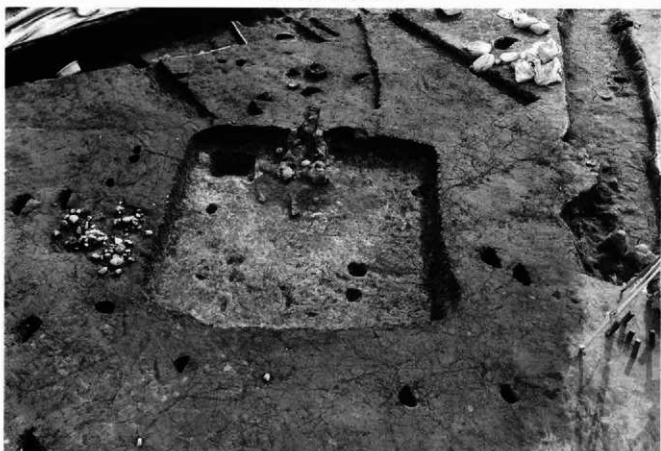
45号住居跡 カマド 埋土断面(南東より)



45号住居跡 カマド掘り方 全景(東より)



46号住居跡 周辺 (東より)



45号住居跡 周辺 (東より)



45号住居跡 貯蔵穴 全景(東より)



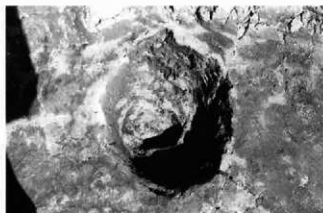
45号住居跡 貯蔵穴 埋土断面



46号住居跡 全景(東より)



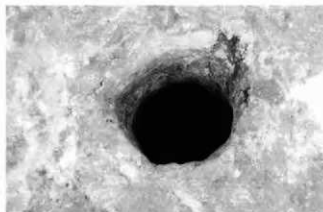
46号住居跡 掘り方 全景(東より)



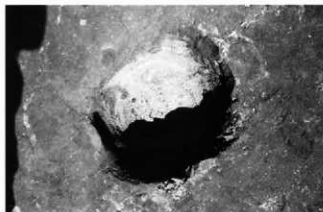
46号住居跡 ピット1 全景(南より)



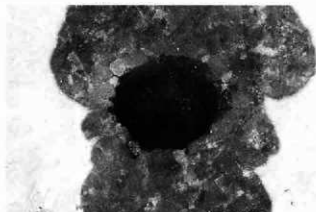
46号住居跡 ピット2 全景(南より)



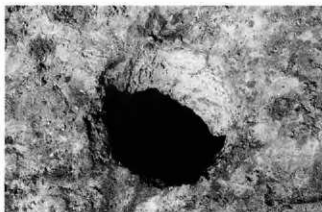
46号住居跡 ピット3 全景(南より)



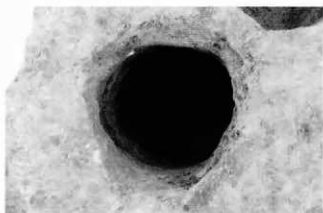
46号住居跡 ピット4 全景(南より)



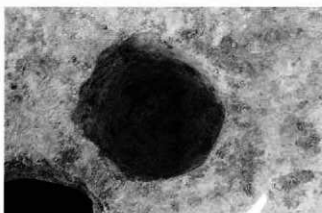
46号住居跡 ビット5 全景(南より)



46号住居跡 ビット6 全景(西より)



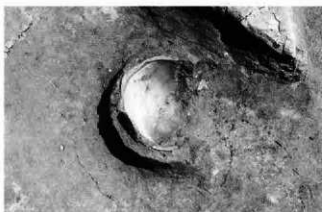
46号住居跡 ビット7 全景(西より)



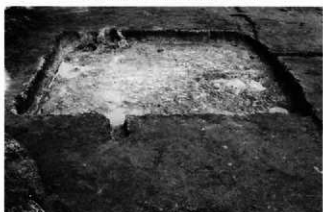
46号住居跡 ビット8 全景(西より)



46号住居跡 遺物出土状態(西より)



46号住居跡 遺物出土状態(西より)



48号住居跡 全景(北西より)



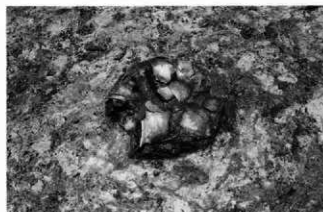
48号住居跡 カマド 全景(北西より)



48号住居跡 貯蔵穴 埋土断面



49号住居跡 全景(北西より)



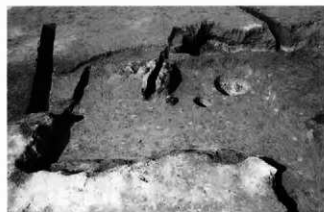
49号住居跡 遺物出土状態



49号住居跡 遺物出土状態



51号住居跡 全景(北東より)



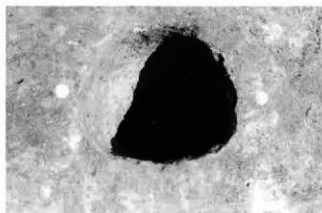
51号住居跡 掘り方 全景(北東より)



51号住居跡 カマド遺物出土状態(南より)



51号住居跡 貯蔵穴 埋土断面



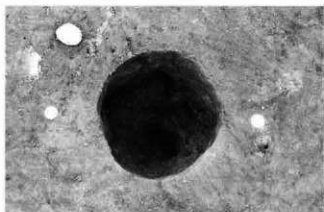
51号住居跡 ピット1 全景(南より)



52号住居跡 全景(南より)



52号住居跡 ピット1 埋土断面(北より)



52号住居跡 ピット2 全景(西より)



52号住居跡 ピット3 全景(西より)



53・54号住居跡 全景(南より)



40号溝・54号住居跡 全景(南より)



40号溝・54号住居跡 掘り方 全景(南西より)



55号住居跡 全景(北西より)



55号住居跡 掘り方 全景(北西より)



55号住居跡 カマド 全景(北西より)



55号住居跡 埋土断面(南より)



56号住居跡 掘り方 全景(西より)



57号住居跡 全景(北西より)



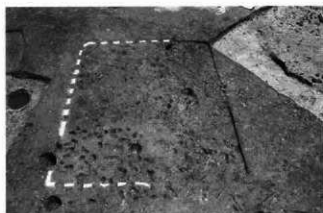
58号住居跡 全景(北東より)



58号住居跡 掘り方 全景(北東より)



58号住居跡 カマド 全景(北東より)



59号住居跡 掘り方 全景(西より)



38号溝・60号住居跡 全景(西より)



60号住居跡 カマド 全景(西より)



60号住居跡 貯蔵穴遺物出土状態全景



61・85号住居跡 全景(北より)



62号住居跡 全景(南西より)



62号住居跡 掘り方 全景(南西より)



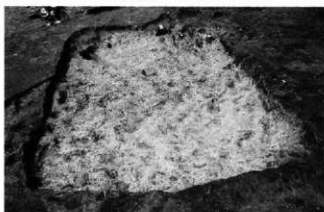
62号住居跡 カマド 全景(南西より)



63号住居跡 全景(南より)



63号住居跡 カマド 全景(南より)



63号住居跡 掘り方 全景(南より)



64号住居跡 掘り方 全景(南東より)



64号住居跡 カマド周辺遺物出土状態



65号住居跡 全景(南東より)



65号住居跡 掘り方 全景(南東より)



66号住居跡 全景(西より)



66号住居跡 掘り方 全景(西より)



66号住居跡 カマド周辺遺物出土状態



68号住居跡 全景(北西より)



68・69号住居跡 全景(北より)



69号住居跡 全景(南西より)



69号住居跡 貯蔵穴周辺遺物出土状態



70号住居跡 掘り方 全景(南西より)



71号住居跡 遺構確認状態(南西より)



71号住居跡 掘り方 全景(北東より)



71号住居跡 カマド周辺遺物出土状態



71号住居跡 貯蔵穴遺物出土状態



71号住居跡 遺物出土状態



71号住居跡 遺物出土状態



72号住居跡 拡張後全景(南東より)



72号住居跡 拡張前全景(南東より)



72号住居跡 掘り方 全景(南東より)



72号住居跡 カマド 全景(南東より)



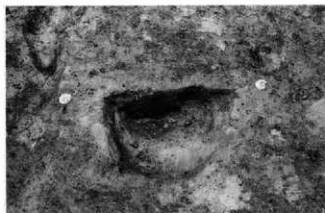
72号住居跡 ビット2 埋土断面



72号住居跡 ビット3 埋土断面



72号住居跡 ビット4 埋土断面



72号住居跡 ビット5 埋土断面



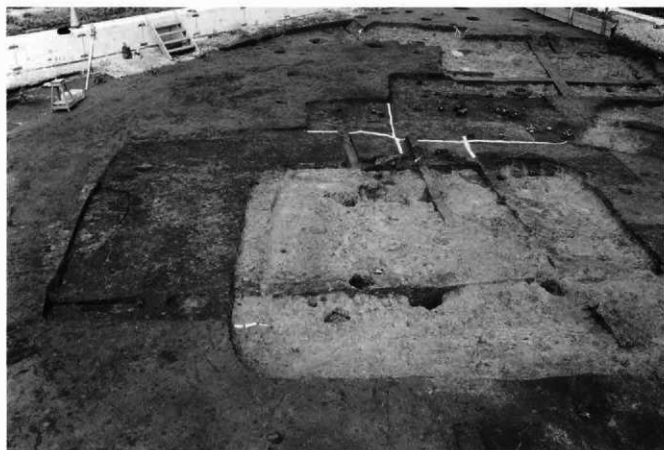
72号住居跡 ビット6 埋土断面



72号住居跡 ビット7 埋土断面



72号住居跡 周辺 (南東より)



72号住居跡 周辺 (南東より)



72号住居跡 ビット8 埋土断面



72号住居跡 ビット9 埋土断面



72号住居跡 ビット10 埋土断面



73号住居跡 遺物出土状態全景(南東より)



74・75号住居跡 遺物出土状態全景(南より)



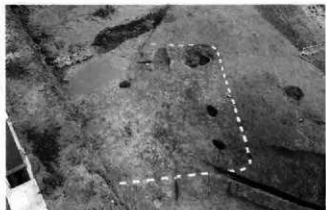
74・75号住居跡 掘り方 全景(南より)



75号住居跡 遺物出土状態全景(南より)



75号住居跡 貯蔵穴 埋土断面



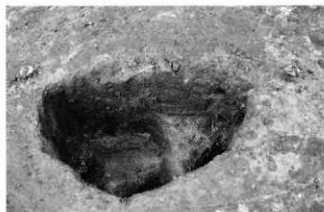
76号住居跡 全景(北西より)



76号住居跡 カマド 遺物出土状態全景



76号住居跡 ビット1 全景(南より)



76号住居跡 ビット2 全景(南より)



76号住居跡 ビット4 全景(南より)



81号住居跡 全景(南東より)



81号住居跡 住居内土坑跡 堀土断面



81号住居跡 掘り方 全景(南東より)



82号住居跡 遺物出土状態全景(北西より)



82号住居跡 掘り方 全景(北西より)



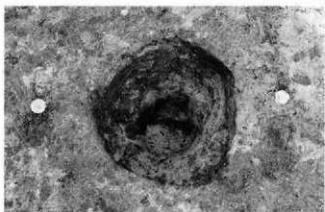
82号住居跡 埋土断面(南西より)



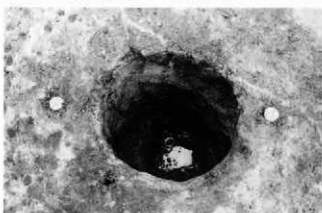
82号住居跡 カマド掘り方 全景(北より)



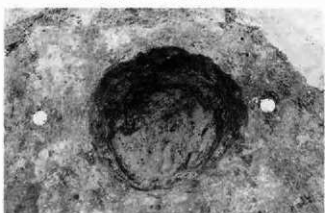
82号住居跡 カマド 全景(北より)



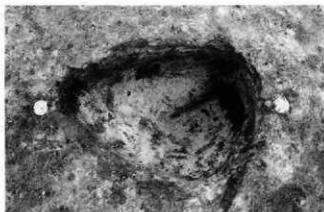
82号住居跡 ビット2 全景(西より)



82号住居跡 ビット3 全景(西より)



82号住居跡 ビット4 全景(西より)



82号住居跡 ビット5 全景(西より)



82号住居跡 ビット6 全景(西より)



86号住居跡 全景(南東より)



86号住居跡 掘り方 全景(南東より)



86号住居跡 カマド 全景(南東より)



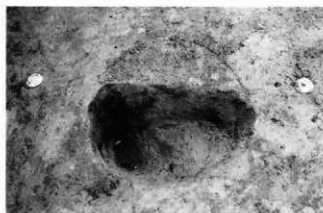
86号住居跡 カマド掘り方 埋土断面(南東より)



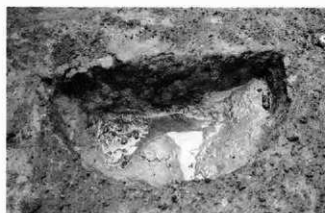
86号住居跡 ビット1 半截状態



86号住居跡 ビット2 半截状態



86号住居跡 ビット3 半截状態



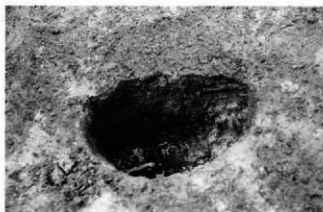
86号住居跡 ビット4 半截状態



86号住居跡 ビット5 半截状態



86号住居跡 ビット6 半截状態



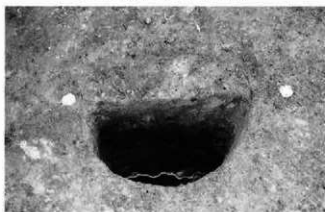
86号住居跡 ビット7 半截状態



86号住居跡 ビット8 半截状態



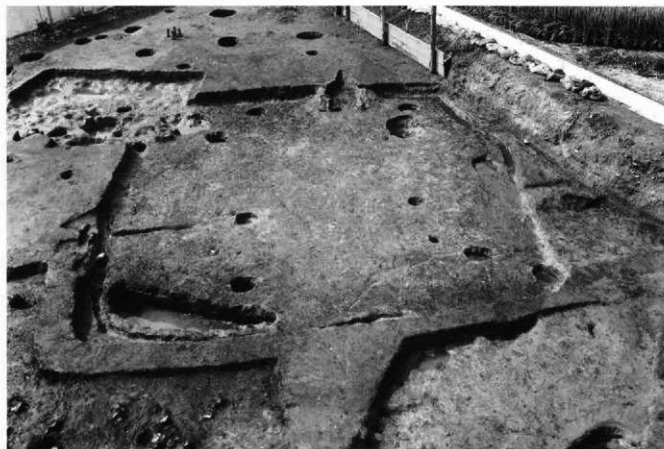
86号住居跡 ビット9 半截状態



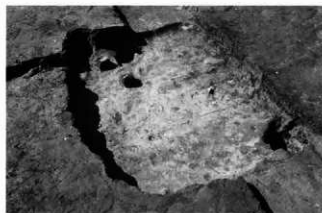
86号住居跡 ビット10 半截状態



86号住居跡 周辺 (南東より)



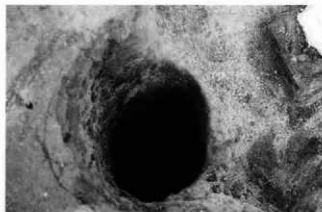
86号住居跡 周辺 (南東より)



1号竪穴状遺構 全景(東より)



1号竪穴状遺構 埋土断面(南東より)



1号竪穴状遺構 ビット1 全景(南より)



1号竪穴状遺構 ビット1 埋土断面(南東より)



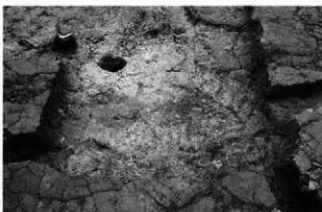
2号竪穴状遺構 全景(南より)



2号竪穴状遺構 埋土断面(東より)



3号竪穴状遺構 全景(南より)



4号竪穴状遺構 埋土断面(南より)



4号井戸跡 全景(南より)



5号井戸跡 遺物出土状態(東より)



5号井戸跡 遺物出土状態(東より)



5号井戸跡 遺物出土状態(東より)



5号井戸跡 遺物出土状態(東より)



5号井戸跡 遺物出土状態(西より)



5号井戸跡 遺物出土状態(北より)



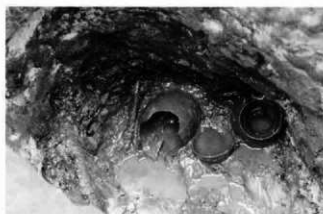
5号井戸跡 全景(南東より)



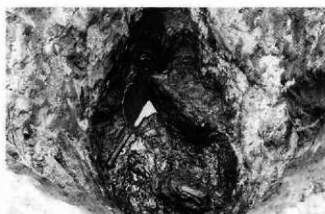
6号井戸跡 全景(南より)



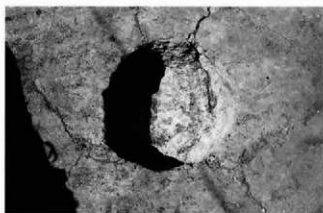
6号井戸跡 掘土断面(西より)



6号井戸跡 遺物出土状態



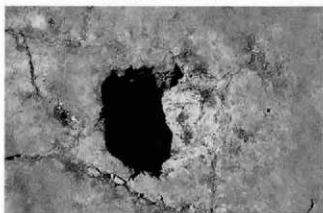
6号井戸跡 遺物出土状態



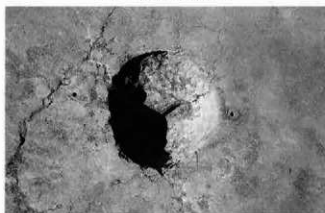
30号土坑跡 全景(南より)



31号土坑跡 全景(南より)



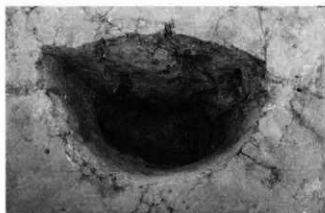
32号土坑跡 全景(南より)



33号土坑跡 全景(南より)



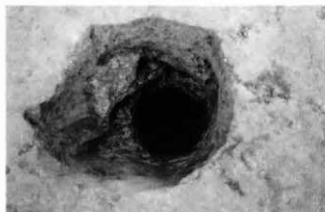
34号土坑跡 埋土断面(南より)



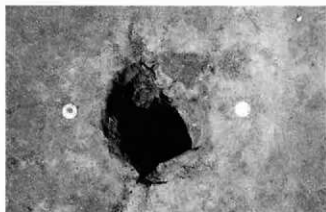
35号土坑跡 全景(南より)



36号土坑跡 全景(南より)



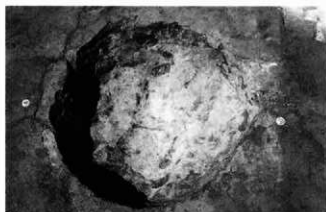
39号土坑跡 全景(南より)



40号土坑跡 全景(東より)



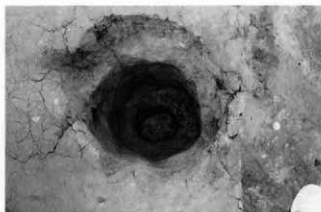
41号土坑跡 全景(東より)



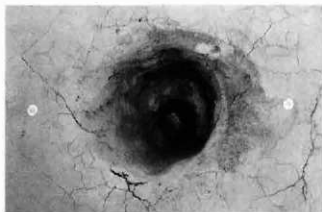
42号土坑跡 全景(東より)



43号土坑跡 全景(東より)



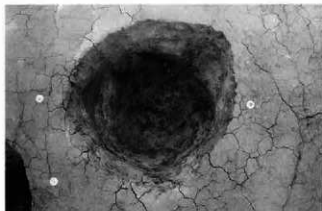
45号土坑跡 全景(東より)



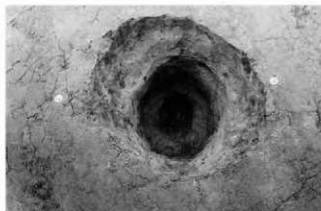
46号土坑跡 全景(東より)



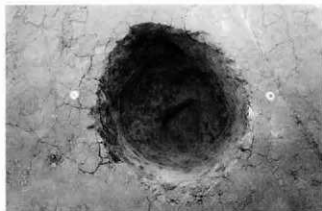
47号土坑跡 全景(東より)



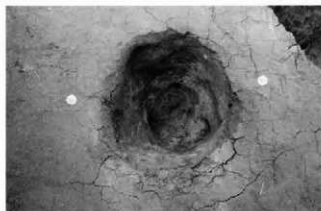
48号土坑跡 全景(東より)



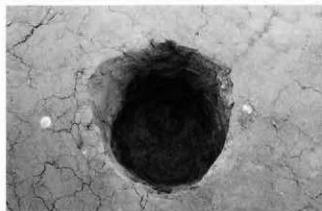
49号土坑跡 全景(東より)



50号土坑跡 全景(東より)



51号土坑跡 全景(東より)



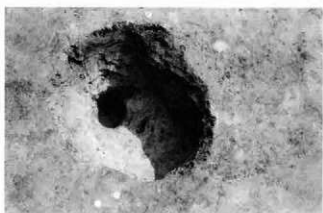
52号土坑跡 全景(東より)



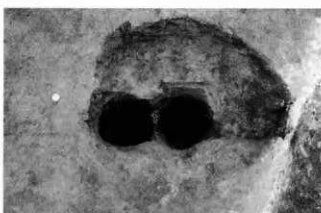
53号土坑跡 埋土断面(北より)



54号土坑跡 埋土断面(北より)



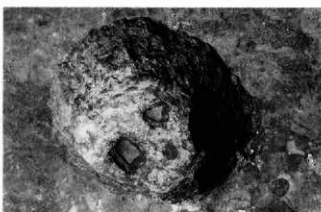
56号土坑跡 全景(北より)



58号土坑跡 全景(北より)



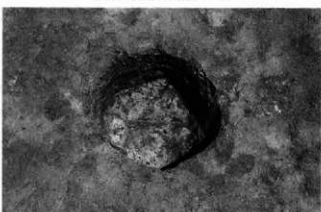
71号土坑跡 全景(東より)



72号土坑跡 全景(南より)



74号土坑跡 埋土断面(北より)



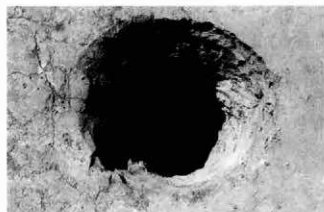
75号土坑跡 全景(南より)



76号土坑跡 (樹木側)



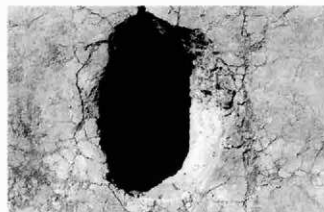
77号土坑跡 全景(南より)



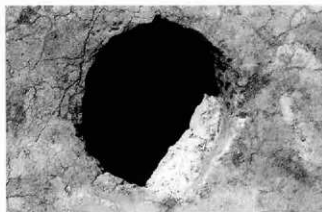
78号土坑跡 全景(東より)



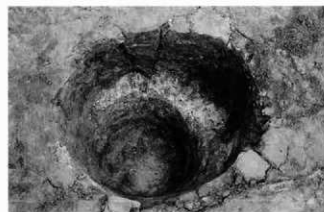
79号土坑跡 全景(南より)



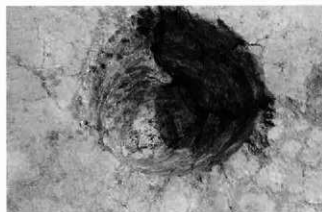
80号土坑跡 全景(東より)



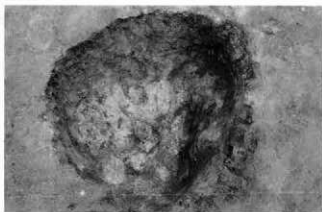
81号土坑跡 全景(東より)



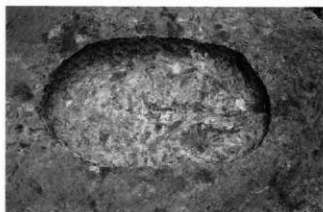
82号土坑跡 全景(南より)



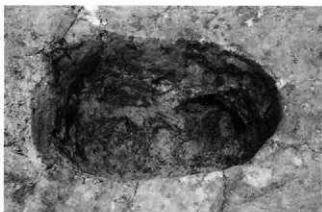
83号土坑跡 全景(南より)



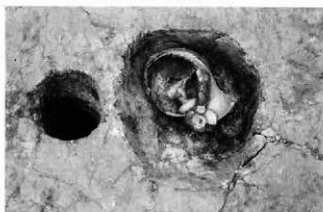
84号土坑跡 全景(北より)



85号土坑跡 全景(東より)



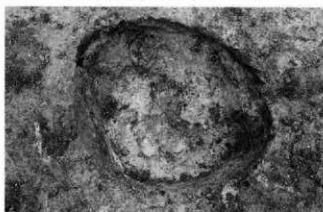
86号土坑跡 全景(東より)



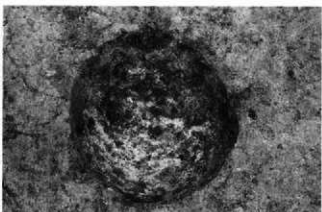
87・88号土坑跡 全景・遺物出土状態



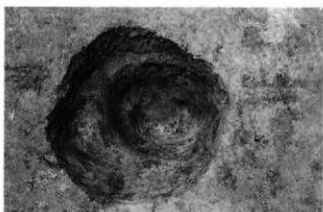
89号土坑跡 全景(南より)



90号土坑跡 全景(東より)



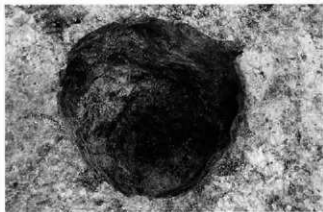
91号土坑跡 全景(東より)



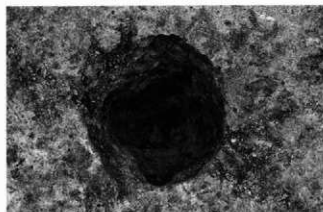
92号土坑跡 全景(東より)



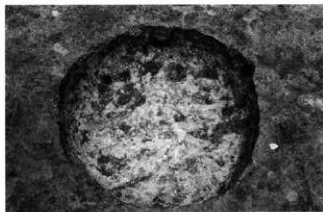
93号土坑跡 全景(南より)



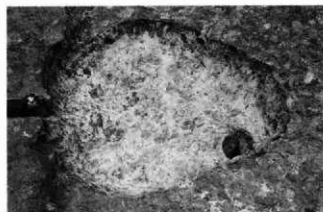
94号土坑跡 全景(南より)



95号土坑跡 全景(東より)



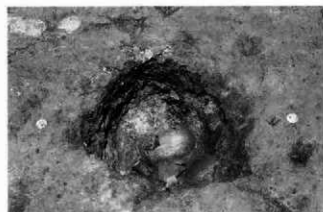
96号土坑跡 全景(南より)



97号土坑跡 全景(南より)



98号土坑跡 全景(東より)



100号土坑跡 遺物出土状態(東より)



101号土坑跡 全景(南より)



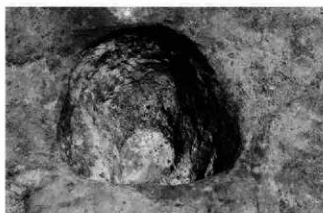
102号土坑跡 全景(南より)



103号土坑跡 全景(東より)



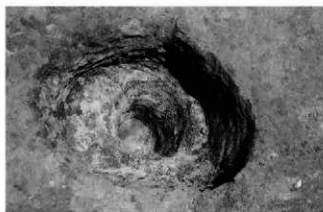
104号土坑跡 全景(南より)



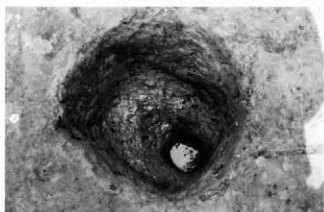
105号土坑跡 全景(南より)



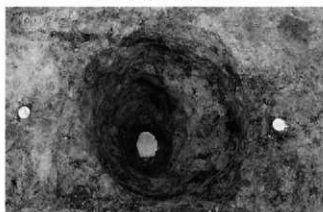
106号土坑跡 全景(西より)



107号土坑跡 全景(南より)



108号土坑跡 全景(南より)



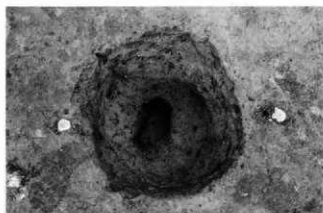
109号土坑跡 全景(南より)



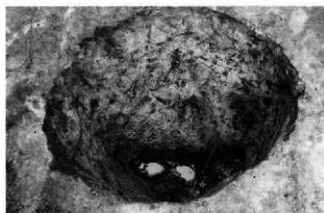
110号土坑跡 全景(東より)



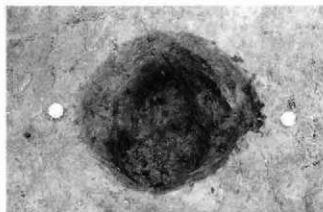
110号土坑跡 遺物出土状態



111号土坑跡 全景(南より)



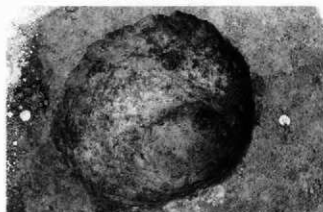
112号土坑跡 全景(南より)



113号土坑跡 全景(南より)



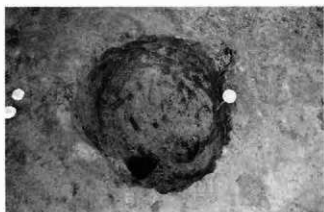
114号土坑跡 全景(南より)



115号土坑跡 全景(南より)



116号土坑跡 全景(南より)



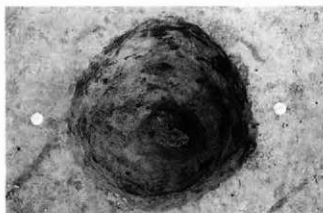
117号土坑跡 全景(南より)



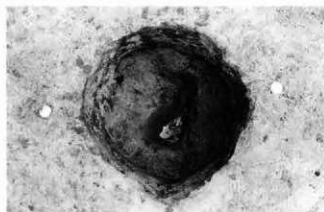
118号土坑跡 全景(南より)



119号土坑跡 全景(南より)



120号土坑跡 全景(南より)



121号土坑跡 全景(南より)



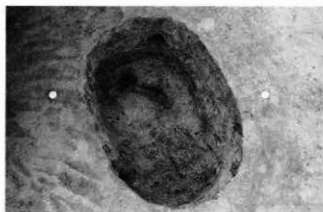
122号土坑跡 堀土断面(南より)



122号土坑跡 遺物出土状態



122号土坑跡 遺物出土状態(北より)



123号土坑跡 全景(南より)



124号土坑跡 全景(南より)



125号土坑跡 埋土断面(西より)



126号土坑跡 遺物出土状態



133号土坑跡 埋土断面(南より)



134号土坑跡 埋土断面(南より)



135号土坑跡 埋土断面(南より)



136号土坑跡 遺物出土状態



7区40号溝跡 埋土断面(西より)



7区42号溝跡 埋土断面(東より)



7区41号溝跡 全景(南東より)



7区43号溝跡 遺物出土状態(西より)



7区43号溝跡 遺物出土状態(北より)



7区43号溝跡 遺物出土状態(北より)



7区43号溝跡 遺物出土状態(南より)



7区44号溝跡 全景(南より)



7区45号溝跡 埋土断面(北より)



7区大溝跡 (南西より)



7区大溝跡 埋土断面(南西より)



7区浅間B軽石下水田跡 遠景(南西より)



7区浅間B軽石下水田跡 (南より)



7区浅間B軽石下水田跡 (南より)



7区浅間B軽石下水田跡 呼裁割り



1号集石跡 全景(南より)



7号井戸跡 全景(東より)



138号土坑跡 全景(南より)



139号土坑跡 全景(東より)



140号土坑跡 全景(南より)



8区50~52号溝跡 全景(南より)



8区50号溝跡 埋土断面(南より)



8区51号溝跡 埋土断面(南より)



8区52号溝跡 埋土断面(南より)



8区53号溝跡 全景(南より)



8区53号溝跡 埋土断面(南より)



8区53・54号溝跡 埋土断面(南より)



8区54号溝跡 埋土断面(南より)



8区54・55号溝跡 埋土断面(南より)



8区55号溝跡 埋土断面(南より)



8区57・58号溝跡 埋土断面(西より)



8区60号溝跡 埋土断面(南より)



8区61～63号溝跡 埋土断面(南より)



8区61～63号溝跡 全景(南より)



8区63・64号溝跡 全景(南より)



8区61・64号溝跡 埋土断面(北より)



8区61・65号溝跡 埋土断面(西より)



8区65号溝跡 全景(東より)



8区66号溝跡 全景(南より)



8区65・66・71号溝跡 全景(北より)



8区67・68号溝跡 埋土断面(南より)



8区70号溝跡 全景(東より)



8区72号溝跡 全景(東より)



8区69・70号溝跡 埋土断面(南より)



8区72号溝跡 埋土断面(東より)



8区73・74号溝跡 埋土断面(南より)



8区74・75号溝跡 埋土断面(南より)



8区76号溝跡 遺物出土状態(西より)



8区76号溝跡 遺物出土状態(東より)



8区77号溝跡 埋土断面(南より)



8区北東部 全景 (北東より太田警察署方面を望む)



22住-1



22住-2



22住-3



22住-4



22住-5



22住-6



22住-7



22住-8



22住-9



22住-10



22住-11



22住-12



22住-13



22住-14



22住-17



22住-16



22住-18



22住-15



22住-19



22住-22



22住-20



22住-21



23住-1



23住-6



23住-2



23住-3



23住-4



23住-5



23住-7



23住-8



23住-9



23住-10



24住-3



24住-1

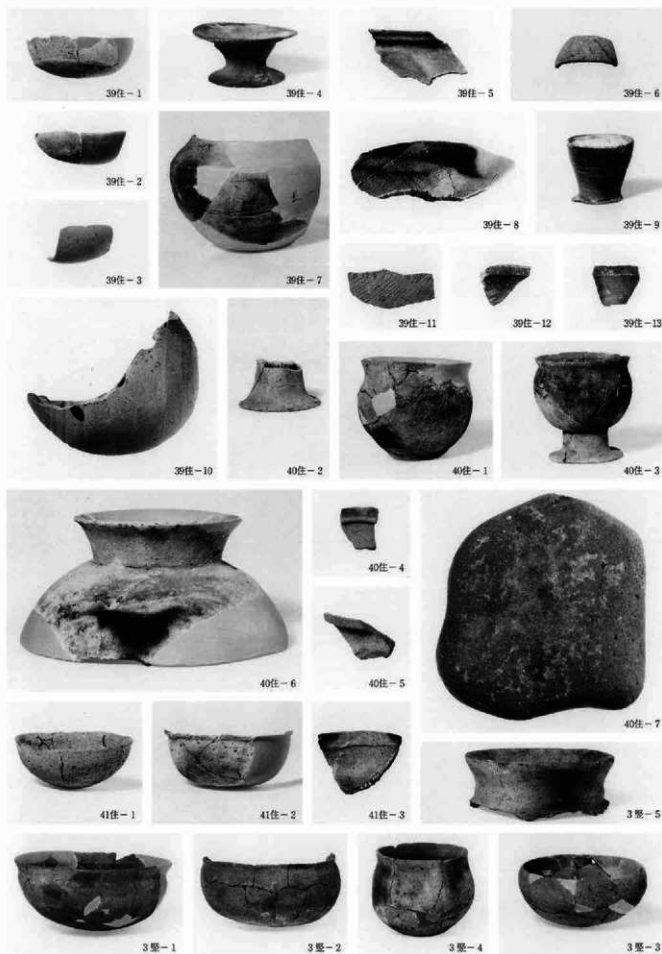


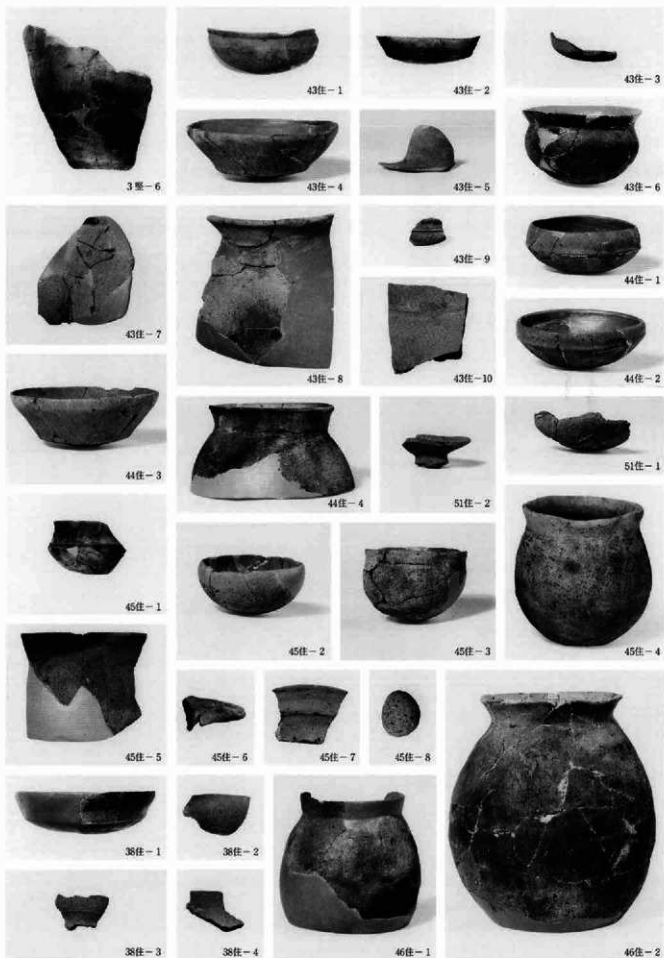
24住-5

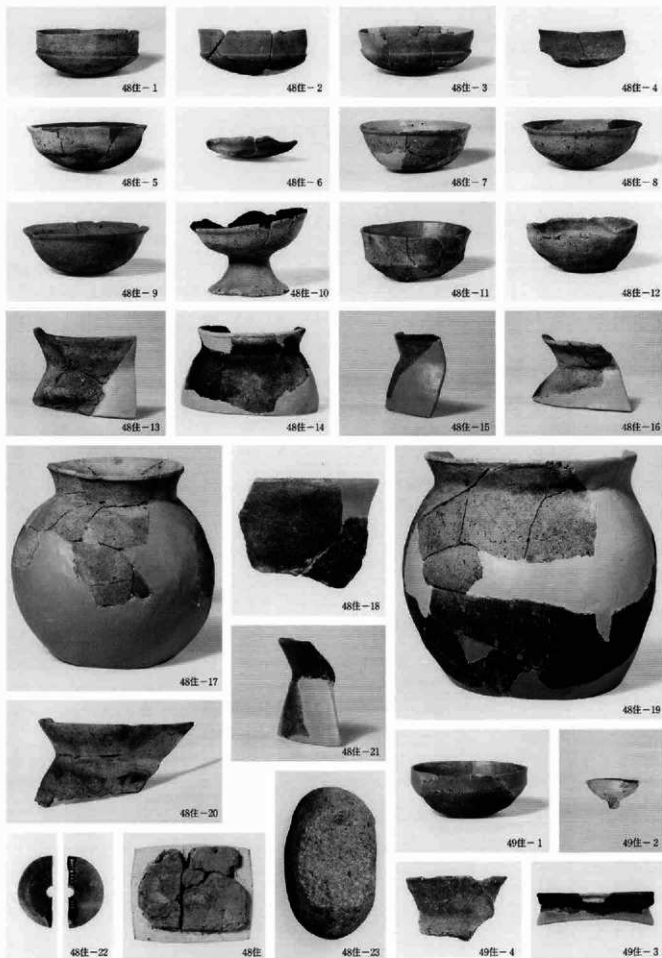














49住-5



49住-8



49住-9



49住-10

49住-11



55住-1



55住-2



55住-3



49住-6



56住-4



55住-6



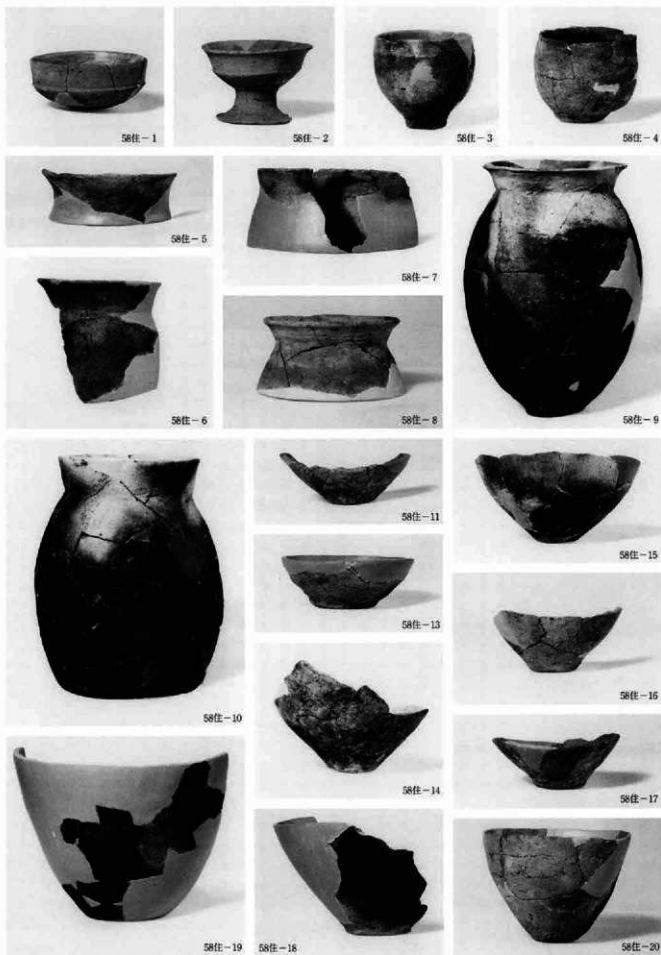
49住-7



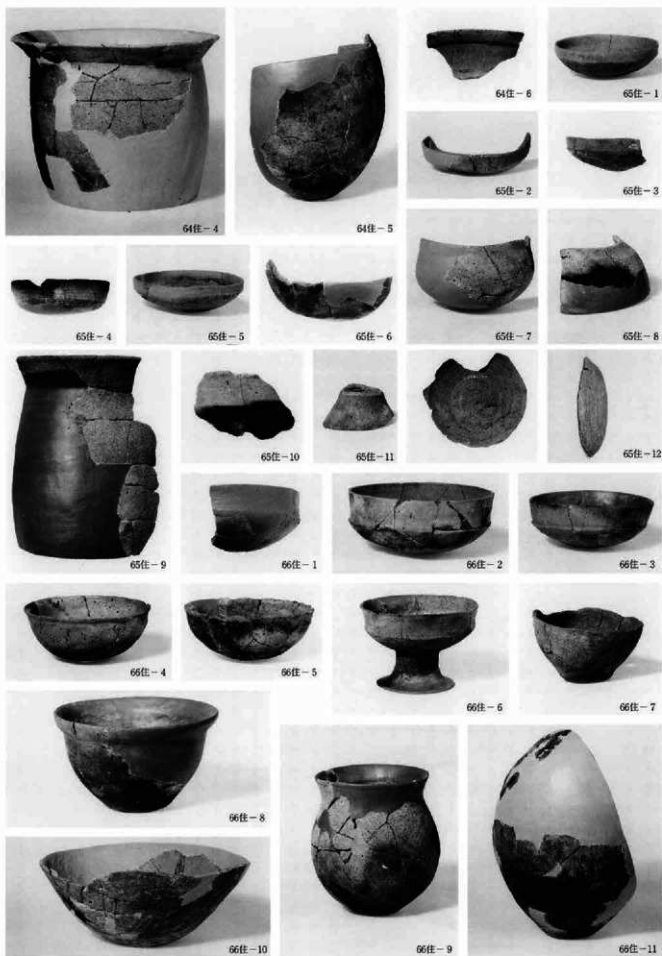
56住-5

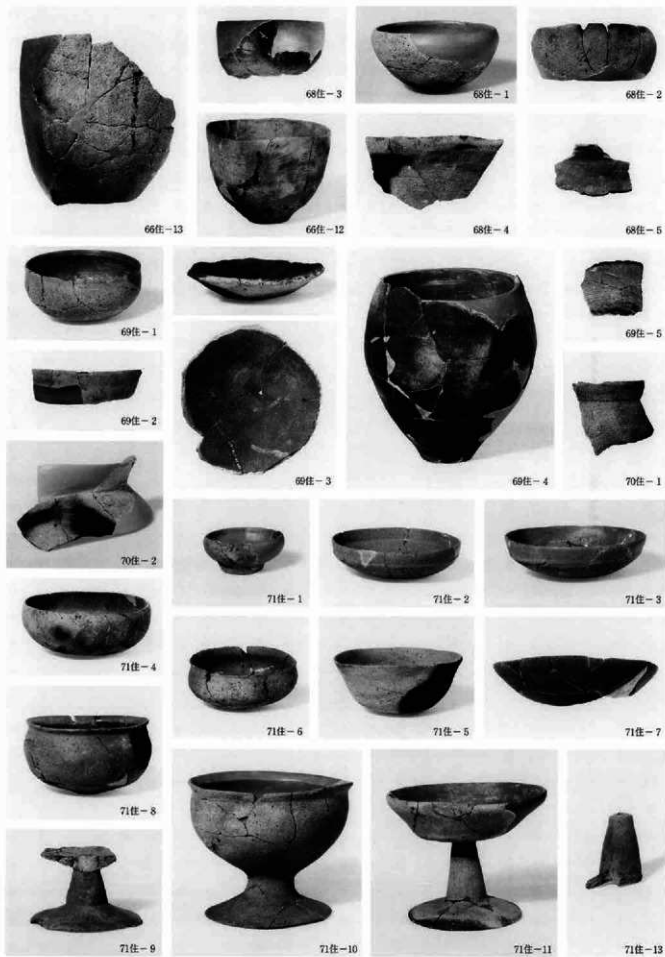


56住-7











71住-12



71住-14



71住-15



71住-16



71住-17



71住-18



71住-19



71住-20



71住-21



71住-22



71住-23



71住-24



71住-25



72住-1



72住-2



72住-3



72住-4



72住-5



72住-6



72住-7



72住-8



72住-9



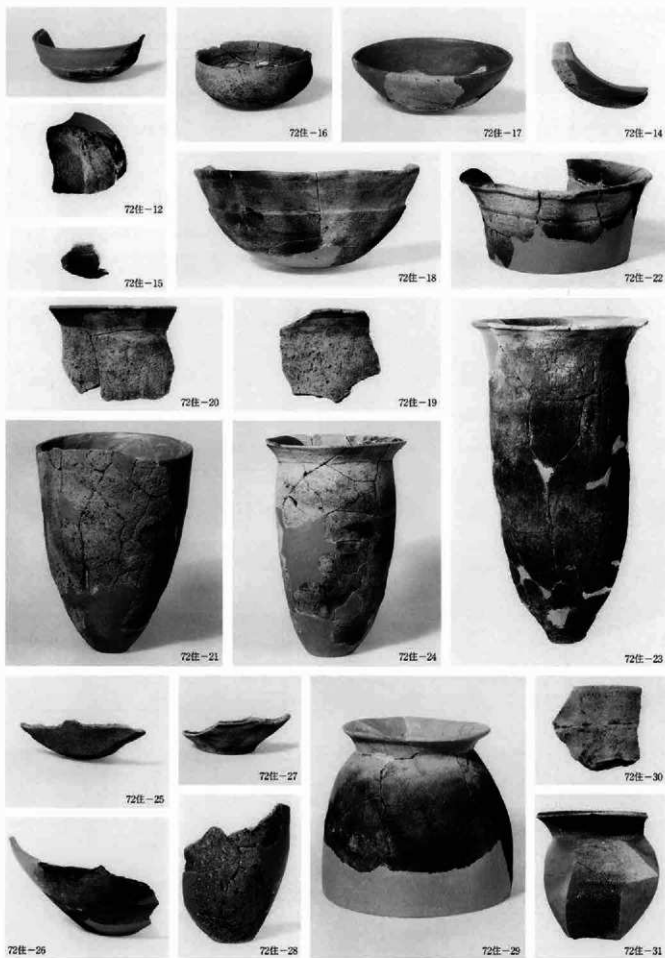
72住-10



72住-11

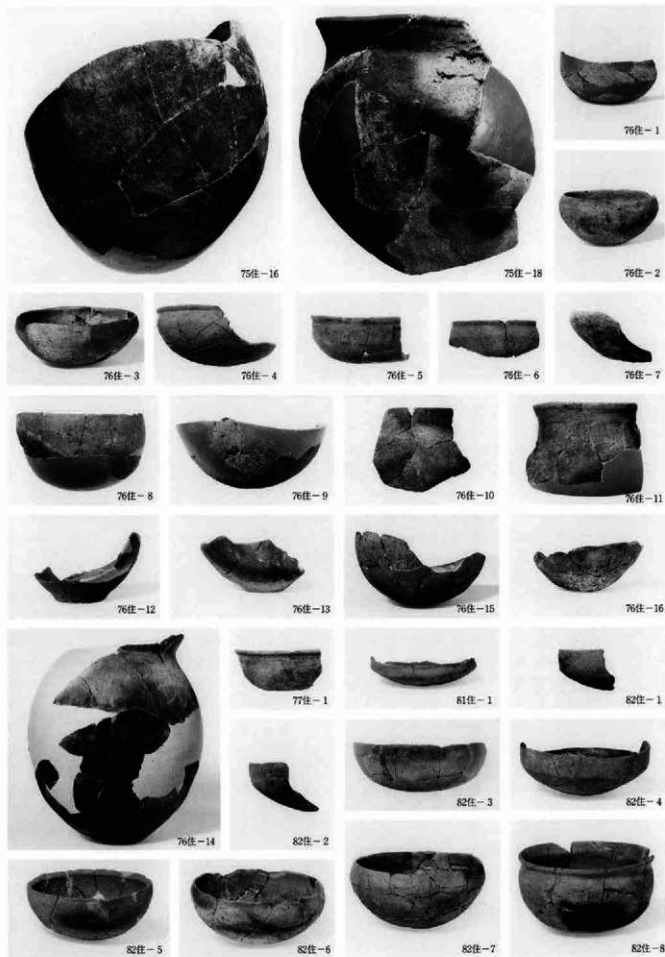


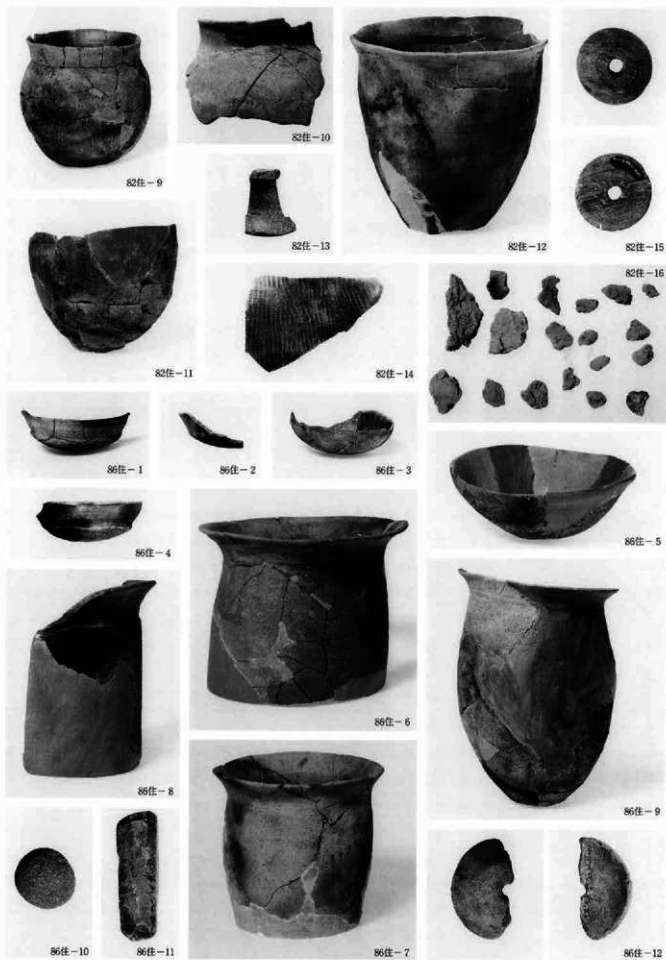
72住-13















5井-10



5井-12



5井-16



5井-11



5井-24



5井-13



5井-14



5井-17



5井-15



5井-18



5井-21



5井-19



79土-1



88土-1



5井-20



5井-23



88土-2



98土-1



5井-22



88土-3



100土-1



110土-1



117土-1

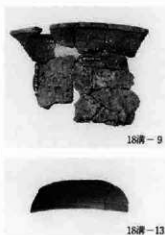




18清-11



18清-12



18清-9



18清-13



18清-5



18清-10



18清-14



13清-2



13清-5



13清-1



13清-4



13清-3



13溝-6



40溝-1



40溝-2



40溝-3



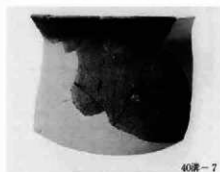
40溝-4



40溝-6



40溝-5



40溝-7



42溝-1



42溝-2



42溝-3



42溝-4



42溝-5



42溝-6



40溝-8



43溝-1



43溝-2



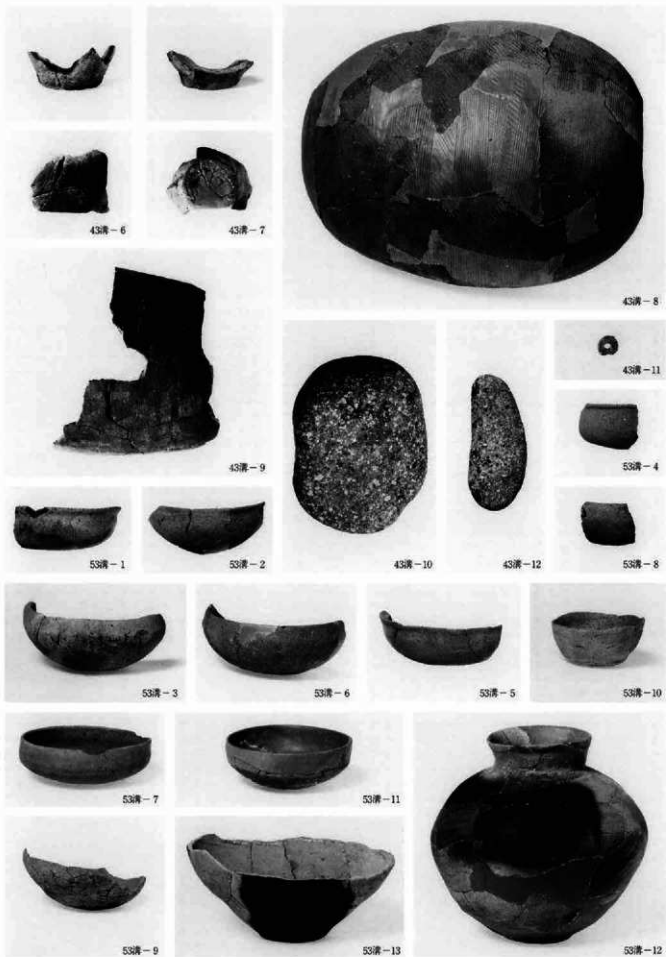
43溝-3

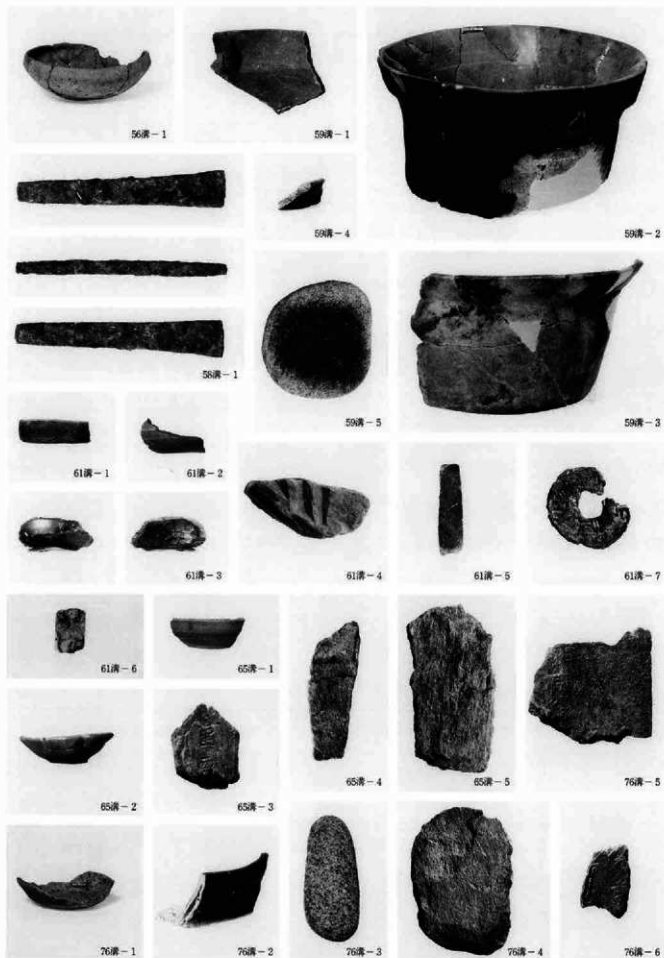


43溝-5



43溝-4









4区外-38



4区外-40



4区外-39



4区外-42



4区外-41



4区外-43



4区外-44



4区外-45



4区外-47



4区外-55



4区外-49



4区外-52



4区外-48



4区外-50



4区外-46



4区外-53



4区外-54



4区外-51







第-71



第-72



6区外-8



第-73



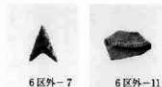
6区外-1~6



6区外-9



6区外-10



6区外-7



6区外-11



6区外-12



6区外-13



6区外-14



6区外-15



6区外-16



6区外-17



6区外-18



6区外-19



6区外-21



6区外-20



6区外-22



6区外-23



6区外-24



6区外-25



6区外-26



6区外-30



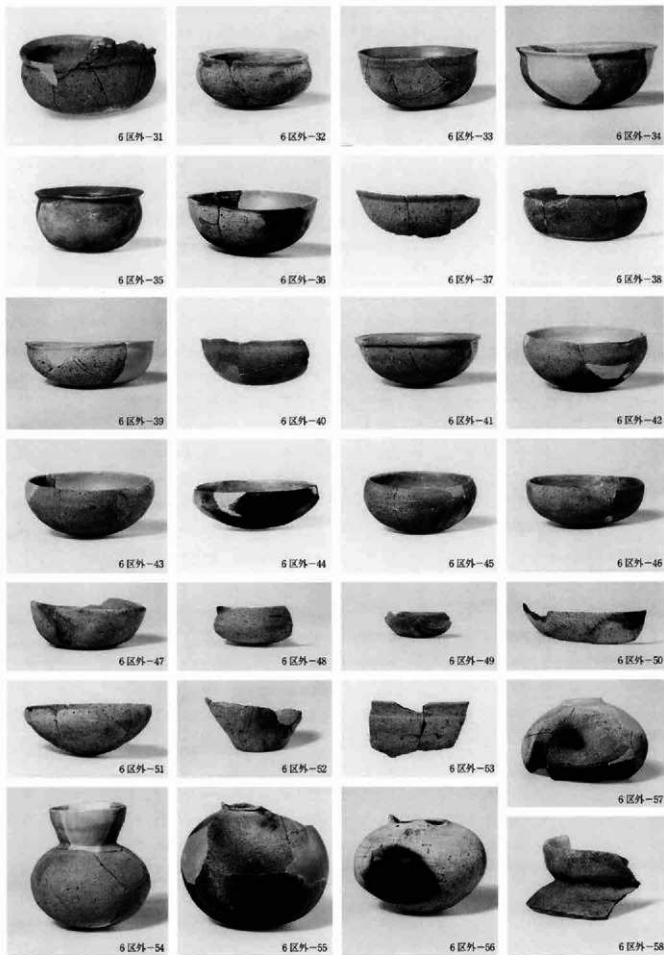
6区外-27



6区外-28



6区外-29





6区外-61



6区外-62



6区外-66



6区外-67



6区外-71



6区外-72



6区外-60



6区外-69



6区外-64



6区外-73



6区外-59



6区外-74



6区外-63



6区外-88



6区外-75



6区外-76



6区外-77



6区外-65



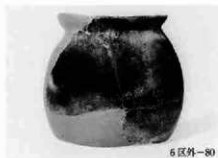
6区外-70



6区外-78



6区外-79



6区外-80



6区外-97



6区外-107



6区外-86



6区外-90



6区外-117



6区外-124



6区外-84



6区外-85



6区外-122



6区外-115



6区外-87



6区外-94



6区外-81



6区外-88



6区外-93



6区外-96



6区外-95



6区外-90



6区外-89



6区外-92



6区外-91



6区外-82



6区外-101



6区外-102



6区外-103



6区外-104



6区外-118



6区外-108



6区外-113



6区外-100



6区外-119



6区外-116



6区外-121



6区外-98



6区外-128



6区外-120



6区外-112



6区外-83



6区外-111



6区外-126



6区外-125



6区外-127



6区外-129



6区外-130



6区外-114



6区外-105



拡大



6区外-132



6区外-133



6区外-131



6区外-138



拡大



6区外-106



6区外-109



6区外-135



6区外-130



6区外-110



6区外-123



6区外-138



6区外-142



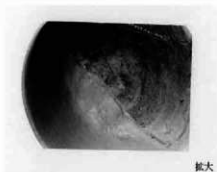
6区外-137



6区外-134



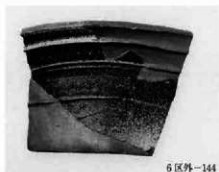
6区外-143



拡大



拡大



6区外-144



6区外-140



6区外-141



6 区外-145



6 区外-146



6 区外-148



6 区外-147

6 区外-149



6 区外-150



6 区外-151



6 区外-152



6 区外-153



6 区外-154



6 区外-155



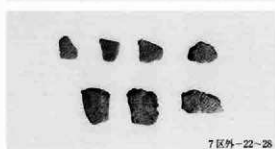
6 区外-156



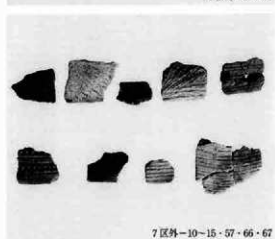
6 区外-157



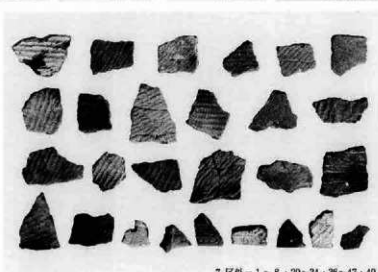
6 区外-158



7 区外-22-28



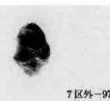
7 区外-10-15-57-66-67



7 区外-1-8-29-34-36-47-49



7 区外-96



7 区外-97



7区外-9·35·48·50·51·53-56·58·59·61-65·68-71·73-77·82·94·95



7区外-78·80·81·83·84



7区外-85



7区外-102



7区外-16-21·52·60·72·79·86-93



7区外-99



7区外-96



7区外-100



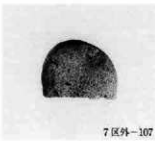
7区外-101



7区外-103



7区外-105



7区外-107



7区外-104



7区外-106



7区外-108



7区外-109



7区外-111



7区外-110



7区外-113



7区外-112



7区外-114



7区外-115



7区外-119



7 区外—116



7 区外—118



7 区外—122



7 区外—117



7 区外—120



7 区外—123



7 区外—121



7 区外—124



7 区外—126



7 区外—127



7 区外—128



7 区外—129



7 区外—130



7 区外—125



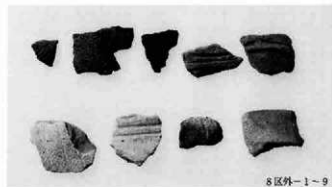
7 区外—131



7 区外—132



7 区外—133



8 区外—1~9



8 区外—10



8 区外—11



8 区外—12

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告書 第333集

前沖遺跡

(主)太田大岡々嶺(BP)地方特定道路整備事業並びに住宅地関連
公共施設整備促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集

平成16年(2004)3月1日 印刷

平成16年(2004)3月15日 発行

発行／編集 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

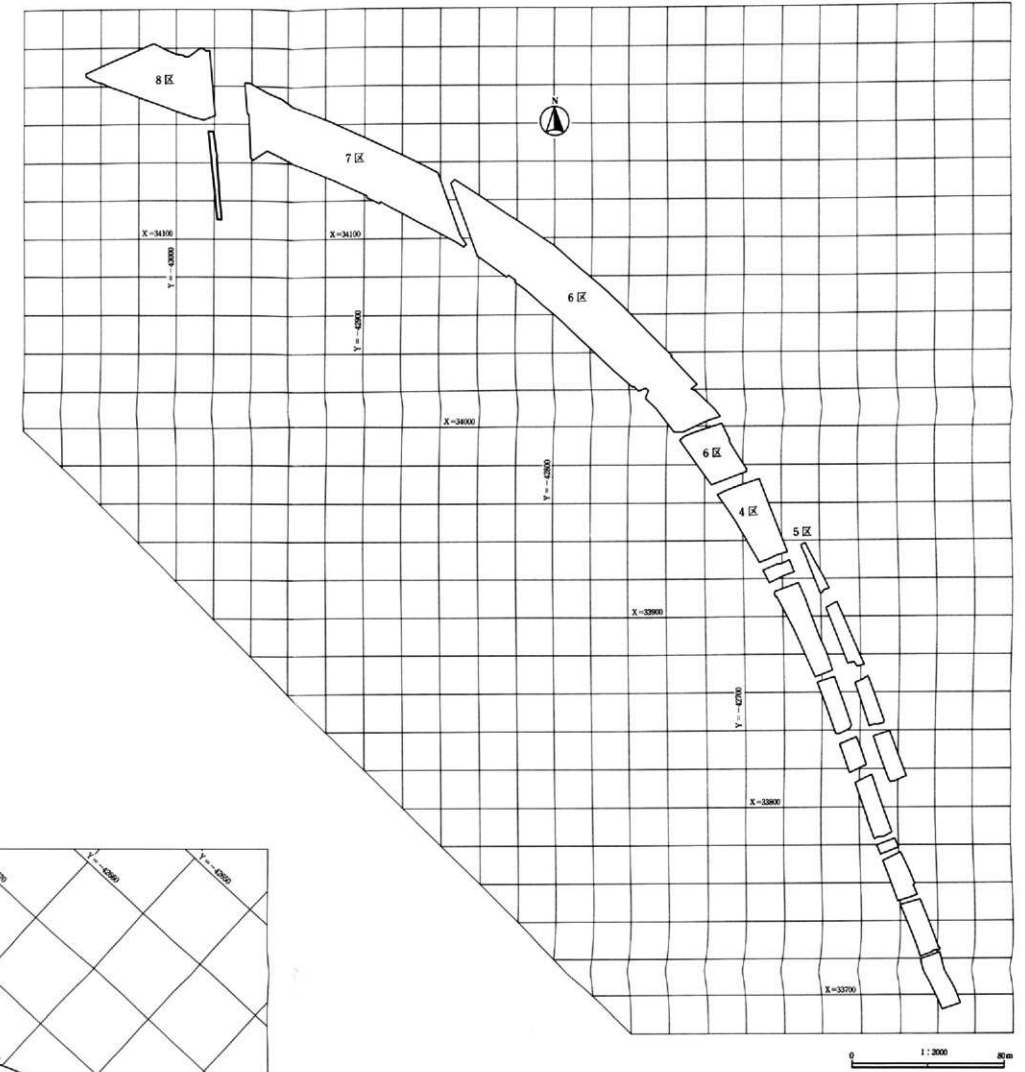
〒377-8555 群馬県勢多郡北構村大字下箱田784番地の2

電話(0275)52-2511 (代表)

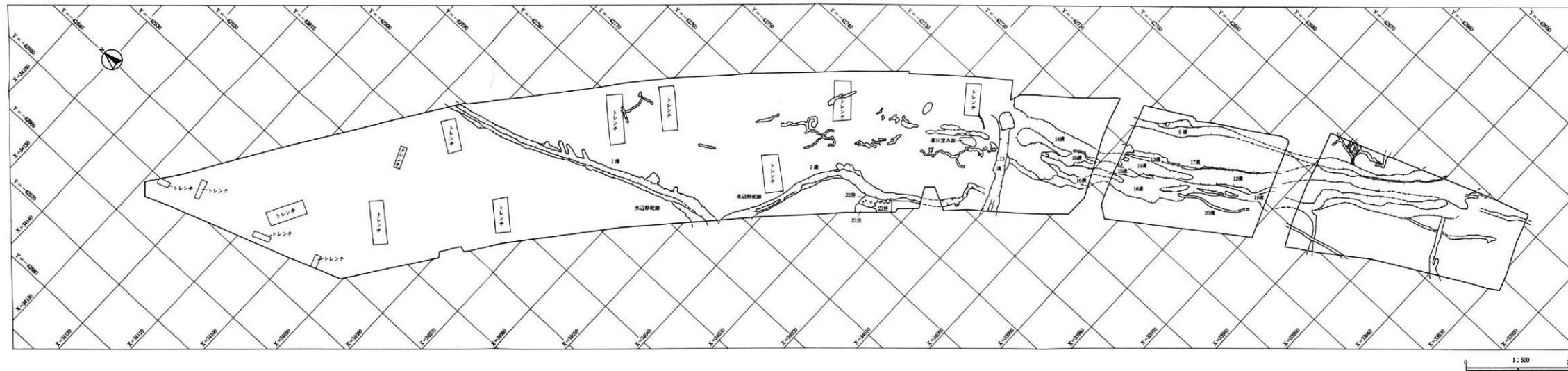
ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／上毛新聞社出版局

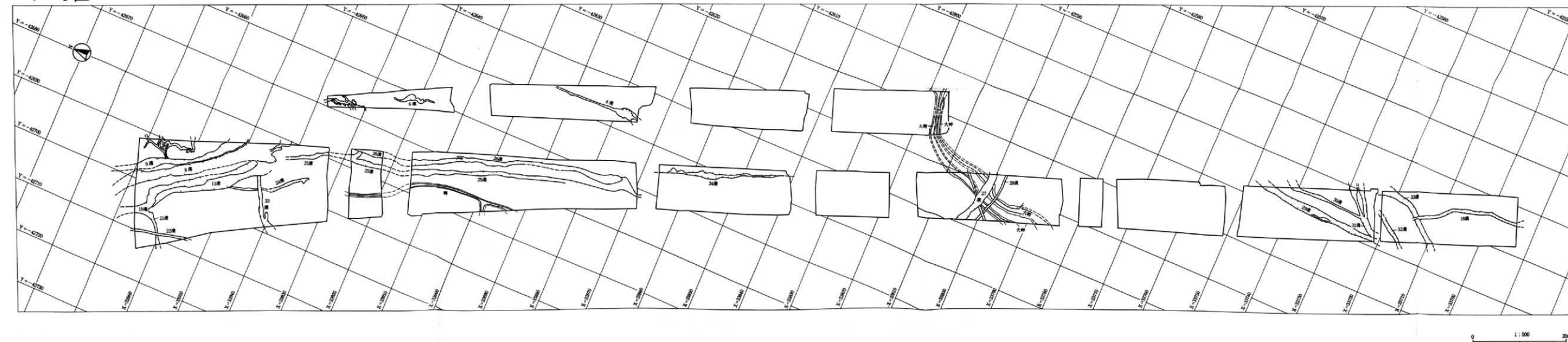
7・8区



6区



4・5区



付図 前沖遺跡全体図